

津市立明合小学校長寿命化 改修工事

特 記 事 項		 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号		代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 検図	工事名称 津市立明合小学校校長寿命化改修工事	設計日
												縮 尺 A2: NS A2: NS	図面番号 A000 原図: A2

図 面 目 録									
図面番号	図 面 内 容	図面番号	図 面 内 容	図面番号	図 面 内 容	図面番号	図 面 内 容	図面番号	図 面 内 容
A001	特記仕様書（新営）№1	A039	改修前 改修後 E V断面詳細図№.1	A077	改修後 2階展開図№.7（廊下）	S001	構造特記仕様書№.1	M001	機械設備工事 特記仕様書（1）
A002	特記仕様書（新営）№2	A040	改修後 E V断面詳細図№.2	A078	改修後 2階展開図№.8（廊下）	S002	構造特記仕様書№.2	M002	機械設備工事 特記仕様書（2）
A003	特記仕様書（新営）№3	A041	改修前 1階平面詳細図№.1	A079	改修前 3階展開図（廊下）	S003	鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.1	M003	機器表
A004	特記仕様書（新営）№4	A042	改修後 1階平面詳細図№.1	A080	改修後 3階展開図（廊下）	S004	鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.2	M004	改修前 改修後 給排水設備 1階平面図
A005	特記仕様書（新営）№5	A043	改修前 1階平面詳細図№.2	A081	改修前 階段室展開図	S005	鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.3	M005	改修前 改修後 給排水設備 2階平面図
A006	特記仕様書（新営）№6	A044	改修後 1階平面詳細図№.2	A082	改修後 階段室展開図	S006	鉄筋コンクリート構造配筋標準図№.4	M006	改修前 改修後 給排水設備 3階平面図、屋根伏図
A007	特記仕様書（新営）№7	A045	改修前 1階平面詳細図№.3	A083	改修前 改修後 1階天井伏図	S007	溶接基準図	M007	改修後 給排水設備 1・2階平面詳細図
A008	特記仕様書（新営）№8	A046	改修後 1階平面詳細図№.3	A084	改修前 改修後 2階天井伏図	S008	鉄骨基準図	M008	改修前 改修後 給排水設備 E V平面詳細図
A009	特記仕様書（改修）№1	A047	改修前 2階平面詳細図№.1	A085	改修前 改修後 3階天井伏図	S009	露出柱脚工法設計施工標準図	M009	改修前 改修後 給排水設備 渡り廊下 平面図
A010	特記仕様書（改修）№2	A048	改修後 2階平面詳細図№.1	A086	改修前 改修後 1階建具符号図	S010	合成スラブ設計・施工標準図		
A011	特記仕様書（改修）№3	A049	改修前 2階平面詳細図№.2	A087	改修前 改修後 2階建具符号図	S011	改修前 改修後 土質柱状図、基礎伏図、基礎梁・1階床伏図	E V001	エレベーター詳細図№.1（参考）
A012	特記仕様書（改修）№4	A050	改修後 2階平面詳細図№.2	A088	改修前 改修後 3階建具符号図	S012	改修前 改修後 基礎詳細図、スラブリスト、基礎梁リスト	E V002	エレベーター詳細図№.2（参考）
A013	特記仕様書（改修）№5	A051	改修前 2階平面詳細図№.3	A089	改修前 改修後 1階・2階・3階建具符号図	S013	改修前 改修後 梁伏図、部材リスト	E V003	エレベーター詳細図№.3（参考）
A014	特記仕様書（改修）№6	A052	改修後 2階平面詳細図№.3	A090	建具表＜撤去＞、建具表＜カバー工法改修＞	S014	改修後 軸組図	E V004	エレベーター詳細図№.4（参考）
A015	特記仕様書（改修）№7	A053	改修前 3階平面詳細図№.1	A091	建具表＜新設＞、建具表＜遮煙性能改修＞、建具表＜危害防止装置改修＞	S015	改修後 鉄骨詳細図	E V005	エレベーター詳細図№.5（参考）
A016	配置図、付近見取図	A054	改修後 3階平面詳細図№.1	A092	建具表＜既設＞、 建具表＜フィルム張＞№.1	S016	改修前 改修後 渡り廊下 構造図	E V006	エレベーター詳細図№.6（参考）
A017	外部・内部仕上表（増築部）	A055	改修前 1階展開図№.1（普通教室（一年））	A093	建具表＜フィルム張＞№.2			E V007	エレベーター詳細図№.7（参考）
A018	改修前 改修後 外部・内部仕上表№.1（既設部）	A056	改修後 1階展開図№.1（普通教室（一年））	A094	建具表＜フィルム張＞№.3	E01	電気設備工事 特記仕様書（1）		
A019	改修前 改修後 内部仕上表№.2（既設部）	A057	改修前 1階展開図№.2（図工室）	A095	各部詳細図№.1	E02	電気設備工事 特記仕様書（2）		
A020	改修前 改修後 内部仕上表№.3（既設部）	A058	改修後 1階展開図№.2（図工室）	A096	各部詳細図№.2	E03	電気設備工事 特記仕様書（3）		
A021	敷地求積図・求積表、建物求積図・求積表	A059	改修前 1階展開図№.3（廊下）	A097	防水平面図	E04	電気設備工事 配置図・付近見取図		
A022	改修後 法規チェック№.1	A060	改修前 1階展開図№.4（廊下）	A098	改修前 改修後 防水詳細図№.1	E05	受変電設備単線結線図		
A023	改修後 法規チェック№.2	A061	改修後 1階展開図№.3（廊下）	A099	改修前 改修後 防水詳細図№.2	E06	照明器具・トイレ呼出器具 姿図		
A024	改修後 法規チェック№.3	A062	改修後 1階展開図№.4（廊下）	A100	改修前 改修後 防水詳細図№.3	E07	改修前 改修後 電灯設備 1階平面図		
A025	改修後 法規チェック№.4	A063	改修前 2階展開図№.1（パソコン教室）	A101	改修前 改修後 防水詳細図№.4	E08	改修前 改修後 電灯設備 2階平面図		
A026	改修前 改修後 1階平面図	A064	改修後 2階展開図№.1（パソコン教室・準備室）	A102	改修前 改修後 外構平面図	E09	改修前 改修後 コンセント設備 1階平面図		
A027	改修前 改修後 2階平面図	A065	改修前 2階展開図№.2（準備室）	A103	改修前 改修後 渡り廊下 平面図	E10	改修前 改修後 コンセント設備 2階平面図		
A028	改修前 改修後 3階平面図、屋根伏図	A066	改修後 2階展開図№.2（多目的WC、廊下）	A104	改修前 改修後 渡り廊下 屋根伏図	E11	改修前 改修後 動力設備 1階平面図		
A029	改修前 南面立面図、東面立面図	A067	改修前 2階展開図№.3（普通教室（四年））	A105	改修前 改修後 渡り廊下 立面図	E12	改修前 改修後 動力設備 2階平面図		
A030	改修後 南面立面図、東面立面図	A068	改修後 2階展開図№.3（普通教室（四年））	A106	仮設計画図（参考）	E13	改修前 改修後 弱電設備 1階平面図		
A031	改修前 北面立面図、西面立面図	A069	改修前 2階展開図№.4（たんぽぽ教室）	A107	内部仮設計画図（参考図）	E14	改修前 改修後 弱電設備 2階平面図		
A032	改修後 北面立面図、西面立面図	A070	改修後 2階展開図№.4（たんぽぽ教室）			E15	自動火災報知設備 系統図		
A033	改修前 改修後 断面図	A071	改修前 2階展開図№.5（普通教室（三年））			E16	防火戸自動閉鎖装置 系統図		
A034	改修前 矩計図	A072	改修後 2階展開図№.5（普通教室（三年））			E17	改修前 改修後 自動火災報知設備 1階平面図		
A035	改修後 矩計図	A073	改修前 2階展開図№.6（普通教室（二年））			E18	改修前 改修後 自動火災報知設備 2階平面図		
A036	改修前 階段詳細図	A074	改修後 2階展開図№.6（普通教室（二年））			E19	改修前 改修後 渡り廊下図		
A037	改修後 階段詳細図	A075	改修前 2階展開図№.7（廊下）						
A038	改修前 改修後 E V平面詳細図	A076	改修前 2階展開図№.8（廊下）						

特 記 事 項		MANNO 株 式 会 社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
			一級建築士 第360917号 前田 祐作	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第320204号 前野 将輝					検図	図面名称
										図面目録	

工事特記仕様書

I. 工 事 名

津市立明合小学校長寿命化改修工事

II. 工事概要

1. 工事場所

津市安濃町栗加地内

2. 敷地面積

3.692.49 m

3. 工事内容

棟名称

昇降機棟・教室・特別教室・管理棟

構 造

(昇降機棟) S造2階建
(教室・特別教室・管理棟) RC造一部S造 3階建

建築面積

(昇降機棟) 22.22㎡
(教室・特別教室・管理棟) 667.06㎡

延べ面積

(昇降機棟) 44.44㎡
(教室・特別教室・管理棟) 1,274.91㎡

工事項目

(昇降機棟) 新築工事
(教室・特別教室・管理棟) 改修工事

III. 建築工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、公共建築工事標準仕様書(「建築工事編」令和4年版)(以下「標準仕様書」)及び公共建築改修工事標準仕様書(「建築工事編」令和4年版)による。

2. 特記仕様

1)項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。

3)項目に記載の()内番号は標準仕様書の当該項目、図又は表を示す。

章

項 目

特 記 事 項

①適用基準等

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準等を適用する。

1) 建築工事標準詳細図
国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 (令和4年版)

2) 建築物解体工事共通仕様書
国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修 (令和4年版)

3) 津市公共建築物等木材利用方針

②施工条件

施工方法及び検査に関する事項
※ 工事契約後、速やかに調査及び施工計画書等を作成し、現場着手までに市監督員の承諾を得ること。
※ 工事中の安全計画・消防計画等は、市監督員と十分協議し災害防止に努めること。
※ 本工事における諸官庁への届出、手続き及び書類等は、速やかに提出し工事の遂行に影響の無いよう努めること。
※ 工事期間中、近隣関係者等へ危害を与えないよう注意し、かつ周道路等に資材を落下させたり、ほこり等を飛散させないよう万全の注意を払うこと。
※ 場外退出時、車両足廻りの洗浄等を行い、汚損等しないようにすること。
※ 工事車両の出入りについては、安全確保に十分配慮すること。
※ 大型車両通行時には誘導員を配置し、通行人及び敷地周辺の安全に十分配慮すること。
※ 工事車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。
※ 工事着手前には、現況把握のために、破損箇所等があれば、市監督員立合いのもと写真に記録しておくこと。
※ 工事期間中、工事に起因し、既存施設に破損等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに原状復旧するとともに市監督員に報告書を提出すること。
※ 設計図書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取り合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
※ 高所等の施工箇所で完成検査時に確認が困難な工事については、足場解体前に市検査課による随時検査(書類を含む)を受けること。また、当該検査の合格をもって足場解体を行うこと。
※ 特定作業に伴って発生する騒音は、低振動・低騒音に努め騒音規制法に基づき関係機関への届出・打合せの上、作業に着手する事とし、また、周辺住民からの苦情があった時は、工事を一時中断し、誠意をもって地元調整を行い、工事の再開は市監督員の承認を得てから行う。市監督員の承認を得てから行うこと。
※ 工事作業については、学校運営に支障をきたさないよう工事の遂行に必要な施工体制を確保すること。
※ 撤去工事等の騒音及び振動が生じる作業は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うこと。

※ 外部足場の設置及び解体は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うこと。
※ 作業後の校舎等の施錠については学校側と十分協議を行うこと。
※ 原則として、撤去工事等の現場への本格着手は7月20日からとする。但し、学校及び監督員との協議により承諾を得た場合は、この限りではない。
※ 外壁補修(浮き部、ひび割れ補修等)は、原則、休日等の授業が行われていない時に行うものとする。
※ 9月以降に外壁吹付工事等を実施する場合は、感染症対策として、各面を一定スパン毎に分割して工区分けし、各教室にて少なくとも1方向の換気ができるようにすること。南側及び北側の窓を同時に封鎖する状態で施工することが無いように配慮すること。
※ 外部鉄部塗替えにおいて、下地調整ケレン時に集じん機付きディスクグラインダーの使用又は湿潤化し飛散養生するなど粉塵の飛散防止に努めること。
※ 工事用水、電力については校内既存の施設を無償で利用できる。但し、学校行事に影響しないよう事前に打合せのうえ利用すること。
※ 防火シャッター等の特定防火設備の改修は休校日に作業を行うこと。(お盆 8/13-8/16、年末年始 12/29-1/3)
※ 下記に示す諸室の改修工事について、2学期または3学期以降の学校運用に支障が無いよう、市検査課の中間検査(書類を含む)を受け、引き渡すこと。なお、下記に中間検査対象箇所及び引渡し計画時期を示す。但し、学校との協議により運営に支障がない範囲であれば、施工範囲を変更できるものとする。(8月中引渡)
・内部改修部
(普通教室、図工室、たんぽぼ教室、職員用便所、1F多目的便所、廊下、玄関、出入口、昇降口、通用口)
(9月中引渡)
・内部改修部
(パソコン教室・準備室、2F多目的WC、廊下)

※ 各諸室について、作り付け家具のほか、机等の備品があるため、作業に際し移送及び養生を適宜行うこと。(平面詳細図参照)
なお、下記に各諸室の主要な備品を明記する。
・普通教室、図工室、たんぽぼ教室、パソコン室：机、椅子及び教卓、木棚、スチール棚、タブレット保管庫
・玄関、出入口、昇降口、通用口：傘立て、掲示板、下足入、掃除具入
・廊下：掲示板、黒板、タブレット保管庫

・本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

・分別解体等の方法

工程	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	○有・無	・手作業 ○手作業、機械作業の併用
屋根	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	○有・無	○手作業 ・手作業、機械作業の併用
その他()	・有・無	・手作業 ・手作業、機械作業の併用

・引渡を要するもの ○無 ・()
・特別管理産業廃棄物 ・有() 処理方法()
・石綿含有成形板等解体時の留意点
1.手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。
2.可能であれば湿潤状態(散水)として作業を進めること。
3.飛散されない様にする。

④建設副産物情報交換システムの利用

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し監督員へ提出すること。
引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。

⑤三重県産業廃棄物税
本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。

⑥電気保安技術者
○ 配置する

⑦技能士
(1.5.2)

⑧建築材料等
職種別に可能なものについては積極的に活用すること

9.化学物質の濃度測定
(1.5.9)
測定対象化学物質(●で示したものとする。)

適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	ハルゲンクロロベンゼン
	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●
	住宅	●	●	●	●	●	
	その他	●	●	●	●	●	

対象箇所(・図示(図面番号：) ・())
測定方法(・バッシブ法 ・アクティブ法)
測定時期 ・()
報告書提出部数 2部

⑩特別な材料の工法
標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑪騒音・振動の防止
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

⑫工事写真
(1.2.4)
営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修(最新版))に従い撮影する。
提出部数1部 用紙は上質紙とする。
なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について(令和5年3月1日付け国営建技第14号)」による。

⑬完成図等
(1.7.1)
(1.7.2)
(1.7.3)

○ 作成する ○ 完成図 ○ 保全に関する資料 ・())
○ 完成図作図範囲(設計図を訂正)
完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)は発注者に移譲するものとする。また、製本2部(図面サイズについては監督員と協議による。)により提出すること。

⑭完成写真
○ デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。(A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部
箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。
写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。

⑮設備工事との取合い
施工範囲
○図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
○図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び補強
○駆動装置又は電動建具等の2次側配管配線及び操作スイッチ
施工図
○設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。

⑯設計GL
○ 図示(図面番号： A029)

⑰養生その他
工事施工に際し既存部分を汚損又は損傷した場合は、構造・仕上げ共、既存にならい補修すること。

⑱事故の発生時
工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員に提出すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

⑲消防法関係の手続き
1) 消火器に係る消防法用設備等設置届出書の作成
・本工事 (・建築工事 ○電気設備工事 ・機械設備工事)
・別途工事
2) 防火対象物使用開始届出書
書類の作成(建築図面の作成及び建築に関する部分の記入)を行うこと。

⑳労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置
労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の受注者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

㉑不正軽油の使用の禁止
1) 一般事項
工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材等の搬出入車両を含む。)資機材等の搬出入車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正軽油(地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
2) 調査の協力
受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また受注者は、下請負者等と同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3) 是正措置
受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じよう管理及び監督しなければならない。

㉒屋外広告物
屋外広告物を設置する場合は「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告業の登録事業者であること。

特記事項

代表設計者
一級建築士
第360917号
前田 祐作

設計担当
一級建築士
第378328号
加藤 早紀

設計担当
一級建築士
第320204号
前野 将輝

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

検図

工事名称
津市立明合小学校長寿命化改修工事

図面名称
特記仕様書(新営) No. 1

縮尺
A2: NS
A2: NS

図面番号
A001
原図: A2

設計日

仮設工事	2	1. 監督員事務所 (2. 3. 1)	・設置する。 監督員事務所の規模（単位：㎡） <table><tr><td>適用</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>規模</td><td>10程度</td><td>20程度</td><td>35程度</td><td>65程度</td><td>100程度</td></tr></table>	適用						規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度	4	1. 杭の施工管理	杭工事特記仕様書による。																																
	適用																																																	
	規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																												
		2. 監督員事務所の設備・備品 (2. 3. 1)	<table><tr><td>種類</td><td>机・いす</td><td>書棚</td><td>黒板・白板</td><td>掛時計</td><td>温度計</td></tr><tr><td>数量</td><td>組</td><td>台</td><td>個</td><td>個</td><td>個</td></tr><tr><td>種類</td><td>長靴</td><td>雨合羽</td><td>保護帽</td><td>懐中電灯</td><td>衣類ロッカー</td></tr><tr><td>数量</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td></tr><tr><td>種類</td><td>消火器</td><td>掃除具</td><td>受注者加入電話・FAX</td><td>インターネット</td><td>冷暖房機器</td></tr><tr><td>数量</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td></tr></table> 監督員職員事務所の仕上げ <table><tr><td>部 位 等</td><td>仕 上 げ</td></tr><tr><td>床</td><td>合板張り又はビニル床シート張り</td></tr><tr><td>内壁・天井</td><td>合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り</td></tr><tr><td>屋根</td><td>溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り</td></tr></table>	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	組	台	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器	数量	個	個	台	台	台	部 位 等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニル床シート張り	内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り	屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り		2. 適用基準	本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。 国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」（平成28年3月4日）
	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																												
	数量	組	台	個	個	個																																												
	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																												
	数量	足	着	個	個	台																																												
	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話・FAX	インターネット	冷暖房機器																																												
	数量	個	個	台	台	台																																												
部 位 等	仕 上 げ																																																	
床	合板張り又はビニル床シート張り																																																	
内壁・天井	合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り																																																	
屋根	溶融亜鉛めっき鋼板又は鉄板張り、調合ペイント塗り																																																	
	③仮設便所	構内既存の施設	・利用できる ○利用できない		3. 施工記録	受注者は、杭の施工期間中は、1 週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。 なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。																																												
	④工事用水	構内既存の施設	○利用できる（ ・ 有償 ○無償 ） ・ 利用できない		4. 根拠資料	特記仕様書及びその他基準等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第3 1条第4 項又は第5 項（第3 8条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から1 0年とする。 また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。																																												
	⑤工事用電力	構内既存の施設	○利用できる（ ・ 有償 ○無償 ） ・ 利用できない 本工事で新規受電または既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。		5. 試験杭及び試験掘 (4. 2. 2)	・ 試験杭 位置、本数及び寸法 図示（図面番号： ） ・ 試験掘 位置、本数及び寸法 図示（図面番号： ）																																												
	⑥足場	内部足場の種別（参考）○ 脚立 ・ 棚足場 ○（シャフト内足場） 外部足場の種別（参考）○ 手摺先行据置枠組本足場 ・ その他（ ） 防護シート等による養生 ○ 適用する ・ 適用しない 設置する足場については、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 ・ 足場（つり足場、張出し足場又は高さが1 0 m以上の足場で、組立から解体までの期間が6 0日以上のものに限る）の組立て後、市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。 1）足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第1 9条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者 2）労働安全衛生法第8 1条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等法第8 8条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参画者」に必要な資格を有する者 3）全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1）又は2）に掲げる者と同等の知識・経験を有する者		6. 支持層	支持層の位置、土質 ・ 図示（図面番号： ） ・ （ ）																																													
	⑦交通誘導警備員	配置 ○ 図示（図面番号： A113 ）			7. 水平方向の位置ずれ (4. 3. 4) (4. 5. 5)	（ ）mm以下																																												
	3	①埋戻し及び盛土 (3. 2. 3) (表3. 2. 1)	種別 ・ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種		8. 杭の載荷試験 (4. 2. 3)	試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・ （ ） 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置、本数 ・ 図示（図面番号： ） 載荷荷重 （ kN） 報告書 ・ 提出部数 2部																																												
		②建設発生土の処理 (3. 2. 5)	・ 処分地指定 処分地（ ） ○ 処分地未定につき相互協議する。 暫定運搬距離 ・ 8km ○ 4km ・ （ ）km		⑨地盤の載荷試験 (4. 2. 4)	試験方法 ○ 平板載荷 ・ （ ） 試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。 位置 ○ 図示（図面番号： S001, S011） 載荷荷重（ 300kN/㎡ ） 報告書 ○ 提出部数 2部																																												
		3. 山留めの撤去 (3. 3. 3)	鋼矢板等の抜き跡の処理 ・ 砂充填 ・ （ ） 山留め壁等 ・ 撤去 ・ 存置		10. 既製コンクリート杭 (4. 3. 1) (表4. 3. 1) (4. 3. 3) (4. 3. 4) (4. 3. 5) (4. 3. 6) (4. 3. 8)	・ PHC杭 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ SC杭 ・ PRC杭 ・ 上記以外の建築基準法に基づく杭 (参考表) <table><tr><td>種別</td><td>杭径 (mm)</td><td>杭長</td><td>継手数</td><td>セット数</td><td>長期設計支持力 (kN/本)</td><td>備考</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 先端形状 ・ 開放型 ・ 閉そく型 施工方法 ・ セメントミルク工法 ・ オーガーの支持層への掘削深さ ・ （ ）m ・ 図示（図面番号： ） ・ 杭の支持層への根入れ深さ ・ （ ）m ・ 図示（図面番号： ） ・ 根固め液及び杭周固定液の管理試験 ・ 標準仕様書 [4. 3. 4 (6) (c)] ・ （ ） ・ 特定埋込杭工法 ・ 杭の根入れ深さ ・ （ ）m ・ 図示（図面番号： ） 継手 ・ アーク溶接 ・ 無溶接継手（工法： ） 杭頭の処理 ・ 行う ・ 行わない	種別	杭径 (mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																					
種別	杭径 (mm)	杭長	継手数	セット数	長期設計支持力 (kN/本)	備考																																												

特記事項			一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 MAINO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
				一級建築士 第360917号 前田 祐作	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第320204号 前野 将輝				津市立明合小学校長寿命化改修工事		
										図面名称	縮 尺 A2: NS A2: NS	図面番号
										特記仕様書（新営）No. 2		A002 原図: A2

6

コンクリート工事

①コンクリートの使用骨材による種類及び強度

(6.2.1)

(6.2.2)

(6.2.4)

(6.10.1)

(6.10.2)

(6.10.3)

(6.11.1)

(6.11.3)

(表6.2.2)

(表6.10.1)

②コンクリートの種類

(6.2.1)

(表6.2.1)

③コンクリートの仕上り

(6.2.5)

(表6.2.4)

(表6.2.5)

④セメント

(6.3.1)

(表6.3.1)

⑤骨材

(6.3.1)

⑥コンクリートの材料

(6.3.1)

(6.3.1)

(表6.3.2)

⑦打継ぎ

(6.6.4)

8.養生

(6.7.2)

⑨型枠

(6.6.4)

(6.8.1)

(6.8.2)

(表6.8.1)

(6.8.4)

⑩寒中コンクリート

(6.11.1)

⑪暑中コンクリート

(6.12.2)

普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	施工時期	スランブ
○24(N/mm ²)	基礎		・15(cm)
○24(N/mm ²)	デッキ上		・18(cm)
・			

軽量コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 Fc	適用箇所	種類	気乾単位容積質量	スランブ
・(N/mm ²)			・t/m ³	・(cm)
・				
・				

・常時土又は水に直接接する部分 図示(図面番号:)

②コンクリートの種類

○Ⅰ類

・Ⅱ類

・大臣認定品 図示(図面番号:)

合板せき板を用いる場合の打放し仕上げの種類

・A種

○B種

・C種

仕上りの平たんさ

○a種

・b種

・c種

種類

○普通ボルトランドセメント、混合セメントA種

・()

高炉セメントB種又はフライアッシュセメントB種

・適用箇所 図示(図面番号:)

アルカリシリカ反応性による区分

○A

・B

・特殊な骨材の使用

・フェロニッケルスラグ細骨材

・銅スラグ細骨材

・電気炉酸化スラグ骨材

・再生骨材H

混和材料

・図示(図面番号:)

混和剤の種類、使用方法、使用量

○標準仕様書 [6.3.1] (4)(a)、標準仕様書 [6.3.2] (4)(f)

・()

混和材の種類、使用方法、使用量

○標準仕様書 [6.3.1] (4)(b)、標準仕様書 [6.3.2] (4)(f)

・()

構造体強度補正值 (S) ○標準仕様書[表6.3.2] ・()

位置

○標準仕様書 [6.6.4] (1) ・図示(図面番号:)

・普通エコセメント使用の場合の湿润養生期間 () 日以上

材料

○複合合板 (厚さ(mm) ○12 ・())

打増し厚さ

○図示(図面番号: S002)

誘発目地、打継ぎ目地、化粧目地の位置、形状及び寸法

○図示(図面番号: A028, A030)

・断熱材の兼用

・MCR工法用シート

スリーブの材種、規格等

・鋼管

○硬質ポリ塩化ビニル管

・溶融亜鉛めっき銅板

・つば付き鋼管

・図示(図面番号:)

型枠存置期間及び取外し

・普通エコセメント使用の場合の最小存置期間 () 日

適用期間(S02による)

○構造体強度補正值(S)は積算温度を基に定める

構造体強度補正值(S)

○6 N/mm² ・()

12.マスコリート

(6.13.1)

(6.13.2)

(表6.13.1)

⑬無筋コンクリート

(6.14.1)

14.流動化コンクリート

(6.15.1)

①施工管理技術者

(7.1.4)

②製作工場

(7.1.3)

③鋼材

(7.2.1)

(表7.2.1)

④高力ボルト

(7.2.2)

(7.3.2)

(7.4.2)

(7.4.7)

⑤普通ボルト

(7.2.3)

(表7.2.3)

(7.3.2)

6.溶融亜鉛めっき高力ボルト

(7.3.2)

(7.4.2)

(7.12.5)

⑦アンカーボルト

(7.2.4)

(7.3.2)

(7.10.3)

(表7.10.1)

(表7.2.3)

適用箇所

・図示(図面番号:)

・図示(図面番号:)

・普通ボルトランドセメント

・普通ボルトランドセメント

・低熱ボルトランドセメント

・高炉セメントB種

・フライアッシュセメントB種

・シリカセメント

スランブ

・15cm

・()

混和剤の種類

・標準仕様書[6.13.2] (2)(7)

・()

混和材の種類

・標準仕様書[6.13.2] (2)(4)

・()

構造体強度補正值 (S)

・標準仕様書[表16.3.1]

・()

コンクリートの種類

・普通コンクリート

・()

適用箇所

標準仕様書[6.14.1]

・(7)

・(4)

○(4)

・(1)

・(4)

・(4)

・上記以外の適用箇所()

設計基準強度

○18(N/mm²)

・() (N/mm²)

スランブ

○15cm

・18cm

適用箇所

・図示(図面番号:)

○配置する

(株)日本鉄骨評価センター又は(株)全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

○J

・R

・M

・H

・S

種類、形状及び寸法

○図示(図面番号: S002, S007, S008, S013, S015)

種類

○トルシア形高力ボルト(S10T)

・JIS形高力ボルト2種(F10T)

・溶融亜鉛めっき高力ボルト1種(F8T相当)

・()

高力ボルトのねじの呼び

○図示(図面番号: S002, S008, S013)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

○図示(図面番号: S002, S008, S013)

すべり試験の試験方法

・()

JIS形、ナット回転法かつボルト長がねじの呼びの5倍を超える場合

・回転量()°

5.普通ボルト

(7.2.3)

(表7.2.3)

(7.3.2)

6.溶融亜鉛めっき高力ボルト

(7.3.2)

(7.4.2)

(7.12.5)

⑦アンカーボルト

(7.2.4)

(7.3.2)

(7.10.3)

(表7.10.1)

(表7.2.3)

種類

・ABR400B

○図示(図面番号: S002)

構造用

・SS400

・()

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み

・A種

・B種

アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度

・標準仕様書[表7.2.3]

・図示(図面番号:)

構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状、寸法

○図示(図面番号: S009)

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等

○図示(図面番号: S009)

⑧溶接材料

(7.2.5)

9.ターンバックル

(7.2.6)

⑩デッキプレート

(7.2.7)

(7.7.8)

11.スタッド

(7.2.8)

⑫柱底均しモルタル

(7.2.9)

(7.10.3)

(表7.10.2)

13.材料試験等

(7.2.10)

14.ボルトの孔径

(7.3.8)

⑮仮組

(7.3.10)

⑯溶接作業における技能資格者

(7.6.3)

⑰溶接部の開先

(7.6.4)

⑱溶接施工

(7.6.7)

⑲溶接部の試験

(7.6.12)

⑳錆止め塗装

(7.8.2)

(7.8.4)

種類

○標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.1] (A)種

・標準仕様書[18.3.2]、[表18.3.2] ()種

材料

・標準仕様書[7.2.5] (1)(2)以外の溶接材料 ()

種類及びねじの呼び等

・図示(図面番号:)

建築用ターンバックル胴

・割枠式

・()

建築用ターンバックルボルト

・羽子板ボルト

・()

材質、形状及び寸法

○図示(図面番号: S002, S010, S013)

溶接方法

○図示(図面番号: S002, S010, S013)

種類等

・図示(図面番号:)

柱底均しモルタルの工法、厚み

特 記 事 項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 MAENO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日	
			一級建築士	一級建築士	一級建築士					検図	図面名称	縮 尺
			第360917号	第378328号	第320204号						特記仕様書（新営）No. 3	A2: NS A2: NS
			前田 祐作	加藤 早妃	前野 将輝						原図: A2	

12木工事

1. 木材

(12. 2. 1)

(12. 4. 1)

(12. 5. 1)

(12. 6. 1)

(12. 7. 1)

(表12. 2. 1)

2. 製材

(12. 2. 1) (2) (7)

(12. 2. 1) (2) (4)

(表12. 2. 2)

3. 集成材等

(12. 2. 1) (3)

4. 造作用単板積層材

(12. 2. 1) (4)

5. 直交集成材

(12. 2. 1) (5)

6. 合板等

(12. 2. 1) (6)

木材の含水率

部材名称	種別
下地材	・ A種 ・ B種
造作材	・ A種 ・ B種

「JAS 1083」による製材

	寸法	等級	含水率	保存処理	県産材
下地用製材	・ 図示 (:)	・ ()			
造作用製材	・ 図示 (:)	・ ()			
広葉樹製材	・ 図示 (:)	・ ()	・ 10% 以下		

「JAS 1083」以外の製材

樹種、寸法、材面の品質、防虫処理及び含水率

・ 図示 (図面番号 :)

造作材の材面の品質

・ A種

・ ()

樹種

部位	樹 種	県産材

造作用集成材

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材等

	品名・樹種・寸法 見付け材面数	見付け材面の品質	化粧薄板厚さ
造作用集成材	・ 図示 (図面番号 :)	・ 1等	
化粧ばり造作用集成材	・ 図示 (図面番号 :)	・ 1等	

「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材等

樹種、寸法、見付け材面の品質及び含水率等

・ 図示 (図面番号 :)

「JAS 0701」による造作用単板積層材

品名、寸法、表面の品質及び防虫処理

・ 図示 (図面番号 :)

「JAS 0701」以外の造作用単板積層材

寸法、表面の品質、含水率及び防虫処理

・ 図示 (図面番号 :)

「JAS 3079」による直交集成材

品名、曲げ強度(強度等級)、種別、接着性能(使用環境)、樹種、寸法

・ 図示 (図面番号 :)

品名・品目	樹種名	接着の程度	等級	板面の品質	防虫・保存処理等	厚さ

構造用合板の強度等級

・ 図示 (図面番号 :)

特殊加工化粧合板の化粧加工方法

・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装 ・ ()

パーティクルボード

表裏面の状態、曲げ強さ、耐水性、難燃性による区分、厚さ等

・ 図示 (図面番号 :)

7. 接合具等

(12. 2. 2)

(12. 3. 1)

(12. 3. 2)

8. 防蟻・防蟻

・ 防虫処理

(12. 3. 1)

(12. 3. 2)

9. RC造等の間仕切軸組及び床組

(12. 4. 1)

10. 窓、出入口等

(12. 5. 1)

11. 床板張り

(12. 6. 1)

12. 壁及び天井下地

(12. 7. 1)

ミディアムデンシティーファーパーボード (MDF)

表裏面の状態、曲げ強さ、接着剤、難燃性による区分、厚さ等

・ 図示 (図面番号 :)

造成材の化粧面の釘打ち

・ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ・ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し

諸金物の形状、寸法、材質

・ 図示 (図面番号 :)

防蟻・防蟻処理

薬剤加圧注入

適用部材、保存処理性能区分

・ 図示 (図面番号 :)

薬剤の塗布等

処理方法

・ 薬剤の製造所の仕様 ・ ()

附属書A (規定) に基づく表面処理用木材保存剤による処理

薬剤の種類、適用部材

・ 図示 (図面番号 :)

薬剤の接着剤への混入

・ ()

合板等の加圧注入

・ ()

防虫処理

・ ()

間仕切軸組に用いる木材

・ 杉 ・ 松 ・ ()

床組に用いる木材(土間スラブ 類の土台、転ばし大引、転ばし根太)

・ ひのき ・ 保存処理材 ・ ()

床組に用いる木材(上記以外)

・ 杉 ・ 松 ・ ()

吊元杵、水掛りの下杵、敷居

・ ひのき ・ ()

上記以外

・ 松 ・ 杉 ・ ()

縁甲板、上がりがまち

・ ひのき ・ ()

木材

・ 杉 ・ 松 ・ ()

14金属工事

④とい

(13. 5. 2)

(表13. 5. 1)

(表13. 5. 2)

(13. 5. 3)

(表13. 5. 4)

①アルミニウム

(14. 2. 1)

(表14. 2. 1)

2. 鉄鋼の垂鉛めっき

(14. 2. 2) (表14. 2. 2)

③軽量鉄骨

天井下地

(14. 4. 2)

(表14. 4. 1)

(14. 4. 3)

(表14. 4. 2)

(14. 4. 4)

④軽量鉄骨壁

下地

(14. 5. 3)

(表14. 5. 1)

(14. 5. 4)

5. 金属成形板張り

(14. 6. 2)

(14. 6. 3)

⑥アルミニウム製笠木

(14. 7. 2)

(14. 7. 3)

(表14. 7. 1)

⑦天井見切縁

⑧点検口

材種

・ ()

表面処理鋼板の塗膜の種類

・ ()

耐酸被覆鋼板 材質等

・ ()

受金物及び足金物の材種、形状、取付け間隔

・ 図示 (図面番号 : A017)

軒どいの取付け間隔 (多雪地域)

・ 0.5m以下 ・ ()

鋼管製といの防露巻工法

・ 標準仕様書 [表13. 5. 4] ・ ()

表面処理の種類

・ AB-1 ・ AB-2 ・ AC-1 ・ AC-2 ・ BA-1

・ BA-2

・ BB-1

・ BB-2

・ BC-1

・ BC-2

・ C (常温乾燥形の塗装 ())

陽極酸化被膜の着色方法

・ 二次電解着色 ・ ()

陽極酸化被膜の色合い等

・ ()

垂鉛めっきの種類

・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種

野縁等の種類

屋内

・ 19形 ・ ()

屋外

・ 25形 ・ ()

屋外の野縁受等の間隔

・ 図示 (図面番号 :)

吊りボルトの補強方法 (@900mm超)

・ 図示 (図面番号 :)

吊りボルトの水平補強、斜め補強

・ 天井ふところ>3.0m 図示 (図面番号 :)

・ 耐震天井 図示 (図面番号 :)

・ 耐風圧の補強 図示 (図面番号 :)

スタッド、ランナーの種類

・ 50形

・ 65形

・ 90形

・ 100形

・ スタッドの高さによる区分

・ 図示 (図面番号 :)

スタッドの高さ5m超

・ 図示 (図面番号 :)

出入口、開口部の補強

・ 標準仕様書 [14. 5. 4] (5) 後段 ・ ()

施工箇所		
種 別	・ アルミニウム	
	・ ステンレス	・ 鋼
形 状	・ スパンドレル形	
	・ パネル形	
表面処理	・	

取付け用下地

・ 図示 (図面番号 :)

長尺ものにおける伸縮調整継手

・ 設ける 図示 (図面番号 :)

部材の種類

・ 250形 ・ 300形

・ 350形

表面処理

・ (BB-1)

固定方法

・ 図示 (図面番号 :)

風圧力及び積雪荷重に対応した工法

・ 図示 (図面番号 :)

材種

・ アルミニウム合金製

・ 塩化ビニル製

取付箇所	材種	寸法	形式
・ 天井	・ アルミニウム製	・ 450角	・ 額縁タイプ
		・ 600角	・ 目地タイプ
・ 床	・ アルミニウム製	・ 450角	
		・ 600角	

15左官工事

1. ラス系下地

(15. 2. 4)

2. せっこうボード

その他のボード下地

(15. 2. 5)

3. こまい下地及び木ずり下地

(15. 2. 6)

(15. 2. 7)

④モルタル塗り

(15. 3. 2)

(15. 3. 5)

⑤仕上塗材仕上

(15. 6. 2)

(表15. 6. 1)

通気工法

・ 二層下地 ・ 単層下地

直張り工法

・ ラスモルタル下地 ・ ラスシートモルタル下地

ラス及び補強用平ラス

材料記号	種類	質量 (kg/m ²)
・ K	・ ()	・ ()
・ ()		

ラスシート

山高 (mm)	山ピッチ (mm)	質量 (kg)	溶接ピッチによる区分
・ ()	・ ()	・ ()	・ ()

外張断熱工法

・ 図示 (図面番号 :)

ステーブルの形状、寸法

・ 図示 (図面番号 :)

換気口部の措置

・ 標準仕様書 (木造) [11. 4. 3] (2) (ウ) ・ ()

耐力壁のラスシートの施工

・ 図示 (図面番号 :)

せっこうボード、せっこうラスボードの種類、厚さ

・ 図示 (図面番号 :)

・ ()

木質系セメント板の種類、厚さ

・ 図示 (図面番号 :)

・ ()

耐力壁の指定

・ 図面 (図面番号 :)

木ずり用小幅板の樹種

・ 杉 (芯去り材) ・ 図示 (図面番号 :)

材料

・ 現場調査材料 ・ 既調査材料

既製目地材

・ 使用する 図示 (図面番号 :)

床の目地

・ 図示 (図面番号 :)

下地モルタル、下地調整塗材の接着力試験 (外壁タイル張り等)

・ 実施する

種 類	呼 び 名	仕 上 形 状	工 法
薄付仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状	・ 吹付け
	・ 内装薄塗材E	・ 着色骨材砂壁状	
	・ ()	・ 砂壁状ジュラク	・ ()
厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ 吹放し	・ 吹付け
		・ 凸部処理	
		・ 平たん状	
	・ 外装厚塗材Si	・ 凹凸状	・ こて
		・ ひき起こし	
複層仕上塗材	・ 外装厚塗材E	・ 吹放し	・ 吹付け
		・ 凸部処理	
		・ 平たん状	
	・ 外装厚塗材E	・ 凹凸状	・ こて
		・ ひき起こし	・ ローラー
複層仕上塗材	・ 複層塗材E	・ ゆず肌状	
	・ 複層塗材RE	・ 凸部処理	・ ローラー
	・ 防水型複層塗材E	・ 凹凸状	・ 吹付け
軽量骨材仕上塗材	・ 吹付用軽量塗材	・ 砂壁状	・ 吹付け
	・ こて塗用軽量塗材	・ 平たん状	・ こて

内装薄塗材、内装厚塗材 (吸放湿性を有するもの)

・ JIS A 6909 調湿形

複層仕上塗材の耐候性

・ 耐候形 3 種 ・ ()

外装厚塗材Cの上塗材

・ セメントスタッコ以外の場合 材所要量 () kg/m²

外装厚塗材Si、Eの上塗材の適用

・ あり ・ なし

18

塗装工事

3. 耐候性塗料塗り (DP)
(18. 7. 2)
(表18. 7. 1)
(18. 7. 3)
(表18. 7. 2)
(18. 7. 4)
(表18. 7. 3)
4. スリット塗り
(18. 11. 2)

下地の種類

施工箇所

上塗り等級
・ 1級
・ 2級
・ 3級

コンクリート、RCP面における種別
・ A種
・ B種
・ C種

オイルステイン塗り 工程、材料 ・ ()

19

内装工事

①ビニル床シート張り
(19. 2. 2)
(表19. 2. 1)
(19. 2. 3)

2. ビニル床タイル張り
(19. 2. 2)
(表19. 2. 1)

3. 特殊機能床材
(19. 2. 2)
(表19. 2. 2)

④ビニル幅木
(19. 2. 2)

⑤施工
(19. 2. 3)

6. カーペット敷き
(19. 3. 2)
(19. 3. 3)
(表19. 3. 1)
(表19. 3. 2)

種類

色柄

厚さ (mm)

継目

FS
()

無地
()

2. 0
()

熱溶接
・ 突付け

接着剤の種類、施工箇所
セメント系下地、木質系下地以外 ・ 図示 (図面番号:)

寸法・色合

種類

厚さ (mm)

・ 300×300
()

・ コンポジションビニル床タイル (KT)

半硬質

・ 2. 0

・ 450×450
()

・ コンポジションビニル床タイル (KT)

軟質

・ ()

・ ホモジニアスビニルタイル

・ ()

接着剤の種類、施工箇所
セメント系下地、木質系下地以外 ・ 図示 (図面番号:)

3. 特殊機能床材
・ 帯電防止床シート・床タイル 寸法 ()mm
厚さ ()mm 種類 () 性能 ()
・ 視覚障害者用床タイル
種類 (・ ビニル床タイル ・ ())
形状 (・ 300×300 ・ ())
・ 耐動荷重性床シート
種類 () 厚さ ()mm
・ ゴム床タイル
色柄 () 種類 () 寸法 () 厚さ ()mm
接着剤の種類、施工箇所
セメント系下地、木質系下地以外 ・ 図示 (図面番号:)
・ 防滑性床シート・床タイル 種類 () 寸法 () 厚さ ()mm

④ビニル幅木
種類 ① 図示 (図面番号: A017)
高さ ① 図示 (図面番号: A017) ・ 60mm
厚さ ・ 図示 (図面番号:) ① 1. 5mm以上

⑤施工
下地 ①モルタル ・セメント・コンクリート直均し
接合部の処理 ①熱溶接工法 ・ ()

6. カーペット敷き
織りじゅうたん
種類 ① 図示 (図面番号: A017)
高さ ① 図示 (図面番号: A017) ・ 60mm
厚さ ・ 図示 (図面番号:) ① 1. 5mm以上

種類

色柄

パイル形状

織り方

A種
B種
C種

無地
柄物
(標準品)

ループ
カット
ループ併用

ウィルトンカーペット
ダブルフェースカーペット
アキスミンスターカーペット

種別

色柄

パイル形状

パイル長・寸法・総厚

工法

タフテッドカーペット

無地
柄物

ループ
カット

パイル長
・ 5～7mm
・ 4～6mm

グリッパー
・ 全面接着

タイルカーペット
・ 1種
・ 2種

無地
柄物

ループ
カット

総厚さ、サイズ
・ 6. 5mm
・ 500角

全面接着

・ 帯電性 (人体帯電圧の値3kV以下)
タイルカーペットの敷き方 (全面接着工法)
平場 ・ 市松敷き ・ 模様流し ・ 図示 (図面番号:)
階段部分 ・ 市松敷き ・ 模様流し ・ 図示 (図面番号:)
下敷き材 ・ 第2種1号、呼び厚さ8mm
・ 図示 (図面番号:)
見切り、押え金物
・ 材質 () ・ 種類 ()
・ 形状 (図面番号:)
織りじゅうたんの接合方法 ・ ヒートボンド工法 ・ ()

7. 合成樹脂塗料
(19. 4. 3)
(表19. 4. 4)
(表19. 4. 5)
～(表19. 4. 8)

8. フローリング張り
(19. 5. 2)
(19. 5. 3)
(19. 5. 4)
(19. 5. 5)
(表19. 5. 2)
～(表19. 5. 6)

9. 畳敷き
(19. 6. 2)
(表19. 6. 1)

⑩せっこうボード、
その他のボード
及び合板張り
(19. 7. 2)
(表19. 7. 1)
(19. 7. 3)
(表19. 7. 3)
(表19. 7. 5)

・ 弾性ウレタン塗床材 (JISK 5970)
仕上げ
・ 平滑仕上げ
・ 防滑仕上げ
・ つや消し仕上げ
・ エポキシ樹脂塗床材 (JISK 5970)
工法、仕上げ
・ 薄膜流しのべ工法 (・ 平滑
・ 防滑)
・ 厚膜流しのべ工法 (・ 平滑
・ 防滑)
・ 樹脂モルタル工法 (・ 平滑
・ 防滑)

材料 ・ 単層フローリング
(・ フローリングボード (1等) ・ フローリングブロック (1等))
・ 複合フローリング
・ 釘留め工法
材料 種別 樹種
・ フローリングボード (根太張用)
・ 複合フローリング (根太張用)
・ フローリングボード (直張用)
・ 複合フローリング (直張用)
・ A種
・ B種
・ C種
・ A種
・ B種
・ C種
・ A種
・ B種
・ C種
・ A種
・ B種
・ C種
・ 合成樹脂発泡シート

・ 接着工法
材料 樹種 厚さ (mm) 幅・長さ 裏面不陸緩衝材
・ フローリングボード (直張用)
・ フローリングブロック (直張用)
・ 複合フローリング (直張用)
・ A種
・ B種
・ C種
・ 合成樹脂発泡シート

種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種
・ D種の畳床 KT- (・ I ・ II ・ III ・ K ・ N)
衝撃緩和型畳 ・ C 1 ・ C 2

種類

種別

厚さ (mm)

せっこうボード

GB-S
GB-R

壁
天井

9. 5 (準不燃)
12. 5 (不燃)

化粧せっこうボード

トラバーチン模様
木目模様

9. 5 (不燃)
9. 5 (準不燃)
9. 5 (不燃)
9. 5 (準不燃)

ロックウール化粧
吸音板

普通
立体模様

9
()
9
()

けい酸カルシウム板

タイプⅡ0. 8FK

()

化粧けい酸カルシウム板

()

6

合板張り
・ 普通合板 表面の樹種名 ・ 生地のまま
・ (透明塗料塗り)ラワン ・ (不透明塗料塗り)しな
()
板面の品質 () 厚さ ()mm
防虫処理 ・ ()
・ 天然化粧合板 化粧板の樹種名 ・ ()
厚さ ()mm
防虫処理 ・ ()
・ 特殊加工合板 化粧加工の方法
・ オーバーレイ ・ プリント
・ 塗装 ・ ()
表面性能 () 厚さ ()mm
防虫処理 ・ ()
天井ボードの重ね張り ・ 図示 (図面番号:)
合板類の張付け ・ A種 ・ B種

20

ユニット及びその他工事

1. フリーアクセスフロア
(20. 2. 2)

2. 可動間仕切り
(20. 2. 3)

3. 移動間仕切り
(20. 2. 4)

4. トイレブース
(20. 2. 5)

5. 手すり
(20. 2. 6)

6. 階段滑り止め
(20. 2. 7)

7. 黒板及び
ホワイトボード
(20. 2. 9)

8. 鏡
(20. 2. 10)

⑨表示
(20. 2. 11)

せっこうボードの目地工法
① 継目処理
・ 突付け (・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ)
・ 目透し (・ ベベルエッジ ・ スクエアエッジ)

11. 壁紙張り
(19. 8. 2)
(19. 8. 3)

素地ごしらえ
せっこうボード面 ・ A種 ・ B種
コンクリート面 ・ A種 ・ B種
モルタル・せっこうプラスター面 ・ A種 ・ B種

断熱材打込み工法
断熱材の種類、厚さ ① 図示 (図面番号: A017, 039, 040)
断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ① A種1 ・ A種1H ・ 図示 (図面番号)
断熱材の厚さ ① 図示 (図面番号: A017, 038, 039)

1. フリーアクセスフロア
(20. 2. 2)

2. 可動間仕切り
(20. 2. 3)

3. 移動間仕切り
(20. 2. 4)

4. トイレブース
(20. 2. 5)

5. 手すり
(20. 2. 6)

6. 階段滑り止め
(20. 2. 7)

7. 黒板及び
ホワイトボード
(20. 2. 9)

8. 鏡
(20. 2. 10)

⑨表示
(20. 2. 11)

フリーアクセスフロア及び表面仕上げ材の寸法、フリーアクセスフロア高さ、耐震性能、
所定荷重、帯電防止性能、漏えい抵抗
・ 図示 (図面番号:)
試験方法 20. 2. 2 (2) (4) (a) ～ (d)
寸法精度 20. 2. 2 (2) (4) (a) ～ (c)

組立て方式
・ スタッド式 ・ パネル式 ・ スタッドパネル式
パネル内建具寸法及び形状 ・ 図示 (図面番号:)
構成基材の種類 ・ 図示 (図面番号:)
遮音性 ・ 図示 (図面番号:)
表面仕上げ ・ 図示 (図面番号:)

操作方法
表面材の材質及び仕上げ ・ 図示 (図面番号:)
遮音性 ・ 図示 (図面番号:)
ハンガーレールの取付け下地の補強
・ 標準仕様書 [20. 2. 4] (3) (4) ・ 図示 (図面番号:)
パネルをランナーに取り付ける部品
・ 標準仕様書 [20. 2. 4] (3) (5) ・ 図示 (図面番号:)
ハンガーレール
・ 標準仕様書 [20. 2. 4] (3) (6) ・ 図示 (図面番号:)
ランナー
・ 標準仕様書 [20. 2. 4] (3) (7) ・ 図示 (図面番号:)
ハンガーレールの固定方法
・ 溶接 ・ あと施工アンカー (材質: 、寸法:)

表面材 ・ メラミン樹脂系化粧板
・ ポリエステル樹脂系化粧板
脚部 ・ 幅木 ・ 図示 (図面番号:)
扉小口の材質 ・ ステンレス製 ・ アルミ製
ドアエッジの材質 ・

特 記 事 項		MAENO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
			検図	図面名称 特記仕様書（新営）No. 7	縮 尺 A2: NS A2: NS	図面番号 A007 原図: A2					

21	排水工事	3. 地業の材料 (21. 2. 1)	砂 ・ 山砂 ・ 川砂 ・ 砕砂 ・ () 砂利 ・ 再生クラッシャーラン ・ 切込砂利 ・ 切込碎石 試験 ・ 砂の粒度試験	5. カラー舗装 (22. 6. 2) (22. 6. 3) (22. 6. 4) (表22. 6. 1)	種類 ・ 加熱系 構成及び厚さ () 結合材 ・ アスファルト ・ 石油樹脂系 (顔料の添加量:) 添加材 ・ 着色骨材 ・ 自然石 ・ 常温系 工法 ・ ニート工法 ・ 塗布工法 着色部下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装 ニート工法及び塗布工法の配合その他 ・ 図示 (図面番号:) 試験 ・ アスファルト混合物等の抽出試験	6. 透水性アスファルト舗装 (22. 7. 2) (表22. 7. 1)	舗装構成 ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 著しい不陸がないこと ・ 図示 (図面番号:)	6. 芝張り、吹付けは種及び地被類 (23. 4. 2) (23. 4. 3) (23. 4. 7)	種類 ・ コウライシバ ・ ノシバ ・ () 吹付けは種用種子 種類 ・ 標準仕様書 [23. 4. 2] (3) (7) 後段 ・ 図示 (図面番号:) 量 ・ () ・ 図示 (図面番号:) 地被種類、芽立数、径、単位面積当たりの株数 ・ 図示 (図面番号:) 芝張り工法 平地 ・ 目地張り ・ べた張り ・ 図示 (図面番号:) 法面 ・ 目地張り ・ べた張り ・ 図示 (図面番号:) 芝張り、吹付けは種及び地被類の枯補償期間 ・ 引渡日から1年間 ・ ()	7. 屋上緑化 (23. 5. 2) (23. 5. 3) (23. 5. 4) (23. 5. 5)	植栽基盤及び材料 ・ 屋上緑化システム 土壌層の厚さ ・ 図示 (図面番号:) 排水層 ・ 軽量骨材 (層の厚さ:) ・ 板状成形品 植込み用土 改良土 ・ 人工軽量土 樹種・種類、寸法、株立数、刈込み ・ 図示 (図面番号:) 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示 (図面番号:) 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ・ 図示 (図面番号:) 風圧力に対応した工法 (建設省告示第1458号) ・ 図示 (図面番号:) 支柱 ・ 図示 (図面番号:) かん水装置 ・ 図示 (図面番号:) 新植樹木の枯補償期間 ・ 引渡日から1年間 ・ 図示 (図面番号:) 芝及び地被類の枯補償期間 ・ 引渡日から1年間 ・ 図示 (図面番号:)																
		4. 埋め戻し土 (21. 2. 1)	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	5. 施工 (21. 2. 2)	場所打ち排水樹の足掛け金物の材料 ・ ステンレス製 (幅400mm、径22mm) ・ 鉄製 (径22mm、防錆処置済み) ・ 合成樹脂被膜加工を行ったもの (径19mm) ・ 図示 (図面番号:) 遠心力鉄筋コンクリート管 基床の厚さ、種類 ・ 図示 (図面番号:) 硬質ポリ塩化ビニル管 基床の厚さ、種類 ・ 図示 (図面番号:) 継手 ・ 接着剤 ・ ゴム輪	6. 街きよ緑石、側溝 (21. 3. 1) (21. 3. 2)	コンクリート緑石、側溝 種類、形状、寸法 ・ 図示 (図面番号:) 砂利地業 厚さ ・ 100mm ・ 図示 (図面番号:)																				
22	舗装工事	1. 路床 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 1) (22. 2. 4) (22. 2. 5)	路床の材料 (厚さは図示 (図面番号:)) 遮断層 ・ 川砂 ・ 海砂又は良質な山砂 凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ () フィルター層 ・ 砂 路床安定処理 ・ 行う 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 () 号 ・ 消石灰 () 号 添加量 () kg/m ² (目標CBR ・ 5以上 ・ ()) 盛土に用いる材料 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 C種の場合: 建設発生土受入量 () m ³ 片道の運搬距離 () km 試験 ・ 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 路床締固め度の試験 ・ 現場CBR試験	2. 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (22. 3. 3)	<table><tr><th>舗装の種類</th><th>路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部</th><th>路盤材料</th></tr><tr><td>・ アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 再生クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ カラー舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ 透水性アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>・ インターロッキングブロック舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン ・ ()</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td></td></tr></table>	舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料	・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン	・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン	・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ	・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()	・ ()	・ () ・ ()		3. アスファルト舗装 (22. 4. 2) ~ (22. 4. 6) (表22. 4. 1) ~ (表22. 4. 6)	舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ A-3-10 ・ () ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ・ 図示 (図面番号:) 表層の種類 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ () 試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験	4. コンクリート舗装 (22. 5. 2) ~ (22. 5. 6) (表22. 5. 1)	舗装の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 図示 (図面番号:) 設計基準強度等 ・ 標準仕様書 [表22. 5. 1] ・ () 早強セメント ・ 使用する 注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 ・ 種類 () ・ 間隔 () ・ 標準仕様書 [表22. 5. 3] 目地の構造 ・ 標準仕様書 [図22. 5. 1] ・ 図示 (図面番号:)
		舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料																							
・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン																									
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン																									
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ																									
・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()																									
・ ()	・ () ・ ()																										
2. 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (22. 3. 3)	<table><tr><th>舗装の種類</th><th>路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部</th><th>路盤材料</th></tr><tr><td>・ アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 再生クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ カラー舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ 透水性アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>・ インターロッキングブロック舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン ・ ()</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td></td></tr></table>	舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料	・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン	・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン	・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ	・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()	・ ()	・ () ・ ()		3. アスファルト舗装 (22. 4. 2) ~ (22. 4. 6) (表22. 4. 1) ~ (表22. 4. 6)	舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ A-3-10 ・ () ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ・ 図示 (図面番号:) 表層の種類 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ () 試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験	4. コンクリート舗装 (22. 5. 2) ~ (22. 5. 6) (表22. 5. 1)	舗装の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 図示 (図面番号:) 設計基準強度等 ・ 標準仕様書 [表22. 5. 1] ・ () 早強セメント ・ 使用する 注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 ・ 種類 () ・ 間隔 () ・ 標準仕様書 [表22. 5. 3] 目地の構造 ・ 標準仕様書 [図22. 5. 1] ・ 図示 (図面番号:)				
舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料																									
・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン																									
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン																									
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ																									
・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()																									
・ ()	・ () ・ ()																										
23	植栽工事	1. 路床 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 1) (22. 2. 4) (22. 2. 5)	路床の材料 (厚さは図示 (図面番号:)) 遮断層 ・ 川砂 ・ 海砂又は良質な山砂 凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ () フィルター層 ・ 砂 路床安定処理 ・ 行う 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 () 号 ・ 消石灰 () 号 添加量 () kg/m ² (目標CBR ・ 5以上 ・ ()) 盛土に用いる材料 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 C種の場合: 建設発生土受入量 () m ³ 片道の運搬距離 () km 試験 ・ 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 路床締固め度の試験 ・ 現場CBR試験	2. 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (22. 3. 3)	<table><tr><th>舗装の種類</th><th>路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部</th><th>路盤材料</th></tr><tr><td>・ アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 再生クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ カラー舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ 透水性アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>・ インターロッキングブロック舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン ・ ()</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td></td></tr></table>	舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料	・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン	・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン	・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ	・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()	・ ()	・ () ・ ()		3. アスファルト舗装 (22. 4. 2) ~ (22. 4. 6) (表22. 4. 1) ~ (表22. 4. 6)	舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ A-3-10 ・ () ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ・ 図示 (図面番号:) 表層の種類 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ () 試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験	4. コンクリート舗装 (22. 5. 2) ~ (22. 5. 6) (表22. 5. 1)	舗装の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 図示 (図面番号:) 設計基準強度等 ・ 標準仕様書 [表22. 5. 1] ・ () 早強セメント ・ 使用する 注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 ・ 種類 () ・ 間隔 () ・ 標準仕様書 [表22. 5. 3] 目地の構造 ・ 標準仕様書 [図22. 5. 1] ・ 図示 (図面番号:)
		舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料																							
・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン																									
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン																									
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ																									
・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()																									
・ ()	・ () ・ ()																										
2. 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (22. 3. 3)	<table><tr><th>舗装の種類</th><th>路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部</th><th>路盤材料</th></tr><tr><td>・ アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 再生クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ カラー舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ 透水性アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>・ インターロッキングブロック舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン ・ ()</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td></td></tr></table>	舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料	・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン	・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン	・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ	・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()	・ ()	・ () ・ ()		3. アスファルト舗装 (22. 4. 2) ~ (22. 4. 6) (表22. 4. 1) ~ (表22. 4. 6)	舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ A-3-10 ・ () ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ・ 図示 (図面番号:) 表層の種類 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ () 試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験	4. コンクリート舗装 (22. 5. 2) ~ (22. 5. 6) (表22. 5. 1)	舗装の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 図示 (図面番号:) 設計基準強度等 ・ 標準仕様書 [表22. 5. 1] ・ () 早強セメント ・ 使用する 注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 ・ 種類 () ・ 間隔 () ・ 標準仕様書 [表22. 5. 3] 目地の構造 ・ 標準仕様書 [図22. 5. 1] ・ 図示 (図面番号:)				
舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料																									
・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン																									
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン																									
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ																									
・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()																									
・ ()	・ () ・ ()																										
24	外構工事	1. 路床 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 1) (22. 2. 4) (22. 2. 5)	路床の材料 (厚さは図示 (図面番号:)) 遮断層 ・ 川砂 ・ 海砂又は良質な山砂 凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ () フィルター層 ・ 砂 路床安定処理 ・ 行う 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 () 号 ・ 消石灰 () 号 添加量 () kg/m ² (目標CBR ・ 5以上 ・ ()) 盛土に用いる材料 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 C種の場合: 建設発生土受入量 () m ³ 片道の運搬距離 () km 試験 ・ 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 路床締固め度の試験 ・ 現場CBR試験	2. 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (22. 3. 3)	<table><tr><th>舗装の種類</th><th>路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部</th><th>路盤材料</th></tr><tr><td>・ アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 再生クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ カラー舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ 透水性アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>・ インターロッキングブロック舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン ・ ()</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td></td></tr></table>	舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料	・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン	・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン	・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ	・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()	・ ()	・ () ・ ()		3. アスファルト舗装 (22. 4. 2) ~ (22. 4. 6) (表22. 4. 1) ~ (表22. 4. 6)	舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ A-3-10 ・ () ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ・ 図示 (図面番号:) 表層の種類 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ () 試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験	4. コンクリート舗装 (22. 5. 2) ~ (22. 5. 6) (表22. 5. 1)	舗装の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 図示 (図面番号:) 設計基準強度等 ・ 標準仕様書 [表22. 5. 1] ・ () 早強セメント ・ 使用する 注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 ・ 種類 () ・ 間隔 () ・ 標準仕様書 [表22. 5. 3] 目地の構造 ・ 標準仕様書 [図22. 5. 1] ・ 図示 (図面番号:)
		舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料																							
・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン																									
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン																									
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ																									
・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()																									
・ ()	・ () ・ ()																										
2. 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (22. 3. 3)	<table><tr><th>舗装の種類</th><th>路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部</th><th>路盤材料</th></tr><tr><td>・ アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 再生クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ カラー舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ 透水性アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>・ インターロッキングブロック舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン ・ ()</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td></td></tr></table>	舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料	・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン	・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン	・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ	・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()	・ ()	・ () ・ ()		3. アスファルト舗装 (22. 4. 2) ~ (22. 4. 6) (表22. 4. 1) ~ (表22. 4. 6)	舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ A-3-10 ・ () ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ・ 図示 (図面番号:) 表層の種類 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ () 試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験	4. コンクリート舗装 (22. 5. 2) ~ (22. 5. 6) (表22. 5. 1)	舗装の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 図示 (図面番号:) 設計基準強度等 ・ 標準仕様書 [表22. 5. 1] ・ () 早強セメント ・ 使用する 注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 ・ 種類 () ・ 間隔 () ・ 標準仕様書 [表22. 5. 3] 目地の構造 ・ 標準仕様書 [図22. 5. 1] ・ 図示 (図面番号:)				
舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料																									
・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン																									
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン																									
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ																									
・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()																									
・ ()	・ () ・ ()																										
25	植栽工事	1. 路床 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 1) (22. 2. 4) (22. 2. 5)	路床の材料 (厚さは図示 (図面番号:)) 遮断層 ・ 川砂 ・ 海砂又は良質な山砂 凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ () フィルター層 ・ 砂 路床安定処理 ・ 行う 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 () 号 ・ 消石灰 () 号 添加量 () kg/m ² (目標CBR ・ 5以上 ・ ()) 盛土に用いる材料 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 C種の場合: 建設発生土受入量 () m ³ 片道の運搬距離 () km 試験 ・ 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 路床締固め度の試験 ・ 現場CBR試験	2. 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (22. 3. 3)	<table><tr><th>舗装の種類</th><th>路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部</th><th>路盤材料</th></tr><tr><td>・ アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 再生クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ カラー舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ 透水性アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>・ インターロッキングブロック舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン ・ ()</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td></td></tr></table>	舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料	・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン	・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン	・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ	・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()	・ ()	・ () ・ ()		3. アスファルト舗装 (22. 4. 2) ~ (22. 4. 6) (表22. 4. 1) ~ (表22. 4. 6)	舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ A-3-10 ・ () ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ・ 図示 (図面番号:) 表層の種類 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ () 試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験	4. コンクリート舗装 (22. 5. 2) ~ (22. 5. 6) (表22. 5. 1)	舗装の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 図示 (図面番号:) 設計基準強度等 ・ 標準仕様書 [表22. 5. 1] ・ () 早強セメント ・ 使用する 注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 ・ 種類 () ・ 間隔 () ・ 標準仕様書 [表22. 5. 3] 目地の構造 ・ 標準仕様書 [図22. 5. 1] ・ 図示 (図面番号:)
		舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料																							
・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン																									
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン																									
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ																									
・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()																									
・ ()	・ () ・ ()																										
2. 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (22. 3. 3)	<table><tr><th>舗装の種類</th><th>路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部</th><th>路盤材料</th></tr><tr><td>・ アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 再生クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ カラー舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ 透水性アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>・ インターロッキングブロック舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン ・ ()</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td></td></tr></table>	舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料	・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン	・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン	・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ	・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()	・ ()	・ () ・ ()		3. アスファルト舗装 (22. 4. 2) ~ (22. 4. 6) (表22. 4. 1) ~ (表22. 4. 6)	舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ A-3-10 ・ () ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ・ 図示 (図面番号:) 表層の種類 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ () 試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験	4. コンクリート舗装 (22. 5. 2) ~ (22. 5. 6) (表22. 5. 1)	舗装の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 図示 (図面番号:) 設計基準強度等 ・ 標準仕様書 [表22. 5. 1] ・ () 早強セメント ・ 使用する 注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 ・ 種類 () ・ 間隔 () ・ 標準仕様書 [表22. 5. 3] 目地の構造 ・ 標準仕様書 [図22. 5. 1] ・ 図示 (図面番号:)				
舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料																									
・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン																									
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン																									
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ																									
・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()																									
・ ()	・ () ・ ()																										
26	植栽工事	1. 路床 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 1) (22. 2. 4) (22. 2. 5)	路床の材料 (厚さは図示 (図面番号:)) 遮断層 ・ 川砂 ・ 海砂又は良質な山砂 凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ () フィルター層 ・ 砂 路床安定処理 ・ 行う 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 () 号 ・ 消石灰 () 号 添加量 () kg/m ² (目標CBR ・ 5以上 ・ ()) 盛土に用いる材料 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 C種の場合: 建設発生土受入量 () m ³ 片道の運搬距離 () km 試験 ・ 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 路床締固め度の試験 ・ 現場CBR試験	2. 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (22. 3. 3)	<table><tr><th>舗装の種類</th><th>路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部</th><th>路盤材料</th></tr><tr><td>・ アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 再生クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ カラー舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ 透水性アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>・ インターロッキングブロック舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン ・ ()</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td></td></tr></table>	舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料	・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン	・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン	・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ	・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()	・ ()	・ () ・ ()		3. アスファルト舗装 (22. 4. 2) ~ (22. 4. 6) (表22. 4. 1) ~ (表22. 4. 6)	舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ A-3-10 ・ () ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ・ 図示 (図面番号:) 表層の種類 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ () 試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験	4. コンクリート舗装 (22. 5. 2) ~ (22. 5. 6) (表22. 5. 1)	舗装の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 図示 (図面番号:) 設計基準強度等 ・ 標準仕様書 [表22. 5. 1] ・ () 早強セメント ・ 使用する 注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 ・ 種類 () ・ 間隔 () ・ 標準仕様書 [表22. 5. 3] 目地の構造 ・ 標準仕様書 [図22. 5. 1] ・ 図示 (図面番号:)
		舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料																							
・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン																									
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン																									
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ																									
・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()																									
・ ()	・ () ・ ()																										
2. 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (22. 3. 3)	<table><tr><th>舗装の種類</th><th>路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部</th><th>路盤材料</th></tr><tr><td>・ アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 再生クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ カラー舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ 透水性アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>・ インターロッキングブロック舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン ・ ()</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td></td></tr></table>	舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料	・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン	・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン	・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ	・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()	・ ()	・ () ・ ()		3. アスファルト舗装 (22. 4. 2) ~ (22. 4. 6) (表22. 4. 1) ~ (表22. 4. 6)	舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ A-3-10 ・ () ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ・ 図示 (図面番号:) 表層の種類 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ () 試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験	4. コンクリート舗装 (22. 5. 2) ~ (22. 5. 6) (表22. 5. 1)	舗装の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 図示 (図面番号:) 設計基準強度等 ・ 標準仕様書 [表22. 5. 1] ・ () 早強セメント ・ 使用する 注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 ・ 種類 () ・ 間隔 () ・ 標準仕様書 [表22. 5. 3] 目地の構造 ・ 標準仕様書 [図22. 5. 1] ・ 図示 (図面番号:)				
舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料																									
・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン																									
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン																									
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ																									
・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()																									
・ ()	・ () ・ ()																										
27	植栽工事	1. 路床 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (表22. 2. 1) (22. 2. 4) (22. 2. 5)	路床の材料 (厚さは図示 (図面番号:)) 遮断層 ・ 川砂 ・ 海砂又は良質な山砂 凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ () フィルター層 ・ 砂 路床安定処理 ・ 行う 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 () 号 ・ 消石灰 () 号 添加量 () kg/m ² (目標CBR ・ 5以上 ・ ()) 盛土に用いる材料 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 C種の場合: 建設発生土受入量 () m ³ 片道の運搬距離 () km 試験 ・ 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 路床締固め度の試験 ・ 現場CBR試験	2. 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (22. 3. 3)	<table><tr><th>舗装の種類</th><th>路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部</th><th>路盤材料</th></tr><tr><td>・ アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 再生クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ カラー舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ 透水性アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>・ インターロッキングブロック舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン ・ ()</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td></td></tr></table>	舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料	・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン	・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン	・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ	・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()	・ ()	・ () ・ ()		3. アスファルト舗装 (22. 4. 2) ~ (22. 4. 6) (表22. 4. 1) ~ (表22. 4. 6)	舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ A-3-10 ・ () ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ・ 図示 (図面番号:) 表層の種類 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ () 試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験	4. コンクリート舗装 (22. 5. 2) ~ (22. 5. 6) (表22. 5. 1)	舗装の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 図示 (図面番号:) 設計基準強度等 ・ 標準仕様書 [表22. 5. 1] ・ () 早強セメント ・ 使用する 注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 ・ 種類 () ・ 間隔 () ・ 標準仕様書 [表22. 5. 3] 目地の構造 ・ 標準仕様書 [図22. 5. 1] ・ 図示 (図面番号:)
		舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料																							
・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン																									
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン																									
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ																									
・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()																									
・ ()	・ () ・ ()																										
2. 路盤 (22. 3. 2) (表22. 3. 1) (22. 3. 3)	<table><tr><th>舗装の種類</th><th>路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部</th><th>路盤材料</th></tr><tr><td>・ アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 再生クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ カラー舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン</td></tr><tr><td>・ 透水性アスファルト舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ 鉄鋼スラグ</td></tr><tr><td>・ インターロッキングブロック舗装</td><td>・ () ・ ()</td><td>・ クラッシャーラン ・ ()</td></tr><tr><td>・ ()</td><td>・ () ・ ()</td><td></td></tr></table>	舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料	・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン	・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン	・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ	・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()	・ ()	・ () ・ ()		3. アスファルト舗装 (22. 4. 2) ~ (22. 4. 6) (表22. 4. 1) ~ (表22. 4. 6)	舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ A-3-10 ・ () ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) 再生アスファルトの種類 ・ 60~80 ・ 80~100 ・ 図示 (図面番号:) 表層の種類 ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ () 試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験	4. コンクリート舗装 (22. 5. 2) ~ (22. 5. 6) (表22. 5. 1)	舗装の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:) 平坦性 ・ 通行の支障となる水たまりを生じない程度 ・ 図示 (図面番号:) コンクリートの種類 ・ 普通コンクリート ・ 図示 (図面番号:)				
舗装の種類	路盤の厚さ (mm) 車道部 歩道部	路盤材料																									
・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 再生クラッシャーラン																									
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン																									
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ 鉄鋼スラグ																									
・ インターロッキングブロック舗装	・ () ・ ()	・ クラッシャーラン ・ ()																									
・ ()	・ () ・ ()																										

工事特記仕様書（改修）

I. 工事名称

以下、A001による

II. 工事概要

1 工事場所

2 敷地面積

3 工事内容

様名称

構造

建築面積

延べ面積

工事項目

III. 建築改修工事仕様

1 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。

2 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修仕の該当項目等を示す。

章	項 目	特 記 事 項																				
1	① 適用基準等	1) 公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） 2) 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） 3) 建築物解体工事共通仕様書 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） 4) 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版）																				
	② 施工条件	施工方法及び検査に関する事項 ※ 以下、A001による。																				
	③ 発生材の処理等 (1.3.12)	本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。 ・分別解体等の方法 <table><tr><th>工程</th><th>作業の有無</th><th>分別解体等の方法</th></tr><tr><td>造成等</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>基礎・基礎ぐい</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>上部構造部分・外装</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ○ 併作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>屋根</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>建築設備・内装等</td><td>○ 有 ・ 無</td><td>・ 手作業 ○ 併作業、機械作業の併用</td></tr><tr><td>その他 ()</td><td>・ 有 ○ 無</td><td>・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用</td></tr></table> ○ 引き渡しを要するもの ○ 無 ・ () ・ 特別管理産業廃棄物 ・ 有 (・ PCBを含む機器類 ・ 廃油、廃酸、廃アルカリ ・ ダイオキシン類 ・ 水銀を含む特別管理産業廃棄物 ・ 廃水銀等) 処理方法 () ・ 水銀使用製品産業廃棄物 ・ 有 (・ 蛍光ランプ ・ HIDランプ ・ ()) 「水銀廃棄物ガイドライン」（第2版）（平成31年3月 環境省環境再生・資源循環局廃棄物規制課）に基づき適切に処理すること。 ○ 石綿含有成形板等解体時の留意点 1. 手ばらし等、出来るだけ粉塵の発生しない方法で行うこと。 2. 可能であれば湿潤状態（散水）として作業を進めること。 3. 飛散されない様にする。こと。 4. 保護具及び作業着を着用すること。 5. 解体されたボード等は、蓋のある容器に入れること。 6. 事前に使用箇所や状況の調査を行い記録すること。 ・ 現場において再利用を図るもの () ○ 再資源化を図るもの ○ コンクリート塊 ○ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生木材 ・ () 引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調書を作成し、監督員へ提出すること。 引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員にマニフェストA、B2、D票を提示すること。	工程	作業の有無	分別解体等の方法	造成等	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	基礎・基礎ぐい	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	上部構造部分・外装	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 併作業、機械作業の併用	屋根	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用	建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 併作業、機械作業の併用	その他 ()	・ 有 ○ 無
工程	作業の有無	分別解体等の方法																				
造成等	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
基礎・基礎ぐい	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
上部構造部分・外装	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 併作業、機械作業の併用																				
屋根	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				
建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	・ 手作業 ○ 併作業、機械作業の併用																				
その他 ()	・ 有 ○ 無	・ 手作業 ・ 手作業、機械作業の併用																				

④ 建設副産物情報交換システムの利用	受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書」（建設資材の搬入がある場合）及び「再生資源利用促進計画書」（建設副産物の搬出がある場合）を作成し、施工計画書に含めて監督員へ写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。 また、工事完了後には「再生資源利用実施書」（建設資材の搬入があった場合）及び「再生資源利用促進実施書」（建設副産物の搬出があった場合）をすみやかに作成し、監督員へ写しを提出すること。 なお、各計画書及び実施書の作成等は、JACICが運営する「建設副産物情報交換システム」に登録のうえ、行うこと。																																
⑤ 三重県産業廃棄物税	本工事は産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。 なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェストの数量の集計）を超えて請求することはできない。 ○ 配置する																																
⑥ 電気保安技術者 (1.3.3)																																	
⑦ 技能士 (1.7.2)	職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。																																
⑧ 施工数量調査 (1.6.2)	調査範囲及び調査方法 ○ 工種別の特記による																																
9 調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)	補修方法 ・ 図示（図面番号： ） ・ ()																																
⑨ 建築材料等	1) 本工事に使用する木材は、津市公共建築物等木材利用方針に基づき、木材の利用に努めること。 2) 本工事に使用する建築材料のホルムアルデヒド放散量等は、F☆☆☆☆以上とする。																																
⑩ 化学物質の濃度測定 (1.6.9)	測定対象化学物質（●で示したものとする。） <table><tr><th>適用</th><th>施設用途</th><th>ホルムアルデヒド</th><th>トルエン</th><th>キシレン</th><th>エチルベンゼン</th><th>スチレン</th><th>パラジロブレン</th></tr><tr><td>○</td><td>学校、教育施設</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td></tr><tr><td></td><td>住宅</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td>●</td><td></td></tr><tr><td></td><td>その他</td><td>●</td><td>●</td><td></td><td>●</td><td>●</td><td></td></tr></table> 測定対象室及び測定箇所数 ○ 図示（図面番号：A026～027） ・ () 測定方法 (○ パッシブ法 ・ アクティブ法) 測定時期 ・ () 報告書提出部数 2部 改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。	適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジロブレン	○	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●		住宅	●	●	●	●	●			その他	●	●		●	●	
適用	施設用途	ホルムアルデヒド	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	パラジロブレン																										
○	学校、教育施設	●	●	●	●	●	●																										
	住宅	●	●	●	●	●																											
	その他	●	●		●	●																											
⑪ 特別な材料の工法	低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。																																
⑫ 騒音・振動の防止																																	
⑬ 工事写真 (1.2.4)	営繕工事写真撮影要領(国土交通省大臣官房官庁営繕部（最新版）)に従い撮影する。 提出部数1部 用紙は上質紙とする。 なお、デジタル工事写真の小板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小板情報電子化について（令和5年3月1日国営建技14号）」による。																																
⑭ 完成図等 (1.8.2) (1.8.3)	作成する (○ 完成図 ・ 保全に関する資料 ・ ()) 完成図作図範囲（設計図を訂正） 完成図はCADにより作成することとし、著作権（著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む）にかかる使用权は発注者に移譲するものとする。また、製本2部（原図サイズ）により提出すること。																																
⑮ 完成写真	○ デジタルカメラで撮影し、全てL版相当サイズで印刷する。 (A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部 箇所数は外観4面各室2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合や枚数が多くなる場合には、監督員と協議すること。写真は、着工前・施工中・完成を同一場所から、黒板なしで撮影すること。																																
⑯ 設備工事との取合い	施工範囲 ○ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補強 ○ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強 ○ 自動閉鎖装置取付け箇所の切込み及び補強 ○ 駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ 施工図 ○ 設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督員の承諾を受けること。																																
⑰ 既存部分等への処置 (1.3.13)	工事施工に際し、既存部分を汚損した場合又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて原状に準じて補修する。																																
⑱ 事故の発生時	工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出すること。 また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。																																
㉔ 消防提出書類	1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成 ○ 本工事 (・ 建築工事 ○ 電気設備工事 ・ 機械設備工事) ・ 別途工事 2) 防火対象物使用開始届出書 書類の作成（電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入）を行うこと。																																
㉕ 労働安全衛生法に基づく労働災害防止措置	労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべき者として、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。																																
㉖ 不正軽油の使用の禁止	1) 一般事項 工事現場で使用し、又は使用させる車両（資機材等の搬出入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第144条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。 2) 調査の協力 受注者は、市が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等と同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。 3) 是正措置 受注者は、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正軽油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じよう管理及び監督しなければならない。																																
2 3 屋外広告物	屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告物の登録事業者であること。																																

㉔ 石綿含有建材の調査 (1.5.1)	○ 石綿含有建材の事前調査 調査範囲 ○ 改修部分すべて ・ () 資与資料 ○ 既存の設計図書 ○ 石綿含有建材の調査報告書 ・ () ・ 分析調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンフィライト、クリソタイル、クロソドライト、トレモライト 分析方法 <table><tr><th>材料名</th><th>定性分析法 JIS A 1481-1 JIS A 1481-2</th><th>定量分析法 JIS A 1481-3 JIS A 1481-4 JIS A 1481-5</th></tr><tr><td></td><td>・ 箇所数()</td><td>・ 箇所数()</td></tr><tr><td></td><td>・ 箇所数()</td><td>・ 箇所数()</td></tr></table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図面(図面番号：) ・ ()	材料名	定性分析法 JIS A 1481-1 JIS A 1481-2	定量分析法 JIS A 1481-3 JIS A 1481-4 JIS A 1481-5		・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()																																										
材料名	定性分析法 JIS A 1481-1 JIS A 1481-2	定量分析法 JIS A 1481-3 JIS A 1481-4 JIS A 1481-5																																																		
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																		
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																		
2 仮設工事	1 騒音・粉じん等の対策 (2.1.3) ② 足場 (2.2.1) (表2.2.1) ③ 既存部分の養生 (2.3.1) ④ 仮設間仕切り (2.3.2) (表2.3.1) 5 監督員事務所 (2.4.1) 6 監督員事務所の設備・備品等 (2.4.1)(2)(7) 7 仮設便所 8 工事用水 9 工事用電力 ⑩ 交通誘導警備員	・ 防音パネル 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ） ・ 防音シート 設置範囲 ・ 図示（図面番号： ） 設置する足場について、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月）」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」の2の(2)手すり据置き型方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。 内部足場の種別（参考） ○ 脚立 ・ 棚足場 ・ その他() 外部足場の種別（参考） ○ 手摺先行据置枠組木足場 ・ 移動足場 ・ 高所作業車 その他() 外部足場設置範囲（参考） ○ 外部改修部 ・ 設備改修部 ・ 昇降用 ・ 転落防止用 防護シート等による養生 ○ 適用する ・ 適用しない 足場の組立て後、足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行い記録を保存すること。 つり足場、張出し足場又は高さが10m以上の足場で、組立から解体までの期間が60日以上のものについては、組立て後市監督員立ち合いの下、当該足場の組立てを担当した者以外の足場に関し十分な知識と経験を有する者により点検を行うこと。 なお、「十分な知識と経験を有する者」とは、以下の者とする。 1) 足場の組立て等作業主任者であって、労働安全衛生法第19条の2に基づく足場の組立て等作業主任者能力向上教育を受けた者 2) 労働安全衛生法第81条に規定する労働安全コンサルタント（区分が土木又は建築である者）や厚生労働大臣の登録を受けた者が行う研修を修了した者等第88条に基づく足場の設置等の届出に係る「計画作成参画者」に必要な資格を有する者 3) 全国仮設安全事業協同組合が行う「仮設安全監理者資格取得講習」、建設業労働災害防止協会が行う「施工管理者等のための足場点検実務研修」を受けた者等足場の点検に必要な専門的知識の習得のために行う教育、研修又は講習を修了するなど、足場の安全点検について、上記1)又は2)に掲げる者と同等の知識・経験を有する者 既存部分の養生 ・ 図示（図面番号： ） 既存ブラインド・カーテンの養生 養生方法 () 保管場所 ・ 構内既存施設内 固定された備品、机、ロッカーの移動 ○ 行う ・ 行わない 屋内の仮設間仕切り ・ A種 ○ B種 ・ C種 合板 厚さ ・ 9mm ・ () せっこうボード 厚さ ○ 9.5mm ・ () 合板又は石こうボードの塗装 ・ 行う ○ 行わない 仮設扉 設置箇所 ○ 図示（図面番号： A114 ） 仕様 ・ 合板張り木製扉 ○ (7mm製) ・ 構内建物内の一部を使用する。 ・ 設置する ・ 設置しない 監督員事務所の規模(単位：㎡) <table><tr><th>適用規模</th><th>10程度</th><th>20程度</th><th>35程度</th><th>65程度</th><th>100程度</th></tr></table> 監督員事務所の仕上げ <table><tr><th>部 位 等</th><th>仕 上 げ</th></tr><tr><td>床</td><td>合板張り又はビニル床シート張り</td></tr><tr><td>内壁・天井</td><td>合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り</td></tr><tr><td>屋根</td><td>装溶融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、鋼合ペイント塗り</td></tr></table> <table><tr><th>種類</th><th>机・いす</th><th>書棚</th><th>黒板・白板</th><th>掛時計</th><th>温度計</th></tr><tr><td>数量</td><td>組</td><td>台</td><td>個</td><td>個</td><td>個</td></tr><tr><th>種類</th><th>長靴</th><th>雨合羽</th><th>保護帽</th><th>懐中電灯</th><th>衣類ロッカー</th></tr><tr><td>数量</td><td>足</td><td>着</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td></tr><tr><th>種類</th><th>消火器</th><th>掃除具</th><th>受注者加入電話FAX</th><th>冷暖房機器</th><th>インターネット</th></tr><tr><td>数量</td><td>個</td><td>個</td><td>台</td><td>台</td><td>台</td></tr></table> 構内既存の施設 ・ 利用できる ○ 利用できない 構内既存の施設 ○ 利用できる (・ 有償 ○ 無償) ・ 利用できない 構内既存の施設 ○ 利用できる (・ 有償 ○ 無償) ・ 利用できない 有償利用の場合において、本工事で新規受電又は既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は、本工事に含まれる。 配置 ○ 図示（図面番号： A106 ）	適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度	部 位 等	仕 上 げ	床	合板張り又はビニル床シート張り	内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り	屋根	装溶融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、鋼合ペイント塗り	種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計	数量	組	台	個	個	個	種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー	数量	足	着	個	個	台	種類	消火器	掃除具	受注者加入電話FAX	冷暖房機器	インターネット	数量	個	個	台	台	台
適用規模	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度																																															
部 位 等	仕 上 げ																																																			
床	合板張り又はビニル床シート張り																																																			
内壁・天井	合板張り又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルション塗り																																																			
屋根	装溶融垂鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、鋼合ペイント塗り																																																			
種類	机・いす	書棚	黒板・白板	掛時計	温度計																																															
数量	組	台	個	個	個																																															
種類	長靴	雨合羽	保護帽	懐中電灯	衣類ロッカー																																															
数量	足	着	個	個	台																																															
種類	消火器	掃除具	受注者加入電話FAX	冷暖房機器	インターネット																																															
数量	個	個	台	台	台																																															

特記事項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 MAINO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
			一級建築士 第360917号 前田 祐作	一級建築士 第378328号 加藤 早紀	一級建築士 第320204号 前野 将輝			津市立明合小学校校長寿命化改修工事			
								図面名称		縮 尺 A2: NS A2: NS	図面番号
								特記仕様書（改修）No. 1		A009 原図:A2	

3

防水改修工事

1

アスファルト防水

(3.3.3)~
(表3.3.3)~
(表3.3.10)

改質アスファルトルーフィングシート

種類・改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による・()
厚さ・改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による・()

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート

種類・改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による・()
厚さ・改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による・()

断熱工法の断熱材 (PIB1, P2A1, POD1, M3D1, M4D1)

材質・()
・押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b A (スキンあり)
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号
厚さ・()
ルーフドレン回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置・図示(図面番号:)

脱気装置 (M3D, POD, POD1, M3D1, M4D1)

・設ける(設置数量・図示(図面番号:), 材質())
・設けない
・仕上塗料 種類() 使用量()

保護コンクリートの厚さ

こて仕上げ・水下80mm以上・()
床タイル張り・水下60mm以上・()

こて仕上げの場合のコンクリートの平たんさ

・a種・b種・c種

保護層・設ける・設けない
屋上排水溝の適用・適用する
立上り保護・乾式保護材()
・れんが(材種・JIS R1250)

改質アスファルトシート

種類・改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による・()
厚さ・改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による・()

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート

種類・改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による・()
厚さ・改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による・()

断熱工法の断熱材 (M3AS1, M4AS1, POAS1)

材質、厚さ()
図示・()

(3.4.3)
(表3.4.1)~
(表3.4.3)

2

改質アスファルトシート防水

(3.4.2)

3

合成高分子系ルーフィングシート防水

(3.5.2)

(3.5.3)
(表3.5.1)~
(表3.5.3)

(3.5.3)

(3.5.4)

4

塗膜防水

(3.6.3)
(表3.6.1)
(3.6.3)(1)

(3.6.3)(2)

5

既存防水層表面の仕上塗装の除去

(3.2.6)(3)(イ)
(3.2.6)(3)(ロ)

6

シーリング

(3.7.2)
(表3.7.1)

(3.7.4~7)

(3.7.8)

7

とい

(3.8.2)
(表3.8.1)
(表3.8.2)

8

アルミニウム製笠木

(3.9.2)(3)
(表3.9.1)

(3.9.3)(2)

(3.9.2)(4)
(3.9.3)

9

保証書

4

外壁改修工事

1

施工数量調査

2

改修工法の種類

(4.1.4)
(4.1.5)

3

改修工法等

(4.2.4)(1)
(4.2.5)
(4.3.6)
(4.4.6)

(4.2.4)(2)
(4.2.6)
(4.3.7)

(4.2.4)(3)
(4.2.7)
(4.3.8)

(4.2.4)(4)
(4.2.8)
(4.3.9)

(4.3.5)(5)
(4.3.10)

(4.3.5)(6)
(4.3.11)(4.4.9)
(図4.3.1)

(4.3.5)(6)
(4.3.12)(4.4.10)
(図4.3.2)

(4.3.5)(6)
(4.3.13)(4.4.11)
(図4.3.2)

(4.3.5)(7)
(4.3.14)(4.4.12)
(図4.3.3)

(4.3.5)(7)
(4.3.15)(4.4.13)
(図4.3.4)

(4.3.5)(7)
(4.3.16)(4.4.14)
(図4.3.4)

(4.4.5)(4)
(4.4.8)
(表4.4.5)

(4.4.15)

(4.4.5)(5)
(4.4.16)

1

樹脂注入工法

種類・自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
・注入量() 注入間隔()
・手動式エポキシ樹脂注入工法
・注入量() 注入口間隔()
・機械式エポキシ樹脂注入工法
・注入量() 注入口間隔()
材料 エポキシ樹脂JIS A6024(建築補修用注入エポキシ樹脂)
コア抜取検査・行う・行わない
・抜取り個数()
・抜取り部分補修方法()

2

Uカットシール材充填工法

材料・シール材用材充填
・(PU-1・PU-2・())
・可とう性エポキシ樹脂充填
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
・行う・行わない

3

シール工法

材料・パテ状エポキシ樹脂
・可とう性エポキシ樹脂

4

充填工法

材料・エポキシ樹脂モルタル
・ポリマーセメントモルタル

5

モルタル塗替え工法

材料・現場調査材料・既調査材料
・既製目地材の適用及び形状()
・仕上げ厚()

6

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

アンカーピンの本数・標準・()
材料・ステンレス鋼(SUS304)・()

7

アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

アンカーピンの本数及び注入口の数・標準・()
材料・ステンレス鋼(SUS304)・()

8

アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

アンカーピンの本数及び注入口の数・標準・()
材料・ステンレス鋼(SUS304)・()

9

注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

注入口付アンカーピンの本数・標準・()
材料・ステンレス鋼(SUS304)・()
呼び径・6mm・()

10

注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

注入口付アンカーピンの本数及び注入口の数・標準・()
材料・ステンレス鋼(SUS304)・()
呼び径・6mm・()

11

注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

注入口付アンカーピンの本数及び注入口の配置・標準・()
材料・ポリマーセメントスラリー・()
・注入口付アンカーピン・ステンレス鋼(SUS304)・()
呼び径・6mm・()

12

タイル部分張替え工法

張替え材料・ポリマーセメントモルタル
・接着剤(一液反応硬化形変成シリコーン樹脂)・()

施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・特注色の別	耐凍害性の有無

・役物(・一体成形・接着加工)
・試験張り・行う・行わない
・見本焼き・行う・行わない
・既調査モルタル・使用する・使用しない

・タイル張替え工法

タイルの種類	タイルの大きさ	工法	塗り厚(mm)
・外装 タイル	小口平 二丁掛 100角	・密着張り	5~8
		・改良圧着張り	下地側 4~6 タイル側 1~3
・ユニットタイル	50二丁以下	・マスク張り ・モザイクタイル貼り	3~4 3~5

・注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入タイル固定工法
注入口付アンカーピンの本数(本)

・目地ひび割れ部改修工法
伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地
(位置 寸法 ×)
検査 シーリング接着性試験
・行う(・簡易接着性試験・引張接着性試験)

特記事項

代表設計者
一級建築士
第360917号
前田 祐作

設計担当
一級建築士
第378328号
加藤 早紀

設計担当
一級建築士
第320204号
前野 将輝

設計担当

設計担当

法適合確認

作図
検図

工事名称
津市立明合小学校校長寿命化改修工事

図面名称
特記仕様書(改修)No.2

縮尺
A2: NS
A2: NS

図面番号
A010
原図: A2

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 前野建築設計
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者
一級建築士
第360917号
前田 祐作

設計担当
一級建築士
第378328号
加藤 早紀

設計担当
一級建築士
第320204号
前野 将輝

設計担当

設計担当

法適合確認

作図
検図

工事名称
津市立明合小学校校長寿命化改修工事

図面名称
特記仕様書(改修)No.2

縮尺
A2: NS
A2: NS

図面番号
A010
原図: A2

④

塗り仕上げ
(4.5.2)
(表4.5.1(その1)
(その2))

種 類	呼び名	仕上げ形状	工法
薄付け仕上塗材	○ 外装薄塗材 E	○ 砂壁状	吹付け
		・ ゆず肌状	
		・ 平たん状	こて
		・ 凹凸状	ローラー
厚付け仕上塗材	・ ()	・ ゆず肌状	ローラー
		・ さざ波状	
		・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け
		・ こて	
複層仕上塗材	○ 複層塗材 E ・ 複層塗材 RE ・ 防水形複層塗材 E ・ 防水形複層塗材 RE	・ 吹放し	吹付け
		・ 凸部処理	
		・ 平たん状	こて
		・ 凹凸状	ローラー
可とう形改修用仕上塗材	・ 可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材 CE ・ 可とう形改修塗材 E	・ ひき起し	
		・ 揺き落とし	
		・ 吹放し	吹付け
		・ 凸部処理	
可とう形改修用仕上塗材	・ 可とう形改修塗材 E ・ 可とう形改修塗材 CE ・ 可とう形改修塗材 E	・ 平たん状	ローラー
		・ さざ波状	
		・ ゆず肌状	吹付け
		・ 凹凸状	ローラー

・ 外装厚塗 C の上塗材がセメントスタッコ以外の場合
材所要量 (kg/m2)

・ マスチック塗材塗り ・ A 種 ・ B 種

複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類

樹脂種類	溶媒種類	外 観
・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
・ シリカ系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
・ アクリルシリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
○ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック
	・ 弱溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無
	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無

(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。

外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法

種類	仕上げの形状	工法
外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	・ 吹付け
	・ 凸部処理	
	・ ゆず肌状	・ ローラー
	・ さざ波状	

既存塗膜等の除去及び下地処理

工 法	処理範囲
・ サンダー工法	
○ 高圧水洗工法 (30～50MPa)	既設耐震補強時ALC面
・ 塗膜はく離剤工法	
○ 水洗い工法 (○ 高圧ポンプ (10～15MPa) ・ デッキブラシ)	既設足廻り

下地調整

○ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()

5

建具改修工事

① 改修工法
(5.1.3)

○ かぶせ工法
○ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法

・ 撤去工法
・ はつり工法 ・ 引抜き工法

○ 例示仕様
・ 個別認定 (認定番号:)
・ 自動閉鎖機構 ○ 図示 (図面番号: A091)

・ 製作する ○ 製作しない

・ 図示 (図面番号:)

・ 再使用する ・ 再使用しない

外部建具の性能等級等 ・ A 種 ○ B 種 ・ C 種

○ 枠の見込み寸法 ○ 70mm ・ ()
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号:)

アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類
・ 外部に面する建具 (過酷な環境の屋外)
・ BA-1 ・ BA-2 ・ ()
○ 外部に面する建具 (一般的な環境の屋外)
○ BB-1 ・ BB-2 ・ ()
・ 内部に面する建具
・ BC-1 ・ BC-2 ・ ()

7 網戸
(5.2.3) (5)

・ 可動式 ・ 固定式
防虫網の材質
・ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製
網目
・ 16メッシュ ・ 18メッシュ

8 樹脂製建具
(5.3.2)～(5.3.5)
(表5.3.1)～
(表5.3.3)

外部に面する樹脂製建具の性能等級等
・ A 種 ・ B 種 ・ C 種

・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 日射熱取得性 (等級)
ガラス 複層ガラス ・ ()
建具枠見込寸法 ・ 図示 (図面番号:)
水切り ・ 図示 (図面番号:)
ぜん板 ・ 図示 (図面番号:)
丁香 ・ 改修標準仕様書 (表5.7.3) による ・ 図示 (図面番号:)

9 鋼製建具
(5.4.2)

鋼製建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4 ・ S-5 ・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 耐震ドアセット (等級)

(5.4.4)

・ H2400又はW950の建具
鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.4.2による

⑩ 鋼製軽量建具
(5.5.2)
(5.5.5)
(5.2.2) (2)
(5.5.3)
(5.5.4)
(5.6.3) (1)
(5.2.3) (1)

鋼製軽量建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 耐震ドアセット (等級)
・ H2400又はW950の建具
鋼板類の厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ 改修標準仕様書表5.5.1による

表面仕上げ
・ 塗装
・ ビニル被覆鋼板
・ カラー鋼板
・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)
○ (化粧鋼板)

1 1 ステンレス製建具
(5.6.2)
(5.4.2)

ステンレス製建具の性能等級
・ 簡易気密性ドアセット
・ 外部に面する建具の耐風圧
・ S-4 ・ S-5 ・ S-6
・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)
・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)
・ 耐震ドアセット (等級) ・ MDF 改修標準仕様書5.7.2(2) (イ) (a)～(c) ・ ()

材料 ・ SUS304 ・ ()

表面仕上げ ・ HL仕上げ ・ ()

曲げ加工 ・ 普通曲げ ・ 角出し曲げ

1 2 木製建具
(5.7.2)
(5.7.3)

含水率 ・ A 種 ・ B 種
・ フラッシュ戸 表面材 ・ ()
厚み ・ 改修標準仕様書表5.7.6
表面材の品質等 ・ 改修標準仕様書5.7.2(2) (イ) (a)～(c) ・ ()
・ MDF 表裏面の状態による区分 ・ ()
曲げ強さによる区分 ・ ()
接着剤による区分 ・ ()
難燃性による区分 ・ ()
・ 引戸の召合せかまちをいんろう付きとする

・ かまち戸 見込み寸法 ・ 36mm ・ ()
かまち及び鏡板の樹種 ・ ()
・ ふすま 見込み寸法 ・ 19.5mm ・ ()
種別 ・ I 種 ・ II 種
ふすま紙の上張り種類 ・ ()
縁の仕上げ ・ ()
・ 戸ぶすま 見込み寸法 ・ 30mm ・ ()
表面材 ・ ()
厚み ・ 改修標準仕様書表5.7.6
表面材の品質等 ・ 改修標準仕様書5.7.2(2) (イ) (a)～(c) ・ ()
・ MDF 表裏面の状態による区分 ・ ()
曲げ強さによる区分 ・ ()
接着剤による区分 ・ ()
難燃性による区分 ・ ()
・ 引戸の召合せかまちをいんろう付きとする
上張りの種類 ・ ()
・ 紙張り障子 見込み寸法 ・ 30mm ・ ()
枠及びくつずりの材料 ・ ()

⑬ 建具用金物
(5.8.2)

(5.8.4)

金物の見え掛かり部等の材質等
○ 改修標準仕様書 (表5.8.1) による
・ 図示 (図面番号:)

マスターキー ・ 製作する ・ 製作しない
引渡用鍵箱 ・ 必要 ・ 不要

駆動装置及び検出装置の性能値 (・ 車椅子使用者用便房出入口用)
・ 図示 (図面番号:)

引き戸用検出装置の種類
・ 図示 (図面番号:)

凍結防止措置 ・ あり ・ なし

1 5 自閉式上吊り引戸装置
(5.10.3)

自閉式上吊り引戸装置の性能値
・ 改修標準仕様書 (表5.10.1) による ・ ()

① 6 重量シャッター
(5.11.2)

(5.11.2) (3)
(表5.11.1)

(5.11.2) (6)
(5.11.3)

管理用重量シャッターのシャッターケース
・ 設ける ・ 設けない
・ めっき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()

1 7 軽量シャッター
(5.12.2)
(表5.12.1)
(5.12.3)
(5.12.4)

閉鎖形式
・ 上部電動式 (手動併用) ・ 手動式

耐風圧強度 (Pa以上)

スラットの材質及び形状
・ インタロック形 ・ オーバーラッピング形
・ めっき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ ()
JIS G 3322 ・ AZ90 ・ ()

1 8 オーバーヘッドドア
(5.13.2)

型式及び機構
セクション材料
・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ

耐風圧強度 (Pa以上)

閉鎖方式
・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式

収納形式
・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形 ・ パーチカル形

(5.13.3)

① 9 板ガラス
(5.14.2) (1)
(5.14.3)

② 9 ガラス留め材
(5.14.2) (2)

③ 9 ガラス溝の寸法、形状等
(5.14.3)

・ 図示 (図面番号:)
・ 建具の製造所の仕様による

2 2 ガラスブロック積み
(5.14.5)

ガラスブロック
表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:)
金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:)
化粧カバー ・ 図示 (図面番号:)
工法 ・ 図示 (図面番号:)
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施行計画書として提出する。

6 内装改修工事

① 一般事項
(6.1.3) (2)

(6.1.3) (3)

(6.1.3) (5)

② 既存床撤去、下地補修
(6.2.2) (1) (7)

(6.2.2) (1) (4)

(6.2.2) (3)

③ 既存壁撤去、下地補修
(6.3.2)

4 木下地等
(6.5.2) (1) (4)
(表6.5.1)

(6.5.2) (2) (7)

既存間仕切壁の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲

改修部分	改修範囲
○ 天井	○ 図示 (図面番号: A083, A84)
・ 壁	・ 図示 (図面番号:)
○ 床	○ 図示 (図面番号: A038)

天井内の既存壁の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲
・ 図示 (図面番号:) ・ ()

天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修
・ 図示 (図面番号:) ・ ()

既存床仕上げ材の除去等
浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去
・ 行う ○ 行わない

合成樹脂塗り床材の除去等
・ 機械的除去工法 ・ 目荒し工法

改修後の床の清掃範囲
○ 施工範囲及び施工によって汚れが生じた範囲
・ ()

既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法
○ (モルタル塗)

木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比)

部材名称	種 別
下地材	・ A 種 ・ B 種
造作材	・ A 種 ・ B 種

製材
「製材の日本森林規格」による製材

部位	樹種・寸法・形状	等級	含水率	保存処理	材面の品質
下地用針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
造作用針葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()
広葉樹製材	・ 図示 (図面番号:)	・ ()	・ ()	・ ()	・ ()

特記事項

代表設計者
一級建築士
第360917号
前田 祐作

設計担当
一級建築士
第378328号
加藤 早紀

設計担当
一級建築士
第320204号
前野 将輝

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

工事名称
津市立明合小学校長寿命化改修工事

設計日

検図

図面名称
特記仕様書 (改修) No.3

縮尺
A2: NS
A2: NS

図面番号
A011
原図: A2

8の5 耐震改修工事 あと施工アンカー工事

8の6 耐震改修工事 鉄骨工事

8 の 5 耐震 改修 工事 あと施工アンカー工事	(あと施工アンカー)		種類	・ 金属系 セットの方式 ・ 本体打込み式 (・ 改良型 ・ 従来型) 径及び埋込み長さ ・ 図示 (図面番号 :) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号 :) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号 :) 接合筋の種類・径・長さ ・ 図示 (図面番号 :)
	①	あと施工アンカーの材料 (表8.2.4) (表8.2.2)	○ 接着系 アンカーの種類 ○ カブセル型回転・打撃式 ・ () 接着剤の品質 ・ 有機系 ○ 無機系 径及び埋込み長さ ○ 図示 (図面番号 : S012) 引張耐力 ・ 図示 (図面番号 :) せん断耐力 ・ 図示 (図面番号 :) アンカー筋の種類 ・ 図示 (図面番号 :) アンカー筋の新設壁内への定着長さ ・ 図示 (図面番号 :) あと施工アンカーの性能確認試験 ・ 行う ・ 行わない	
	②	あと施工アンカーの施工 (8.12.4) (8.12.6) (8.12.7)	穿孔 埋込み配管等の探索の方法 ○ 鉄筋探知機 (金属探知機) により検査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。 ・ はつり出しによる。 ・ () あと施工アンカーの施工確認試験 ・ 実施する ○ 実施しない 試験方法 ・ 引張試験機による引張試験 ・ () 1 ロットの単位 ・ 1 日に施工されたものの径及び仕様ごと ・ () 試験の箇所数 ・ 1 ロットに対し 3 本 (無作為) ・ () 確認強度 ・ ()	
	(場所打ちコンクリート壁の増設工事)		場所打ちコンクリート壁の打増部に用いる既存部ととのシアコネクタ	
8 の 6 耐震 改修 工事 鉄骨工事	3	シアコネクタ	種類 ・ 金属系あと施工アンカーの異形差筋アンカー ・ 接着系あと施工アンカーの異形差筋アンカー 径 [mm] ・ D 1 0 長さ [mm] ・ 増打壁厚 - 4 0 ・ () 彫込み深さ [mm] ・ 5 d (d : シアコネクタの径) 以上 ・ () 間隔 [mm] ・ 5 0 0 × 5 0 0 シアコネクタとセパレーターの兼用 ・ 兼用してもよい ・ 兼用しない ・ ()	
	1	鉄骨製作工場 (8.1.5)	㈱日本鉄骨評価センター又は㈱全国鉄骨評価機構の「鉄骨製作工事の性能評価基準」に定めるグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ・ J ・ R ・ M ・ H ・ S	
	2	鉄骨製作工場における施工管理技術者 (8.1.6)	施工管理技術者 (鉄骨製作管理技術者、鉄骨工事管理責任者等) の配置 ・ しない ・ する	
	3	鋼材 (8.2.8)	種類・形状及び寸法 ・ 図示 (図面番号 :)	
8 の 6 耐震 改修 工事 鉄骨工事	4	高力ボルト (8.2.9) (8.14.2) (8.14.7)	高力ボルトの適用 ・ トルシア形高力ボルト 2 種 (S10T) ・ JIS 形高力ボルト 2 種 (F10T) ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト 1 種 (F8T 相当) ねじの呼び ・ 図示 (図面番号 :) すべり試験 ・ 行う (試験方法等 図示 : 図面番号) JIS 形・ナット回転法かつボルト長がねじの 5 倍を超える場合の回転量 ・ ()	
	5	溶接材料 (8.2.10)	・ 改修標準仕様書 (8.2.10) (1) (2) 以外の溶接材料 材料及び使用箇所 ・ 図示 (図面番号 :)	
	6	仮組 (8.13.10)	仮組の実施 ・ 実施する () ・ 実施しない	
	7	溶接作業を行う技能資格者 (8.15.3)	溶接作業における技能資格者の技量付加試験 ・ 実施する () ・ 実施しない	
8 の 6 耐震 改修 工事 鉄骨工事	8	溶接の準備 (8.15.4)	開先の形状 ・ 図示 (図面番号 :)	
	9	溶接施工 (8.15.7)	鋼製エンドタブの切断 ・ 適用箇所 図示 (図面番号 :) 切断面の仕上げ ・ () 鋼製エンドタブに代わるその他の工法 鋼製エンドタブに代わるその他の工法については、代替エンドタブ (セラミックタブ又はフラックスタブ) を用いたものとし、工法の採用にあたっては、以下の項目の両方とも満足することを条件とし、監督員の承諾を受けること。 1. 相当数の代替エンドタブによる溶接を行ったことがある工場での製作であること。 2. 製作工場が J、R、M グレードの場合は、溶接技能者が N P O 法人日本エンドタブ協会による固形タブに係るエンドタブ施工講習修了者 (溶接技能者・A 級以上) 又は A W 検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。また、製作工場が H、S グレードの場合は、溶接技能者が A W 検定協議会による代替エンドタブ技量認定資格者とする。	
	10	溶接部の試験 (8.15.12)	板厚が異なる場合の突合せ継手溶接部 ・ 低応力高サイクル疲労を受ける部位 図示 (図面番号 :) スクラップの形状 ・ 図示 (図面番号 :)	
			溶接部の外観試験 ・ 試験方法 () ・ 確認方法 () 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 工場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書 (令和4年版) (7.6.12) (イ) による。 平均出検品質限界 (AOQL) ・ 4.0% ・ 2.5% ・ () 検査水準 ・ 第 6 水準 ・ () ロットの構成 ()	
工事現場溶接の場合 ・ 全数試験とする ・ 公共建築工事標準仕様書 (令和4年版) (7.6.12) (イ) による。 平均出検品質限界 (AOQL) ・ 4.0% ・ ()				

1

鉄骨の錆止め塗装
(8.17.2)
(8.17.4)

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面（鉄骨に溶接されたものに限る）
・改修標準仕様書(7.3.2)(表7.3.1)（ ）種
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲 ・図示（図面番号： ）
・改修標準仕様書(7.3.2)(表7.3.1)（ ）種
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲 ・図示（図面番号： ）

1

耐火被覆材の種類及び性能
(8.18.2)
(8.18.3)

部位	種類	材料・工法	耐火性能

1

ブレース設置工事後の仕上げ
(8.22.9)

・図示（図面番号： ）

1

スタッド
(8.2.11)

スタッドの種類 ・（ ）

8
の
7

耐震改修工事
グラウト工事

(グラウト工事)

1モルタル及びグラウト材
(8.2.6)
(8.2.12)
(表8.2.5)
(表8.2.10)

構造体用モルタル
・改修標準仕様書(8.2.6)及び(8.2.12)による。
無収縮モルタル
・改修標準仕様書(8.2.12)(1)による
・（ ）
グラウト材
・改修標準仕様書(8.2.12)(2)による。
増設の現場打ち鉄筋コンクリート壁と既存構造体との隙間の処置方法

部位	処理方法	備考
・増設壁の上部	・グラウト材を注入 ・（ ）	・寸法は図示による
・（ ）	・（ ）	・（ ）

2

既存構造体との取合部の処理方法
(8.21.9)
(8.22.7)

8
の
8

耐震改修工事
柱補強工事

(連続繊維補強工事)

1連続繊維シート等による工法
(8.24.1)

連続繊維による補強、補修工法
・（財）日本建築防災協会の評価を受けた工法とする。
・（ ）

2

連続繊維シート及び含浸接着樹脂等の材料
(8.2.13)

連続繊維の材料
・（ ）
工法
・（ ）
引張強度（含浸硬化後）
・（ ）
ヤング係数（含浸硬化後）
・（ ）
仕上げモルタルの除去
・既存構造躯体面まで除去する
・モルタル除去は行わない
・（ ）
既存モルタルの圧縮強度測定
・行う（ ）
・行わない
ひび割れ部の改修工法
・樹脂注入工法
・Uカットシール材充填工法
・シール工法

4

鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法
(8.23.6)

柱頭柱脚の隙間寸法
・図示（図面番号： ）

5

耐震補強後の仕上げ
(8.23.7)
(8.24.7)

・図示（図面番号： ）

6

炭素繊維シートの施工

炭素繊維の目付量
・図示（図面番号： ）
・200g/m²
・300g/m²
・（ ）
炭素繊維シートの巻き数
・図示（図面番号： ）
・1巻き
・2巻き
・（ ）

7

連続繊維補強材の強度試験
(8.24.6)

引張強度試験
・実施する（JIS A1191に準拠する） ・実施しない
試験数量（ ）
付着強度試験
・実施する（JIS A6909に準拠する） ・実施しない
試験数量（ ）

8の9 耐震補強工事 スリット新設工事 免震改修工事 制振改修工事

8
の
9

耐震補強工事

スリット新設工事

免震改修工事

制振改修工事

(耐震スリット新設工事)
1 スリットの種類
 (8.25.1)
 (8.25.2)

耐震スリットの種類及び形状
完全スリットの形状

記号	一般型	一面せん断型	
形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	
幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	
既存鉄筋の処理	・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 切断してよい ・ ()	

部分スリットの形状

記号	片側スリット	両面スリット	
形状	・ 図示 (図面番号:)	・ 図示 (図面番号:)	
幅W (mm)	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()	
目地部の残存厚さ	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	・ 壁厚の1/2以下かつ70mm以下	
ts (mm)	・ ()	・ ()	
既存鉄筋の処理	・ 存置する ・ 既存鉄筋はつり出し ・ 切断してよい ・ ()	・ 存置する ・ 切断してよい	

2 スリットの施工

スリット部の配管等の調査

範囲 ・ スリット新設部に伴う鉄筋コンクリートの撤去範囲全て。
 ・ 図示 (図面番号:)
 ・ ()

方法 ・ 鉄筋探査機 (金属探知器) により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。

スリットの逃げ位置

壁上端部 ・ 梁との接合部 ・ ()

壁の柱きわ部 ・ 柱の仕上げを逃けたきわ部 ・ ()

壁下端部 ・ 床仕上げ上部 ・ 床体上部 ・ ()

撤去部の補修

・ 図示 (図面番号:)

充填材

・ 耐火材 使用箇所 () 仕様 ()

・ 遮音材 使用箇所 () 仕様 ()

3 免震・制振改修
 (8.26.1)～
 (8.27.9)

免震改修、制振改修に関する仕様は、図示する。

8
の
10

その他工事

① 土工事
 (8.28.2)
 (8.28.3)

既存杭の撤去

・ 図示 (図面番号:)

埋戻し及び盛土の材料及び工法

・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種

建設発生土の処理

・ 処分地指定 処分地 ()

②・処分地未定につき相互協議する。

暫定運搬距離 ・ 8km ・ 4km ・ ()

山留めの撤去

・ 撤去 (鋼矢板等の抜き跡の処理 ・ 直ちに砂で充填する ・ ())

・ 存置

2 地業工事
 (8.28.4)

杭の施工監理

杭工事特記仕様書による。

適用基準

本特記事項に個別に記載の適用基準に加え、以下の基準を適用する。

国土交通省告示第468号 「基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置」 (平成28年3月4日)

施工記録

受注者は、杭の施工期間中は、1 週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に、工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。

なお、取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法については、施工計画書に明記しておくこと。

根拠資料

共通仕様書、特記仕様書及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料 (施工記録の原本、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等) は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。

保管期間は契約書第31条第4項又は第5項 (第38条においてこれらの規定を準用する場合を含む。) の規定による引渡しを受けた日から10年とする。

また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。

試験杭及び試験掘

・ 試験杭 位置、本数及び寸法は図示 (図面番号:) による。

・ 試験掘 位置、本数及び寸法は図示 (図面番号:) による。

杭の支持層

支持層の位置、土質、杭の根入れ長さ ・ 図示 (図面番号:) ・ ()

水平方向の位置ずれの精度

・ () mm以下

杭の載荷試験

試験方法 ・ 鉛直載荷 ・ 水平載荷 ・ ()

試験の方法及び報告書の記載は、敷地調査共通仕様書による。

位置 ・ 図示 (図面番号:) 載荷荷重 (kN)

報告書 ・ 提出部数 2部

特 記 事 項				 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認 	作図	工事名称	設計日
					一級建築士	一級建築士	一級建築士		津市立明合小学校長寿命化改修工事				
					第360917号	第378328号	第320204号		図面名称		縮 尺	図面番号	
					前田 祐作	加藤 早妃	前野 将輝		特記仕様書（改修）No.6		A2: NS A2: NS	A014 原図: A2	

9

環境配慮改修工事

①

石綿含有建材の除去工事
(9.1.1)

○

石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点
○	測定2		・ 調査対象室外部の付近	計 点
	測定3	処理作業中	○ 処理作業室外 (敷地境界)	計 4 点
・	測定4		処理作業室内	計 点
			負圧・除じん装置の排出出し口	出口吹出し風速1m/s以下の位置
○	測定5		処理作業室外 (敷地境界)	計 4 点
○	測定6	処理作業後 (シート養生中)	・ 処理作業室内 ○ 処理作業室外 (敷地境界)	計 点
・	測定7	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	計 点
・	測定8		調査対象室外部の付近	計 点

測定方法

	測定 3	測定 1, 4, 7, 8	測定 2, 5, 6
メンブレンフィルタ直径 (mm)	25	・ 25 ・ (45)	○ ・ 17 ・ (45)
試料の吸引流量 (L/min)	・ 1 ・ ()	・ 5 ・ (10)	○ ・ 10 ・ ()
試料の吸引時間 (min)	・ 5 ・ ()	・ 120 ・ (240)	○ ・ 240 ・ ()

(9.1.3)

・ 石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲 ・ 図示 (図面番号:)
除去工法 ・ 改修標準仕様書9.1.3(2)(7)による ・ ()
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止
・ 湿潤化 ・ 固化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融又は無害化による)

(9.1.4)

・ 石綿含有保温材等の除去
除去対象範囲 ・ 図示 (図面番号:)
除去方法 ・ 改修標準仕様書9.1.4(1)による ・ ()
除去した石綿含有保温材等の処分
・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融又は無害化による)

(9.1.5)

・ 石綿含有成形板の除去
除去対象範囲 ・ 図示 (図面番号:)
石綿含有せっこうボードの処分
・ 埋立処分 (管理型最終処分場)
石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板の処分
・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融又は無害化による)

(9.1.6)

○ 石綿含有仕上塗材の除去
除去対象範囲 ○ 図示 (図面番号: A030, A032)
除去した石綿含有仕上塗材等の処分
・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融又は無害化による)

※大気汚染防止法および石綿障害予防規則に加え、「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル (令和3年3月)」に基づき適切に処理すること。

○ 除去等作業の結果報告
除去等作業が終了したときは環境省令で定めるところにより、その結果を遅滞なく発注者に書面で報告すること。

2

断熱アスファルト防水改修工事
(9.2.1)~(9.2.3)

3

外断熱改修工事
(9.3.2)

4

断熱・防露改修工事
(9.5.2)

5

屋上緑化改修工事
(9.6.1)(9.6.2)(9.6.3)

改修特記仕様書3章による

断熱材

種類	厚さ [mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ロックウール断熱材	
・ グラスウール断熱材	
・ ()	

施工箇所 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()

外装材

種類	防火性能	備考
・		

(9.3.3) 既存外壁の措置
既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし
下地面の清掃 ・ 行う ・ 行わない
欠損部の改修工法 ・ 充填工法 ・ モルタル塗替え工法 ・ ()

(9.3.4) 工法
通気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし
断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・ ()
外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・ ()
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法)
・ 適用しない

不陸等の下地調整 ・ 行う

・ 断熱材打込み工法

種類	厚さ [mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキンなし)	
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	
・ フェノールフォーム断熱材	
・ ()	

施工箇所 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()

(9.5.3) ・ 断熱材現場発泡工法
断熱材の種類 ・ A種1 ・ A種1H ・ ()
厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・ ()
施工箇所 ・ 図示 (図面番号:)

・ 現場発泡断熱材
(品質・性能)
工事建築材料等品質性能表による
(試験方法)
工事建築材料等品質性能表による

(9.5.4) ・ 断熱材後張り工法

種類	せっこうボード等の張り付け	厚さ [mm]
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材	・ 有	・ 無
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・ 有	・ 無
・ フェノールフォーム断熱材	・ 有	・ 無
・ ()	・ 有	・ 無

施工箇所 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()

植栽基盤及び材料
屋上緑化軽量システム

(9.6.1) ・ 適用する ・ 適用しない

(9.6.2) 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ・ 図示 (図面番号:) ・ ()

(9.6.3) 工法
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
・ 適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法)
・ 適用しない

かん水装置 ・ 設置する (種類 ・)
既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない

6

透水性アスファルト舗装改修工事
(9.5.2)~(9.5.7)(9.5.9)

既設舗装の撤去及び再利用

・ 図示 (図面番号:) ・ ()

路床

種別	材料	厚さ [mm]
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示 (図面番号:) ・ ()
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラン ・ クラッシュラン ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂 (7μmふるい通過量10%以下) ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()
・ フィルター層	・ 砂 ・ ()	・ 図示 (図面番号:) ・ ()

路床安定処理
・ 添加材料による安定処理
種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種
・ 生石灰 (・特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・特号 ・ 1号)
添加量 (kg/m2) (目標CBR ・ 5以上 ・)

・ ジオテキスタイル
単位面積質量 ・ 60g/m2以上 ・ ()
厚さ [mm] ・ 0.5~1.0 ・ ()
引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・ ()
透水係数 ・ 1.5×10⁻⁷ ~1cm/sec 以上 ・ ()

試験
路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない
路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない
現場CBR試験 ・ 行う ・ 行わない

路盤
路盤の構成及び厚さ ・ 図示 (図面番号:) ・ ()
路盤材料 ・ 再生材のクラッシュラン
・ クラッシュラン鉄鋼スラグ
・ 図示 (図面番号:)
・ ()

試験
路盤締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない

舗装

材料	厚さ [mm]
・ ストレートアスファルト	・ 図示 (図面番号:) ・ ()

試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない
舗装の平たん性 ・ 著しい不陸がないもの ・ ()

特記事項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

株 会社

前野建築設計

管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者
一級建築士
第360917号
前田 祐作

設計担当
一級建築士
第378328号
加藤 早妃

設計担当
一級建築士
第320204号
前野 将輝

設計担当

設計担当

法適合確認

作図

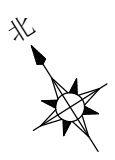
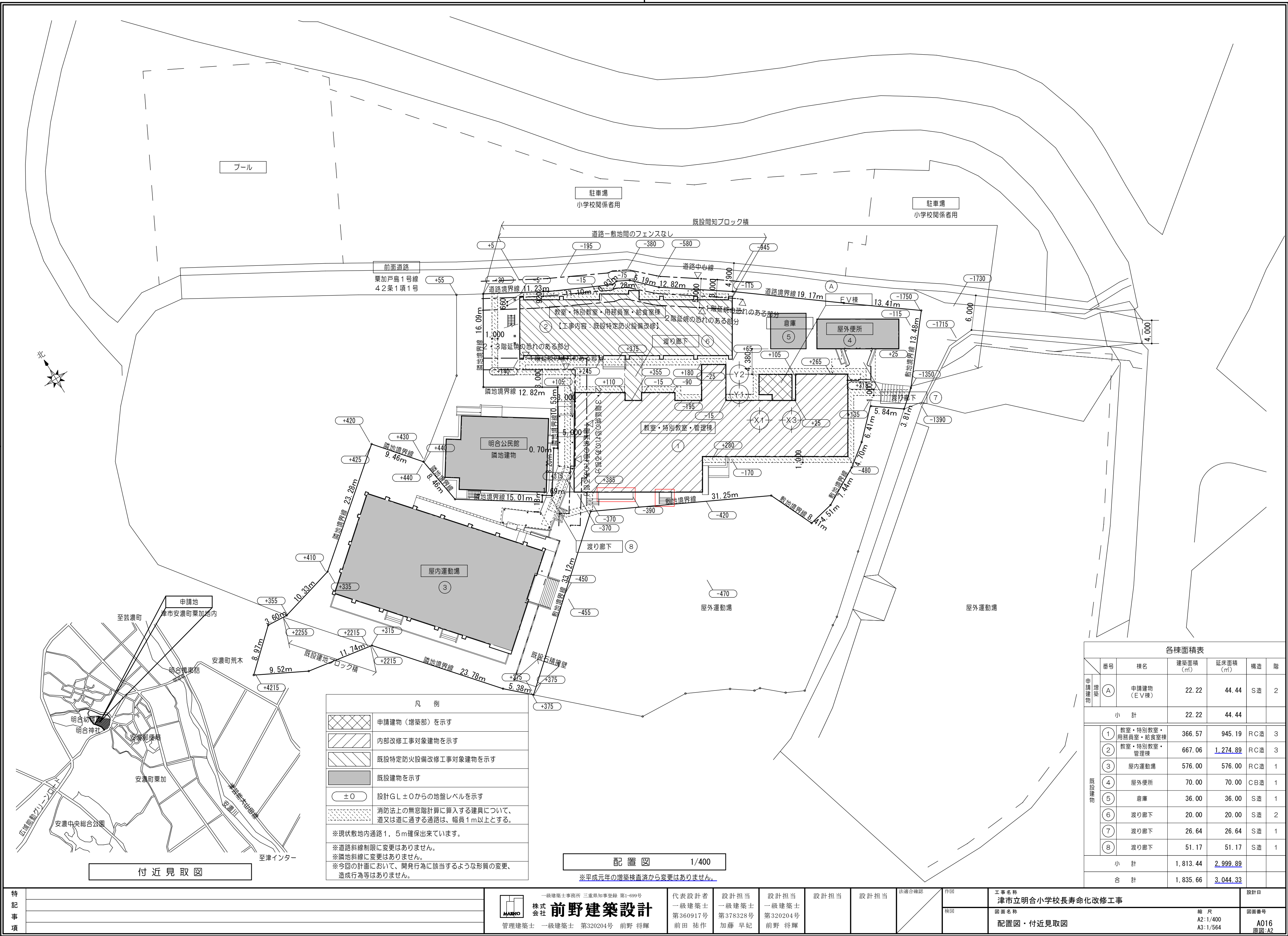
工事名称
津市立明合小学校長寿命化改修工事

図面名称
特記仕様書 (改修) No.7

縮尺
A2: NS
A2: NS

設計日

図面番号
A015
原図: A2



付 近 見 取 図

凡 例	
	申請建物（増築部）を示す
	内部改修工事対象建物を示す
	既設特定防火設備改修工事対象建物を示す
	既設建物を示す
± 0	設計G.L.±0からの地盤レベルを示す
	消防法上の無窓階計算に算入する建具について、 道又は道に通ずる通路は、幅員1m以上とする。
※現状敷地内通路1.5m確保出来ています。	
※道路斜線制限に変更はありません。	
※隣地斜線に変更はありません。	
※今回の計画において、開発行為に該当するような形質の変更、 造成行為等はありません。	

配 置 図 1/400

※平成元年の増築検査済から変更はありません。

各棟面積表						
	番号	棟名	建築面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	構造	階
申請建物	(A)	申請建物 (EV棟)	22.22	44.44	S造	2
	小 計		22.22	44.44		
既設建物	(1)	教室・特別教室・ 用務員室・給食室棟	366.57	945.19	RC造	3
	(2)	教室・特別教室・ 管理棟	667.06	1,274.89	RC造	3
	(3)	屋内運動場	576.00	576.00	RC造	1
	(4)	屋外便所	70.00	70.00	CB造	1
	(5)	倉庫	36.00	36.00	S造	1
	(6)	渡り廊下	20.00	20.00	S造	2
	(7)	渡り廊下	26.64	26.64	S造	1
	(8)	渡り廊下	51.17	51.17	S造	1
小 計			1,813.44	2,999.89		
合 計			1,835.66	3,044.33		

設 計 概 要						外 部 仕 上 表 （ 増 築 部 ）						主 要 構 造 部 関 係 ・ ・ ・ 耐 火 建 築 物 （ 増 築 部 ）													
工 事 名 称		津市立明合小学校改修工事				部 位		仕 上				部 位		仕 上				部 位		使用材料		認 定			
工 事 場 所		津市 安濃町粟加 地内				陸屋根		ウレタン塗膜防水 通気緩衝工法（X-1）遮熱仕様（フッ素） 合成スラブ用デッキプレートA1. 2 ワイヤーメッシュ 6φ-150×150 コンクリート金コテ押工 ア80+50 アルミ珪木 W350（コーナー用共） オーバーフロー管（塩ビ製φ40）2か所				外 壁		複層塗材E吹付（フッ素） ALCア100				屋 根		合成スラブ用デッキプレートA1. 2 デッキ高50 コンクリートア80 溶接金網：6φ-150×150		FP060FL-0100			
用 途 地 域		都市計画区域（区域区分非設定）										EXP. J		SUS製 1時間耐火仕様											
防 火 指 定		指定なし										根廻り		コンクリート打放シ補修 誘発目地@3, 000内外				外 壁	非耐力壁	延焼内		ALCア100		平12建告1399号第1ト	
そ の 他		法22条区域										建具		アルミサッシ						延焼外		ALCア100		平12建告1399号第1ト	
道 路 幅 員		4. 90m				樋		铸铁製横引ドレン φ100用 タテ樋 ：硬質塩化ビニル管（カラー）φ100 掃除口 ：硬質塩化ビニル管（カラー） 掘み金物：SUS製@1200										床		合成スラブ用デッキプレートA1. 2 デッキ高50 コンクリートア80 溶接金網：6φ-150×150		FP060FL-0100			
敷 地 面 積		3. 692. 49 ㎡																							
建 築 面 積		EV増築部分	既設部分	渡り廊下⑥	渡り廊下⑥	合 計									柱				鉄骨柱 ロックウール吹付 ア25		FP060CN-9460				
		22.22㎡	1.033.63㎡	51.17㎡	20.00㎡	1.127.02㎡									梁				鉄骨梁 ロックウール吹付 ア25		FP060BM-9408				
延 床 面 積		EV増築部分	既設部分	渡り廊下⑥	渡り廊下⑥	合 計																			
		44.44㎡	2.220.08㎡	51.17㎡	20.00㎡	2.335.69㎡																			

＜ 増 築 部 ＞ 内 部 仕 上 表 No. 1

階	内装制限	室 名	床			巾木			壁			天井			廻縁	CH	室名札	備 考			
			記号	下地	仕上	記号	仕上	H	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上							
（EV増築部）	各階	（準）EVホール	F1	モルタル金コテ押工	ビニル床シートA2.0張	FW1	ビニル巾木	100	W1	LGS下地	PBA12.5 EP塗	C1	LGS下地	化粧PBA9.5張	塩ビ	1階： 2,700 2階： 3,100	○ ピクト サイン	ステンレス流シ台			
									W2		下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地										
									W3		モルタル金コテ押工 EP塗										
									W8		耐火中空二重壁② EP塗										
		EVシャフト	F2	コンクリート金コテ押工	ケイ酸質系塗布防水塗 (C-U1)	FW2	ケイ酸質系塗布防水塗 (C-U1)		W5		ALCA100表シ		――	デッキ表シ 硬質ウレタンフォームA25吹付 (ノンフロン)							
											耐火中空二重壁② 表シ										
＜特記事項＞					【シックハウス対応策】				【仕上記号略号】				【防火認定番号】				【内装制限凡例】				
・壁ボード張部分は、ジョイントレス大壁工法とする。 （寒冷紗・ジョイントテープ張処理）					・使用建材：F☆☆☆☆（天井、壁、建具仕上材、接着剤、下地共）				記号	JIS番号	名称	PB（石膏ボード）A12.5	：NM-8619	＜不燃＞	Ⓢ 仕上、下地共不燃材						
・ボード類 壁コーナー処理は、特記なき限りコーナー保護金物の上、 ジョイントコンパウンド塗とする。					・内部塗料は、F☆☆☆☆品 家具等F☆☆☆☆品				EP	K5663	合成樹脂エマルジョンペイント	塗料一般（EP）	：NM-8585	＜不燃＞	Ⓢ 仕上不燃材						
・土間コンクリート下は、ポリエチレンフィルムA0.15敷 （タテ、ヨコ重ね部分L≧200以上とする）。					・クロルピリホス使用なし				DP	K5658	耐候性塗料塗	化粧PBA9.5	：QM-0524	＜準不燃＞	Ⓢ 仕上、下地共準不燃材以上						
・参考メーカー品番及び認定番号は同等品以上とする。															Ⓢ 仕上準不燃材以上						
・使用建築材料：特記なき限りJIS・JAS認定品を使用すること。									【記号略号】								Ⓢ 仕上難燃材以上				
・EV棟に石綿・ホルムアルデヒドの使用はないものとする。									記号	名称		【認定番号】									
・外壁面はすべて硬質ウレタンフォーム（ノンフロン）吹付A25とすること。									PB	石膏ボード		耐火中空二重壁① LGS下地 強化PBA12.5+強化PBA12.5（両面） GW A50 24kg品				耐火構造 FP060NP-0175					
									LGS	軽量鉄骨下地											
												耐火中空二重壁② LGS下地 強化PBA21+強化PBA21（片面）				耐火構造 FP060NP-0189					

特 記 事 項				MAINO 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号			代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校校長寿命化改修工事		設計日
					一級建築士 第360917号 前田 祐作	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第320204号 前野 将輝			検図	図面名称 縮 尺 A2: NS A3: NS			図面番号 A017 原図: A2			
					外部・内部仕上表（増築部）												

＜ 既 設 部 ＞ 外 部 仕 上 表										主要構造部関係・・・耐火建築物（既設部分）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
部 位			仕 上			部 位			仕 上			部 位			仕 上			部 位		使用材料		認 定																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
屋 上 （西・東）	改修前	平場：シート防水A1. 5 シルバー仕上 撤去 立上：シート防水A1. 5 シルバー仕上 撤去 モルタル塗 既設のまま 防水押工金物 撤去	1 階屋根 （北側増築部）	改修前	カラー鉄板A0. 4 横葺 既設のまま アスファルトルーフィング 既設のまま センチュリーボードA18下地 既設のまま 雨押工：カラー鉄板A0. 4 既設のまま	軒裏 庇裏	改修後	吹付タイル（アスベスト含有）	屋 根	鉄筋コンクリート造	耐火構造 平12建告1399号 第5第1号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		改修後			下地調整RB種の上DP塗			ALCア100			耐火構造 平12建告1399号 第5第6号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
3階屋根 階段室屋根	改修前	平場：ウレタン塗膜防水 通気緩衝工法（X－1）遮熱仕様（フッ素） 水洗 下地調整共 立上：ウレタン塗膜防水 密着工法（X－2） 遮熱仕様（フッ素） 撤去跡ケレン清掃 下地調整	階段室屋根 （北側増築部）	改修前	平場：ALCア100 シート防水A1. 5 シルバー仕上 撤去 立上：シート防水A1. 5 撤去 ラスモルタル金コテ 既設のまま 笠木：アルミ笠木 W160 取外シ	外壁	改修前	吹付タイル 撤去（アスベスト含有） CB横 既設のまま 吹付タイル 撤去（アスベスト含有） ALCア100 既設のまま 吹付タイル ALCア100 既設のまま	外 壁	耐 力 壁	鉄筋コンクリート造A100以上	耐火構造 平12建告1399号 第1第7号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
		改修後			平場：ウレタン塗膜防水 通気緩衝工法（X－1）遮熱仕様（フッ素） 水洗 下地調整共 立上：ウレタン塗膜防水 密着工法（X－2） 遮熱仕様（フッ素） 撤去跡ケレン清掃 下地調整			改修後			下地調整塗材（C－1） 複層塗材E吹付（フッ素） 剥離剤併用手工具ケレン工法 下地調整塗材（C－1） 複層塗材E吹付（フッ素） 高圧水洗工法 モルタル金コテ押工 複層塗材E吹付（フッ素） 剥離剤併用手工具ケレン工法	非耐力壁	鉄筋コンクリート造A100	耐火構造 平12建告1399号 第1第5号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
屋 上 （昇降口）	改修前	平場：アスファルト系塗膜防水 撤去 立上：アスファルト系塗膜防水 撤去 モルタル塗 既設のまま 防水押工金物 撤去	庇天端	改修前	モルタル塗	根廻り	改修前	モルタル金コテ押工 既設のまま	床	鉄筋コンクリート造A70以上	耐火構造 平12建告1399号 第1第2号イ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		改修後			ウレタン塗膜防水 密着工法（X－2） 遮熱仕様（フッ素） 水洗い			改修後			水洗い	ALCア100	耐火構造 平12建告1399号 第1第3号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
1 階屋根 （職員室）	改修前	平場：ウレタン塗膜防水 通気緩衝工法（X－1）遮熱仕様（フッ素） 水洗 下地調整共 立上：ウレタン塗膜防水 密着工法（X－2） 遮熱仕様（フッ素） 撤去跡ケレン清掃 下地調整	樋	改修前	ルーフドレン：ステンレス製 φ100（タテ型）ドレン上皿 撤去 ルーフドレン：ステンレス製 φ100（ヨコ型）ドレン上皿 撤去 タテ樋：硬質塩化ビニル製φ100 DP塗（掘ミ金物φ1000）撤去 飾り枒：硬質塩化ビニル製 撤去 軒 樋：硬質塩化ビニル製 W120 撤去 タテ樋：硬質塩化ビニル製φ100 撤去	開口部	改修前	アルミ建具 一部撤去	柱	鉄骨柱＋ ラスモルタルA40（梁下まで）	耐火構造 平12建告1399号 第2第3号口																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		改修後			平場：ALCア100 シート防水A1. 5 シルバー仕上 撤去 立上：シート防水A1. 5 撤去 ラスモルタル金コテ 既設のまま 笠木：アルミ笠木 W160 取外シ EXP. J（屋根－外壁）取外シ			改修後			既設アルミサッシ：飛散防止フィルム張 （網入りガラス・強化ガラスを除く）	鉄筋コンクリート造	耐火構造 平12建告1399号 第4第3号口																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	改修後	平場：ウレタン塗膜防水 通気緩衝工法（X－1）遮熱仕様（フッ素） 水洗 下地調整共 立上：ウレタン塗膜防水 密着工法（X－2） 遮熱仕様（フッ素） 撤去跡ケレン清掃 下地調整 笠木：アルミ笠木 W160 再取付 EXP. J（屋根－外壁）再取付	改修後	改修後	改修用二重ドレン：鋳鉄製 φ100（タテ型） 改修用二重ドレン：鋳鉄製 φ100（ヨコ型） タテ樋：硬質塩化ビニル管（カラー）φ100 飾り枒：硬質塩化ビニル製（カラー）φ100用 軒 樋：硬質塩化ビニル製 W120 タテ樋：硬質塩化ビニル製 φ100	タラップ 手すり	改修前	塗装仕上	階 段	鉄骨梁＋ ロックウールA30吹付	耐火構造 平12建告1399号 第6第1号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
		改修後			下地調整RB種の上 DP塗			改修後			100角タイル張 既設のまま	鉄骨造	耐火構造 平12建告1399号 第6第4号																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
					改修用二重ドレン：鋳鉄製 φ100（ヨコ型） タテ樋：硬質塩化ビニル管（カラー）φ100 掃除口：硬質塩化ビニル製（カラー）φ100用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													

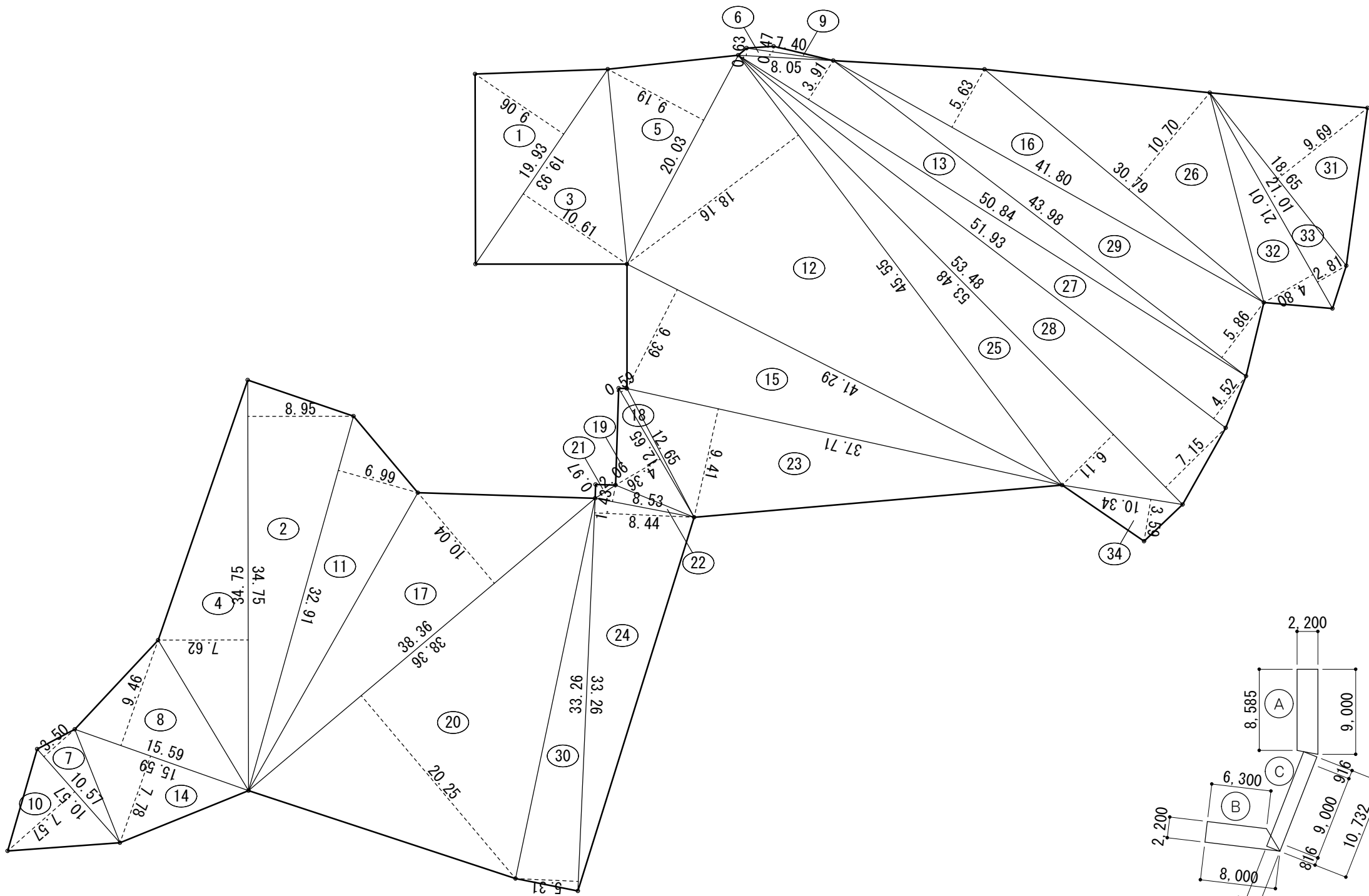
＜ 既 設 部 ＞ 内 部 仕 上 表 No. 2																	
階	上段：既設室名	床			巾木			壁			天井			廻縁	CH	室名札	備 考
	下段：改修後室名	記号	下地	仕上	記号	仕上	H	記号	既設のまま 下地	既設のまま 仕上	記号	下地	仕上				
1階	印刷室		モルタル金コテ下地 既設のまま	PタイルA3、0張 既設のまま		ソフト巾木 既設のまま	100		モルタル金コテ下地 既設のまま LGS下地	AEP塗 既設のまま ラスモルタル下地 AEP塗		LGS下地 既設のまま	化粧PBA9張 既設のまま	塩ビ 既設	2,400	○	
	物置		モルタル金コテ下地 既設のまま	フローリング張 塗装品 既設のまま タタミ敷 既設のまま		木製巾木 OP塗 既設のまま	100		モルタル金コテ下地 既設のまま LGS下地 既設のまま	AEP塗 既設のまま ケイカル板A6 目透シ張 VP塗 既設のまま PBA12、5 既設のまま		LGS下地 既設のまま	化粧PBA9張 既設のまま	塩ビ 既設		○	
	図工準備室		モルタル金コテ下地 既設のまま	PタイルA3、0張 既設のまま		ソフト巾木 既設のまま	100			ALC 吹付タイル 既設のまま			段裏表シ OP塗 既設のまま				
	職員男子便所		下地調整材塗（カチオン系） 既設のまま	エポキシ樹脂系塗床塗 既設のまま		ビニル巾木 既設のまま	60		モルタル金コテ下地 既設のまま モルタル下地 既設のまま	AEP塗 既設のまま 半磁器質100角タイル張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	化粧PBA9、5張	塩ビ 既設	2,350	○	
	職員女子便所		下地調整材塗（カチオン系） 既設のまま	エポキシ樹脂系塗床塗 既設のまま		ビニル巾木 既設のまま	60		モルタル金コテ下地 既設のまま モルタル下地 既設のまま	AEP塗 既設のまま 半磁器質100角タイル張 既設のまま		LGS下地 既設のまま	化粧PBA9、5張	塩ビ 既設	2,350	○	
	女子更衣室			ビニル床シートA2、5張 既設のまま		ビニル巾木 既設のまま	60		モルタル金コテ下地 既設のまま 木組下地 既設のまま	AEP塗 既設のまま PBA12、5 目透シ張 NAD塗 既設のまま		LGS下地 既設のまま	化粧PBA9、5張 既設のまま	塩ビ 既設	2,350	○	
2階	パソコン室		モルタル金コテ下地 既設のまま	フローリング張 塗装品 既設のまま		木製巾木 OP塗 一部撤去	100		モルタル金コテ下地 既設のまま 木組下地 撤去	AEP塗 既設のまま ラスモルタル下地 AEP塗 撤去		木組下地 既設のまま	化粧PBA9張 一部撤去	塩ビ 一部 撤去	3,120	○	CB 一部撤去
	準備室		モルタル金コテ下地 一部撤去			木製巾木 OP塗 撤去	100		木組下地 既設のまま モルタル金コテ下地 既設のまま 木組下地 撤去	AEP塗 既設のまま ラスモルタル下地 AEP塗 撤去		木組下地 撤去	ケイカル板A6 AEP塗 撤去	塩ビ 撤去	3,120	○	
	パソコン室 準備室			FW1	ビニル巾木	100	W2		下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地	C2					3,120	○	CB 下地調整RB種の上 EP-G塗
				FW3	下地調整RB種の上 EP-G塗	100	W6		耐火中空二重壁① EP塗								
							W7		下地調整RB種の上 CL塗 既設ラワン合板	C3	既設下地	化粧PBA9、5 EP塗	塩ビ				
	多目的WC	F4		ビニル床シートA2、0張	FW4	床同材巻上	200	W1	LGS下地	PBA12、5 EP塗							
							W2		下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地								
							W3		モルタル金コテ押エ EP塗								
	階段ホール		モルタル金コテ下地 既設のまま	PタイルA2、3張 既設のまま		ソフト巾木 既設のまま	100		モルタル金コテ下地 既設のまま 木組下地 既設のまま	AEP塗 既設のまま PBA12 AEP塗 既設のまま		LGS下地 既設のまま	化粧PBA9張 既設のまま	塩ビ 一部 撤去	2,400		
								W2		下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地	C2		既設のまま		2,400		
1・2階			モルタル金コテ下地 一部撤去 コンクリート下地 一部撤去	PタイルA3、0張 一部撤去		テラソ巾木 一部撤去	100		木組下地 既設のまま コンクリート下地 一部撤去	ラスモルタル下地 AEP塗 既設のまま モルタル金コテ下地 AEP塗 一部撤去		LGS下地 既設のまま	化粧PBA9張 一部撤去	塩ビ 既設	1階： 2,945 2,960 2階： 3,100		
						ソフト巾木 既設のまま	100		LGS下地 既設のまま LGS下地 既設のまま	ケイカル板A6 目透シ張 VP塗 既設のまま PBA12、5 既設のまま PBA12、5 目透シ張 NAD塗 既設のまま		木組下地 既設のまま	ケイカル板A6 AEP塗 一部撤去				
						木製巾木 既設のまま	100		LGS下地 既設のまま	コンクリート下地 一部撤去（EV増築部分）	モルタル金コテ下地 AEP塗 一部撤去（EV増築部分）						
	廊下	F5	モルタル金コテ押工	ビニル床タイルA3、0張	FW1	ビニル巾木	100	W1	LGS下地	PBA12、5 EP塗	C1	LGS下地	化粧PBA9、5張	塩ビ	1階： 2,945 2,960 2階： 3,100		掲示板クロス張替
								W2		下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地	C2						
		F6		ビニル床タイルA3、0張 下地調整RB種の上	FW3	下地調整RB種の上 EP-G塗	100	W3		モルタル金コテ押エ EP塗	C3	既設下地	化粧PBA9、5張				
								W6		耐火中空二重壁① EP塗	C4		下地調整RC種の上 EP塗 既設ケイカル板				
					FW5	ビニル巾木 モルタル金コテ押工	100	W9		下地調整RB種の上 EP塗 既設PB下地	C8	既設下地	ケイカル板A6 EP塗				
								W10		下地調整RB種の上 EP塗 既設ケイカル板							
	3階	特別活動室		木組下地 既設のまま	フローリング張 塗装品 既設のまま		木製巾木 OP塗 既設のまま	100		モルタル下地 既設のまま 木組下地 既設のまま	AEP塗 既設のまま ラスモルタル下地 AEP塗 既設のまま			化粧PBA9張 既設のまま	塩ビ 既設	3,100	
廊下			モルタル金コテ下地 既設のまま	PタイルA3、0張 既設のまま		ソフト巾木 撤去	100		木組下地 既設のまま モルタル下地 既設のまま	ラスモルタル下地 AEP塗 既設のまま AEP塗 既設のまま		木組下地 既設のまま	既設ケイカル板 AEP塗 既設のまま	塩ビ 既設	2,850		
							ビニル巾木	100	W2		下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地	C4		下地調整RC種の上 EP塗 既設ケイカル板		2,850	
							W9		下地調整RB種の上 EP塗 既設PB下地								

特 記 事 項																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			</
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

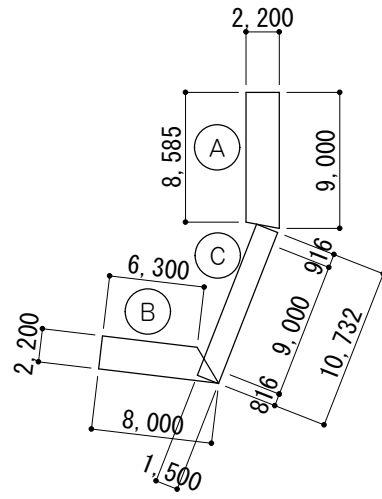
＜ 既 設 部 ＞ 内 部 仕 上 表 No. 3																		
階	上段：既設室名	床				巾木			壁			天井			廻縁	CH	室名札	備 考
	下段：改修後室名	記号	下地	仕上	記号	仕上	H	記号	下地	仕上	記号	下地	仕上					
各階共通	普通教室（一年） 普通教室（二年） 普通教室（三年） 普通教室（四年） 図工室 たんぽぽ教室	木組下地 既設のまま	フローリング張 塗装品 既設のまま	木製巾木 OP塗 既設のまま	100			モルタル金コテ下地 既設のまま	AEP塗 既設のまま		LGSD下地（1階） 既設のまま	化粧PBア9張 既設のまま	塩ビ 既設	3,120 （四年） 3,100 （他）	○	カーレンレール（シングル）取外シ CB 既設のまま		
								木組下地 既設のまま	ケイカル板ア6 目透シ張 VP塗 既設のまま PBア12.5 既設のまま		木組下地（2階） 既設のまま	化粧PBア9張 一部撤去						
			FW1	ビニル巾木	100	W1	LGSD下地	PBア12.5 EP塗	C2				カーレンレール（シングル）再取付 CB 下地調整RB種の上 EP-G塗 掲示板クロス張替					
						W2		下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地										
						W7		下地調整RB種の上 CL塗 既設ラワン合板										
		FW3	下地調整RB種の上 EP-G塗	100	W10		下地調整RB種の上 EP塗 既設ケイカル板	C3	既設下地	化粧PBア9.5 EP塗								
	階段室	モルタル金コテ下地 既設のまま	塗床 既設のまま					モルタル金コテ下地 既設のまま	AEP塗 既設のまま		木組下地 既設のまま	段裏表シ OP塗 既設のまま 既設ケイカル板 AEP塗 既設のまま	塩ビ 既設					
									PB下地 AEP塗	化粧PBア9張 既設のまま								
							W2		下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地	C2						掲示板クロス張替		
							W9		下地調整RB種の上 EP塗 既設PB下地	C4		下地調整RC種の上 EP塗 既設ケイカル板						
											C5		下地調整RC種の上 EP塗 既設モルタル下地					
東階段室	モルタル金コテ下地 既設のまま	PTailア2.3張 既設のまま			100		モルタル金コテ下地 既設のまま	AEP塗 既設のまま		LGSD下地 既設のまま	化粧PBア9張 既設のまま	塩ビ 既設						
							スチール巾木 OP塗 既設のまま											
							W2		下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル金コテ下地	C2		下地調整RC種の上 EP塗 既設PB下地				掲示板クロス張替		
						W9		下地調整RB種の上 EP塗 既設PB下地										

＜特記事項＞				【シックハウス対応策】			【記号略号】		【防火認定番号】				
・壁ボード張部分は、ジョイントレス大壁工法とする。 （寒冷紗・ジョイントテープ張処理）				・WC内手摺は設備工事（下地補強建築工事）とする。			・使用建材：F☆☆☆☆品 （天井、壁、家具、建具仕上材、接着剤、下地共）		記号	名称	PB（石膏ボード）ア12.5：NM-8619 ＜不燃＞		
・ボード類 壁コーナー処理は、特記なき限りコーナー保護金物の上、 ジョイントコンパウンド塗とする。				・参考メーカー品番及び認定番号は同等品以上とする。			・内部塗料は、F☆☆☆☆品 家具等F☆☆☆☆品		PB	石膏ボード	化粧PBア9.5：QM-9824 ＜準不燃＞		
・特記なき床ステンレス巻摺は、 SUS304□7-40×20×2（HL仕上）とする。 また、床仕上が異なる部分には、床ステンレス巻摺を入れること。				・使用建築材料：特記なき限りJIS・JAS認定品を使用すること。			・クロルピリホス使用なし		LGSD	軽量鉄骨下地	塗料一般（EP）：NM-8585 ＜不燃＞		
				・既設教室・特別教室・用務員室・給食室棟、教室・特別教室・管理棟に 石綿・ホルムアルデヒドの使用はないものとする。			【仕上記号略号】		【認定番号】				
・ビニル床シート張りは、熱溶接工法とする。				・耐火中空二重壁の端部は耐火シール充填とすること。			記号	JIS番号	名称	耐火中空二重壁① LGSD下地 強化PBア12.5+強化PBア12.5（両面） GWア50 24kg品		耐火構造 FP060NP-0175	
・床と巾木は床勝ちの納まりとすること。				・施工範囲外かつ、法的に制限のない室については記載を省略する。			EP	K5663	合成樹脂エマルジョンペイント				
・下地調整RB種の既存塗膜の除去範囲は、劣化部分は除去し、活膜部分は残すこと。 ただし、木部の透明塗りの場合は既存塗膜を前面除去する。				・タテ樋の組み金物はSUS製@1200とすること。			EP-G	K5663 K5660	つや有合成樹脂エマルジョンペイント	耐火中空二重壁② LGSD下地 強化PBア21+強化PBア21（片面）		耐火構造 FP060NP-0189	
				・CL塗（クリヤラッカー）は水性とすること。			DP	K5659	耐候性塗料（鉄鋼面）				
							SOP	K5516	合成樹脂調合ペイント				

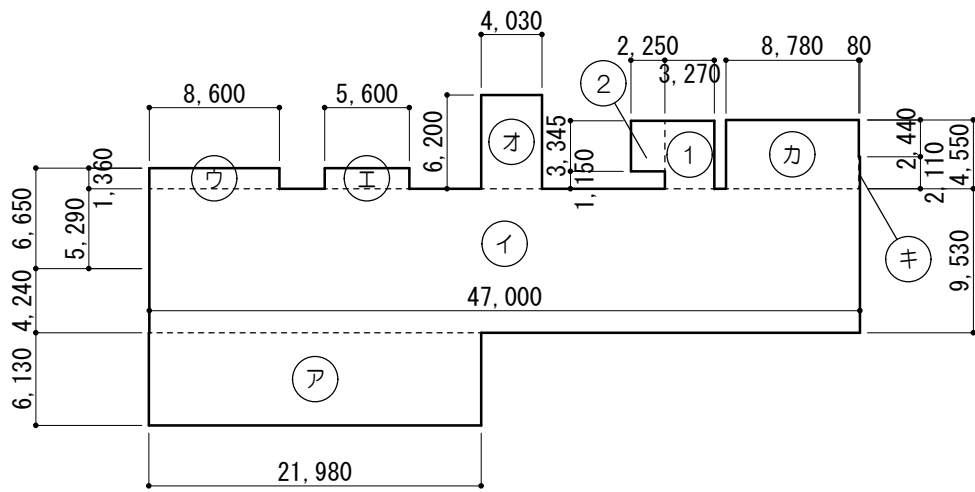
特 記 事 項		MAINO 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作 設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀 設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝 設計担当 設計担当 法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
			検図	図面名称 改修前 改修後 内部仕上表No.3（既設部） 縮 尺 A2: NS A3: NS	図面番号 A020 原図: A2



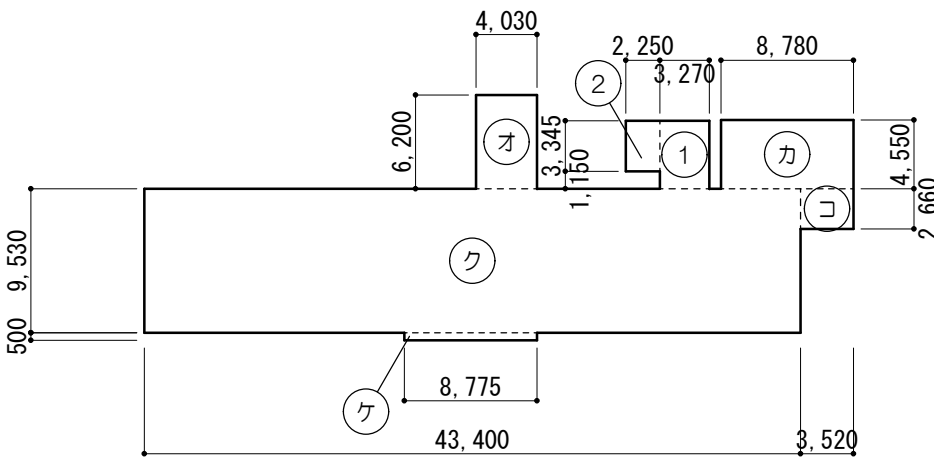
敷地求積図 1/500



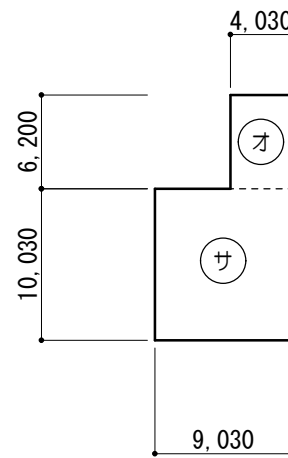
渡り廊下求積図 1/500



1階求積図 1/500



2階求積図 1/500



3階求積図 1/500

求積計算表				
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	19.93	9.06	180.5658	90.28290
2	34.75	8.95	311.0125	155.50625
3	19.93	10.61	211.4573	105.72865
4	34.75	7.62	264.7950	132.39750
5	20.03	9.19	184.0757	92.03785
6	8.05	0.63	5.0715	2.53575
7	10.57	3.50	36.9950	18.49750
8	15.59	9.46	147.4814	73.74070
9	7.40	0.47	3.4780	1.73900
10	10.57	7.57	80.0149	40.00745
11	32.91	6.99	230.0409	115.02045
12	45.55	18.16	827.1880	413.59400
13	50.84	3.91	198.7844	99.39220
14	15.59	7.78	121.2902	60.64510
15	41.29	9.39	387.7131	193.85655
16	41.80	5.63	235.3340	117.66700
17	38.36	10.04	385.1344	192.56720
18	12.65	0.59	7.4635	3.73175
19	12.65	4.36	55.1540	27.57700
20	38.36	20.25	776.7900	388.39500
21	2.06	0.97	1.9982	0.99910
22	8.53	1.43	12.1979	6.09895
23	37.71	9.41	354.8511	177.42555
24	33.26	8.44	280.7144	140.35720
25	53.48	6.11	326.7628	163.38140
26	30.79	10.70	329.4530	164.72650
27	51.93	4.52	234.7236	117.36180
28	53.48	7.15	382.3820	191.19100
29	43.98	5.86	257.7228	128.86140
30	33.26	5.31	176.6106	88.30530
31	18.65	9.69	180.7185	90.35925
32	21.01	4.80	100.8480	50.42400
33	21.01	2.81	59.0381	29.51905
34	10.34	3.59	37.1206	18.56030
合 計				3,692.49060
敷 地 面 積				3,692.49 m²

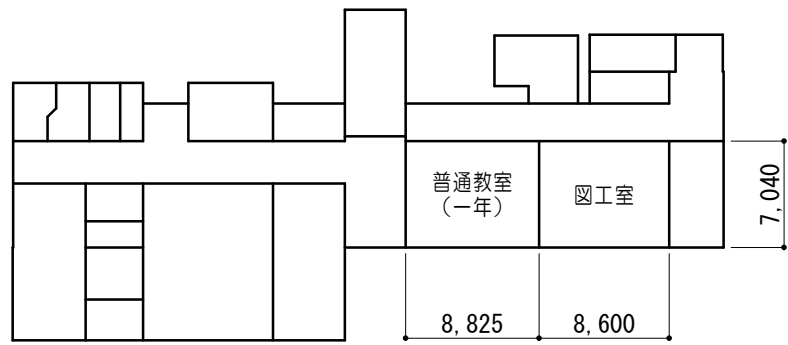
求 積 計 算 表							
ア	6.13 × 21.98	=	134.7374	ケ	0.50 × 8.775	=	4.3875
イ	9.53 × 47.00	=	447.9100	コ	2.66 × 3.52	=	9.3632
ウ	1.36 × 8.60	=	11.6960	サ	10.03 × 9.03	=	90.5709
エ	1.36 × 5.60	=	7.6160	①	4.495 × 3.27	=	14.69865
オ	6.20 × 4.03	=	24.9860	②	3.345 × 2.25	=	7.52625
カ	4.55 × 8.78	=	39.9490	A	((9.00+8.585) × 1/2) × 2.20=19.3435		
キ	2.11 × 0.08	=	0.1688	B	((8.00+6.30) × 1/2) × 2.20 =15.7300		
ク	9.53 × 43.40	=	413.6020	C	10.732 × 1.50	=	16.0980

既 設 求 積 表		既 設 面 積 表	
建 築 面 積	ア + イ + ウ + エ + オ = 667.0632	建 築 面 積	667.06 m²
	カ + キ		
1階床面積	ア + イ + ウ + エ + オ = 667.0632	1 階	667.06 m²
	カ + キ		
2階床面積	オ + カ + ク + ケ + コ = 492.2877	2 階	492.28 m²
3階床面積	オ + サ = 115.5569	3 階	115.55 m²
		延床面積	1,274.89 m²
		渡り廊下床面積	51.17 m²

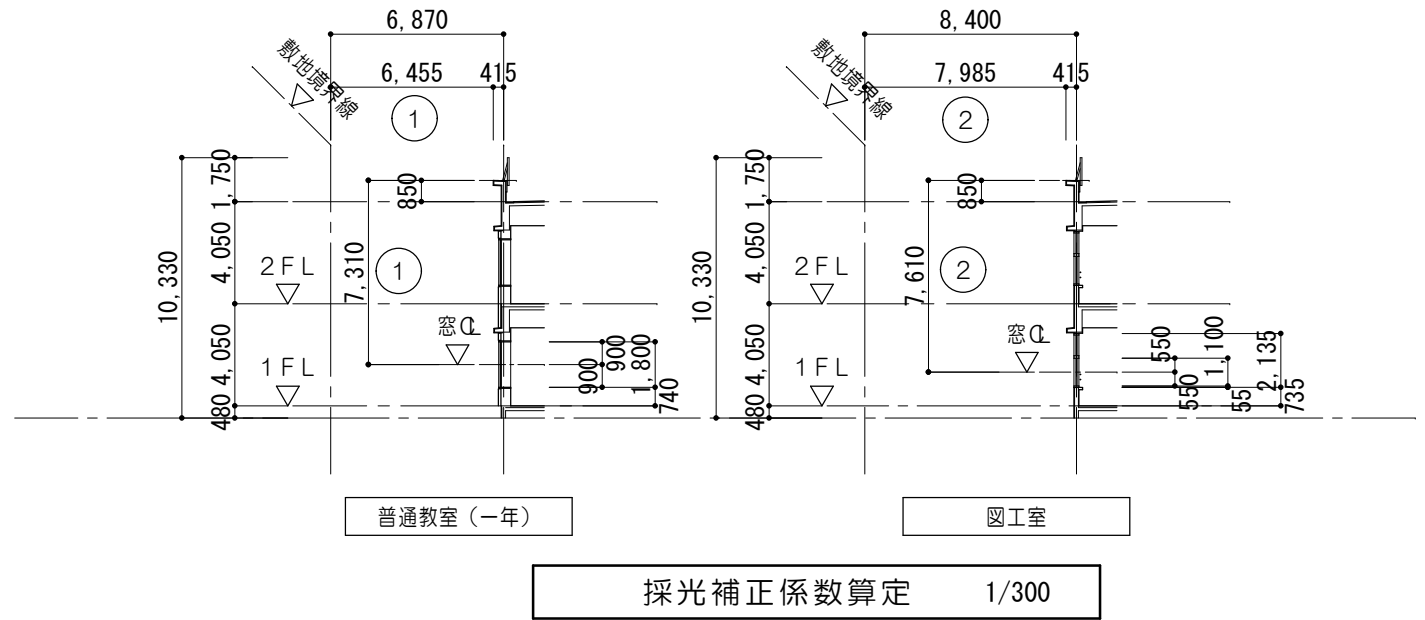
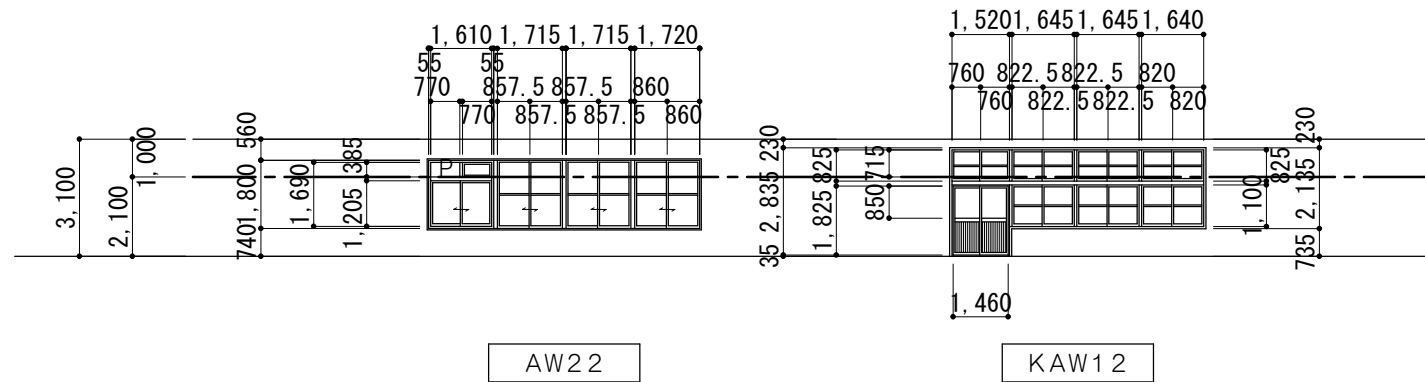
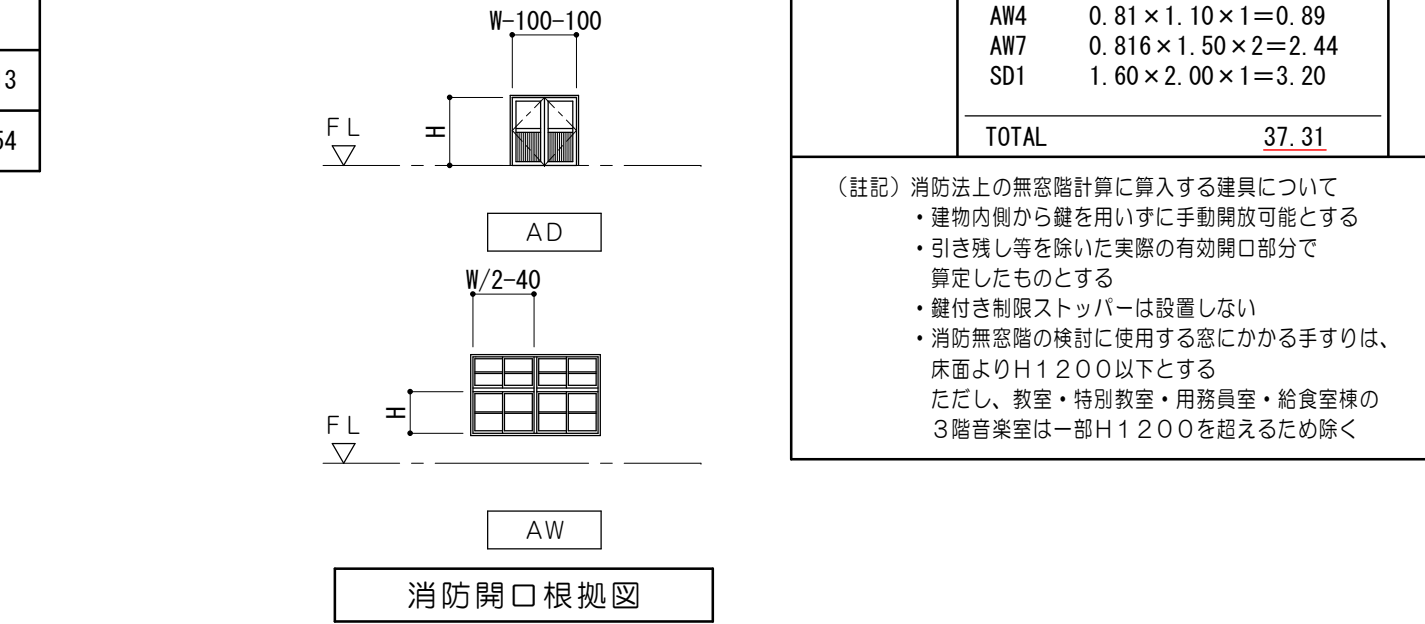
増 築 求 積 表		増 築 面 積 表	
建 築 面 積	① + ② = 22.2249	建 築 面 積	22.22 m²
1階床面積	① + ② = 22.2249	床 面 積	22.22 m²
2階床面積	① + ② = 22.2249		22.22 m²
		延床面積	44.44 m²

建 物 面 積 表			
建 築 面 積	22.22 + 667.06	=	689.28 m²
床 面 積	1階	22.22 + 667.06	= 689.28 m²
	2階	22.22 + 492.28	= 514.50 m²
3階	115.55	=	115.55 m²

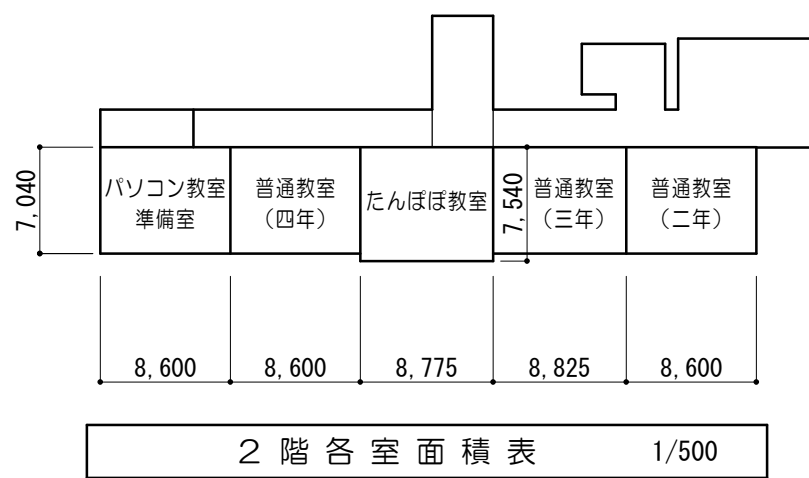
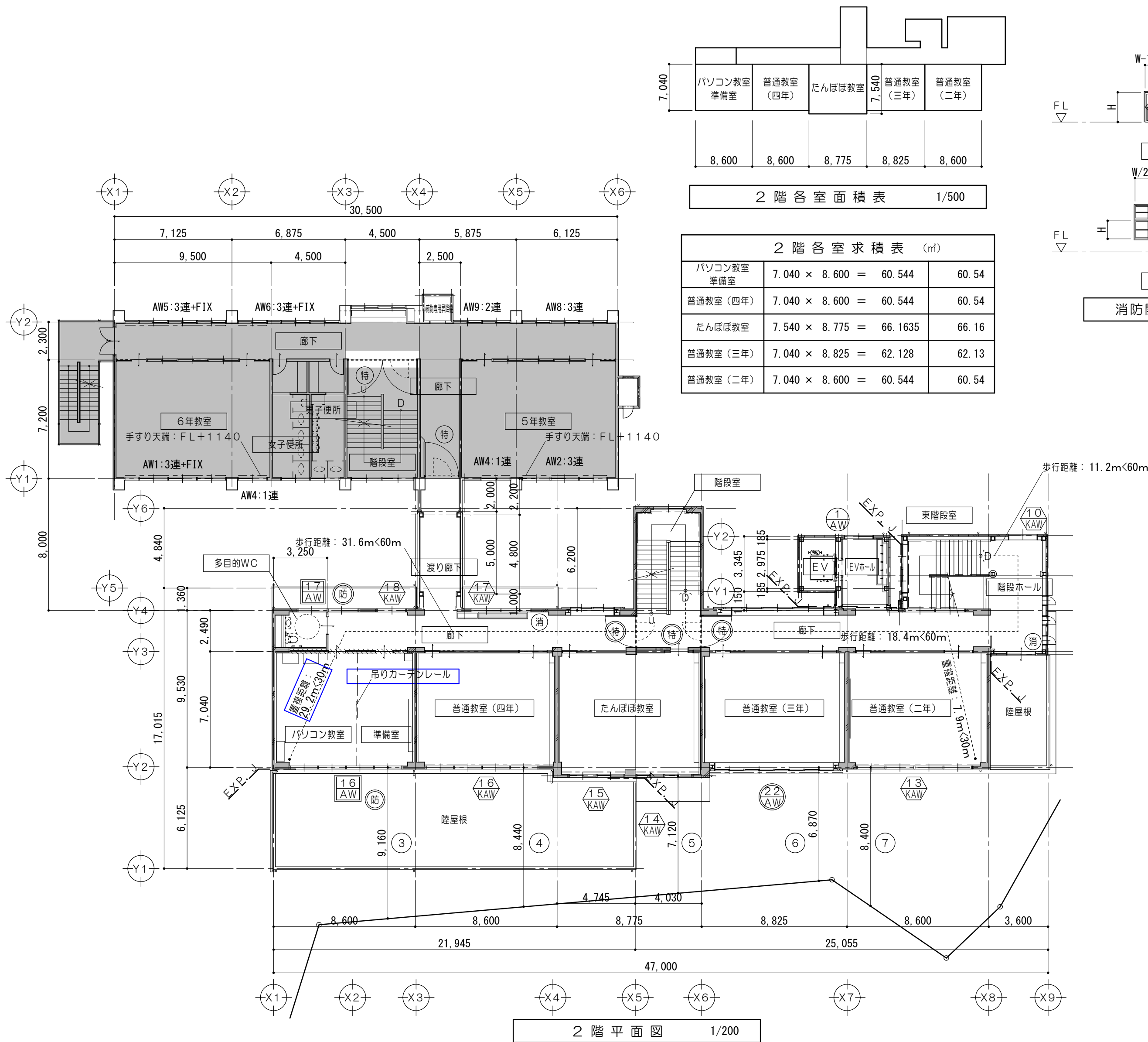
同一棟建物面積						
		教室・特別教室 ・用務員室・給食室棟	教室・特別教室 ・管理棟	渡り廊下⑥棟	渡り廊下⑧棟	面積合計
建 築 面 積		366.57 m ²	689.28 m ²	20.00 m ²	51.17 m ²	1,127.02 m ²
床 面 積	1階	353.97 m ²	689.28 m ²	— m ²	51.17 m ²	1,094.42 m ²
	2階	296.97 m ²	<u>514.50 m²</u>	<u>20.00 m²</u>	— m ²	<u>831.47 m²</u>
	3階	294.25 m ²	<u>115.55 m²</u>	— m ²	— m ²	<u>409.80 m²</u>
延 床 面 積		2,335.69 m ²				
消防無窓階検討用床面積						
1階床面積		1,094.42 m ²	—	51.17 m ²	=	1,043.25 m ²
2階床面積		=				831.47 m ²
3階床面積		=				409.80 m ²



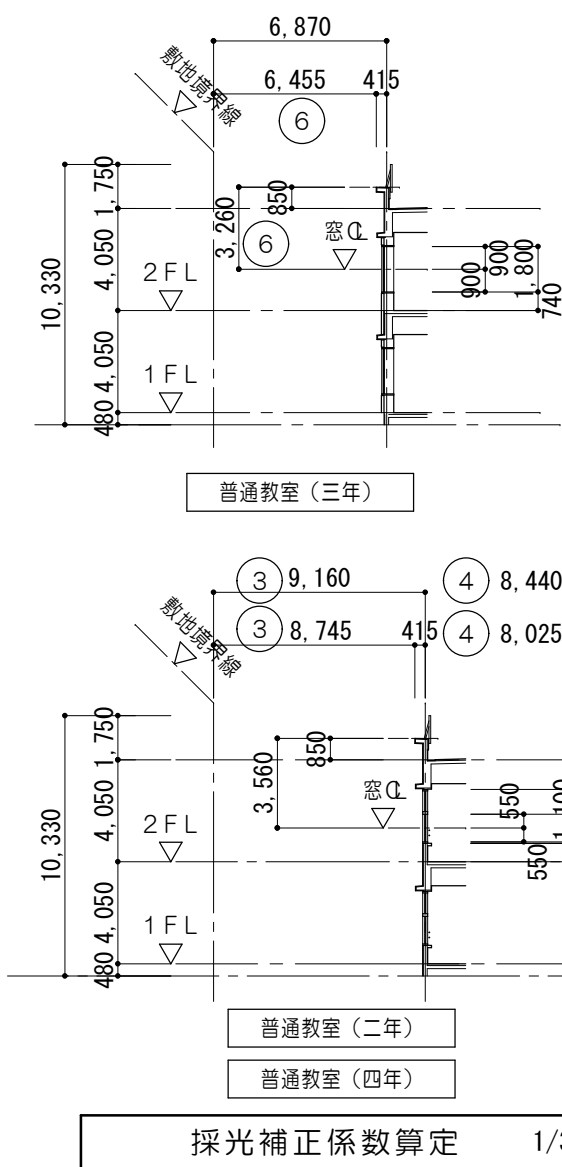
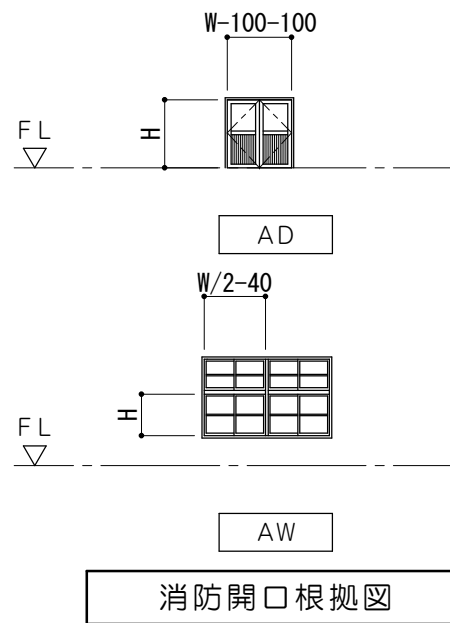
1階各室求積表 (㎡)		
普通教室（一年）	7.040 × 8.825 =	62.128
図工室	7.040 × 8.600 =	60.544



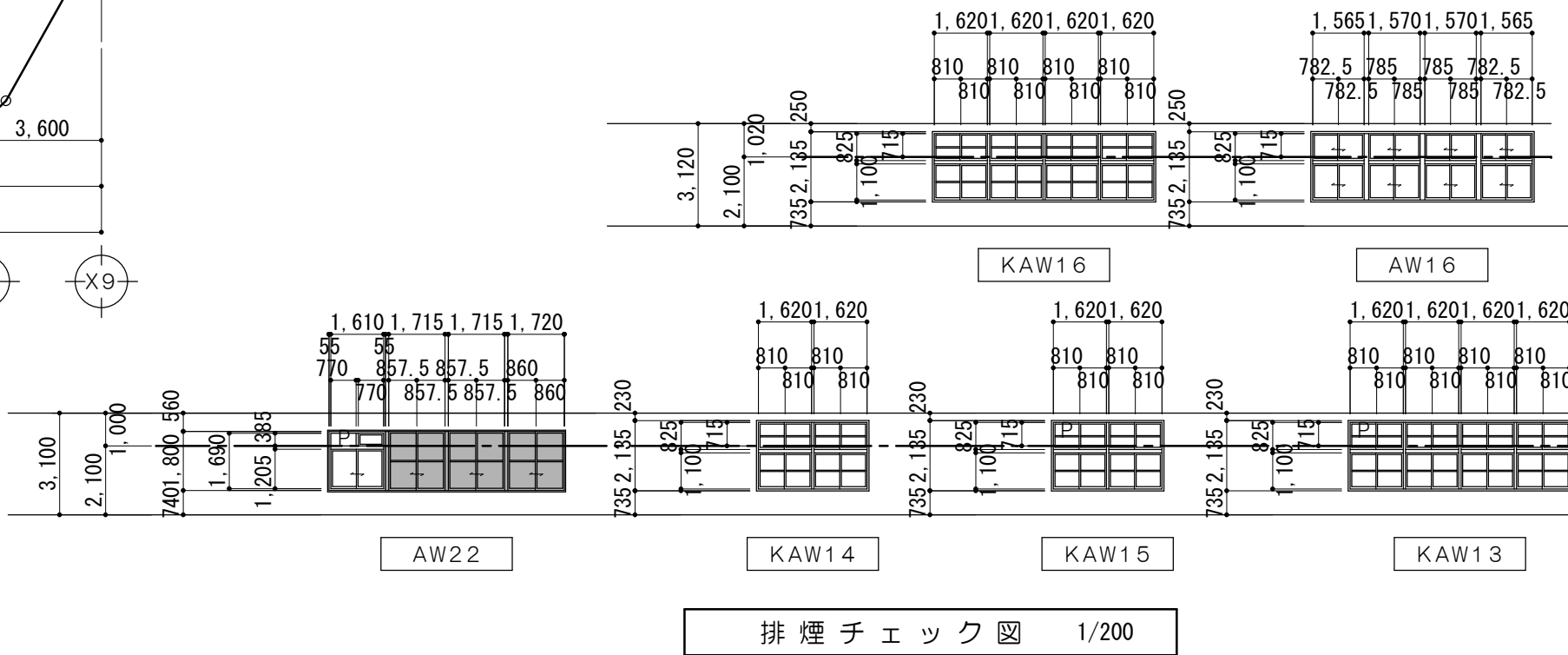
1階 消防無窓階の検討		
必要面積	有効面積	判定
1,043.25/30 =34.78	■教室・特別教室・管理棟	OK
	KAD1 0.81 × 2.00 × 1 = 1.62	
	KAD3 1.10 × 2.00 × 1 = 2.20	
	KAD4 1.40 × 2.20 × 1 = 3.08	
	KAD7 1.00 × 2.00 × 1 = 2.00	
	KAD8 1.50 × 1.80 × 1 = 2.70	
	KAD9 1.60 × 2.01 × 1 = 3.21	
	KAD10 1.70 × 2.00 × 1 = 3.40	
	KAW12 0.7825 × 1.10 × 2 = 1.72	
	0.78 × 1.10 × 1 = 0.85	
	0.69 × 1.825 × 1 = 1.25	
	■教室・特別教室・用務員室・給食室棟	
	AD1 0.81 × 2.00 × 1 = 1.62	
	AW1 0.81 × 1.10 × 3 × 2 = 5.34	
	AW3 0.816 × 1.10 × 2 = 1.79	
	AW4 0.81 × 1.10 × 1 = 0.89	
	AW7 0.816 × 1.50 × 2 = 2.44	
	SD1 1.60 × 2.00 × 1 = 3.20	
TOTAL		37.31
(註記) 消防法上の無窓階計算に算入する建具について ・建物内側から鍵を用いずに手動開放可能とする ・引き残し等を除いた実際の有効開口部分で算定したものとする ・鍵付き制限ストッパーは設置しない ・消防無窓階の検討に使用する窓にかかる手すり、床面よりH1200以下とする ただし、教室・特別教室・用務員室・給食室棟の3階音楽室は一部H1200を超えるため除く		

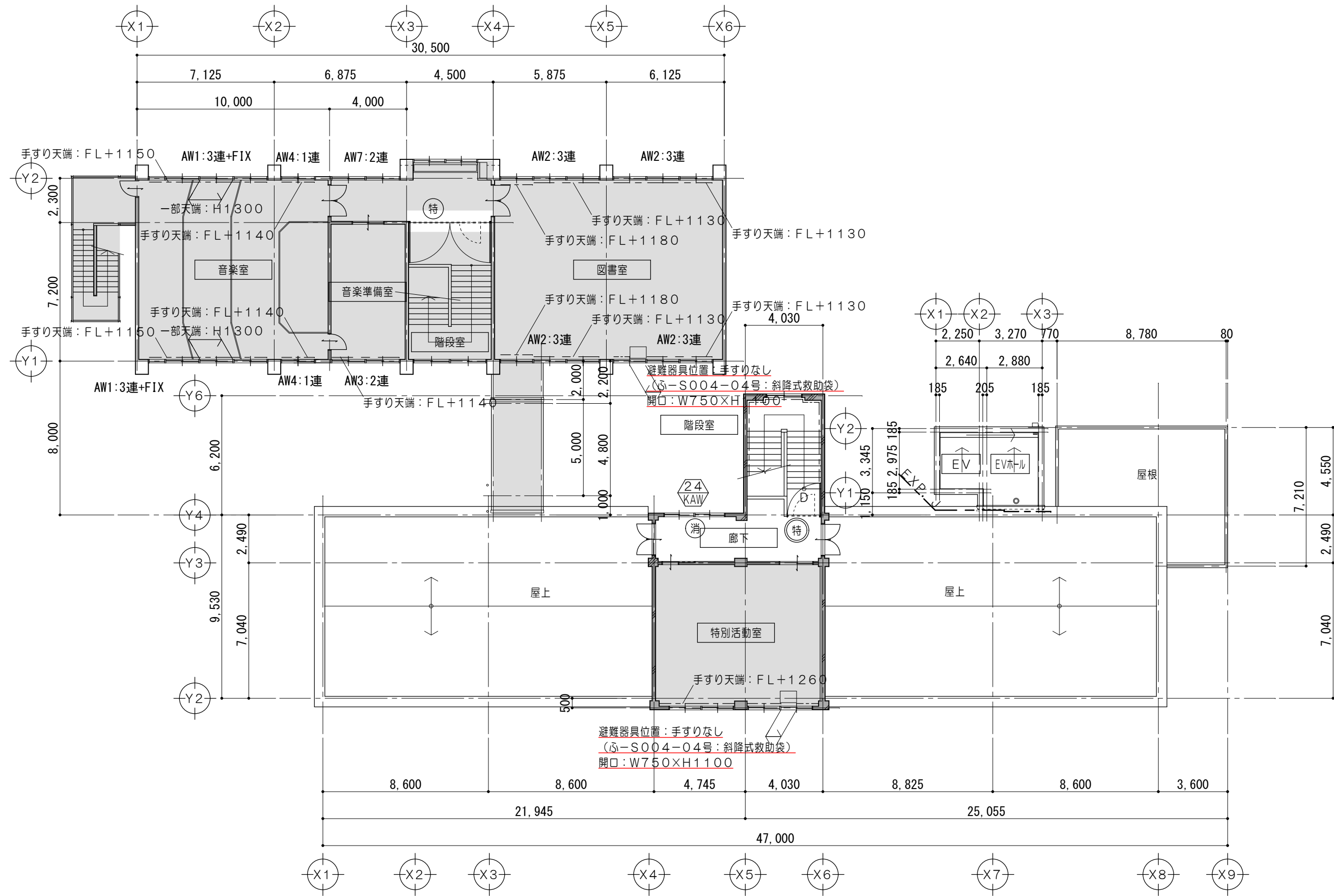


2階各室求積表 (㎡)			
パソコン教室準備室	7.040 × 8.600	=	60.544
普通教室(四年)	7.040 × 8.600	=	60.544
たんぼほ教室	7.540 × 8.775	=	66.1635
普通教室(三年)	7.040 × 8.825	=	62.128
普通教室(二年)	7.040 × 8.600	=	60.544



2階 消防無窓階の検討				
必要面積	有効面積	判定		
831.47/30 =27.72	■教室・特別教室・管理棟	OK		
	AW1 $0.81 \times 1.30 \times 1 = 1.05$			
	AW16 $0.745 \times 1.10 \times 2 = 1.63$			
	$0.7425 \times 1.10 \times 2 = 1.63$			
	AW17 $0.745 \times 1.10 \times 1 = 0.81$			
	$0.7425 \times 1.10 \times 1 = 0.81$			
	KAW10 $0.81 \times 1.26 \times 1 = 1.02$			
	KAW17 $0.835 \times 1.19 \times 2 = 1.98$			
	KAW18 $0.81 \times 1.19 \times 1 = 0.96$			
	■教室・特別教室・用務員室・給食室棟			
	AW1 $0.81 \times 0.86 \times 3 = 2.08$			
	AW2 $0.7875 \times 0.86 \times 3 = 2.03$			
	AW4 $0.81 \times 0.86 \times 2 = 1.39$			
	AW5 $0.81 \times 1.50 \times 3 = 3.64$			
	AW6 $0.81 \times 1.50 \times 1 = 1.21$			
	$0.816 \times 1.50 \times 2 = 2.44$			
	AW8 $0.7875 \times 1.50 \times 3 = 3.54$			
	AW9 $0.7935 \times 1.50 \times 2 = 2.38$			
	TOTAL		28.60	
	(註記) 消防法上の無窓階計算に算入する建具について			
	・建物内側から鍵を用いずに手動開放可能とする			
	・引き残し等を除いた実際の有効開口部分で算定したものとする			
・鍵付き制限ストッパーは設置しない				
・消防無窓階の検討に使用する窓にかかるとすり手は、床面よりH1200以下とする				
ただし、教室・特別教室・用務員室・給食室棟の3階音楽室は一部H1200を超えるため除く				





3 階 平 面 図 1/200

3 階 消防無窓階の検討		
必要面積	有効面積	判定
409.80/30 =13.67	■教室・特別教室・管理棟 KAW24 0.72×1.20×2＝1.72	OK
	■教室・特別教室・用務員室・給食室棟 AW1 0.81×0.55×1×2＝0.89	
	AW1 0.81×0.86×1×2＝1.39	
	AW2 0.7875×0.87×3×4＝8.22	
	AW3 0.816×0.86×2＝1.40	
	AW4 0.81×0.86×2＝1.39	
	AW7 0.816×1.10×2＝1.79	
	TOTAL 16.80	
（註記）消防法上の無窓階計算に算入する建具について ・建物内側から鍵を用いずに手動開放可能とする ・引き残し等を除いた実際の有効開口部分で算定したものとする ・錠付き制限ストッパーは設置しない ・消防無窓階の検討に使用する窓にかかるとする、床面よりH1200以下とする ただし、教室・特別教室・用務員室・給食室棟の3階音楽室は一部H1200を超えるため除く		

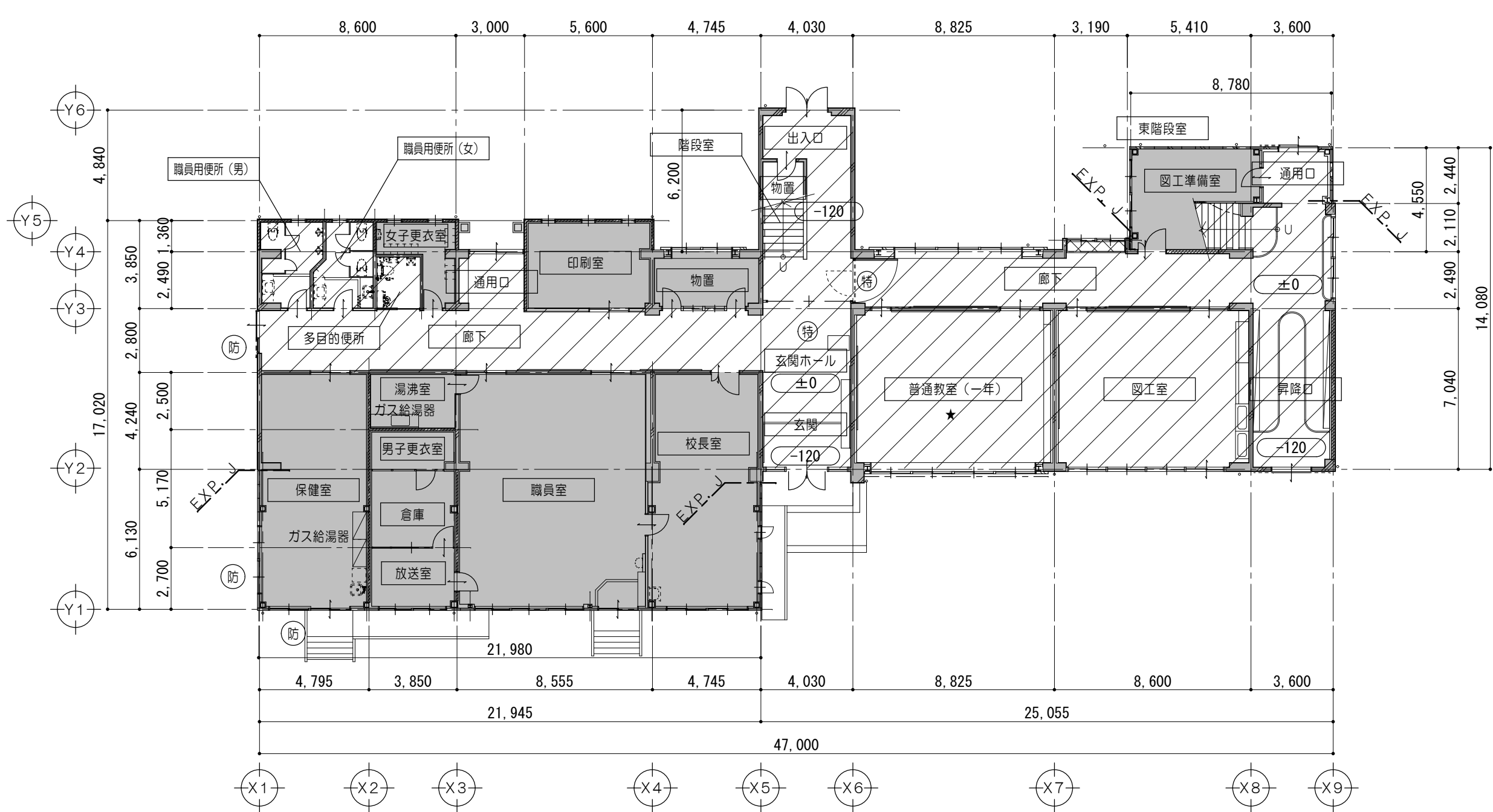
1 階 法 規 チェックリスト																
採 光 算 定 表								換 気 算 定 表					排 煙 算 定 表 ※政令128条3-2によるチェック			
室 名	室面積 (㎡)	必要採光面積 (㎡)	窓記号	窓の種類	有効採光面積	指定なし D/H×10-1	判 定	必要換気面積 (㎡)	窓記号	有効換気面積	判 定	必要排煙面積 (㎡)	窓記号	有効排煙面積	判 定	
		室面積×係数						室面積×係数				室面積×係数				
普通教室 (一年)	62.13	62.13 × 1/5 = 12.43	AW22	引違い窓	1.720×1.800×1=3.09 1.715×1.800×2=6.17 1.610×1.205×1=1.94 ■11.20×3 (採光補正係数)=33.60	①	6.455/7.310×10-1=7.83 →3.0 (算定値)	OK	62.13 × 1/20 = 3.11	AW22	0.860 ×1.800×1=1.54 0.8575×1.800×2=3.08 0.770 ×1.205×1=0.92	OK	62.13 × 1/50 = 1.24	AW22	0.860 ×0.440×1=0.37 0.8575×0.440×2=0.75 0.770 ×0.385×1=0.29	OK
図工室	60.54	60.54 × 1/5 = 12.11	KAW12	引違い窓	1.460×0.850×1=1.24 1.520×0.825×1=1.25 1.645×1.100×2=3.61 1.645×0.825×2=2.71 1.640×1.100×1=1.80 1.640×0.825×1=1.35 ■11.96×3 (採光補正係数)=35.88	②	7.985/7.610×10-1=9.49 →3.0 (算定値)	OK	60.54 × 1/20 = 3.03	KAW12	0.730 ×1.825×1=1.33 0.760 ×0.825×1=0.62 0.8225×1.100×2=1.80 0.8225×0.825×2=1.35 0.820 ×1.100×1=0.90 0.820 ×0.825×1=0.67	OK	60.54 × 1/50 = 1.21	KAW12	0.760 ×0.715×1=0.54 0.8225×0.715×2=1.17 0.820 ×0.715×1=0.58	OK

2 階 法 規 チェックリスト																	
採 光 算 定 表								換 気 算 定 表					排 煙 算 定 表				
室 名	室面積 (㎡)	必要採光面積 (㎡)	窓記号	窓の種類	有効採光面積	指定なし D/H×10-1	判 定	必要換気面積 (㎡)	窓記号	有効換気面積	判 定	必要排煙面積 (㎡)	窓記号	有効排煙面積	判 定		
		室面積×係数						室面積×係数				室面積×係数					
パソコン教室 準備室	60.54	60.54 × 1/5 = 12.11	AW16	引違い窓	1.565×1.100×2=3.44 1.565×0.825×2=2.58 1.570×1.100×2=3.45 1.570×0.825×2=2.59 ■12.06×3 (採光補正係数) =36.18	③	OK	60.54 × 1/20 = 3.03	AW16	0.7825×1.100×2=1.72 0.7825×0.825×2=1.29 0.785 ×1.100×2=1.72 0.785 ×0.825×2=1.29	6.02	OK	60.54 × 1/50 = 1.21	AW16	0.7825×0.715×2=1.11 0.785 ×0.715×2=1.12	2.23	OK
普通教室 (四年)	60.54	60.54 × 1/5 = 12.11	KAW16	引違い窓	1.620×1.100×4=7.12 1.620×0.825×4=5.34 ■12.46×3 (採光補正係数) =37.38	④	OK	60.54 × 1/20 = 3.03	KAW16	0.810×1.100×4=3.56 0.810×0.825×4=2.67	6.23	OK	60.54 × 1/50 = 1.21	KAW16	0.810×0.715×4=2.31	OK	
たんぼぼ教室	66.16	66.16 × 1/5 = 13.23	KAW14 KAW15	引違い窓	1.620×1.100×4=7.12 1.620×0.825×4=5.34 ■12.46×3 (採光補正係数) =37.38	⑤	OK	66.16 × 1/20 = 3.31	KAW14 KAW15	0.810×1.100×4=3.56 0.810×0.825×3=2.00	5.56	OK	66.16 × 1/50 = 1.32	KAW14 KAW15	0.810×0.715×3=1.73	OK	
普通教室 (三年)	62.13	62.13 × 1/5 = 12.43	AW22	引違い窓	1.720×1.800×1=3.09 1.715×1.800×2=6.17 1.610×1.205×1=1.94 ■11.20×3 (採光補正係数) =33.60	⑥	OK	62.13 × 1/20 = 3.11	AW22	0.860 ×1.800×1=1.54 0.8575×1.800×2=3.08 0.770 ×1.205×1=0.92	5.54	OK	62.13 × 1/50 = 1.24	AW22	0.860 ×0.440×1=0.37 0.8575×0.440×2=0.75 0.770 ×0.385×1=0.29	1.41	OK
普通教室 (二年)	60.54	60.54 × 1/5 = 12.11	KAW13	引違い窓	1.620×1.100×4=7.12 1.620×0.825×4=5.34 ■12.46×3 (採光補正係数) =37.38	⑦	OK	60.54 × 1/20 = 3.03	KAW13	0.810×1.100×4=3.56 0.810×0.825×3=2.00	5.56	OK	60.54 × 1/50 = 1.21	KAW13	0.810×0.715×3=1.73	OK	

既 設 建 具 表 （ 教 室 ・ 特 別 教 室 ・ 用 務 員 室 ・ 給 食 室 棟 ）																		1/100 ※ 消防無窓階検討範囲を示す	
符 号 名 称 数 量	①SD 袖・ランマFⅠX付 引分スチールドア		1	①AD ランマ引違いイ付引違いアルミサッシ		1	①AW ランマ引違い・袖FⅠX付 3連引違いアルミサッシ		3	①AW ランマ引違い・袖FⅠX付 3連引違いアルミサッシ		2	②AW ランマ引違い付3連引違いアルミサッシ		5	③AW ランマ引違い付2連引違いアルミサッシ		2	
姿 図																			
見 込 硝 子	枠 扉	100 40	一 般：フロート6.8 ランマ：フロートA3	70	フロートA3 アルミパネルA3		70	フロートA3		70	フロートA3		70	フロートA3		70	フロートA3		
室 名	1階：玄関			1階：理科室			1階：理科室 2階：6年教室			3階：音楽室			2階：5年教室 3階：図書室			1階：理科準備室 3階：音楽準備室			
符 号 名 称 数 量	④AW ランマ引違いイ付引違いアルミサッシ		5	⑤AW 袖FⅠX付3連引違いアルミサッシ		1	⑥AW 袖FⅠX付3連引違いアルミサッシ		1	⑦AW 2連引違いアルミサッシ		2	⑧AW 袖FⅠX付3連引違いアルミサッシ		1	⑨AW 引違いアルミサッシ		1	
姿 図																			
見 込 硝 子	70	フロートA3		70	フロートA3		70	フロートA3		70	フロートA3		70	フロートA3		70	フロートA3		
室 名	1階：理科室 2階：5年教室、6年教室 3階：音楽室			2階：廊下			2階：廊下			1階：廊下 3階：廊下			2階：廊下			2階：廊下			

特 記 事 項						一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 MAINO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校校長寿命化改修工事		設計日
	検図	図面名称 改修後 法規チェックNo.4	縮 尺 A2: NS A3: NS	図面番号 A025 原図: A2												

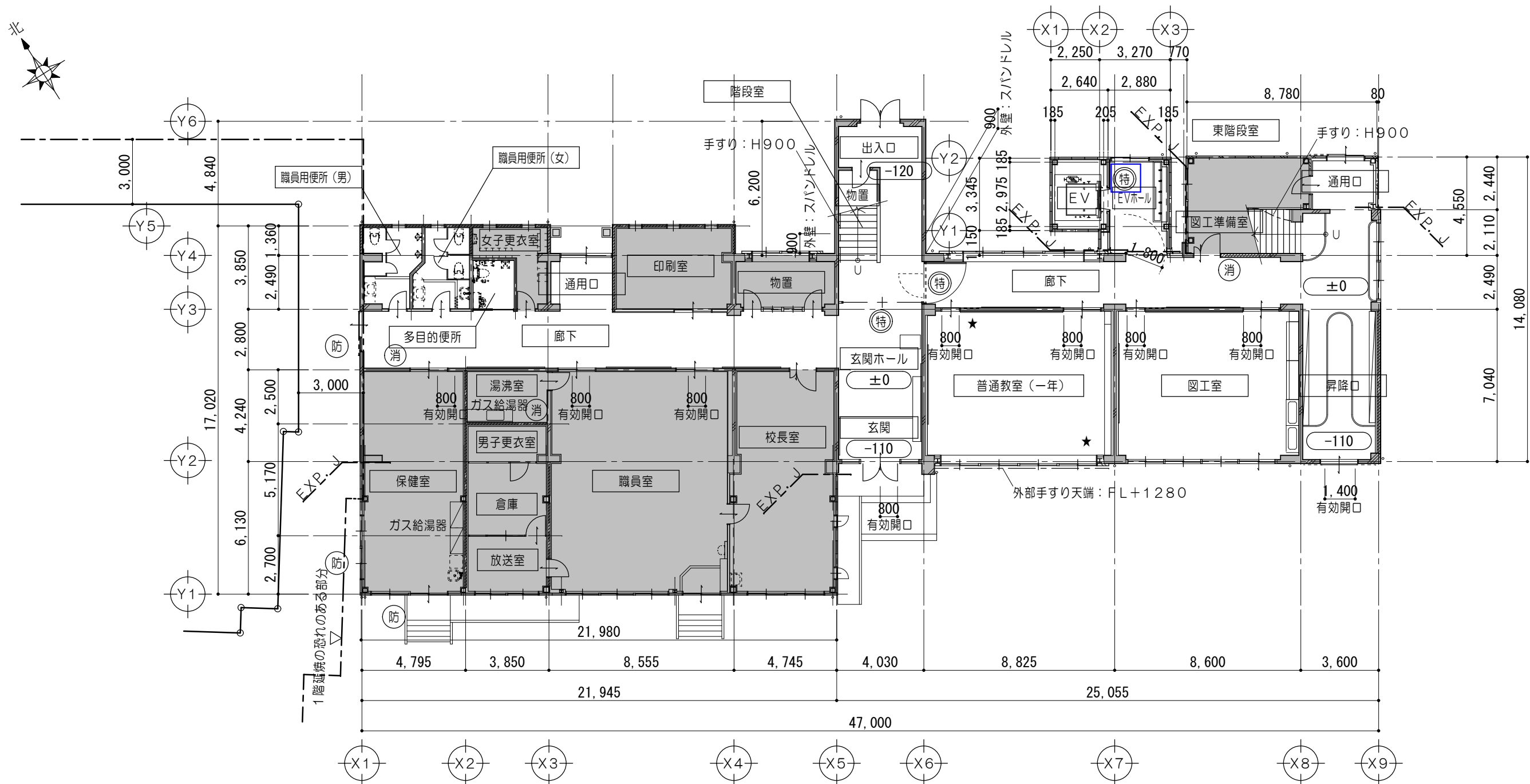
改修前



凡 例	
	既設のままを示す
	改修範囲を示す
	解体範囲を示す
	特定防火設備を示す (遮煙性能なし)
	既設防火設備を示す

1 階 平 面 図 1/200

改修後

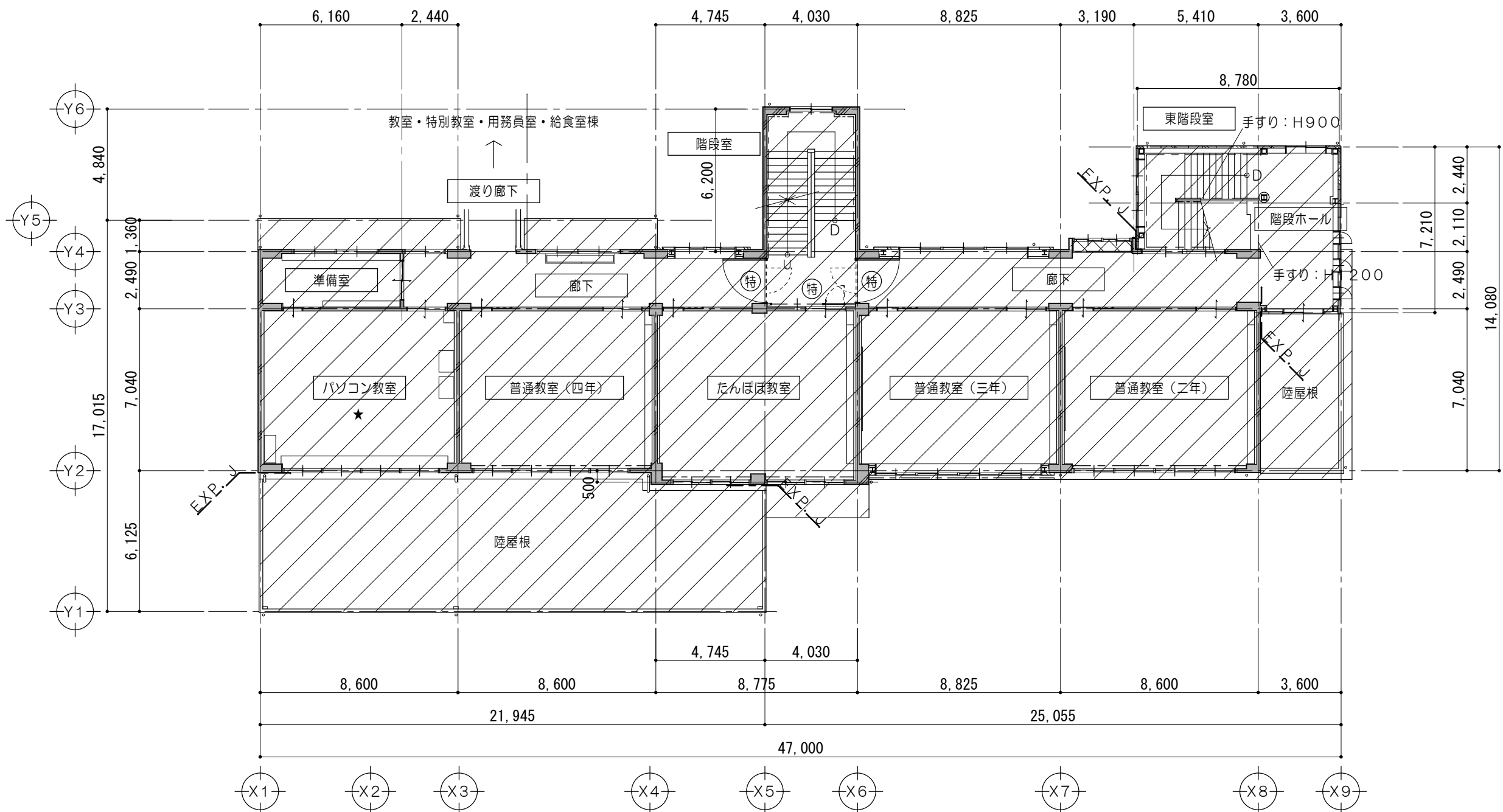


凡 例	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す (スラブ下まで施工)
	既設コンクリートブロックを示す (スラブ下まで施工)
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す
	既設防火設備を示す
	消火器 (ABC粉末10型) (備品) ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
	室内空気汚染物質測定箇所を示す 測定時期: 改修前、改修後 (測定する室は監督員と協議すること)
1. 防火区画貫通部 (両側) 給水管 鉄管 1.0m (モルタル充填) 給湯管 銅管 1.0m (モルタル充填) 排水管 耐火2層管 1.0m (モルタル充填) (堅管は全て耐火2層管) その他VP 電線管 金属管保護 1.0m (モルタル充填) ガス管 金属管 1.0m (モルタル充填) 上記の仕様または国土交通省大臣の認定を受けたものとする。 ※小管径の設備管類は、平12建告1422号に遵法とする。 ※風道等の材料は、不燃材料を使用する。	

1 階 平 面 図 1/200

特 記 事 項		株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 代表設計者 一級建築士 第378328号 前田 祐作 設計担当 一級建築士 第320204号 加藤 早紀 設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝 設計担当 設計担当 法適合確認	作図 検図	工事名称 津市立明合小学校校長寿命化改修工事 図面名称 改修前 改修後 1階平面図 縮 尺 A2:1/200 A3:1/282	設計日 図面番号 A026 原図:A2

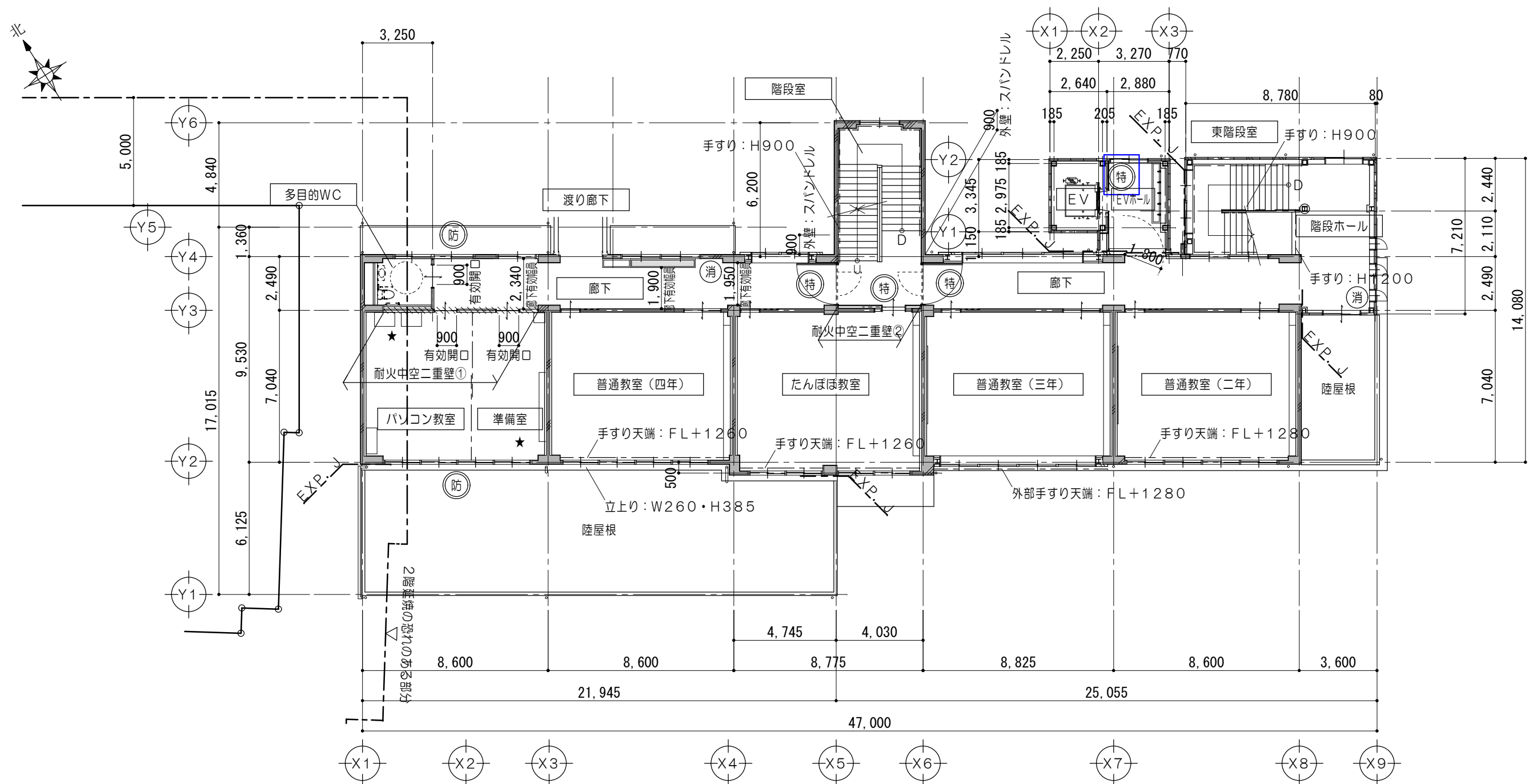
改修前



凡 例	
	既設のままを示す
	改修範囲を示す
	解体範囲を示す
	特定防火設備を示す (遮煙性能なし)
	既設防火設備を示す

2 階 平 面 図 1/200

改修後

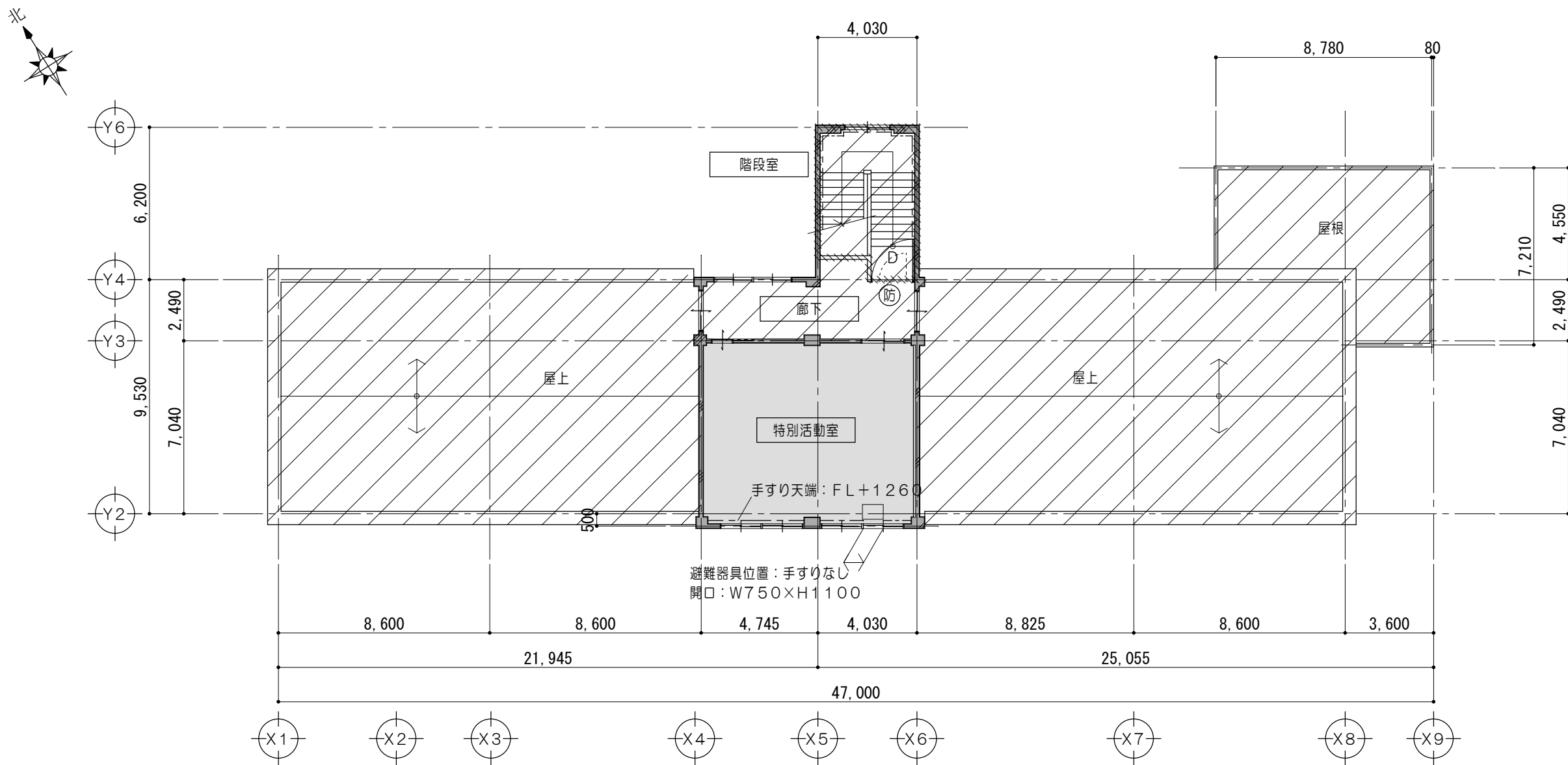


凡 例	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す (スラブ下まで施工)
	114条区画を示す (耐火中空二重壁) 強化PBA12.5+強化PBA12.5 (両面) (スラブ下まで施工)
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す
	既設防火設備を示す
	消火器 (ABC粉末10型) (備品) ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
	室内空気汚染物質測定箇所を示す 測定時期: 改修前、改修後 (測定する室は監督員と協議すること)
1. 防火区画貫通部 (両側)	
給水管	鉄管 1.0m (モルタル充填)
給湯管	銅管 1.0m (モルタル充填)
排水管	耐火2層管 1.0m (モルタル充填) (堅管は全て耐火2層管) その他VP
電線管	金属管保護 1.0m (モルタル充填)
ガス管	金属管 1.0m (モルタル充填)
上記の仕様または国土交通省大臣の認定を受けたものとする。 ※小管径の設備管類は、平12建告1422号に遵法とする。 ※風道等の材料は、不燃材料を使用する。	

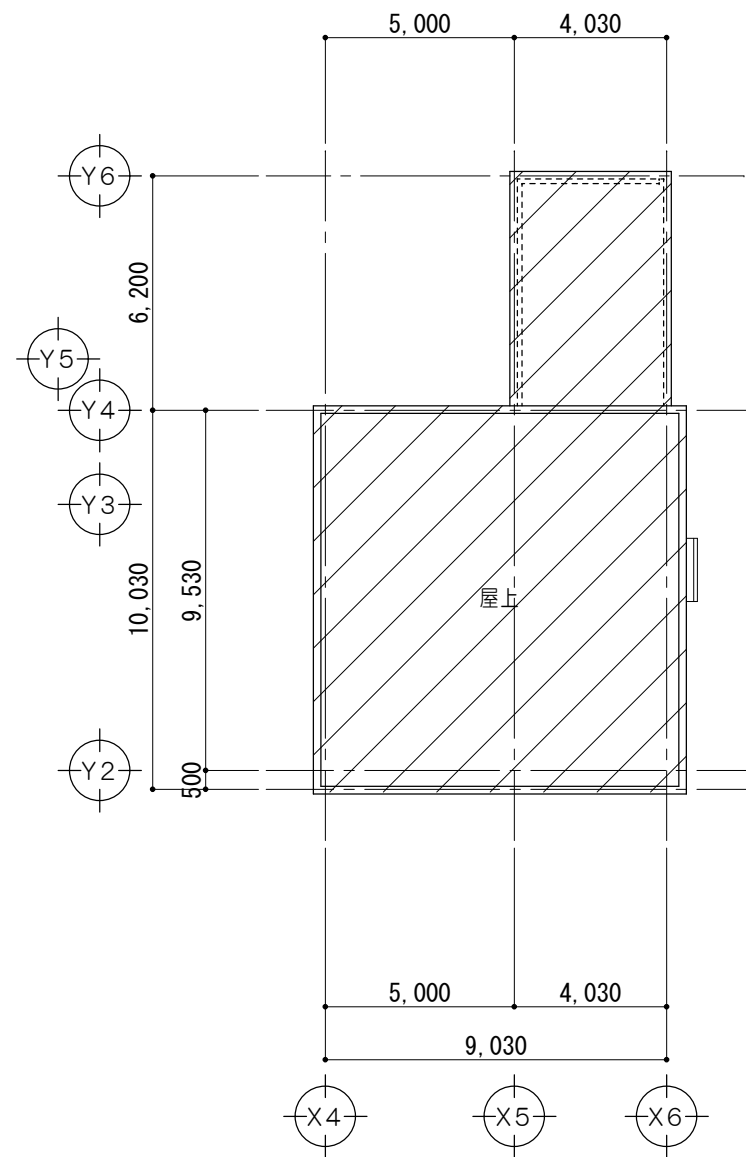
2 階 平 面 図 1/200

特 記 事 項		 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校校長寿命化改修工事	設計日
											縮 尺 A2:1/200 A3:1/282	図面番号 A027 原図:A2

改修前



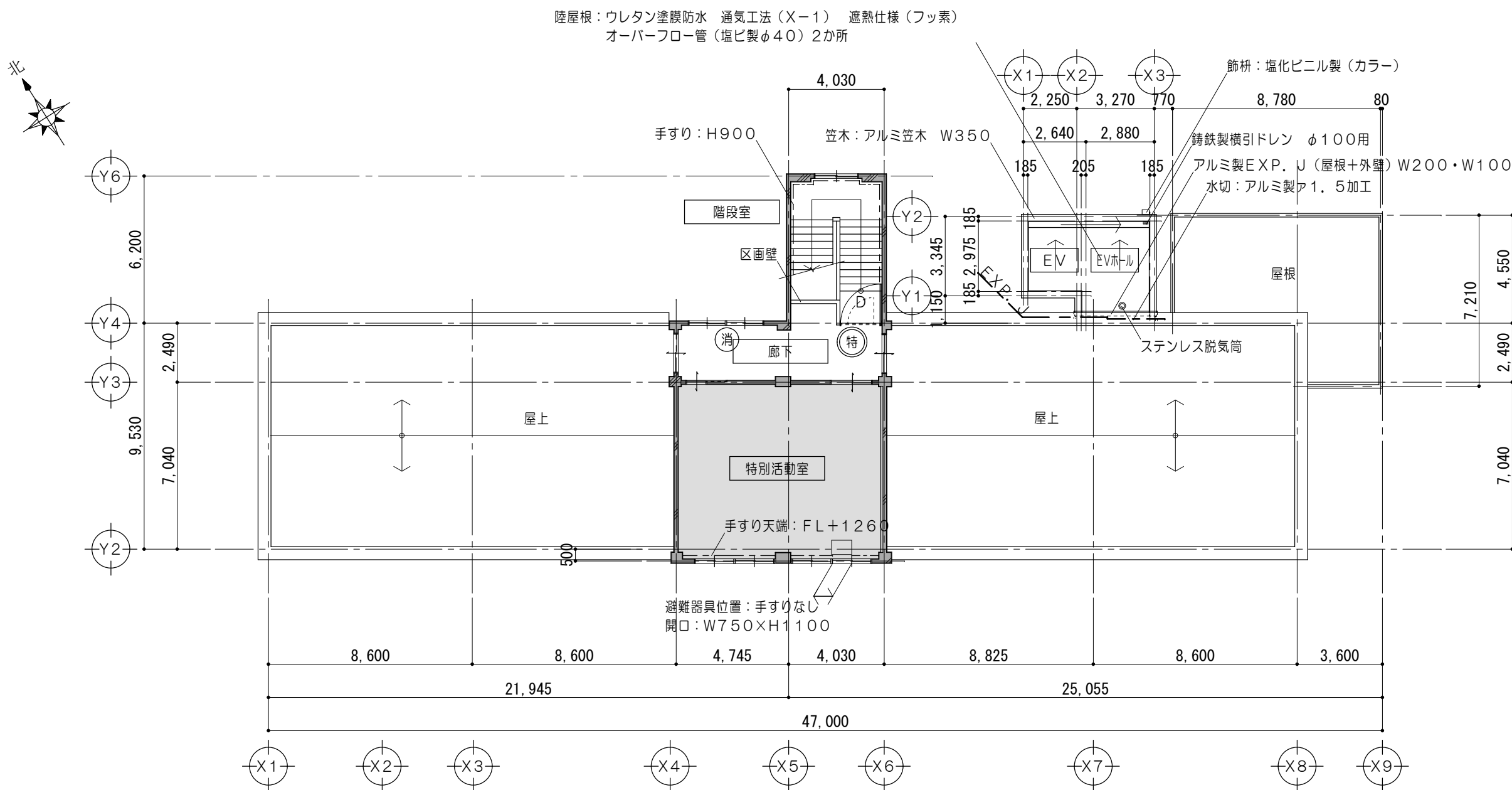
3 階 平 面 図 1/200



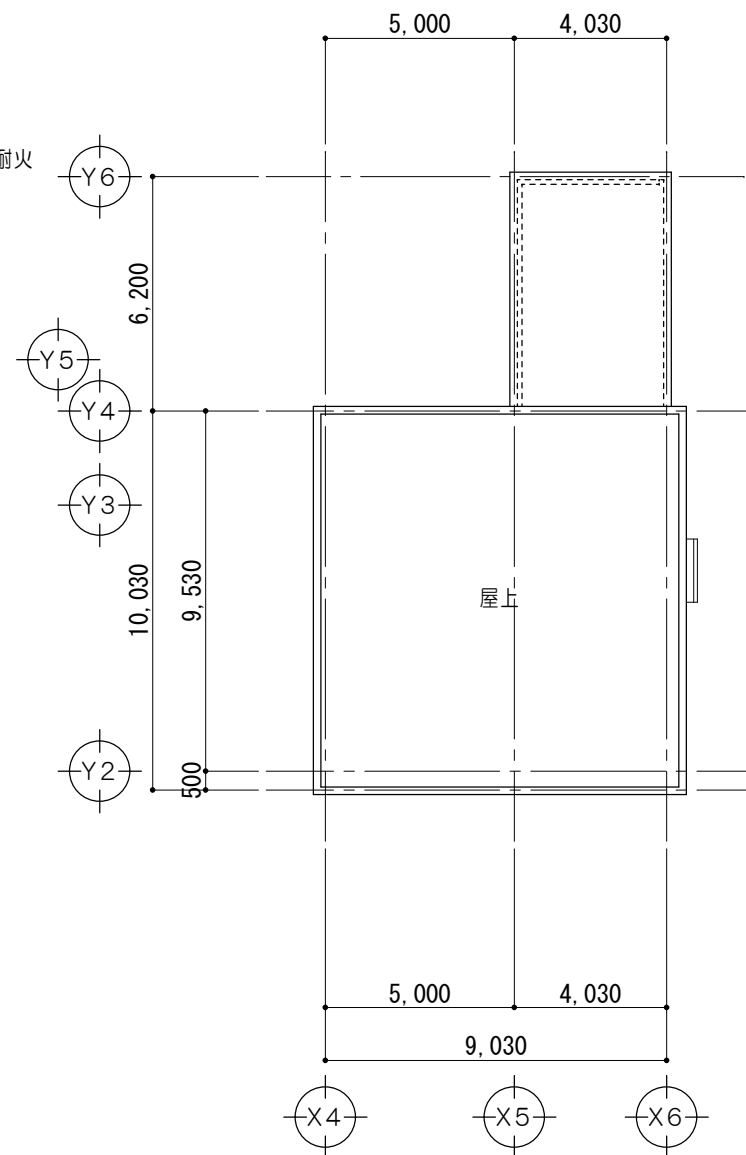
屋 根 伏 図 1/200

凡 例	
	既設のままを示す
	改修範囲を示す
	解体範囲を示す
	特定防火設備を示す (遮煙性能なし)
	既設防火設備を示す

改修後



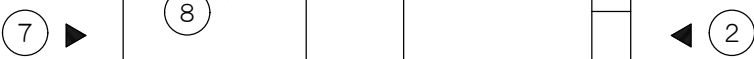
3 階 平 面 図 1/200



屋 根 伏 図 1/200

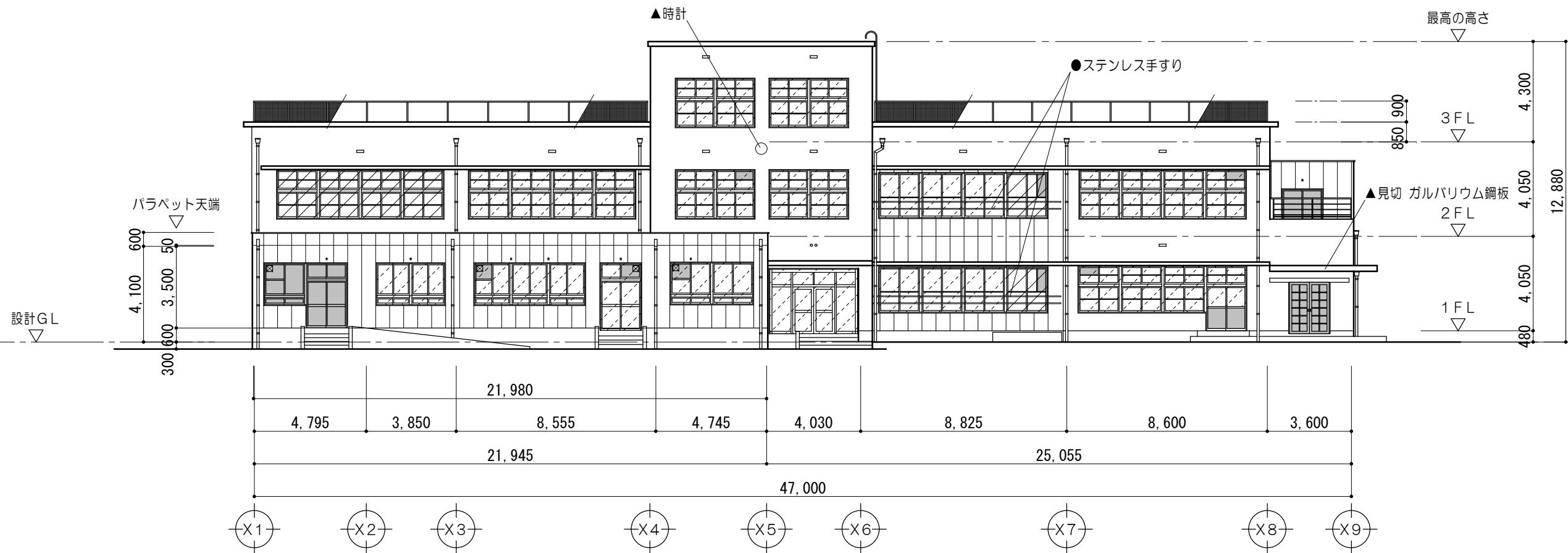
凡 例	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す (スラブ下まで施工)
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す
	既設防火設備を示す
	消火器 (ABC粉末10型) (備品) ※消防用設備等については、 消防法施行令及び同規則の通り設置する。
1. 防火区画貫通部 (両側) 給水管 鉄管 1.0m (モルタル充填) 給湯管 銅管 1.0m (モルタル充填) 排水管 耐火2層管 1.0m (モルタル充填) (堅管は全て耐火2層管) その他VP 電線管 金属管保護 1.0m (モルタル充填) ガス管 金属管 1.0m (モルタル充填) 上記の仕様または国土交通省大臣の認定をうけたものとする。 ※小管径の設備管類は、平12建告1422号に遵法とする。 ※風道等の材料は、不燃材料を使用する。	

改修前

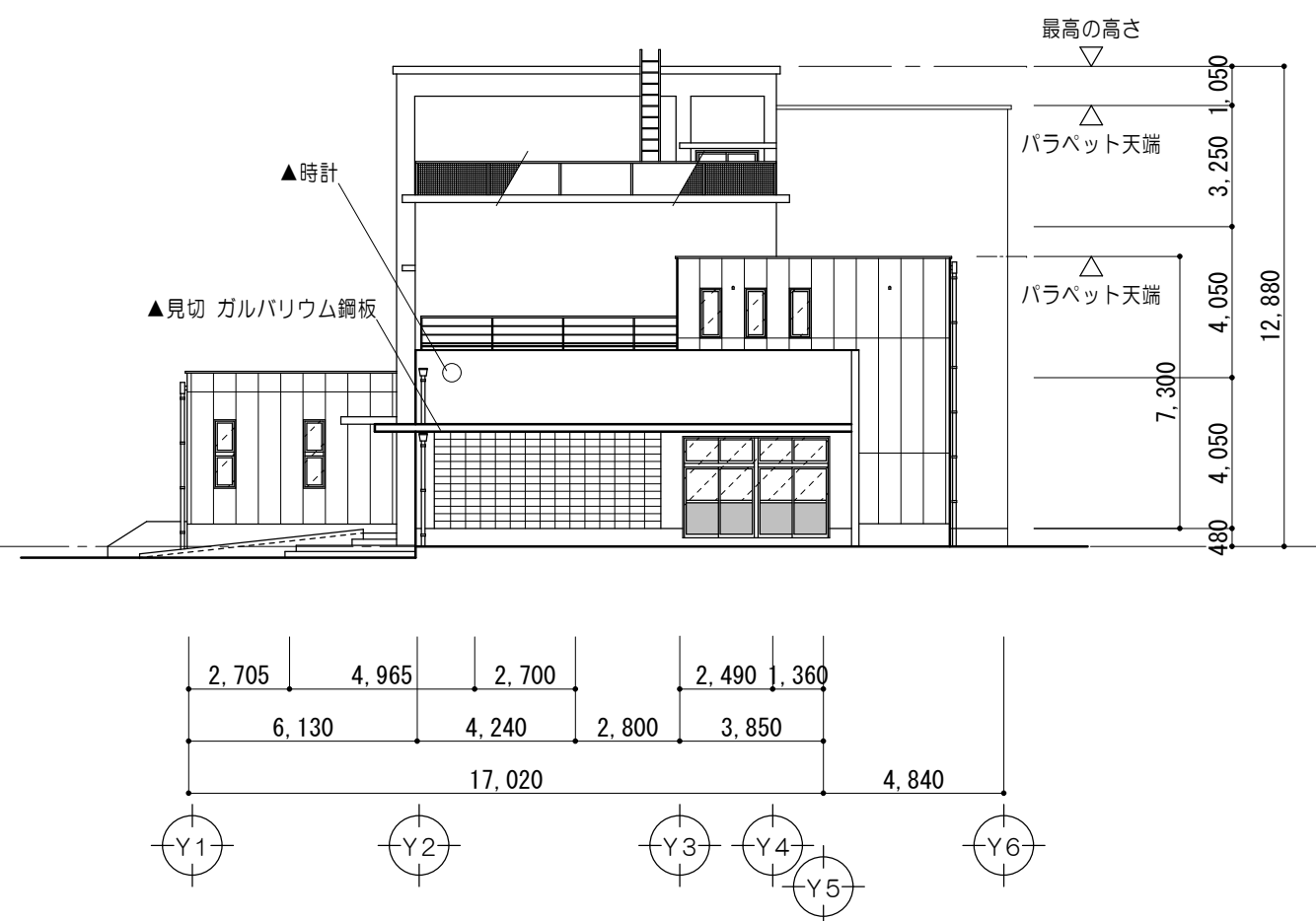


キープラン 1/700

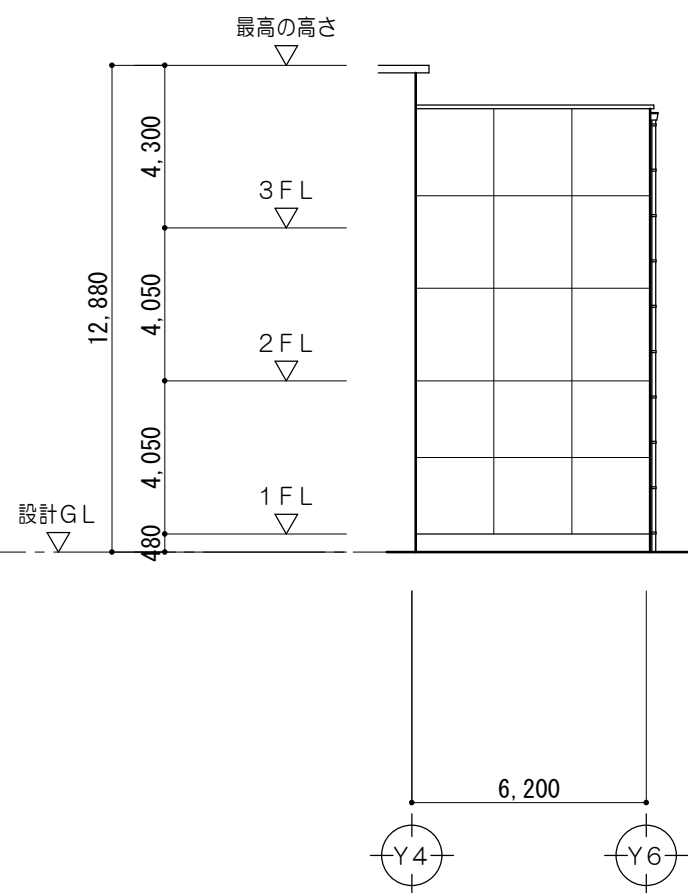
凡 例	
	着色部はアルミパネル又は 既設のままを示す
	カー工法にて改修建具を示す ※改修内容は別図参照
	ガラスフィルム張範囲を示す ※改修内容は建具表参照
	撤去範囲を示す ※改修内容は別図参照
	コンクリートカッター切を示す
	既設のままを示す
	取外し再取付を示す
	既設塗装を示す 下地調整RＢ種の上 DP塗



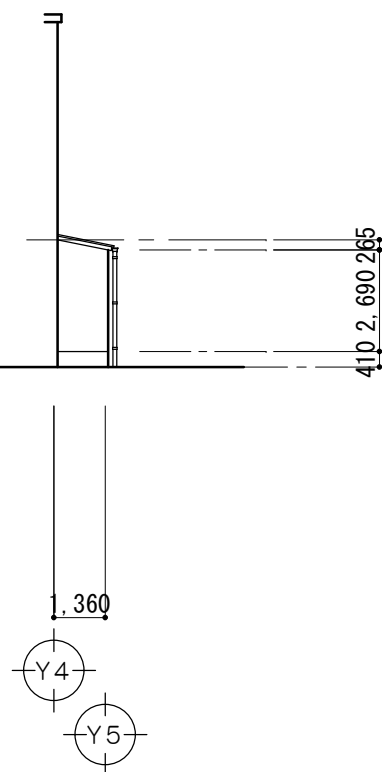
1 南面立面图 1/200



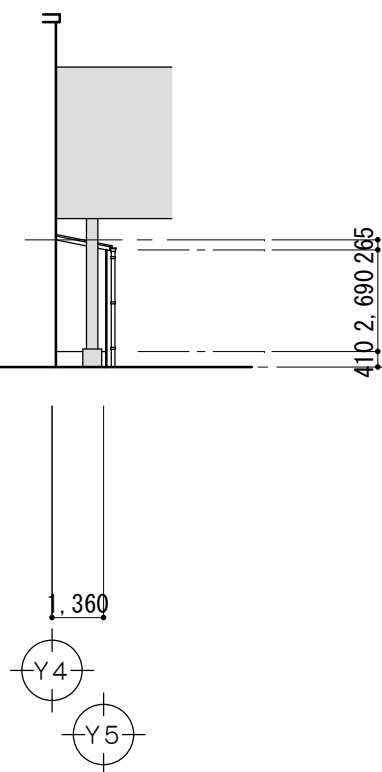
② 東面立面図 1/200



③ 東面立面図 1/200



4 東面立面図 1/200



5 東面立面図 1/200

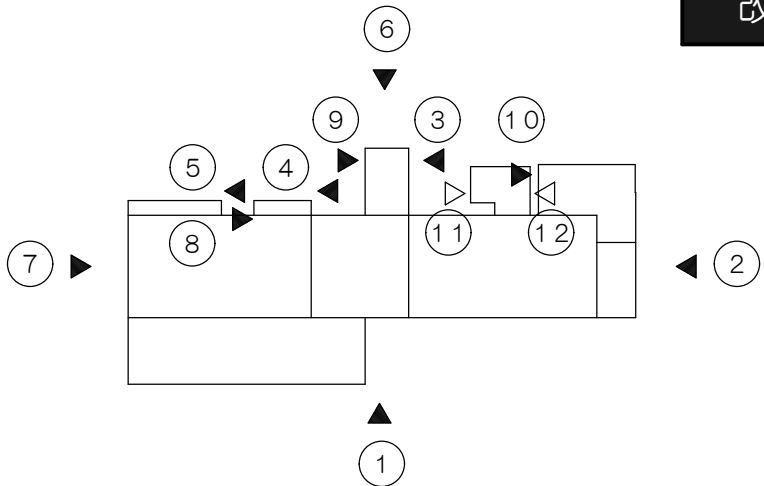
- ※外壁改修工事 特記事項
- ・サッシ回りのシーリング撤去の上、シーリング新設のこと。
(ＥＸＰ、Ｊ及び仮設倉庫取り合いのシール打替えについても含む)
 - ・外壁改修対象範囲内のアルミサッシ(パネル部を除く)は飛散防止フィルム貼とする。
(仕様は建具表参照のこと)
 - ・外壁自他部のシーリング撤去の上、シーリング(ＰＵ－２)新設のこと。
 - ・外壁に貼付設備配管は、養生し脱着しないものとする。
(※脱着を行う設備は、設備図参照のこと)
 - ・外廊照明器具、露出の銅製盤等については下地調整ＲＢの上ＤＰ塗とする。

- ※外壁改修工事 特記事項
- 【施工数量調査】
- ・調査項目：クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部
 - ・調査方法：打診、目視、クラックスケール等
 - ・報告書：2部（補修方法別に調査数量を集計すること）
- 【外壁クラック補修仕様】
- ・1mm以上のヒビ割れ補修：Uカットシーリング充填工法
 - ・1mm未満のヒビ割れ補修：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
 - ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法：（一般部）16本/m²、25m¹/穴、（見上部）25本/m²、25m¹/穴、（細幅部）5本/m²、25m¹/穴
 - ・欠損部改修工法：鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填

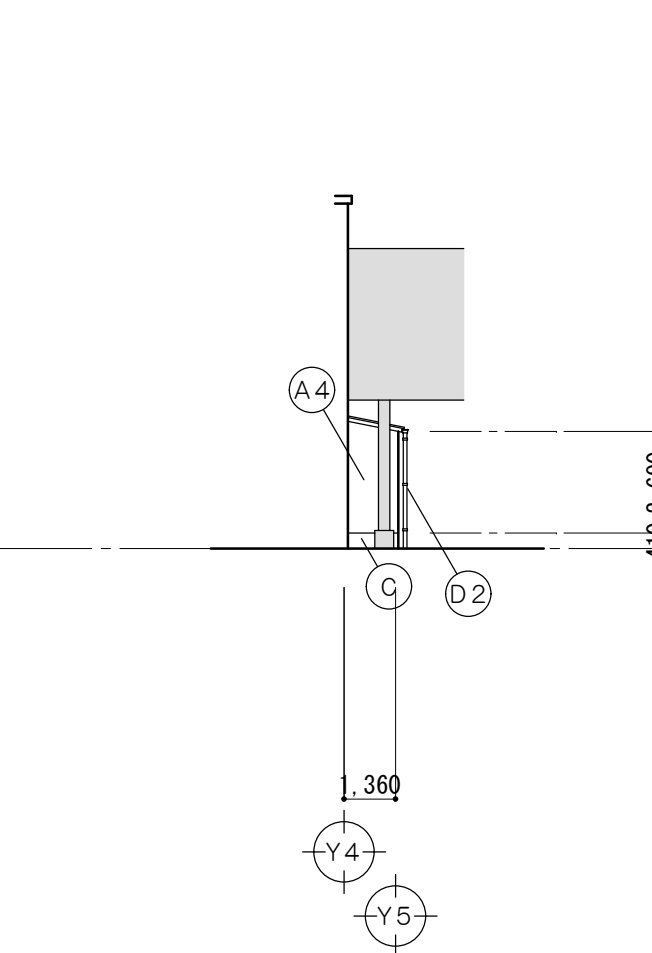
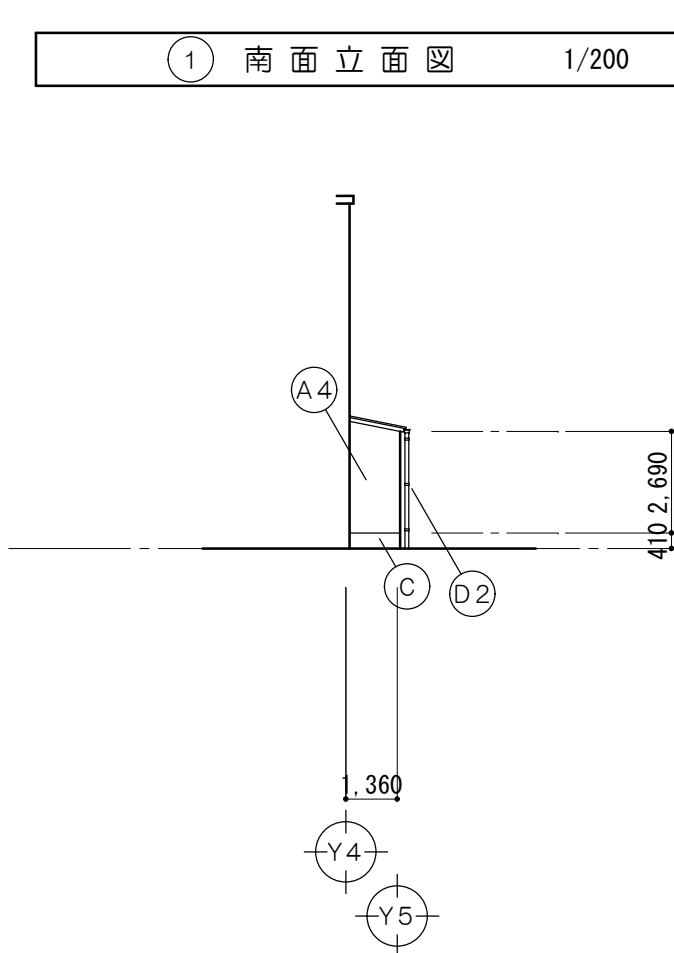
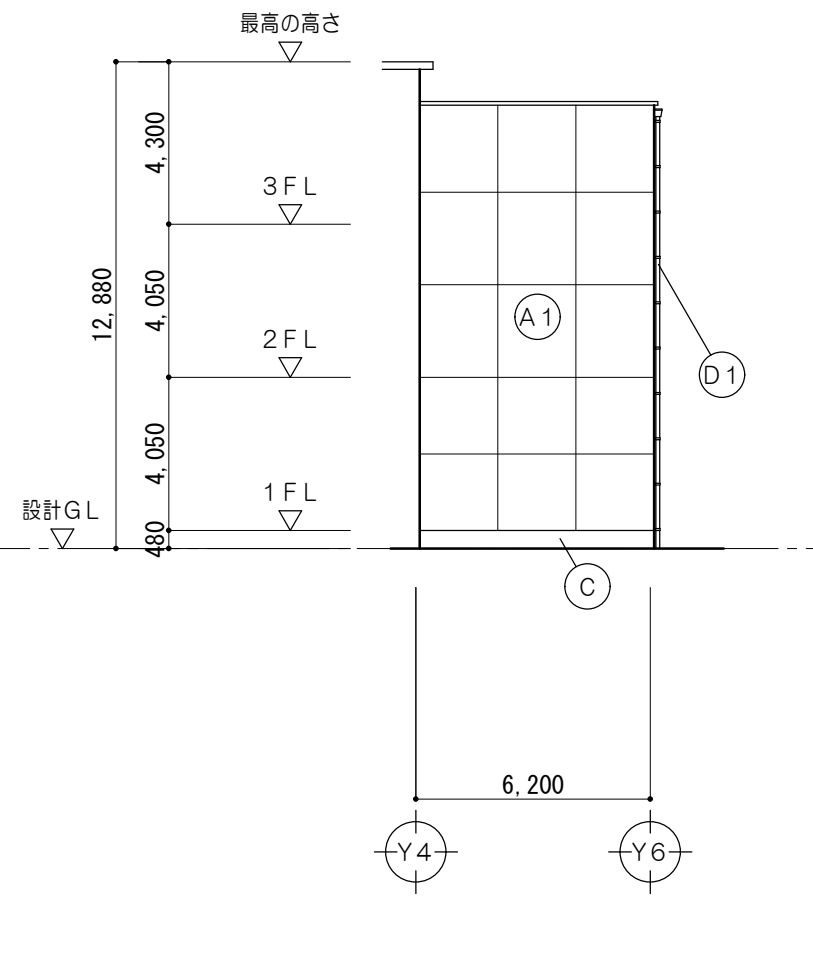
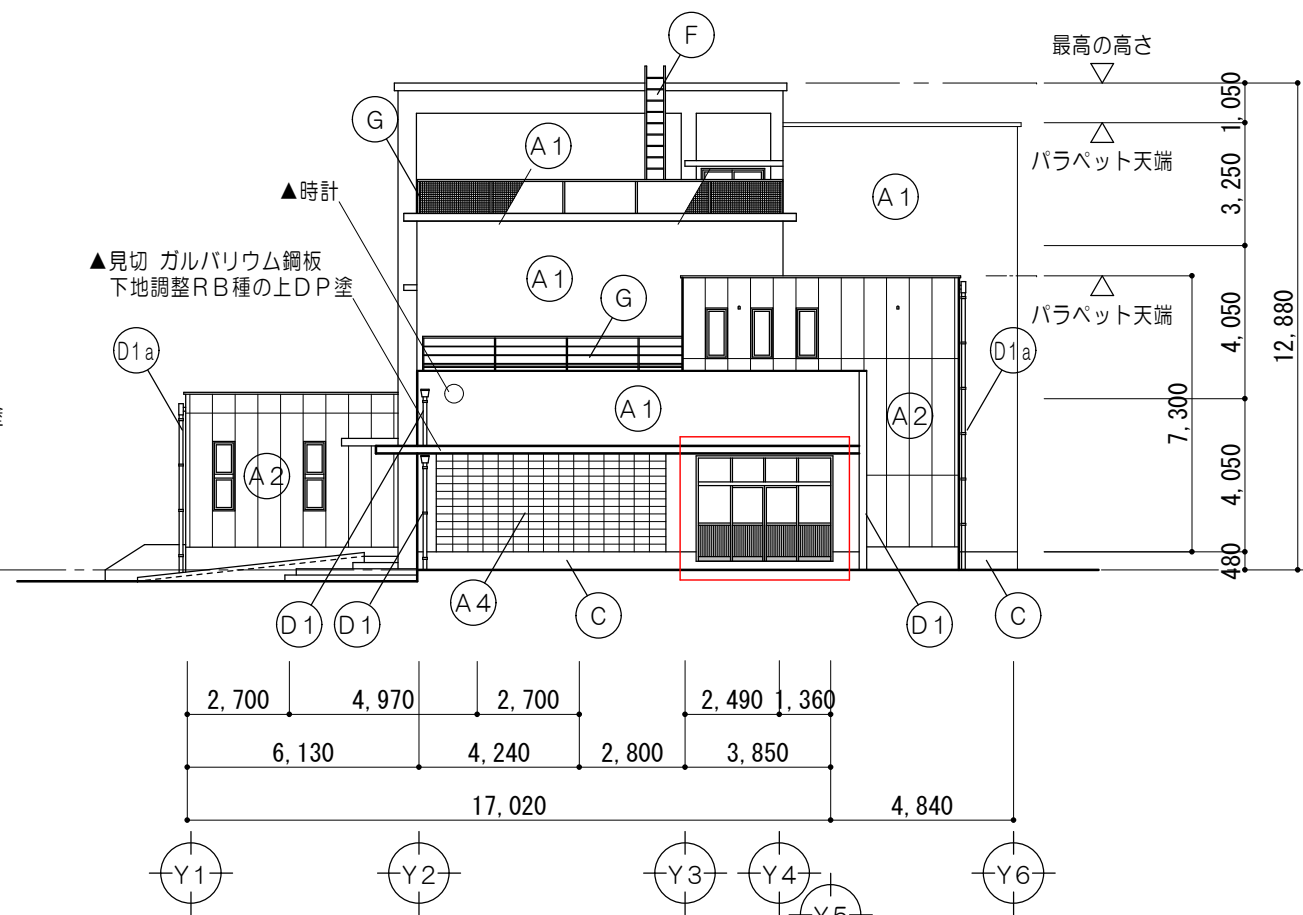
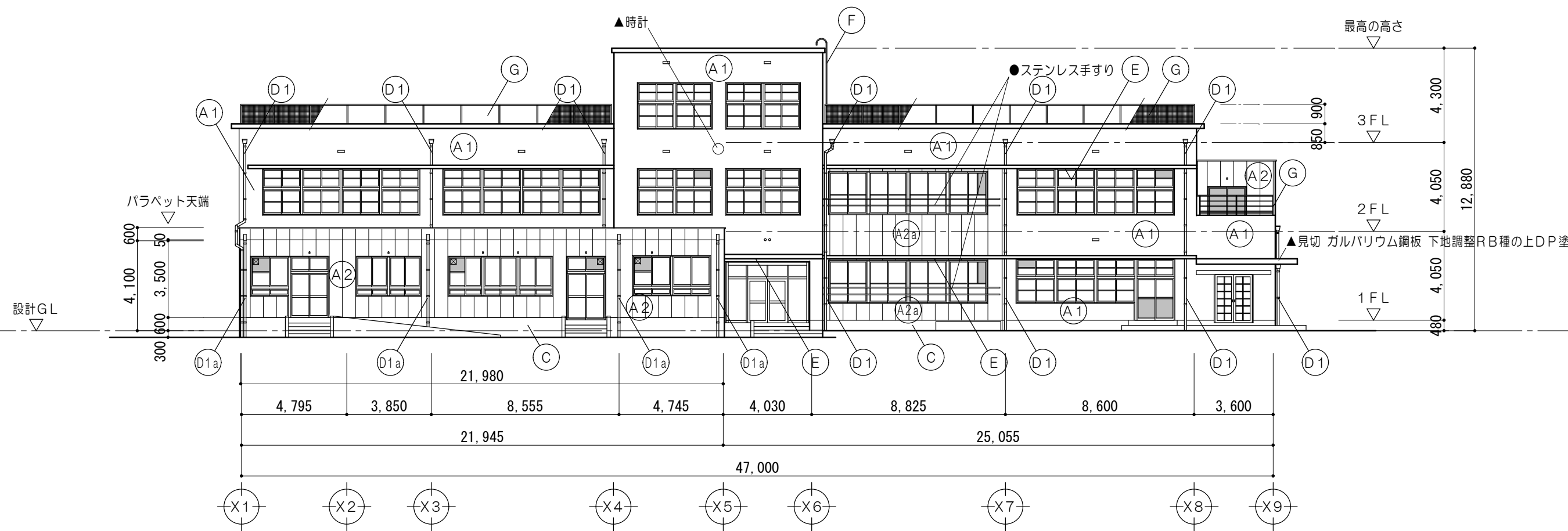
特 記 事 項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 MAINO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 図面	工事名称	設計日
				一級建築士 第360917号 前田 祐作	一級建築士 第378328号 加藤 早紀	一級建築士 第320204号 前野 将輝					縮 尺 A2:1/200 A3:1/282 ☒改修前 南面立面図、東面立面図	図面番号 A029 原図:A2

外壁工事仕様									
部位	記号	仕上	部位	記号	仕上	部位	記号	仕上	
外壁	改修前	吹付タイル（アスベスト含有）撤去 モルタル下地 既設のまま	屋根	改修前	カラー鉄板ア. 4 横葺 既設のまま	軒裏・庇裏	改修前	吹付タイル（アスベスト含有）	
	改修後	下地調整塗材（C-1） 複層塗材E吹付 剥離剤併用手工具ケレン工法		改修後	DP塗 下地調整RB種の上	改修後	改修後	下地調整塗材（C-1） 外装薄塗材E吹付 剥離剤併用手工具ケレン工法	
	改修前	吹付タイル（アスベスト含有）撤去 ALCファ1.0.0 既設のまま	根回り	改修前	モルタル金コテ押工 既設のまま	タラップ	改修前	塗装仕上	
	改修後	下地調整塗材（C-1） 複層塗材E吹付 剥離剤併用手工具ケレン工法		改修後	水洗い	改修後	改修後	下地調整RB種の上 DP塗	
	改修前	吹付タイル ALCファ1.0.0 既設のまま	樋	改修前	タテ樋：硬質塩化ビニル製φ100 DP塗（堀ミ金物φ1000）撤去 飾り枘：硬質塩化ビニル製 撤去	改修前	改修前	塗装仕上	
	改修後	下地調整塗材（C-1） 複層塗材E吹付 高圧水洗工法		改修後	タテ樋：硬質塩化ビニル製（カラー）φ100 飾り枘：硬質塩化ビニル製（カラー）φ100用 タテ樋：硬質塩化ビニル製φ100	改修後	改修後	下地調整RB種の上 DP塗	
	改修前	吹付タイル（アスベスト含有）撤去 モルタル下地 撤去		改修前	掃除口：硬質塩化ビニル製 撤去 タテ樋：硬質塩化ビニル製（カラー）φ100 掃除口：硬質塩化ビニル製（カラー）φ100用				
	改修後	モルタル金コテ押工 複層塗材E吹付 剥離剤併用手工具ケレン工法		改修後	軒 樋：硬質塩化ビニル製 W120 撤去 タテ樋：硬質塩化ビニル製 φ100 撤去				
	改修前	吹付タイル（アスベスト含有）撤去 CB構 モルタル下地 既設のまま		改修前	軒 樋：硬質塩化ビニル製 W120 撤去 タテ樋：硬質塩化ビニル製 φ100 撤去				
	改修後	下地調整塗材（C-1） 複層塗材E吹付 剥離剤併用手工具ケレン工法		改修後	タテ樋：硬質塩化ビニル製 φ100				

凡 例	
	既設のままを示す
●	既設のままを示す
▲	取外シ再取付を示す
◆	既設塗替を示す 下地調整RB種の上 DP塗



キープラン 1/700



※外壁改修工事 特記事項

- ・サッシ回りのシーリング撤去の上、シーリング新設のこと。
（EXP、J及び仮設倉庫取り合いのシール打替えについても含む）
- ・外壁改修対象範囲内のアルミサッシ（パネル部を除く）は飛散防止フィルム貼とする。
（仕様は建具表参照のこと）
- ・外壁目地部のシーリング撤去の上、シーリング（PU-2）新設のこと。
- ・外壁に取付く設備配管は、養生し脱着しないものとする。
（※脱着を行う設備は、設備図参照のこと）
- ・外部照明器具、露出の鋼製盤等については下地調整RBの上DP塗とする。

※外壁改修工事 特記事項

【施工数量調査】

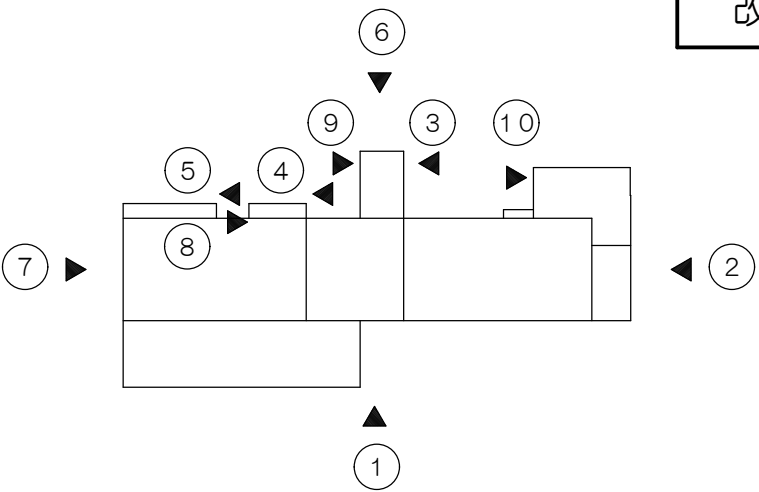
- ・調査項目：クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部
- ・調査方法：打診、目視、クラックスケール等
- ・報告書：2部（補修方法別に調査数量を集計すること）

【外壁クラック補修仕様】

- ・1mm以上のヒビ割れ補修：Uカットシール充填工法
- ・1mm未満のヒビ割れ補修：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
- ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法：（一般部）1.6本/㎡、2.5ml/穴、
（見上部）2.5本/㎡、2.5ml/穴、（細幅部）5本/㎡、2.5ml/穴
- ・欠損部改修工法：鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填

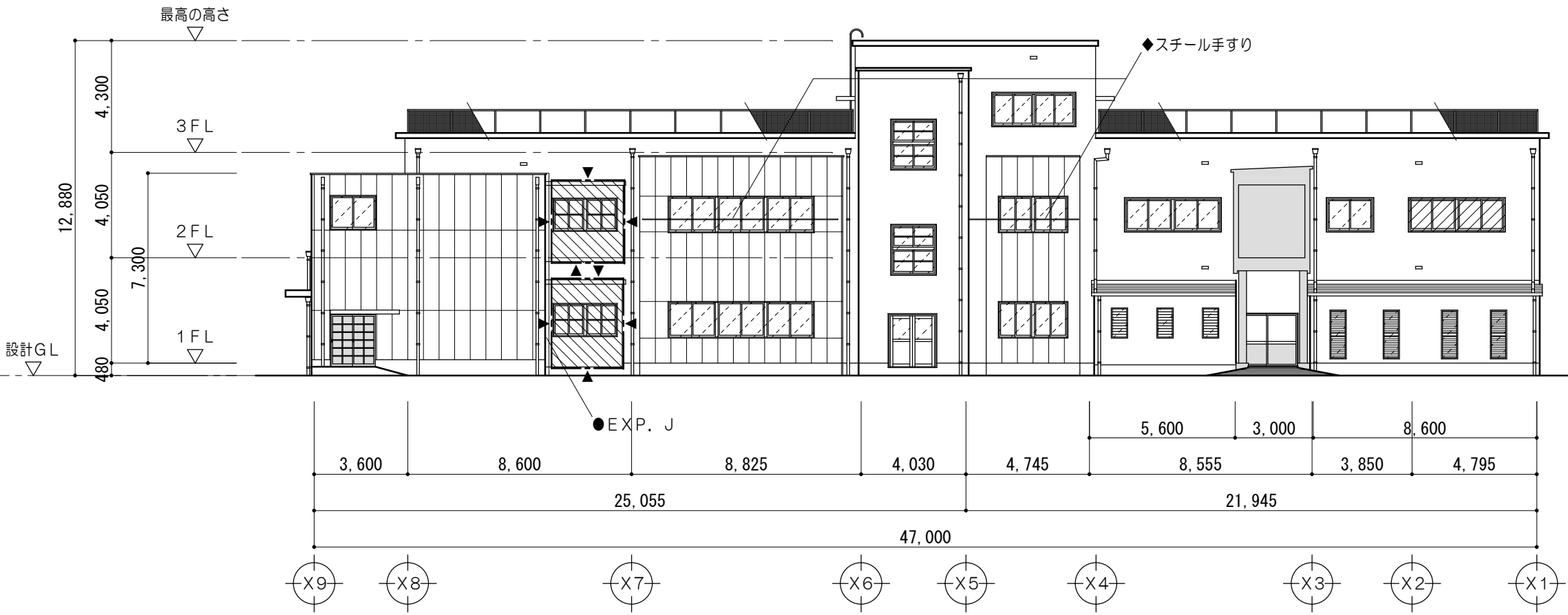
特 記 事 項				一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 MAINO 株 式 会 社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 縮図	工事名称		設計日
	津市立明合小学校校長寿命化改修工事													
	図面名称		縮 尺									図面番号		
	改修後 南面立面図、東面立面図		A2:1/200 A3:1/282										A030 原図:A2	

改修前

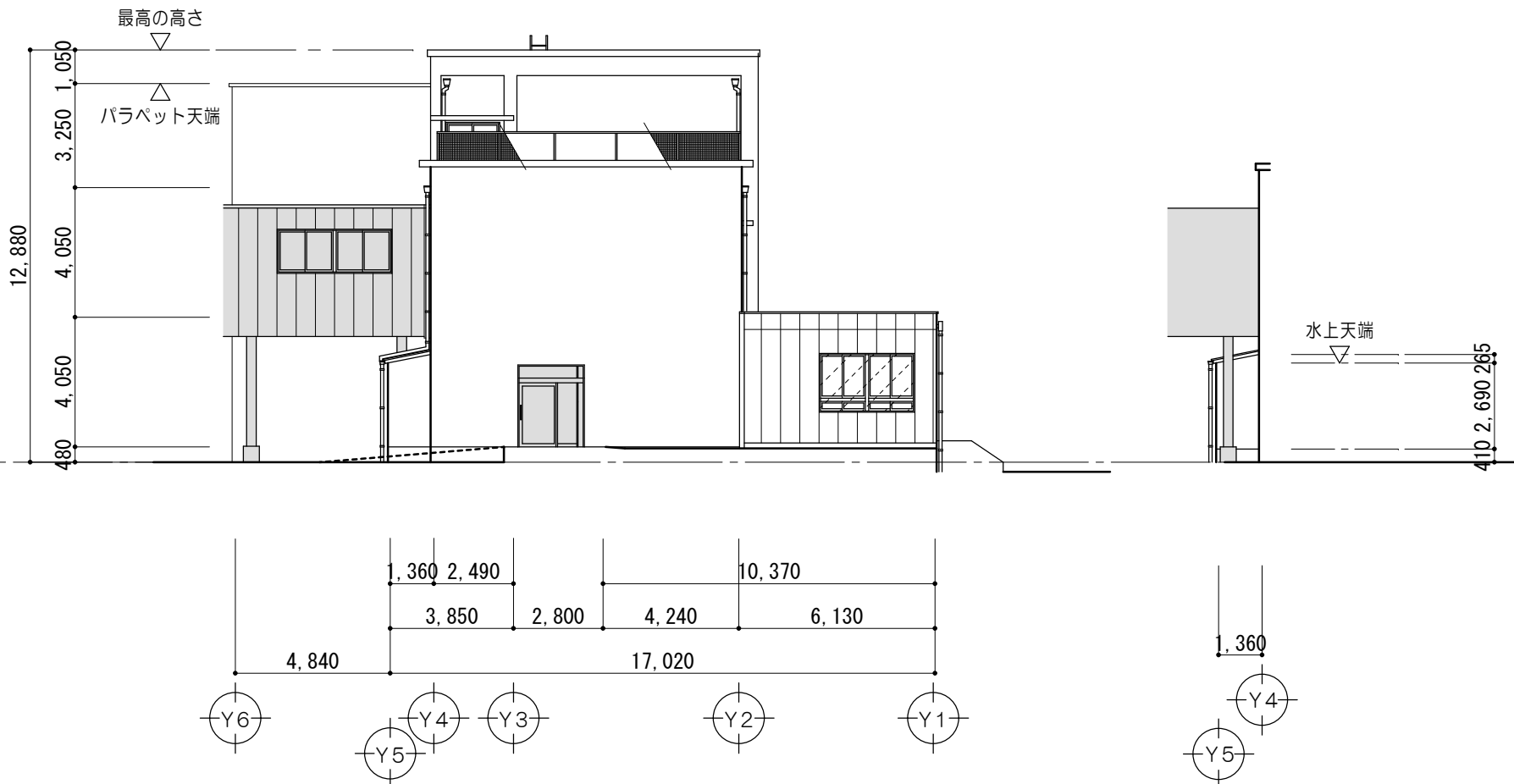


キープラン 1/700

凡 例	
	着色部はアルミパネル又は 既設のままを示す
	カー工法にて改修建具を示す ※改修内容は別図参照
	ガラスフィルム張範囲を示す ※改修内容は建具表参照
	撤去範囲を示す ※改修内容は別図参照
	コンクリートカッター切を示す
	既設のままを示す
	取外し再取付を示す
	既設塗替を示す 下地調整RＢ檜の上 DP塗

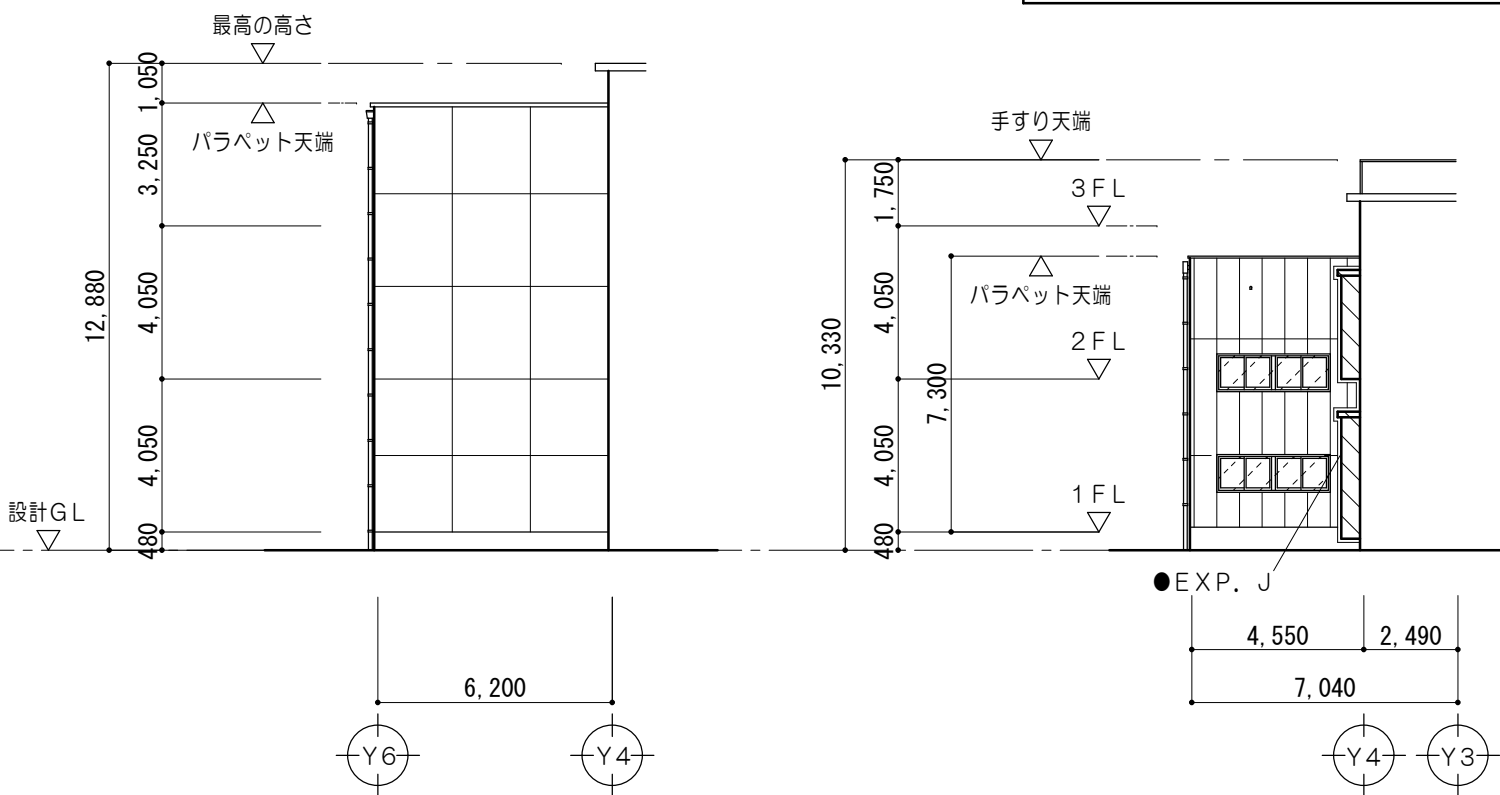


6 北面立面图 1/200



7 西面立面图 1/200

8 西面立面图 1/200



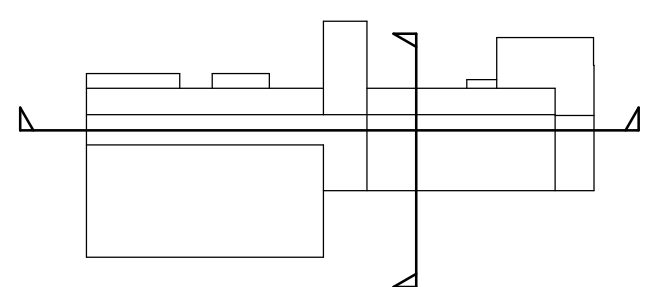
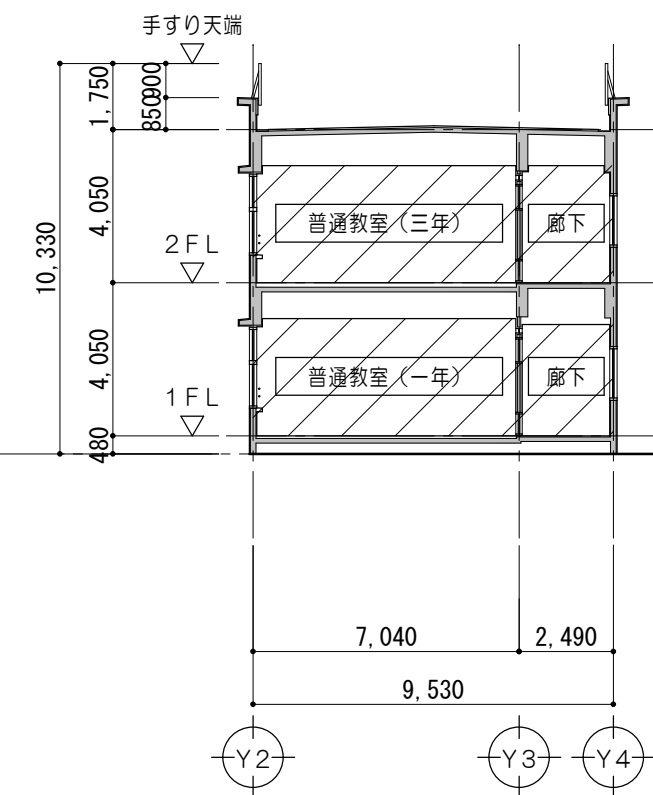
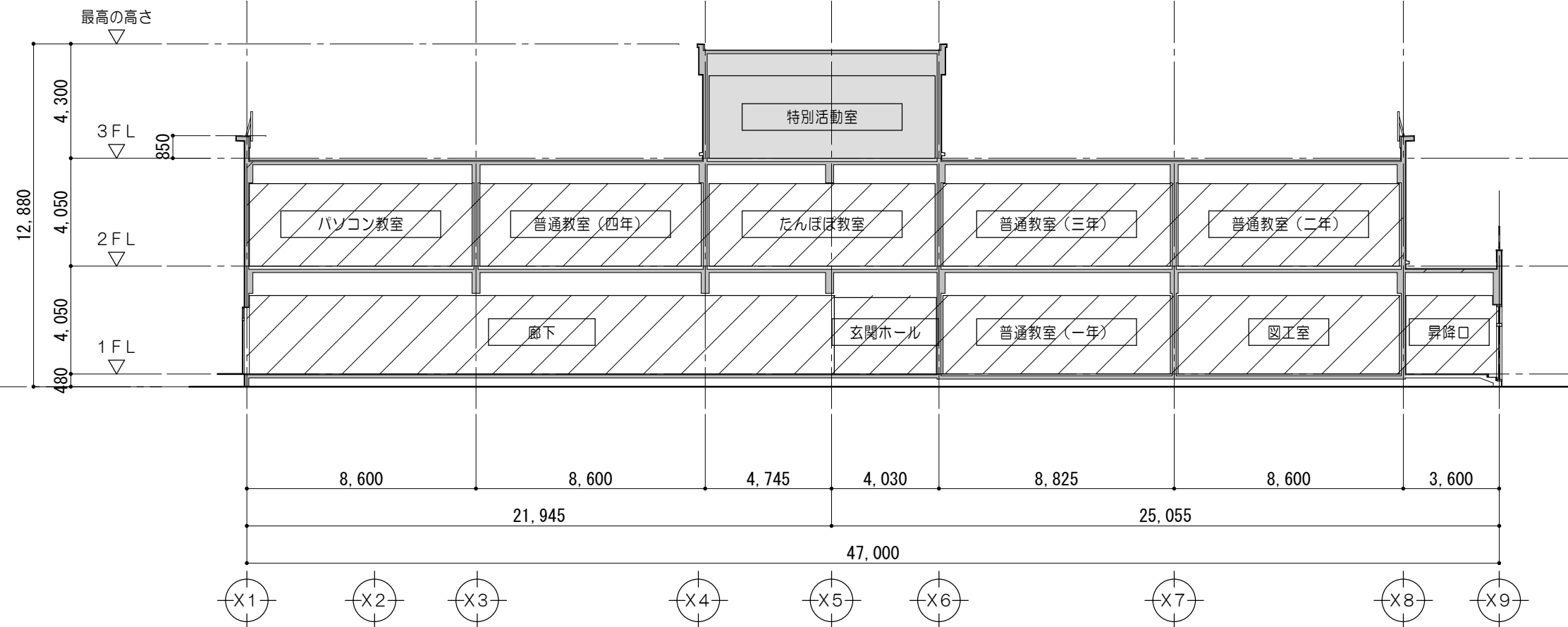
9 西面立面图 1/200

10 西面立面图 1/200

- ※ 外壁改修工事 特記事項
- サッシ回りのシーリング撤去の上、シーリング新設のこと。
(ＥＸＰ、Ｊ及び板設倉庫取付け回りのシール打替えについても含む)
 - 外壁改修対象範囲内のアルミサッシ(パネル部を除く)は飛散防止フィルム貼とする。
(仕様は建具表参照のこと)
 - 外壁目地のシーリング撤去の上、シーリング(ＰＵＥ－２)新設のこと。
 - 外壁に取付け設備配管は、養生し脱着しないものとする。
(※脱着を行う設備は、設備図参照のこと)
 - 外部照明器具、露出の銅製盤等については下地調整ＲＢの上ＤＰ塗とする。

- ※外壁改修工事 特記事項
- 【施工数量調査】
- 調査項目：クラック、剥がれ及び剥離部、浮き部
 - 調査方法：打診、目視、クラックスケール等
 - 報告書：2部（補修方法別に調査数量を集計すること）
- 【外壁クラック補修仕様】
- ・1mm以上のヒビ割れ補修：Uカットシール充填工法
 - ・1mm未満のヒビ割れ補修：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
 - ・アスカービンコンクリート部分エポキシ樹脂注入工法：（一般部）1.6本/㎡、2.5㎡1/穴、（見上部）2.5本/㎡、2.5㎡1/穴、（細幅部）5本/㎡、2.5㎡1/穴
 - ・欠損部改修工法：鉄筋防錆処理の上、樹脂モルタル充填

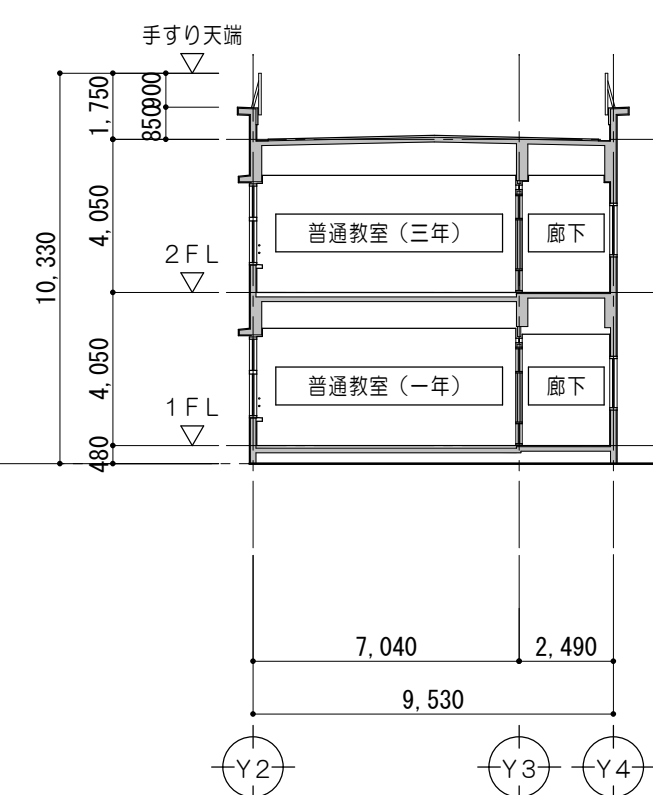
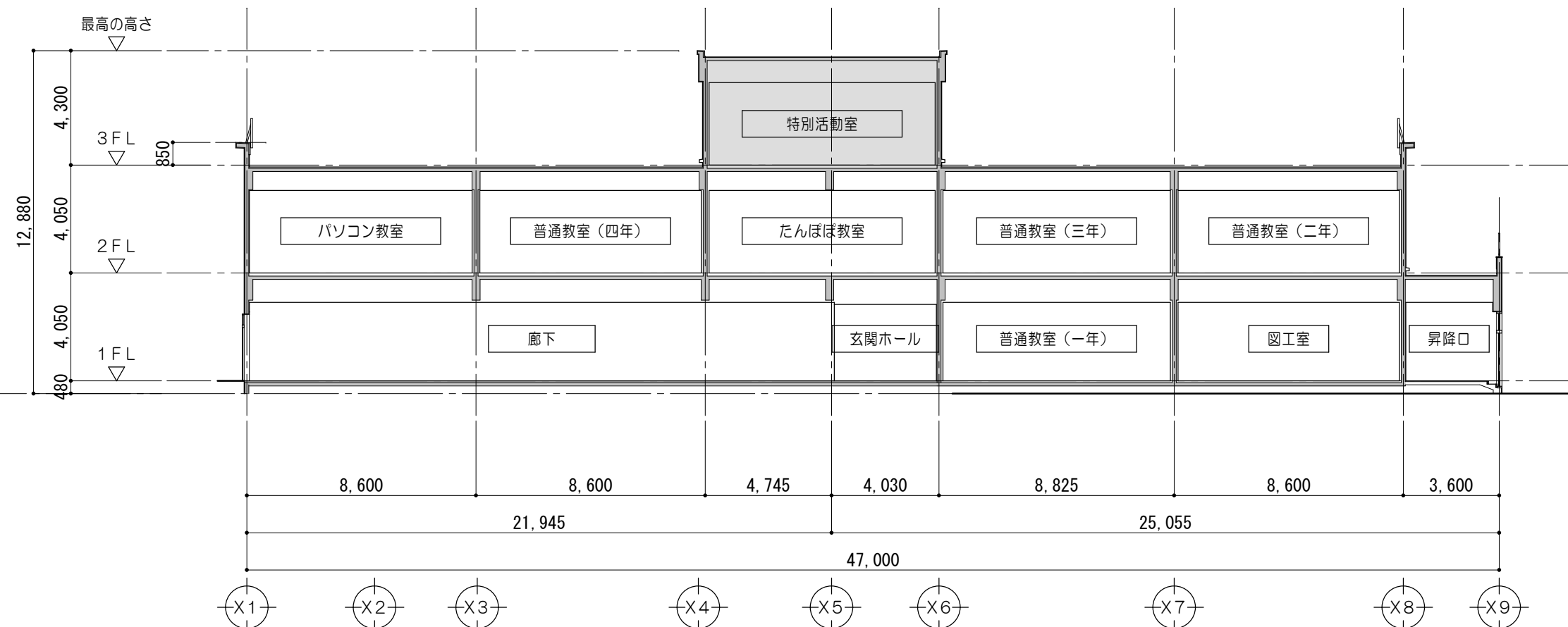
特 記 事 項	MAENO 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号			代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
	検図	図面名称 改修前 北面立面図、西面立面図	縮 尺 A2: 1/200 A3: 1/282	図面番号 A031 原図: A2								



キープラン 1/700

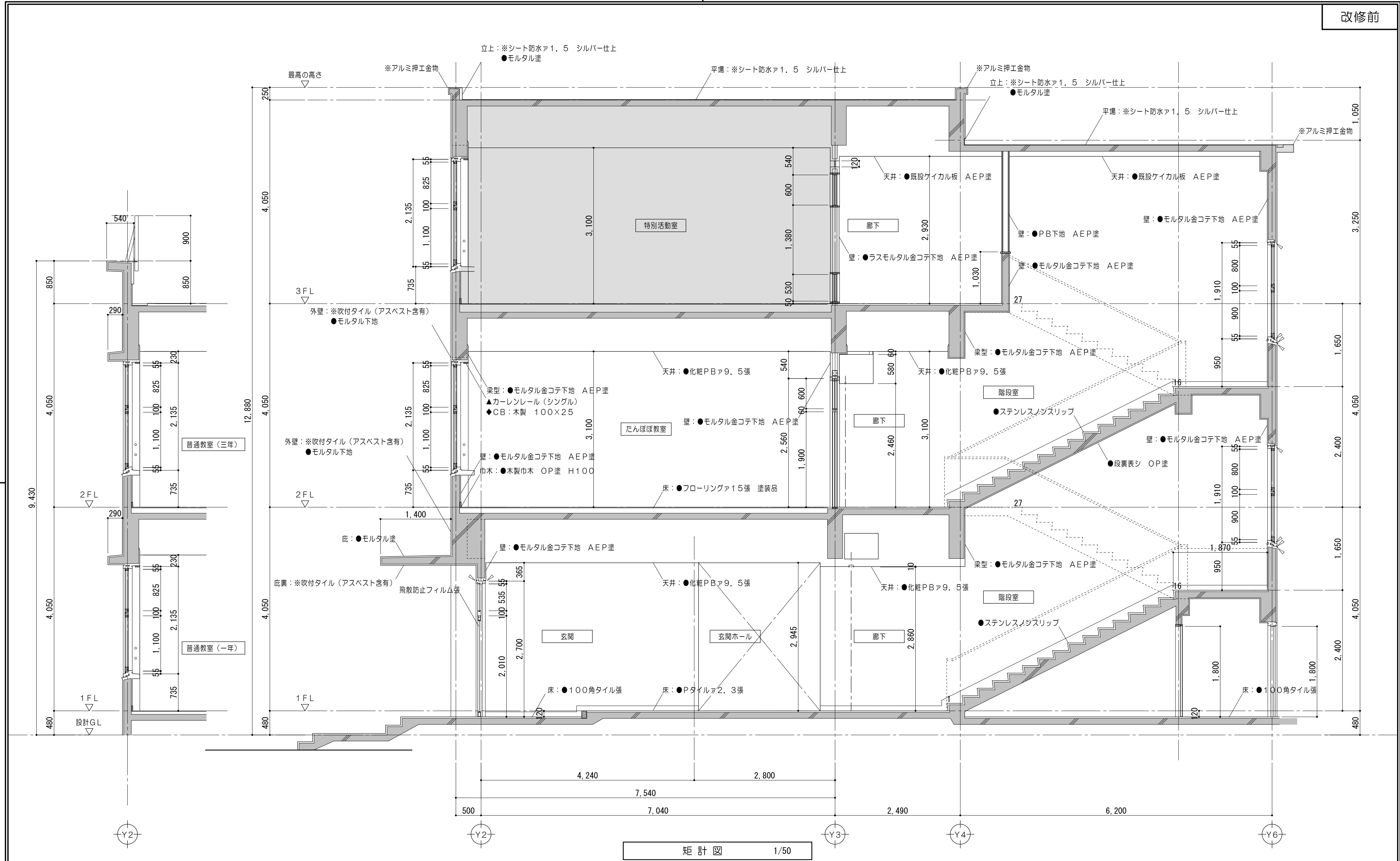
凡 例	
	既設のままを示す
	改修範囲を示す

断 面 図 1/200



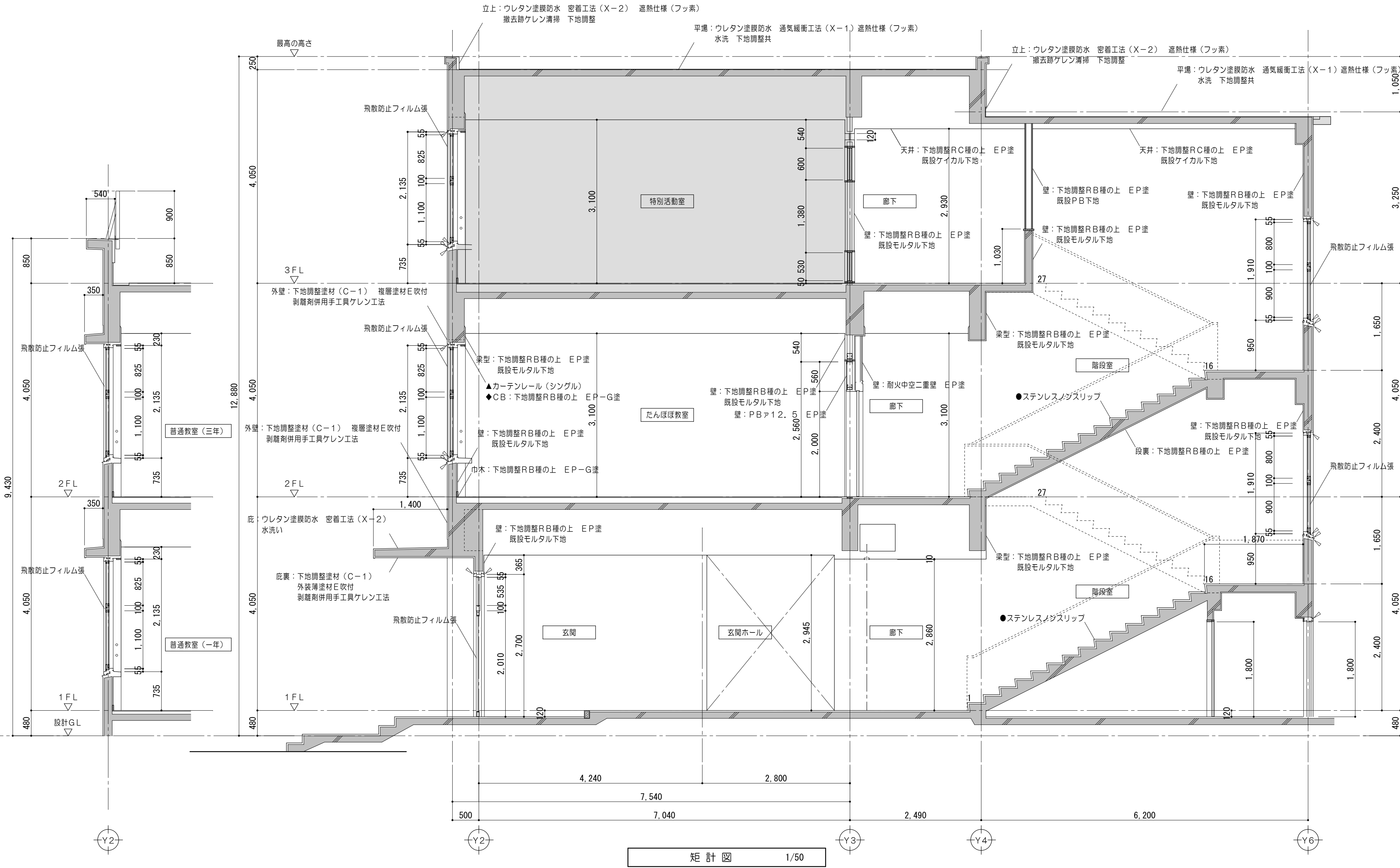
凡 例	
	既設のままを示す

断 面 図 1/200



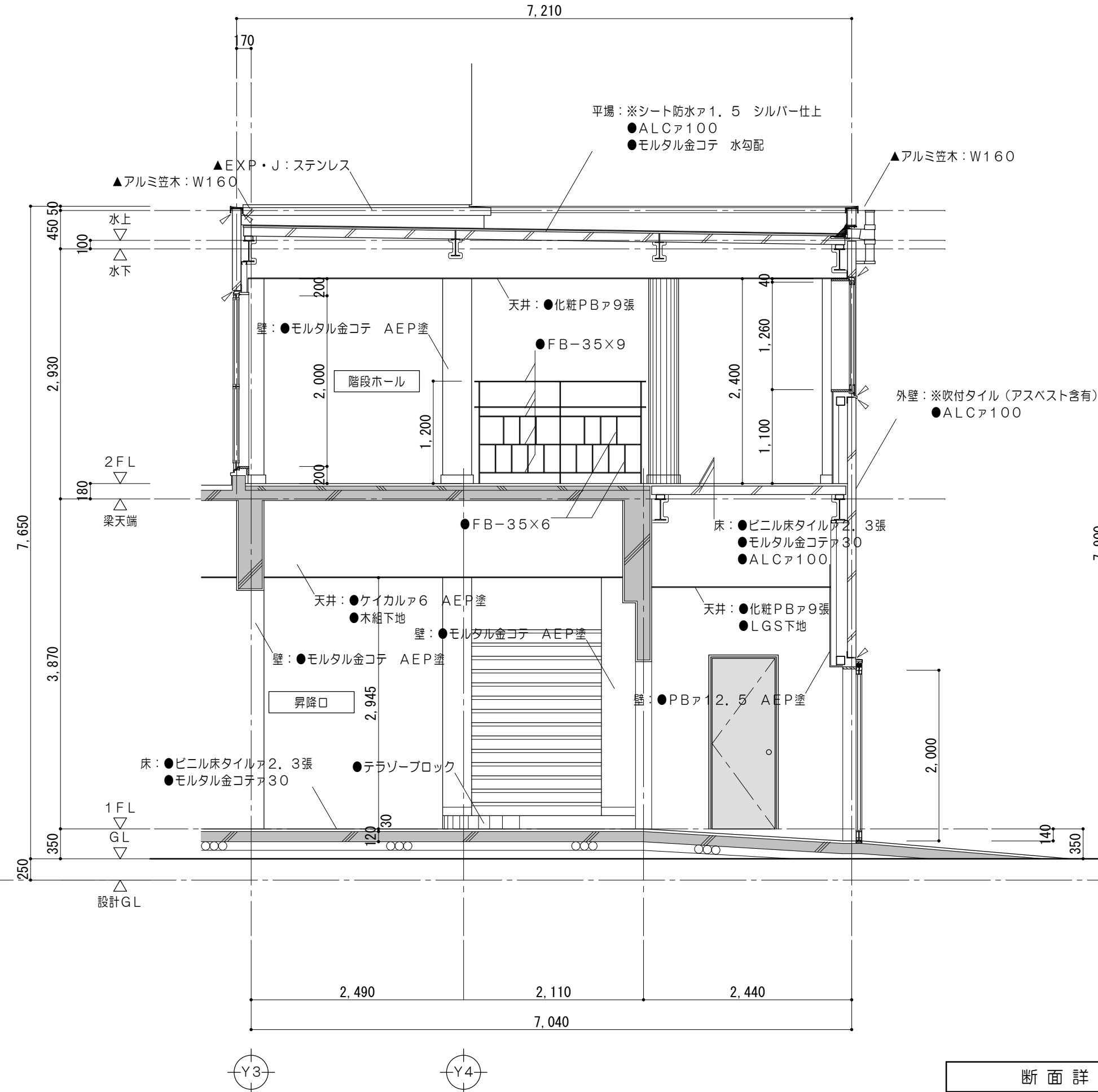
凡例 (工事内容)									
	既設のままを示す		コンクリート壁撤去を示す (建具共)		仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す		コンクリートカッター切を示す		取外シ再取付を示す
	既設コンクリート躯体を示す		既設間仕切壁撤去を示す (建具共)		仕上材撤去範囲を示す		モルタルカッター切を示す		既設のままを示す
	既設CB積を示す				仕上・下地共撤去を示す	※	解体撤去を示す		既設塗替を示す

特 記 事 項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 検図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事		設計日
										図面名称 改修前 矩計図	縮尺 A2:1/50 A3:1/71	
											図面番号 A034 原図:A2	

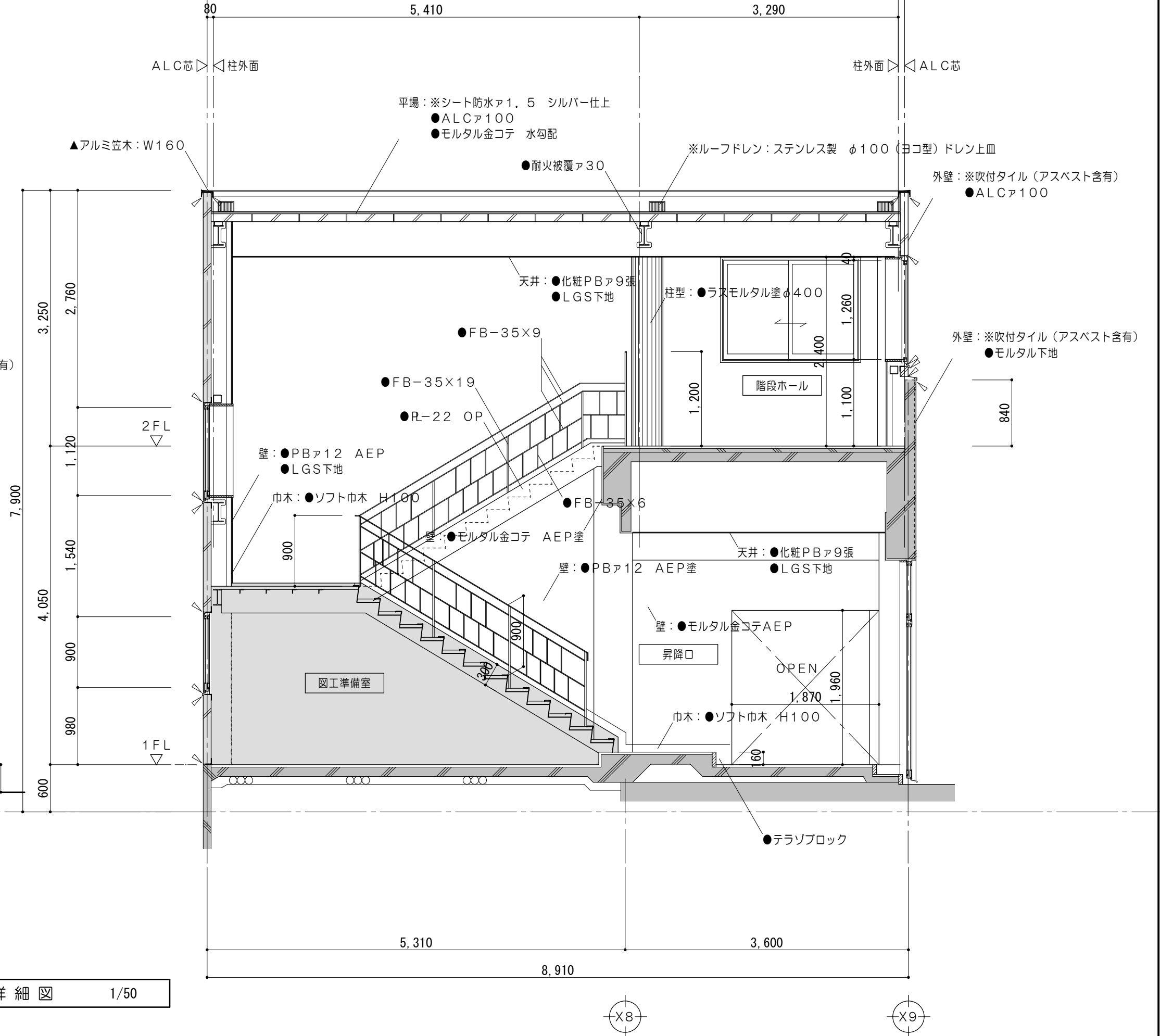


凡例（工事内容）			
	既設のまます	▲	取外し再取付を示す
	既設コンクリート躯体を示す	●	既設のまます
	既設C.B.構を示す	◆	既設塗替を示す

特 記 事 項						MAENO 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号		代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校校長寿命化改修工事	設計日
													検図	図面名称 改修後 矩計図	縮 尺 A2:1/50 A3:1/71	図面番号 A035 原図:A2	

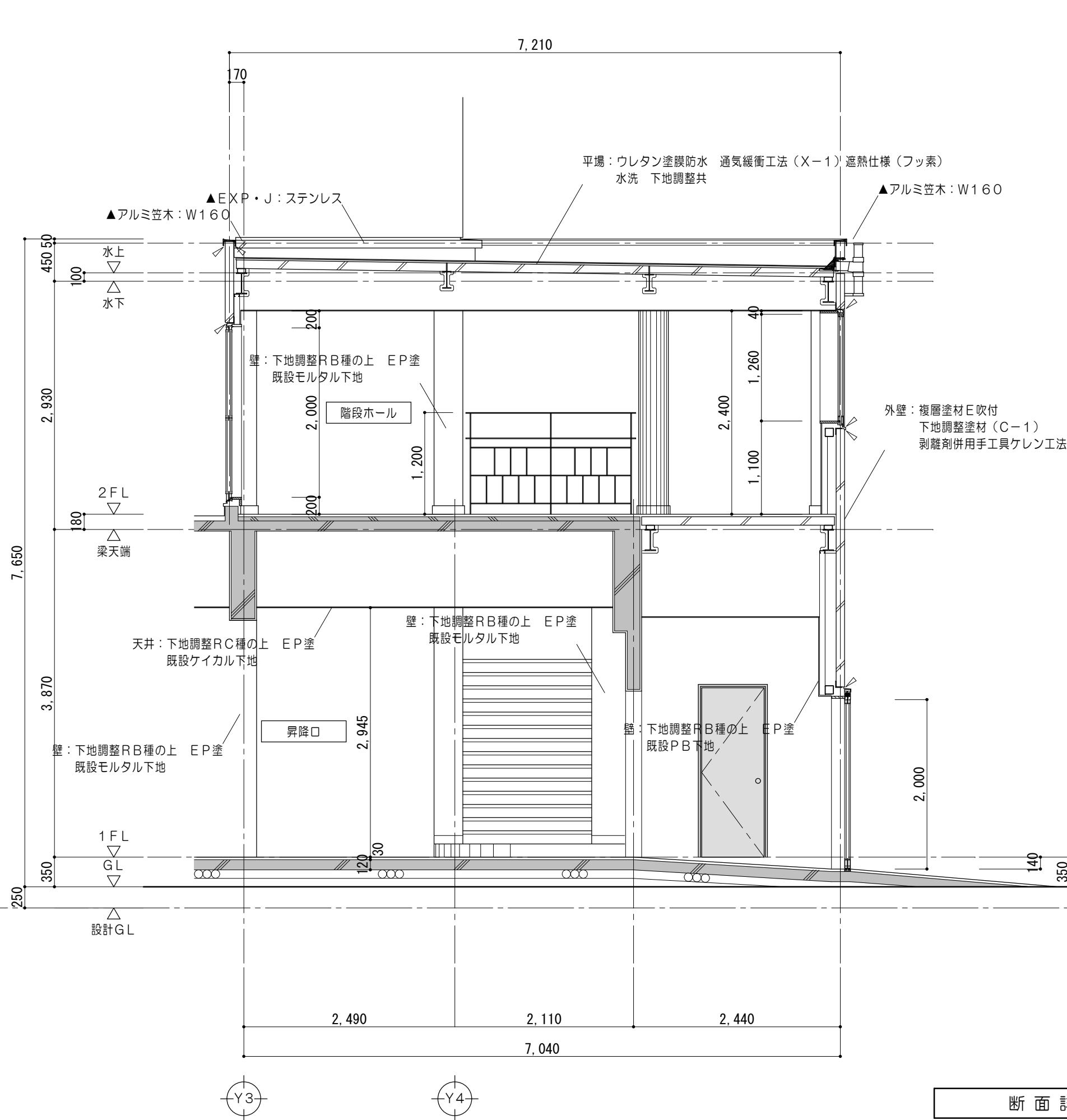


断面詳細図 1/50

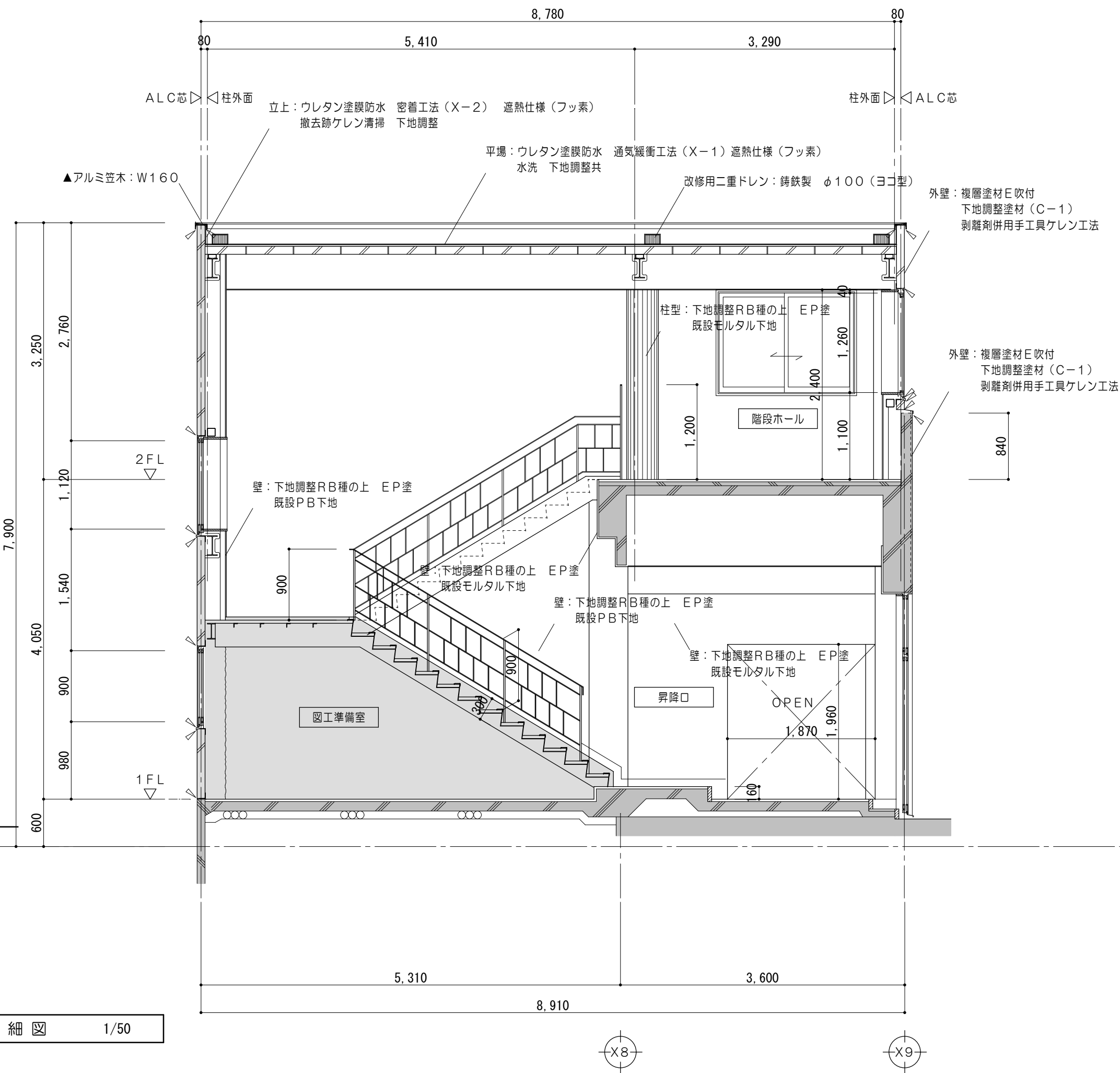


凡例（工事内容）									
	既設のままを示す		コンクリート壁撤去を示す （建具共）		仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す		コンクリートカッター切を示す	▲	取外シ再取付を示す
	既設コンクリート躯体を示す		既設間仕切り壁撤去を示す （建具共）		仕上材撤去範囲を示す		モルタルカッター切を示す	●	既設のままを示す
	既設ＣＢ構を示す				仕上・下地共撤去を示す	※	解体撤去を示す	◆	既設塗替を示す

特 記 事 項		MAENO 株式会社 前野建築設計 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	津市立明合小学校長寿命化改修工事		設計日
			第360917号	第378328号	第320204号				検図	図面名称	縮 尺	図面番号	
			前田 祐作	加藤 早紀	前野 将輝				改修前	階段詳細図	A2: 1/50	A036	
											A3: 1/71	原図: A2	



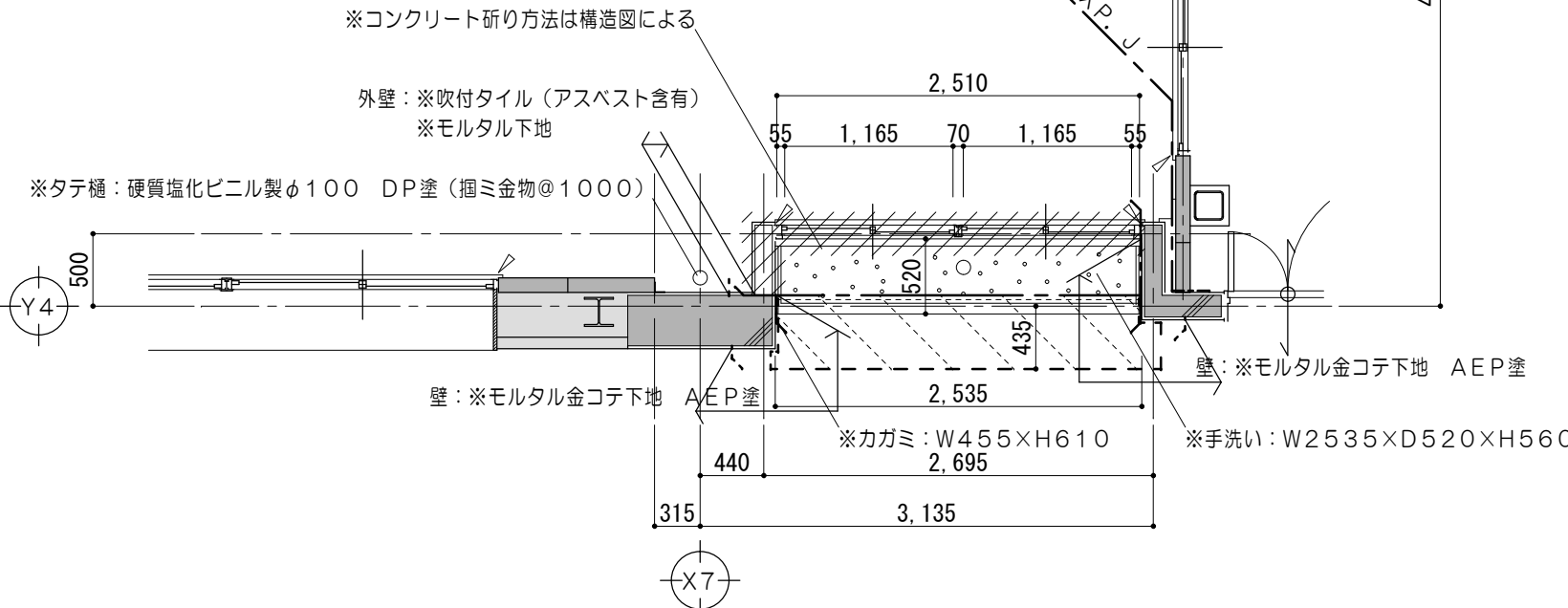
断面詳細図 1/50



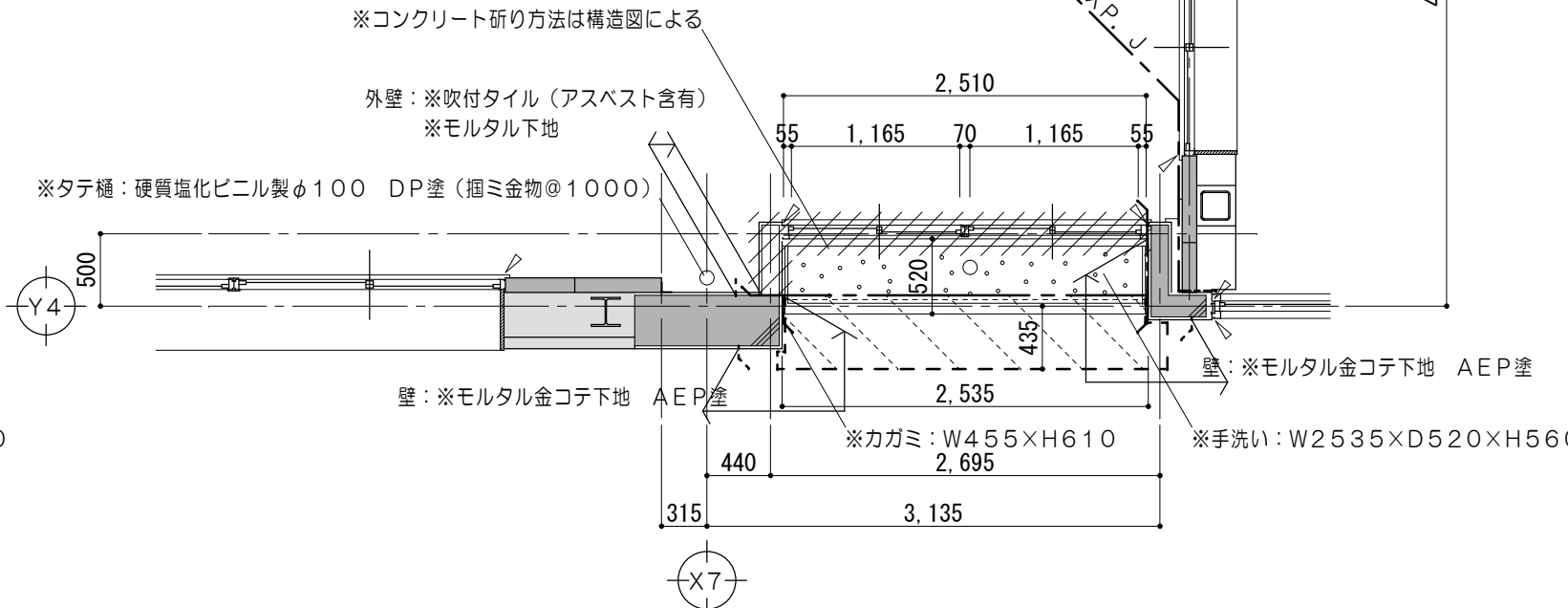
凡例 (工事内容)			
	既設のままを示す	▲	取外し再取付を示す
	既設コンクリート躯体を示す	●	既設のままを示す
	既設C.B.構を示す	◆	既設塗替を示す

特 記 事 項					MAENO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号		代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
						一級建築士	一級建築士	一級建築士	一級建築士		津市立明合小学校校長寿命化改修工事					
						第360917号	第378328号	第320204号		検図	図面名称	縮 尺		図面番号		
						前田 祐作	加藤 早妃	前野 将輝			改修後 階段詳細図	A2:1/50 A3:1/71		A037 原図:A2		

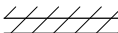
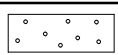
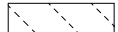
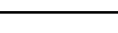
改修前



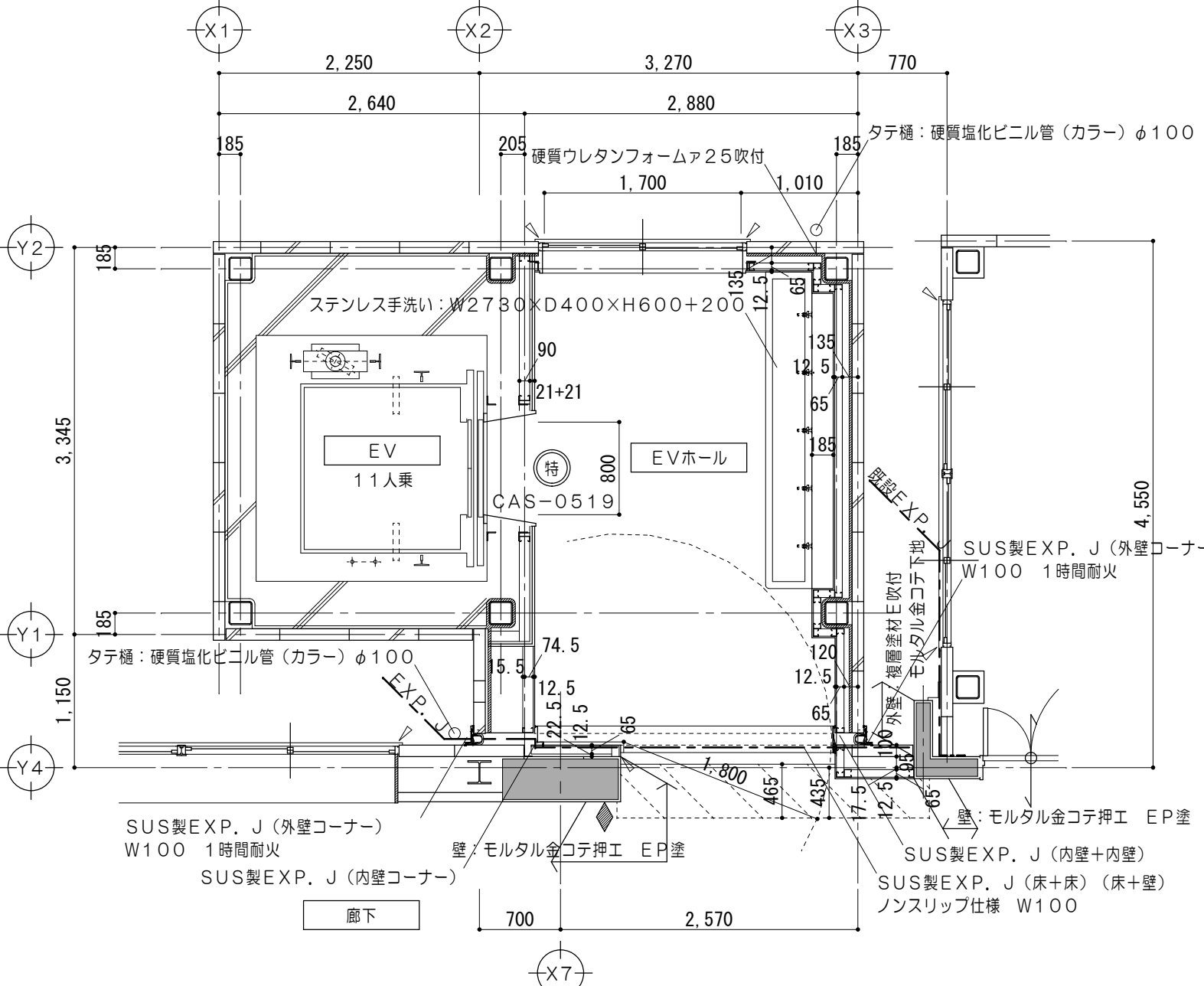
1 階 平 面 詳 細 図 1/50



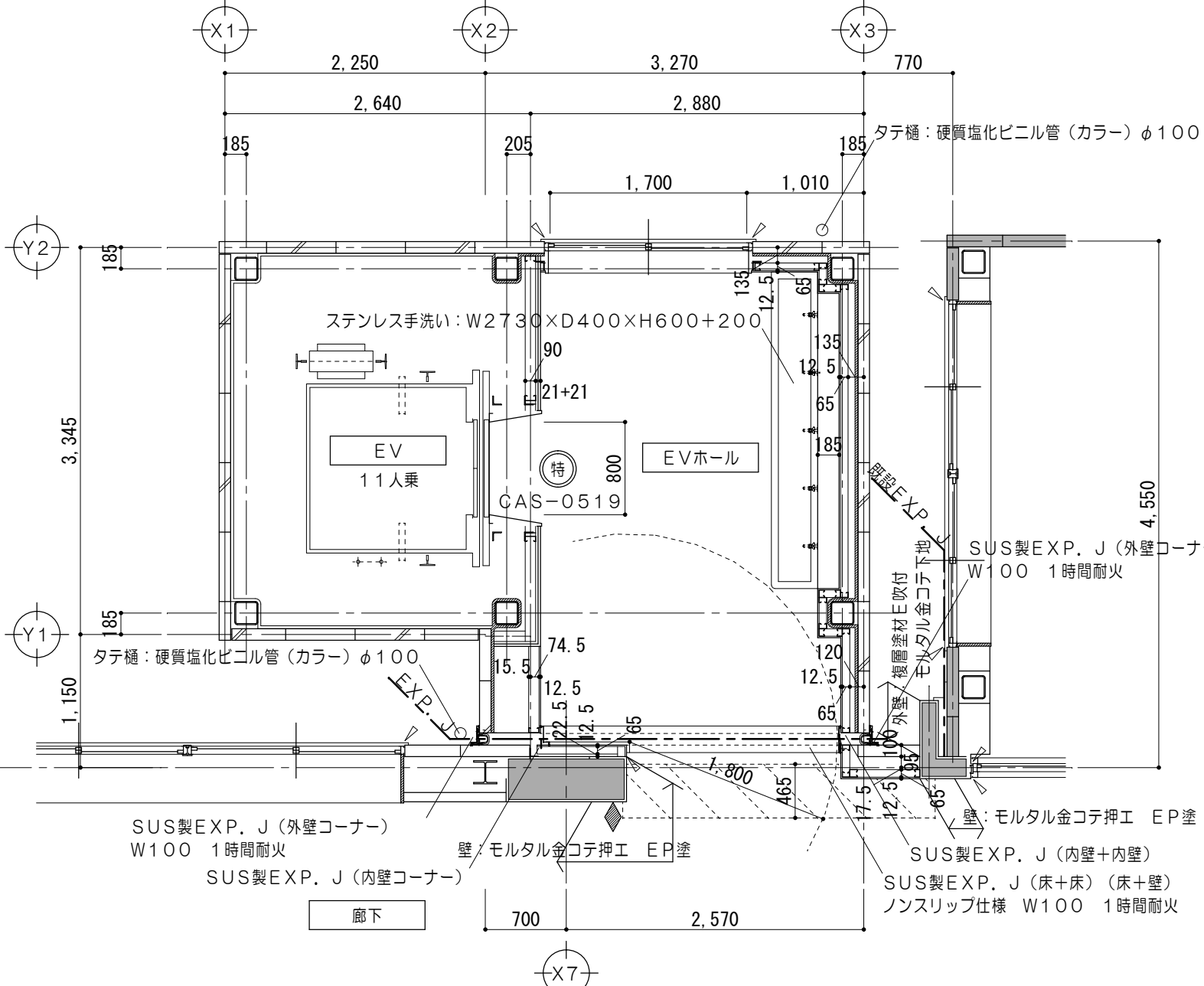
2 階 平 面 詳 細 図 1/50

凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設C/B積を示す
	コンクリート壁撤去を示す （建具共）
	既設間仕切壁撤去を示す （建具共）
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
	ステンレス柵、ステンレスレールを示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
（特）	特定防火設備を示す （遮煙性能なし）
（防）	既設防火設備を示す
±0	特記なき場合F.L.±0を示す

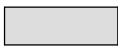
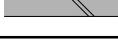
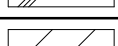
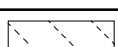
改修後



1 階 平 面 詳 細 図 1/50



2 階 平 面 詳 細 図 1/50

凡例 （工事内容）	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ＡＬＣ壁を示す
	既設ＣＢ構を示す
	仕上・下地・コンクリート新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	シーリングを示す
	ＥＶピクトサイン位置を示す 突出シ １５０×１５０
	ステンレス柵樫、ステンレスレール新設を示す
	取外シ再取付を示す
	既設のままを示す
	既設塗替を示す
	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火設備を示す
	特記なき場合ＦＬ±０を示す

特
記
事
項

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
 株式会社 **前野建築設計**
 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当
-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------	------

法適合確認

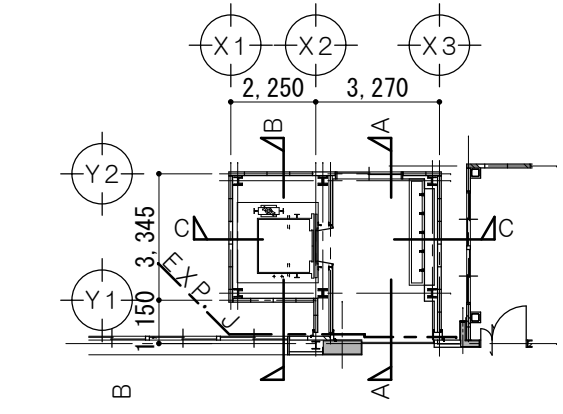
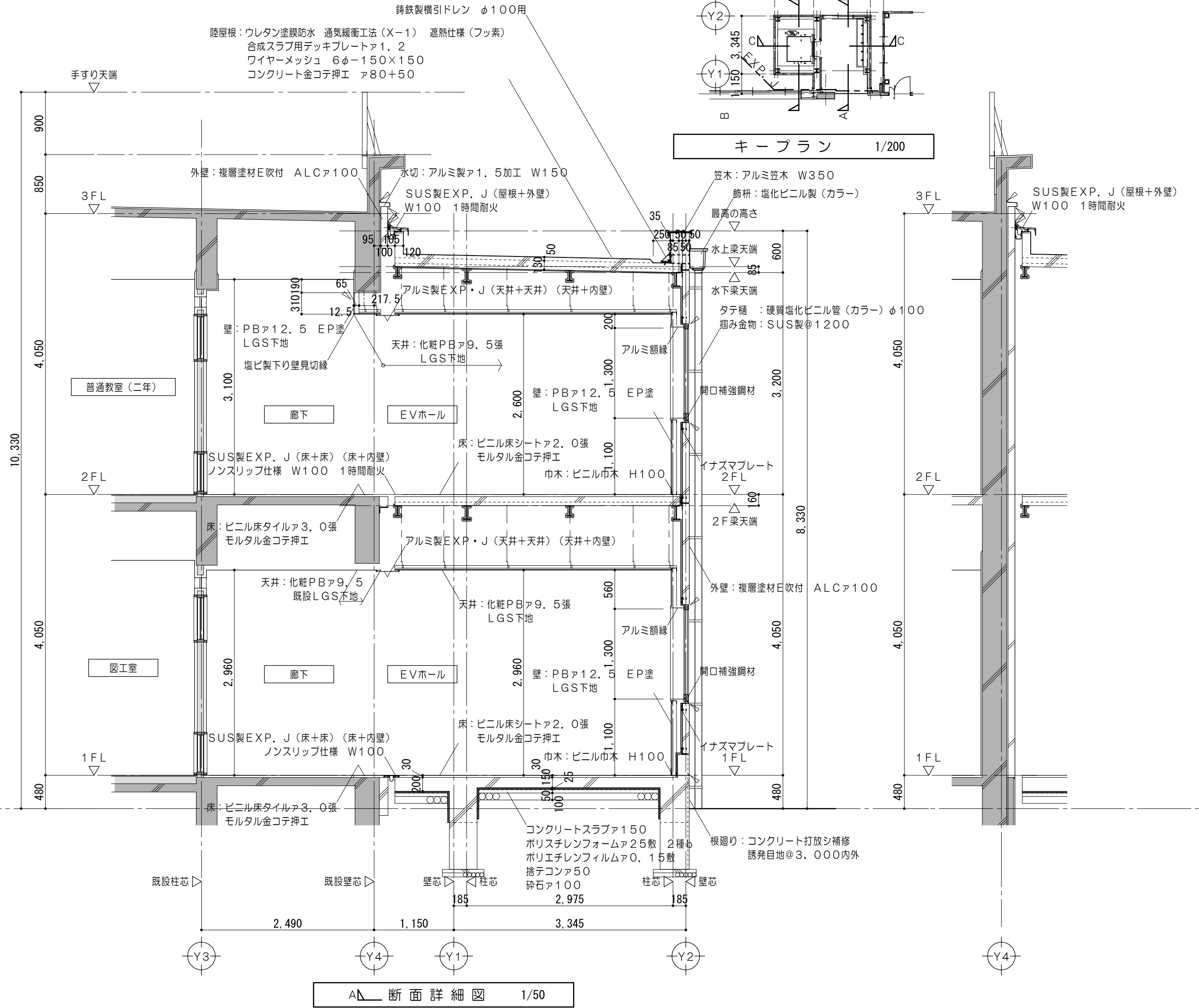
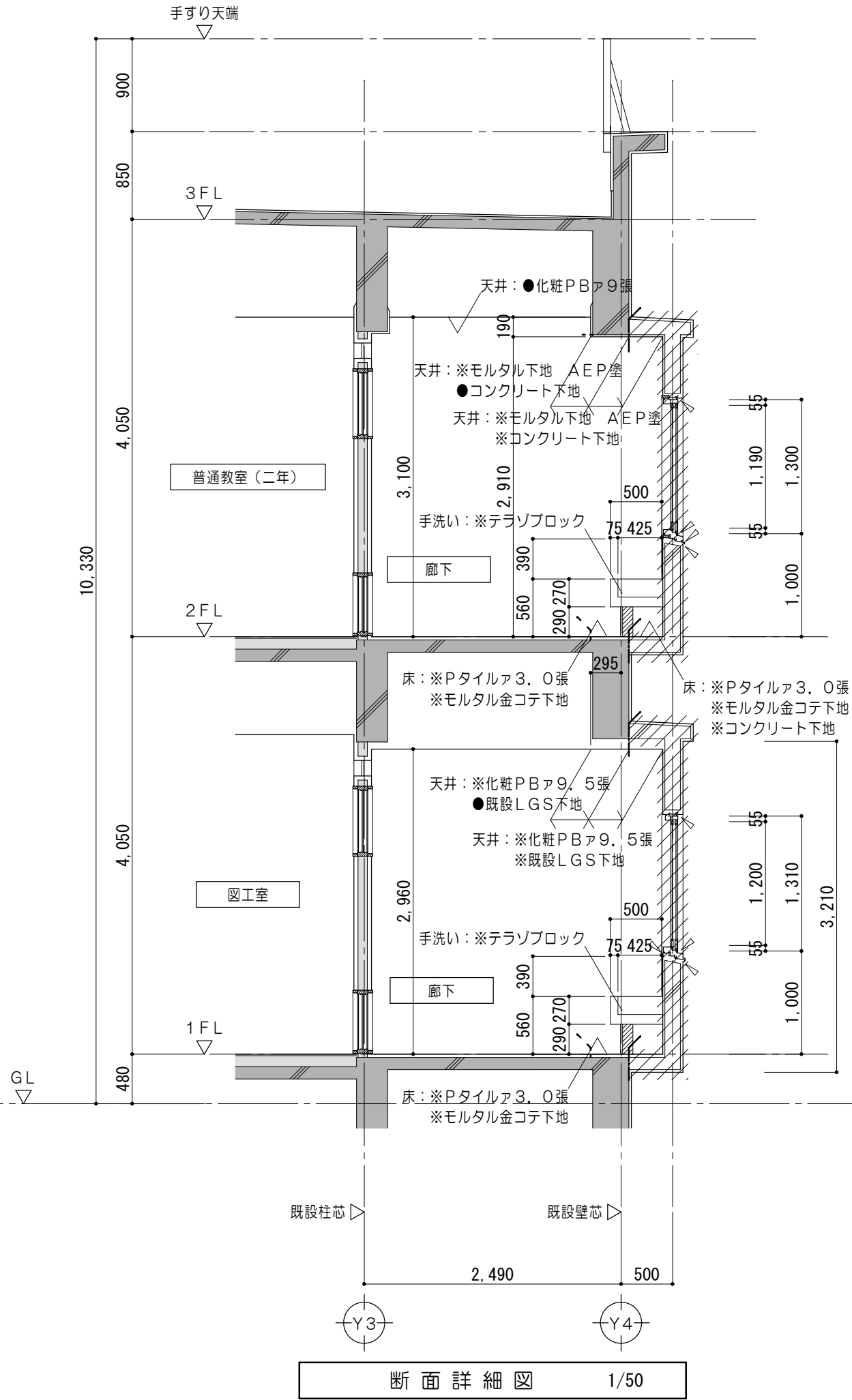
和図	工事名称 津市立明合小学校校長寿命化改修工事	
面図	面図名称 改修前 改修後 E V 平面詳細図	縮 尺 A2:1/50 A3:1/71

設計日

図面番号

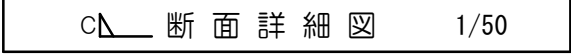
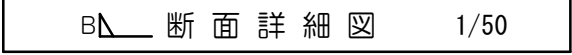
A038

原図:A2



凡例 (工事内容)			
	既設のままを示す		仕上・下地共撤去を示す
	既設コンクリート躯体を示す		コンクリートカッター切を示す
	既設C/B構を示す		モルタルカッター切を示す
	コンクリート壁撤去を示す (建具共)	※	解体撤去を示す
	既設間仕切壁撤去を示す (建具共)	▲	取外シ再取付を示す
	仕上材・下地・コンクリート撤去範囲を示す	●	既設のままを示す
	仕上材撤去範囲を示す		

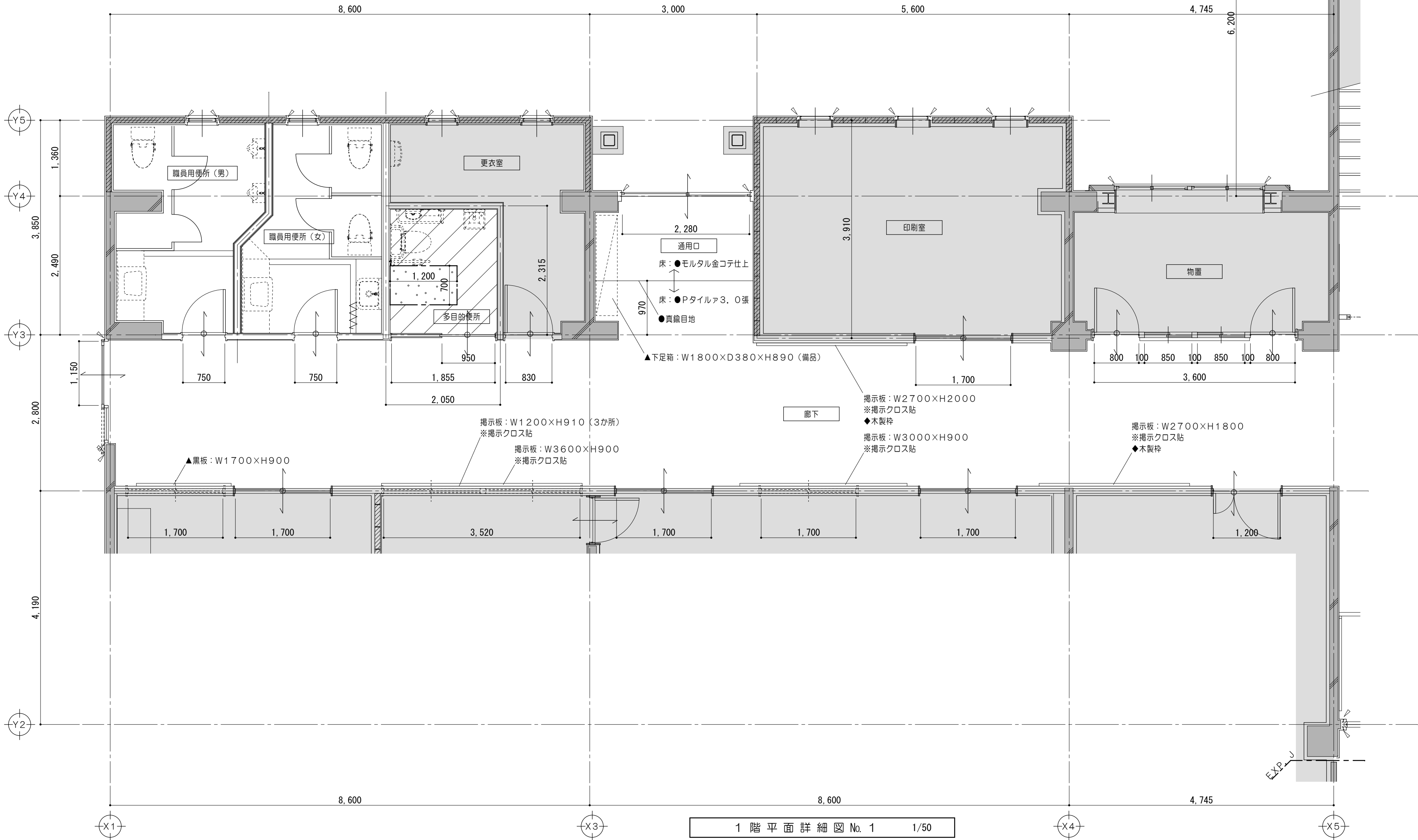
凡例 (工事内容)			
	既設のままを示す		シーリングを示す
	既設コンクリート躯体を示す	▲	取外シ再取付を示す
	既設ALC壁を示す	●	既設のままを示す
	既設C/B構を示す	◆	既設塗替を示す



特 記 事 項		MAIRO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
			校図	縮 尺 A2:1/50 A3:1/71 改修後 E V断面詳細図No. 2	図面番号 A040 原図:A2							

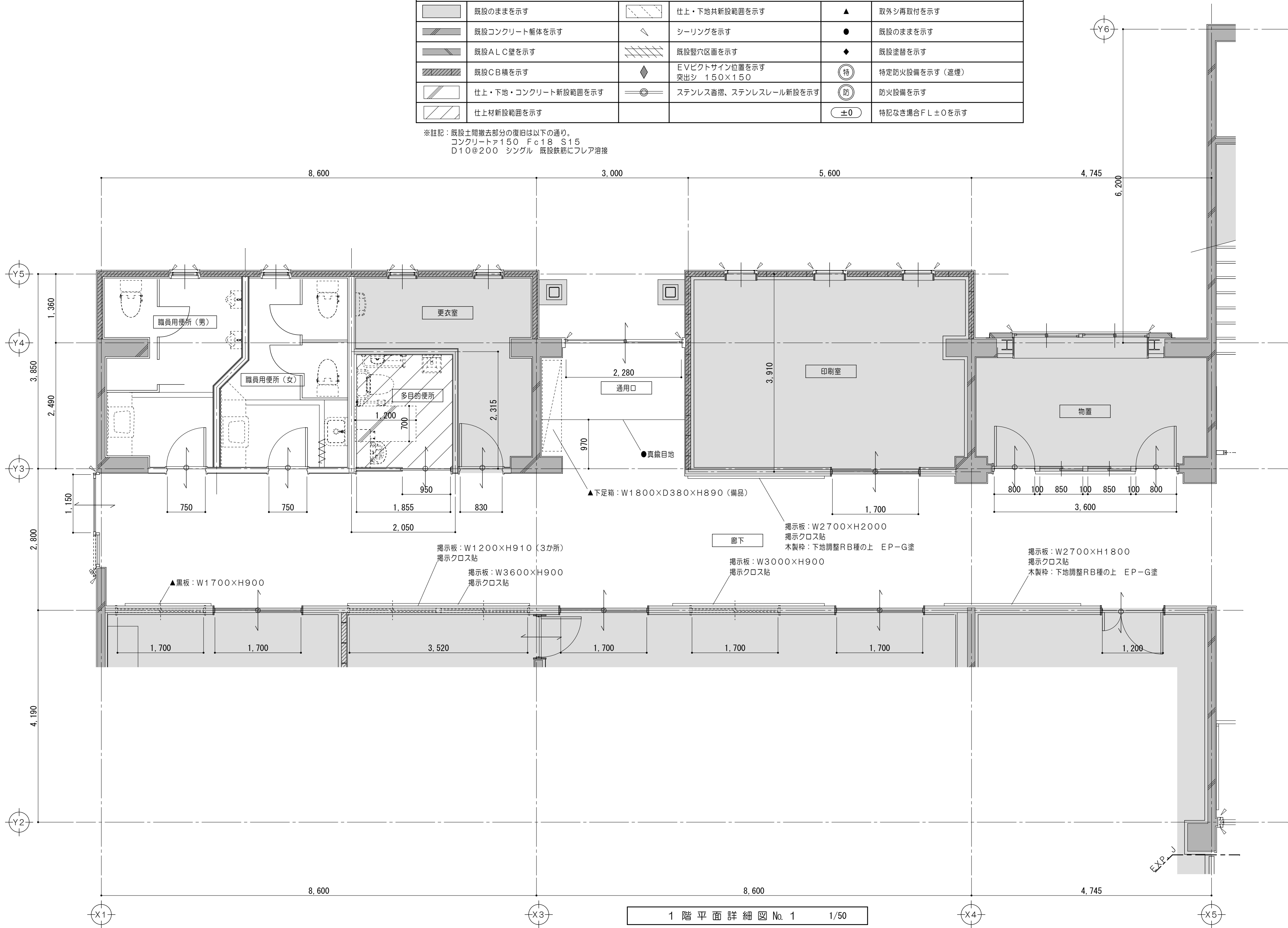
凡例 (工事内容)					
	既設のまますを示す		仕上材・下地・コンクリート撤去範囲を示す	※	解体撤去を示す
	既設コンクリート躯体を示す		仕上材撤去範囲を示す	▲	取外シ再取付を示す
	既設ALC壁を示す		仕上・下地共撤去を示す	●	既設のまますを示す
	既設CB構を示す		コンクリートカッター切を示す	◆	既設塗替を示す
	コンクリート壁撤去を示す (建具共)		モルタルカッター切を示す	(特)	特定防火設備を示す (遮煙性能なし)
	既設間仕切壁撤去を示す (建具共)		柵、ステンレスレールを示す	±0	特記なき場合F.L.±0を示す

※註記：既設土間撤去範囲の鉄筋はコンクリート切断面から10d程度残して切断する



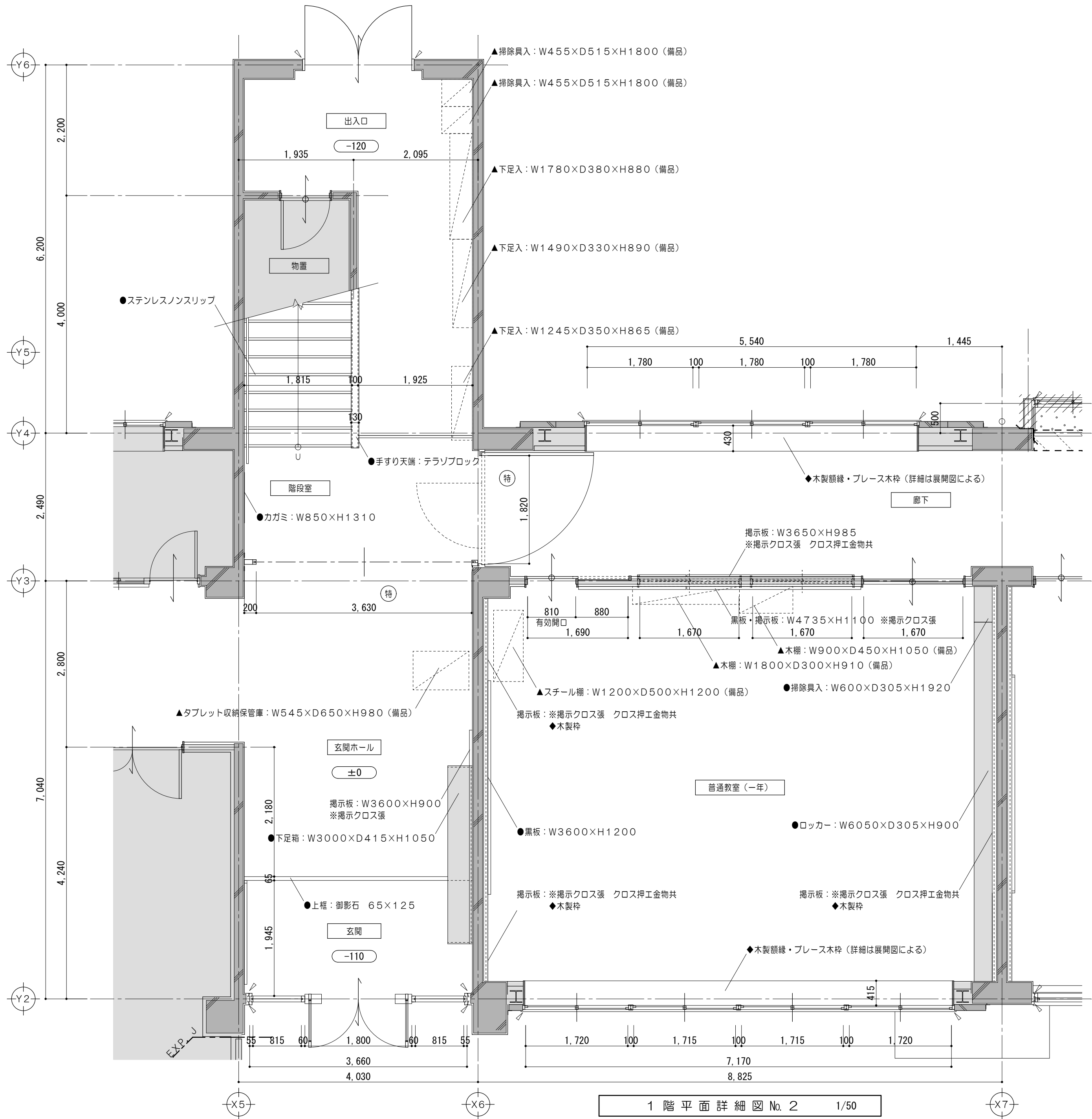
凡例 (工事内容)					
	既設のままを示す		仕上・下地共新設範囲を示す		取外シ再取付を示す
	既設コンクリート躯体を示す		シーリングを示す		既設のままを示す
	既設ALC壁を示す		既設壁穴区画を示す		既設塗替を示す
	既設CB積を示す		E Vビクトサイン位置を示す 突出シ 150×150		特定防火設備を示す (遮煙)
	仕上・下地・コンクリート新設範囲を示す		ステンレス柵、ステンレール新設を示す		防火設備を示す
	仕上材新設範囲を示す				特記なき場合F L ± 0を示す

※註記：既設土間撤去部分の復旧は以下の通り。
コンクリートA150 Fc18 S15
D10@200 シングル 既設鉄筋にフレア溶接

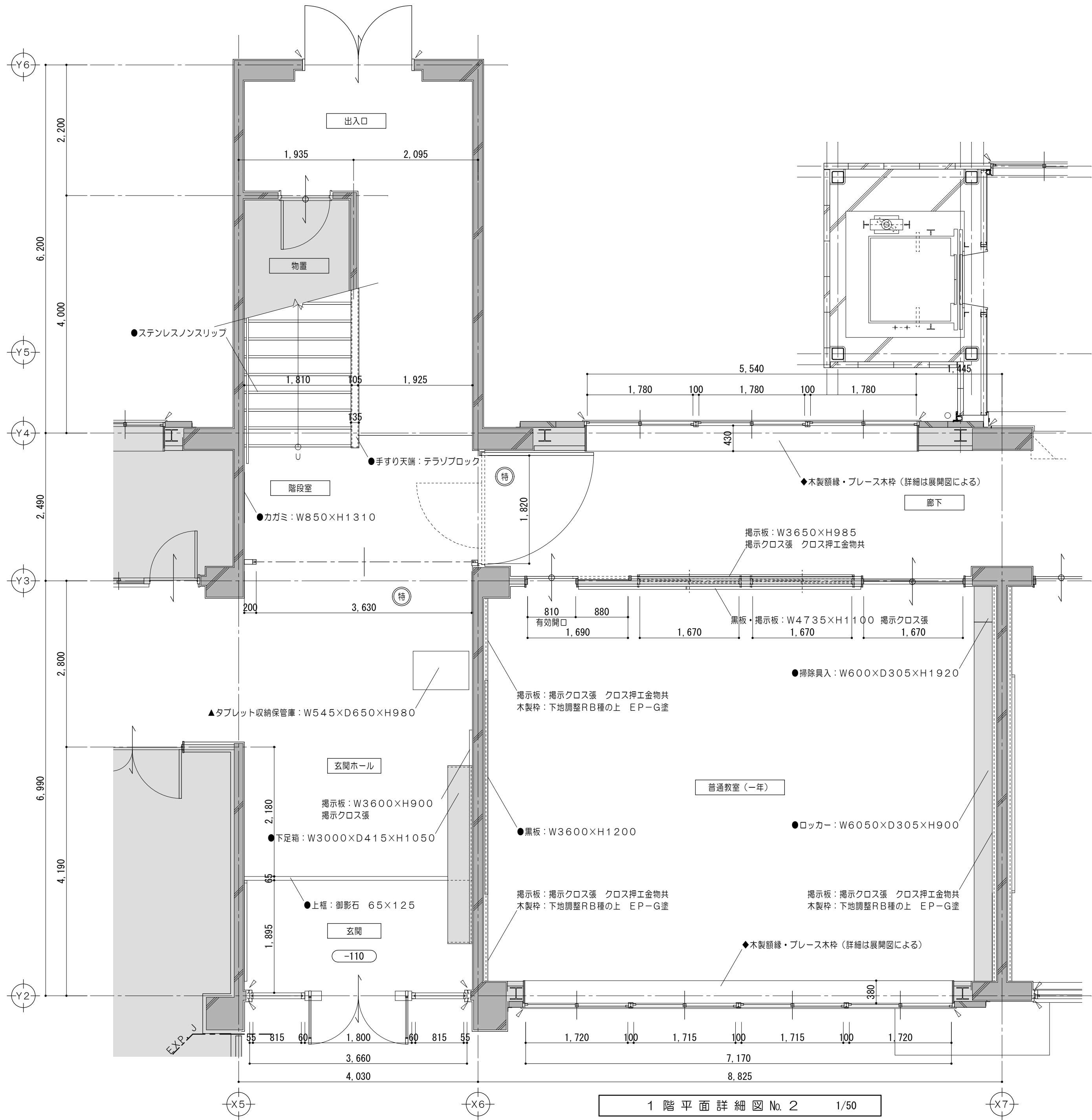


1 階平面詳細図 No. 1 1/50

特 記 事 項		前野建築設計 株式会社 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 検図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
										図面名称 改修後 1階平面詳細図No. 1	縮尺 A2:1/50 A3:1/71
										図面番号 A042 原図:A2	

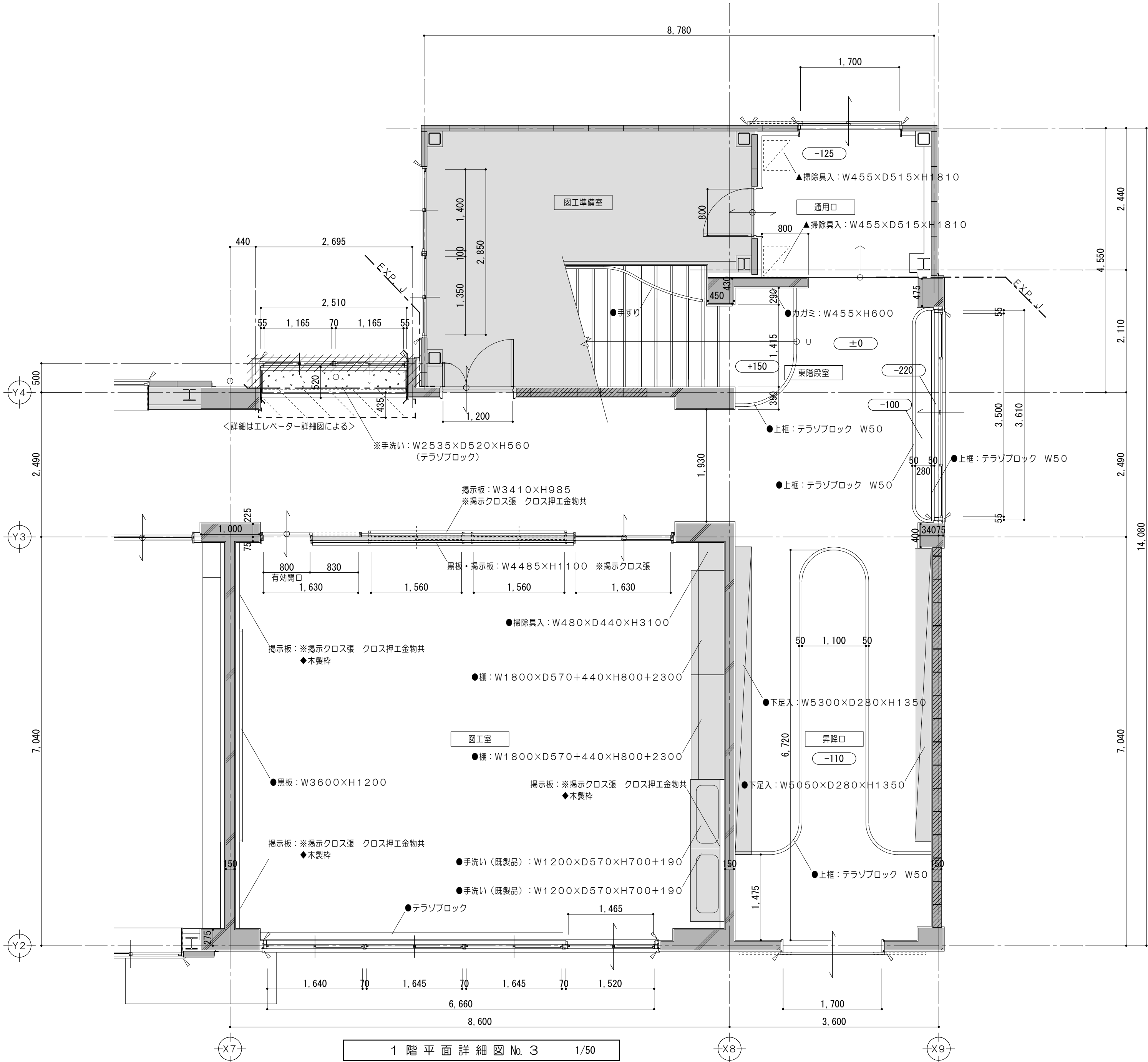


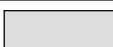
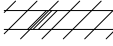
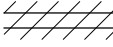
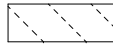
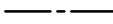
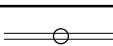
凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ALC壁を示す
	既設CB構を示す
	コンクリート壁撤去を示す （建具共）
	既設間仕切壁撤去を示す （建具共）
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
	ステンレス沓摺、ステンレスレールを示す
※	解体撤去を示す
▲	取外し再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す
（特）	特定防火設備を示す （遮煙性能なし）
±0	特記なき場合F.L.±0を示す

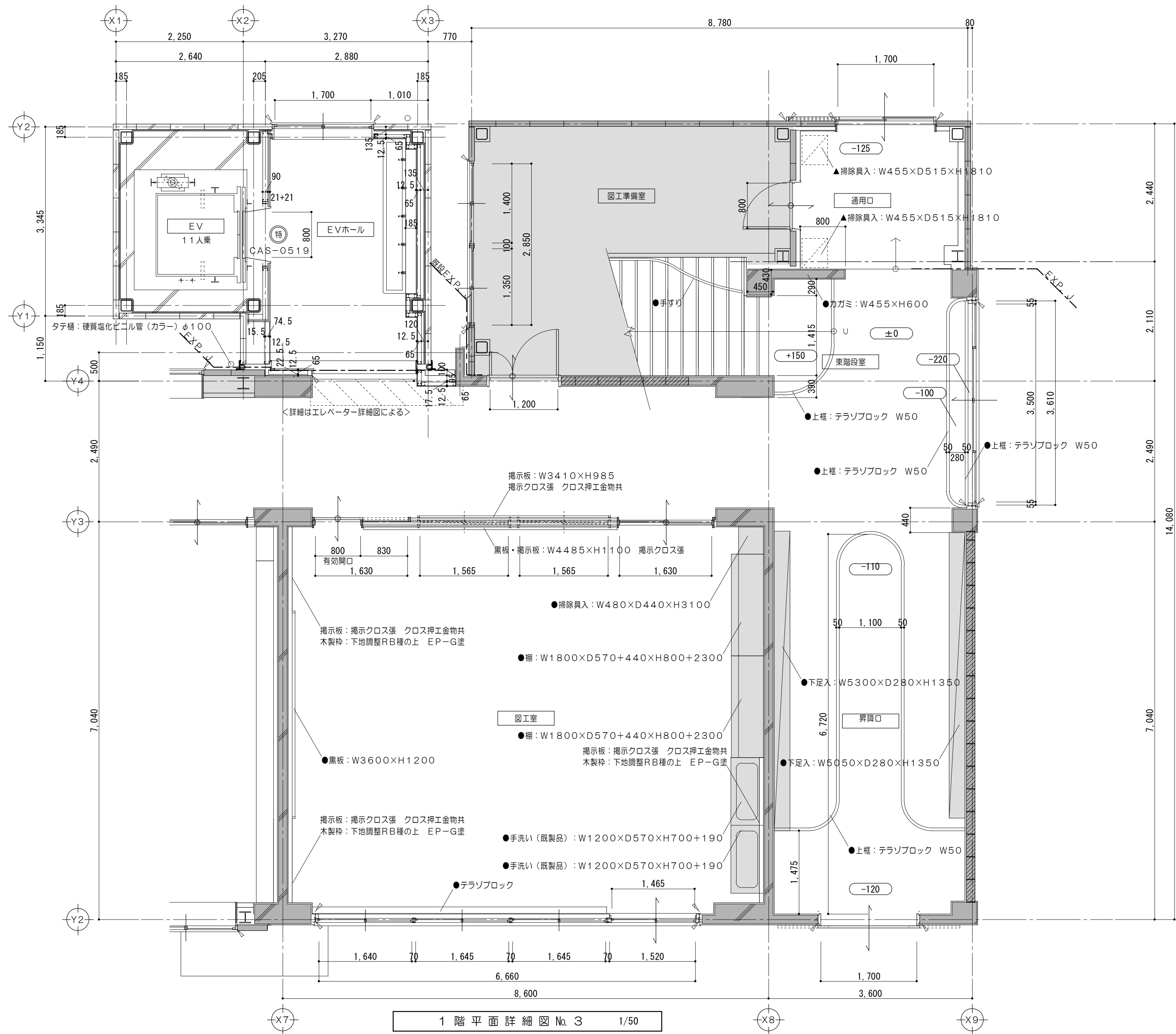


凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ALC壁を示す
	既設CB積を示す
	仕上・下地・コンクリート新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	シーリングを示す
	既設整穴区画を示す
	EVピクトサイン位置を示す 突出シ 150×150
	ステンレス柵、ステンレスレール新設を示す
	取外シ再取付を示す
	既設のままを示す
	既設塗替を示す
	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火設備を示す
	特記なき場合FL±0を示す

特 記 事 項		MAENO 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日	
			株 式 会 社	一級建築士	一級建築士	一級建築士				検図	津市立明合小学校長寿命化改修工事		
				第378328号	第378328号	第320204号					図面名称	縮 尺	図面番号
				前田 祐作	加藤 早妃	前野 将輝					改修後 1階平面詳細図No.2	A2:1/50 A3:1/71	A044 原図:A2

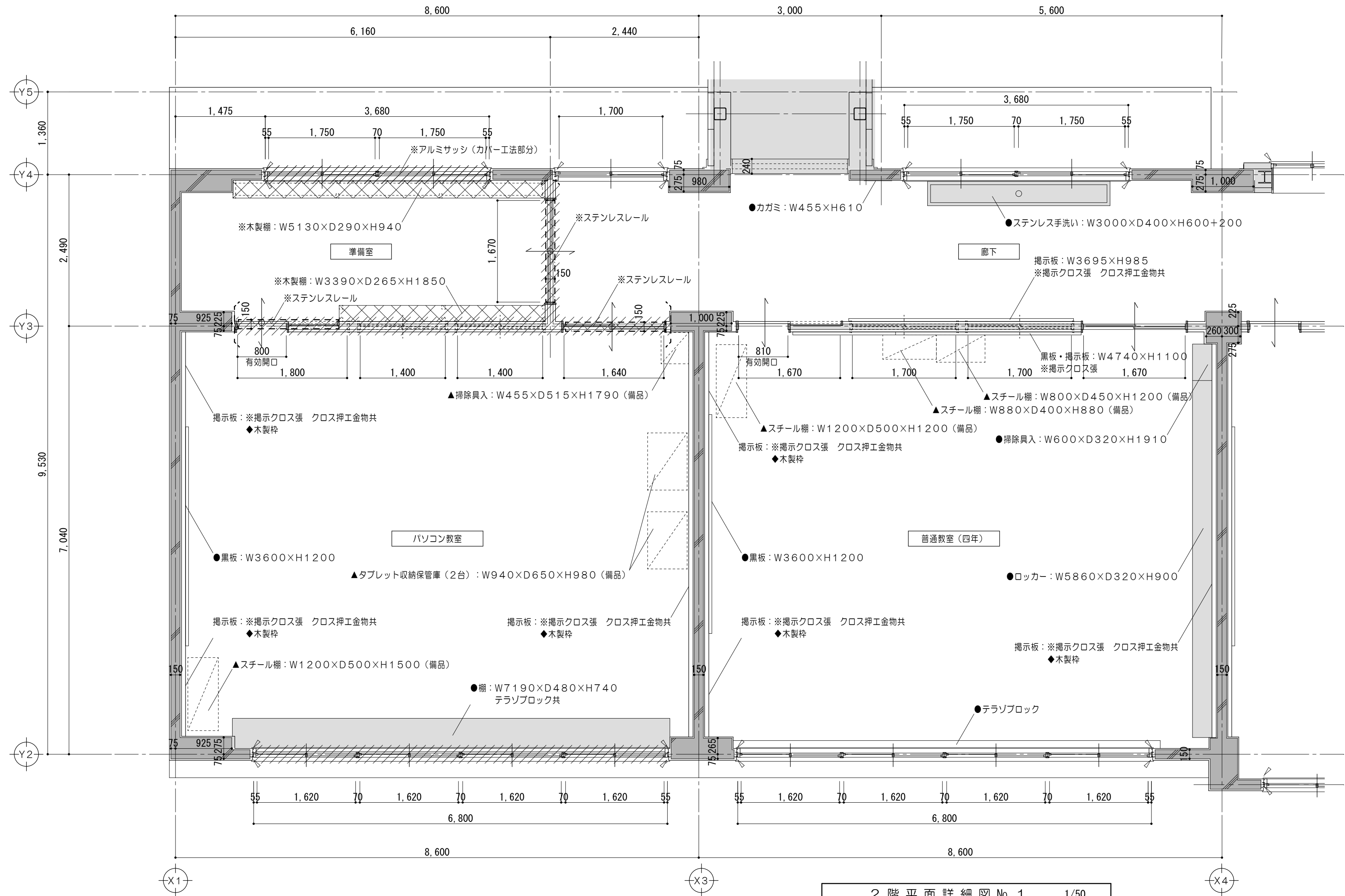


凡例 （工事内容）	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ＣＢ積を示す
	コンクリート壁撤去を示す （建具共）
	既設間仕切壁撤去を示す （建具共）
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
	ステンレス柵、ステンレスレールを示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
(特)	特定防火設備を示す （遮煙性能なし）
(防)	既設防火設備を示す
±0	特記なき場合ＦＬ±0を示す



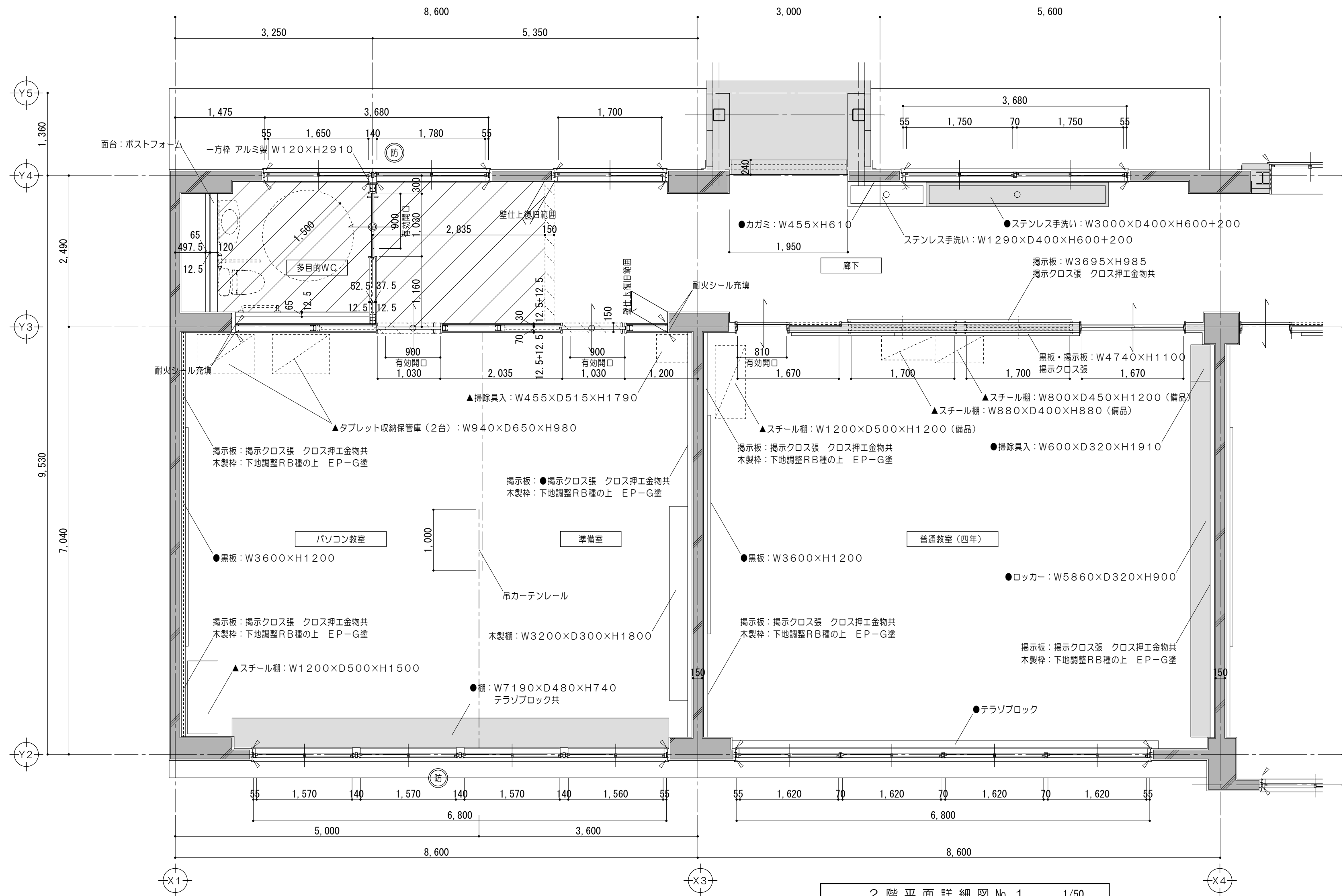
1 階 平 面 詳 細 図 No. 3 1/50

凡 例 （工事内容）	
	既設のまますを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ALC壁を示す
	既設CB横を示す
	仕上・下地・コンクリート新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	シーリングを示す
	既設整穴区画を示す
	EVピクトサイン位置を示す 突出シ 150×150
	ステンレス沓摺、ステンレスレール新設を示す
	取外シ再取付を示す
	既設のまますを示す
	既設塗替を示す
	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火設備を示す
	特記なき場合F.L.±0を示す



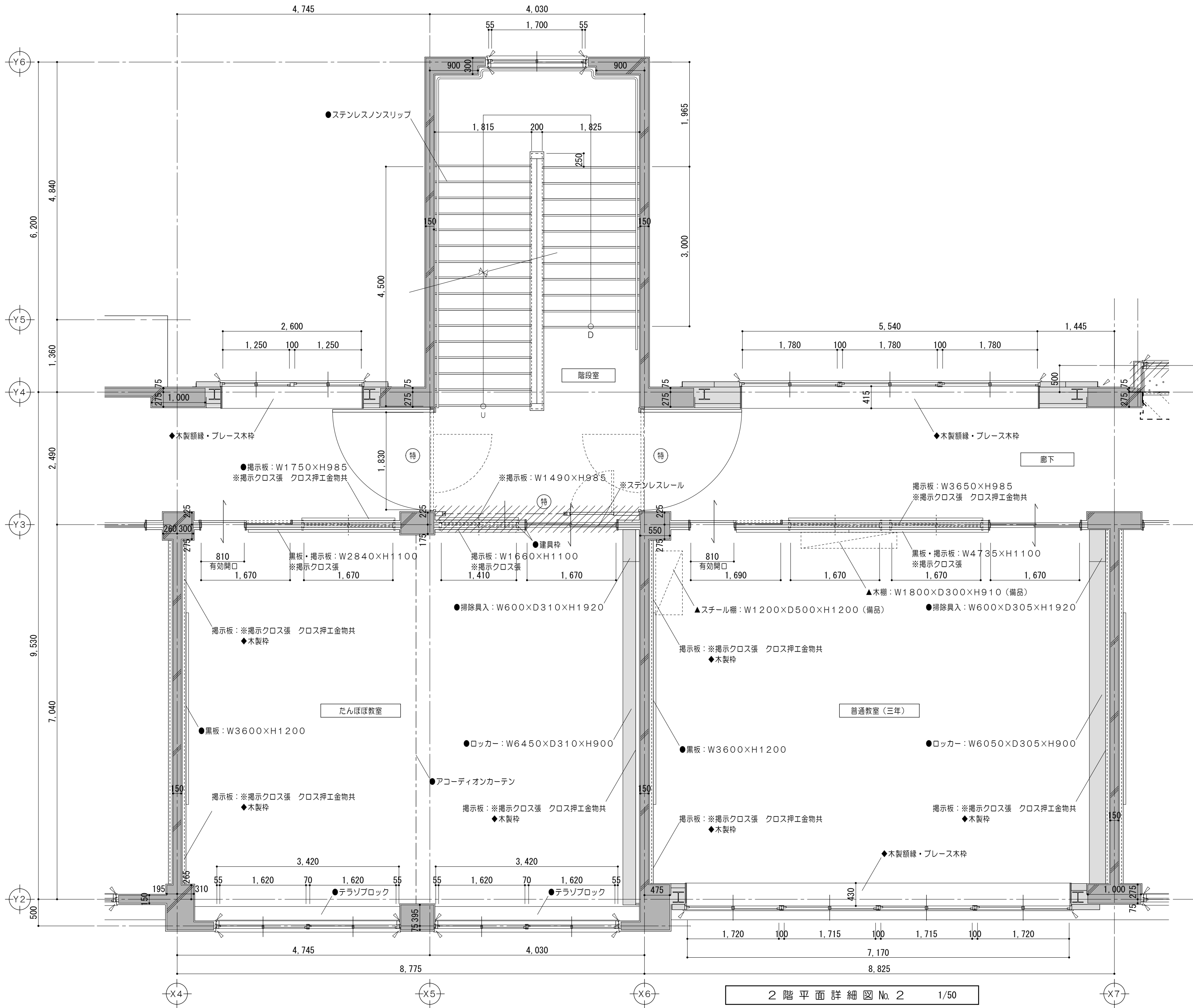
凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設CB構を示す
	コンクリート壁撤去を示す (建具共)
	既設間仕切壁撤去を示す (建具共)
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	家具撤去を示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
	ステンレス柵、ステンレスレールを示す
※	解体撤去を示す
▲	取外し再取付を示す
◆	既設塗替を示す
●	既設のままを示す
(特)	特定防火設備を示す (遮煙性能なし)
(防)	既設防火設備を示す
±0	特記なき場合F.L.±0を示す

2 階平面詳細図 No. 1 1/50

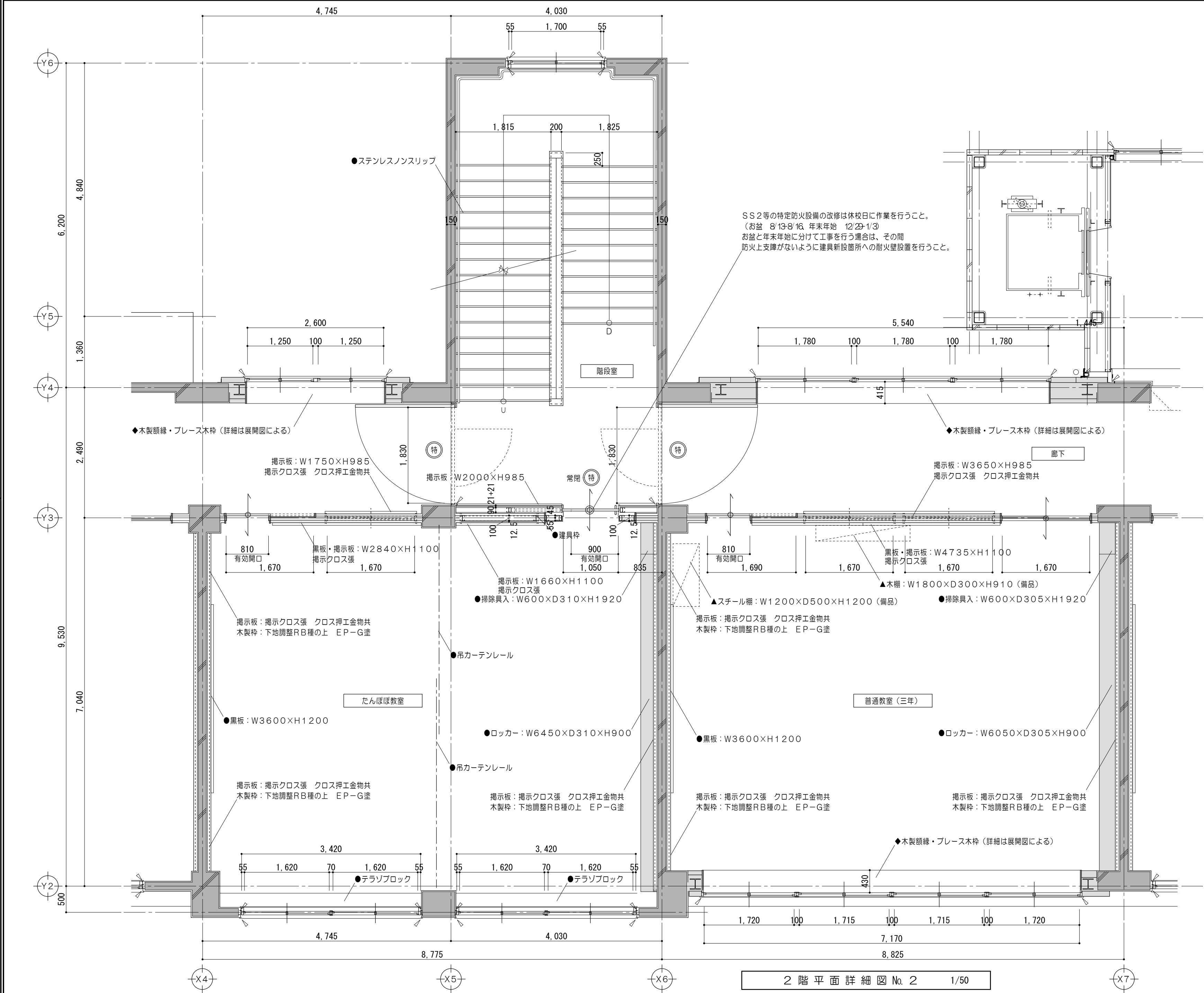


凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ALG壁を示す
	既設CB床を示す
	仕上・下地・コンクリート新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	シーリングを示す
	既設壁穴区画を示す
	EVピクトサイン位置を示す 突出シ 150×150
	ステンレス沓摺、ステンレスレール新設を示す
	取外シ再取付を示す
	既設のままを示す
	既設塗替を示す
	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火設備を示す
	特記なき場合F.L.±0を示す

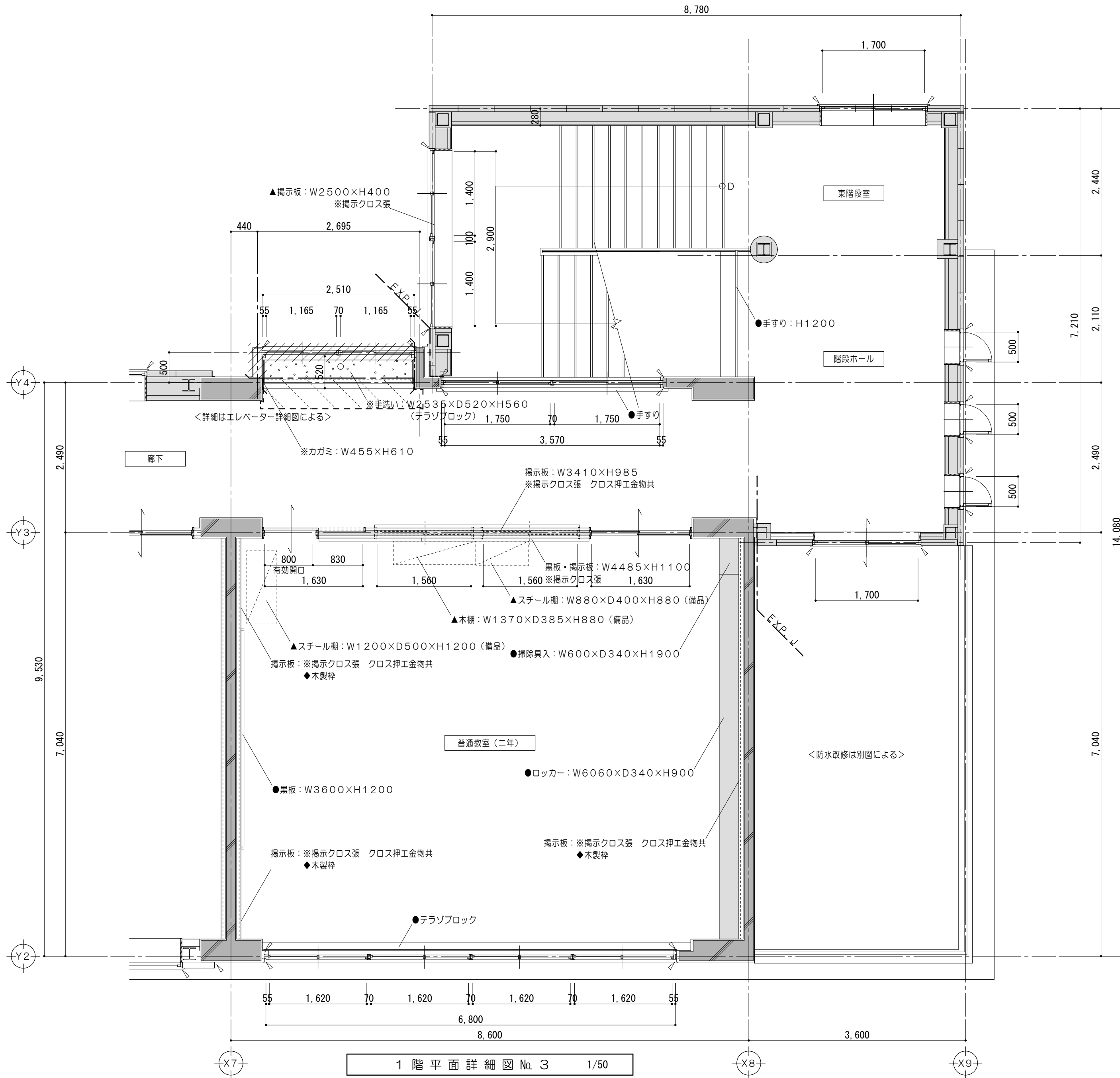
2 階平面詳細図 No. 1 1/50



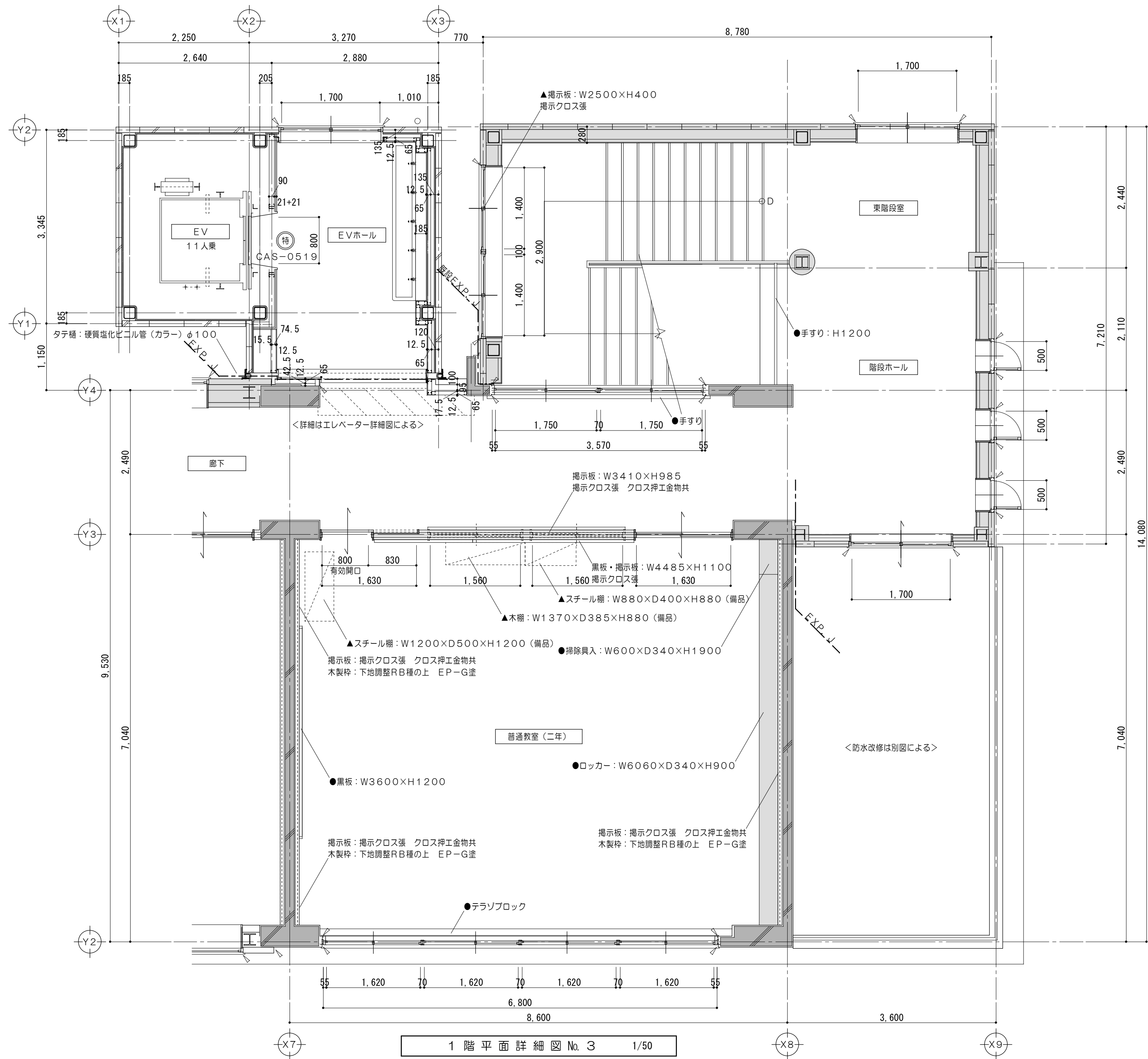
凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設CB構を示す
	コンクリート壁撤去を示す (建具共)
	既設間仕切壁撤去を示す (建具共)
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
	ステンレス巻摺、ステンレスレールを示す
※	解体撤去を示す
▲	取外し再取付を示す
●	既設のままを示す
(特)	特定防火設備を示す (遮煙性能なし)
(防)	既設防火設備を示す
±0	特記なき場合F.L.±0を示す



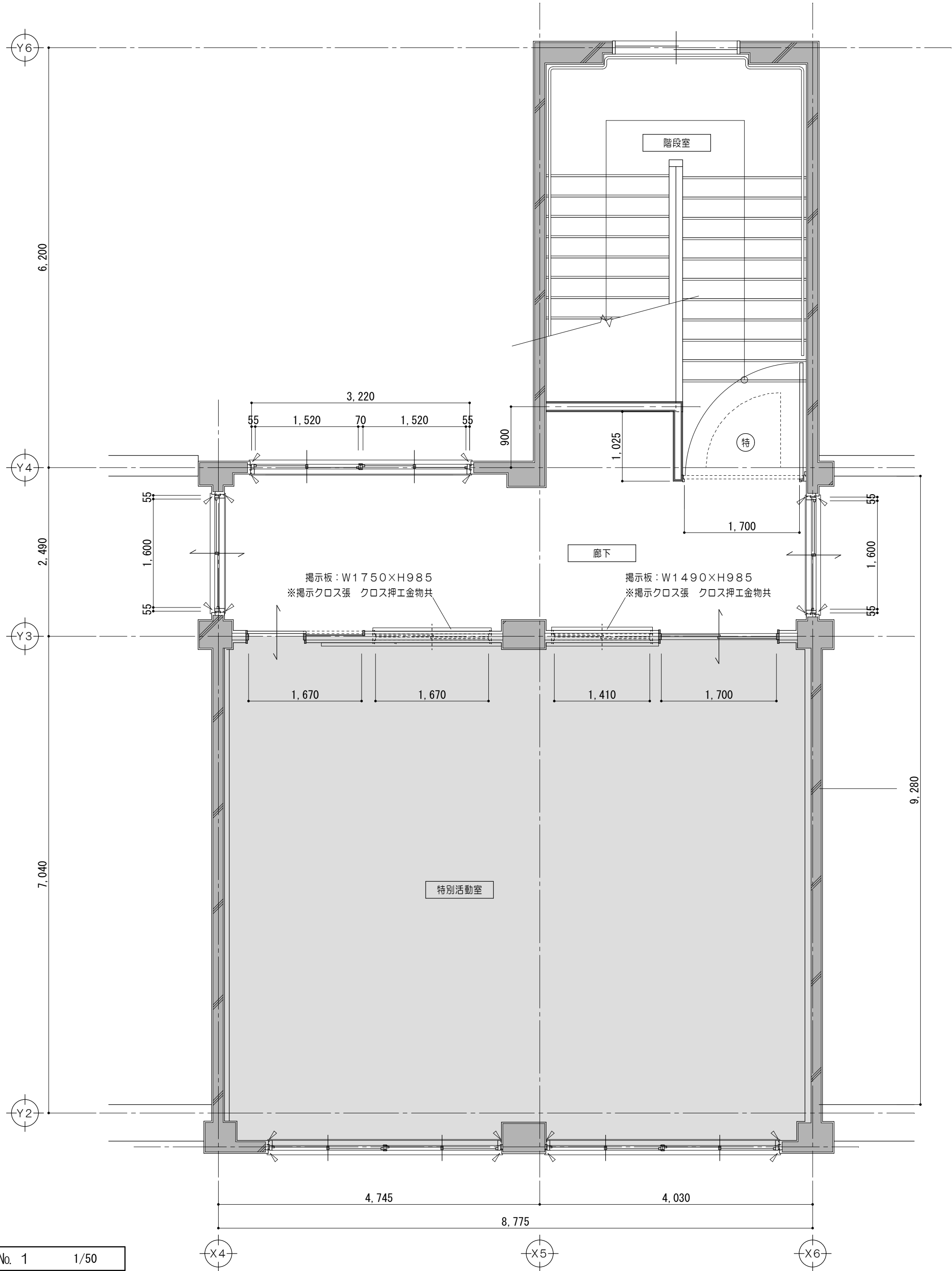
凡例（工事内容）	
	既設のまますを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ALC壁を示す
	既設CB横を示す
	仕上・下地・コンクリート新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	シーリングを示す
	既設整穴区画を示す
	EVバイクサイン位置を示す 突出シ 150×150
	ステンレス柵、ステンレスレール新設を示す
	取外シ再取付を示す
	既設のまますを示す
	既設塗替を示す
	特定防火設備を示す（遮煙） 防火設備を示す
	特記なき場合F.L.±0を示す



凡例 (工事内容)	
	既設のまますを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設コンクリート躯体を示す
	コンクリート壁撤去を示す (建具共)
	既設間仕切壁撤去を示す (建具共)
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
	特記なき場合F L ± 0 を示す
	解体撤去を示す
	取外シ再取付を示す
	既設のまますを示す
	特定防火設備を示す (遮煙性能なし)
	既設防火設備を示す

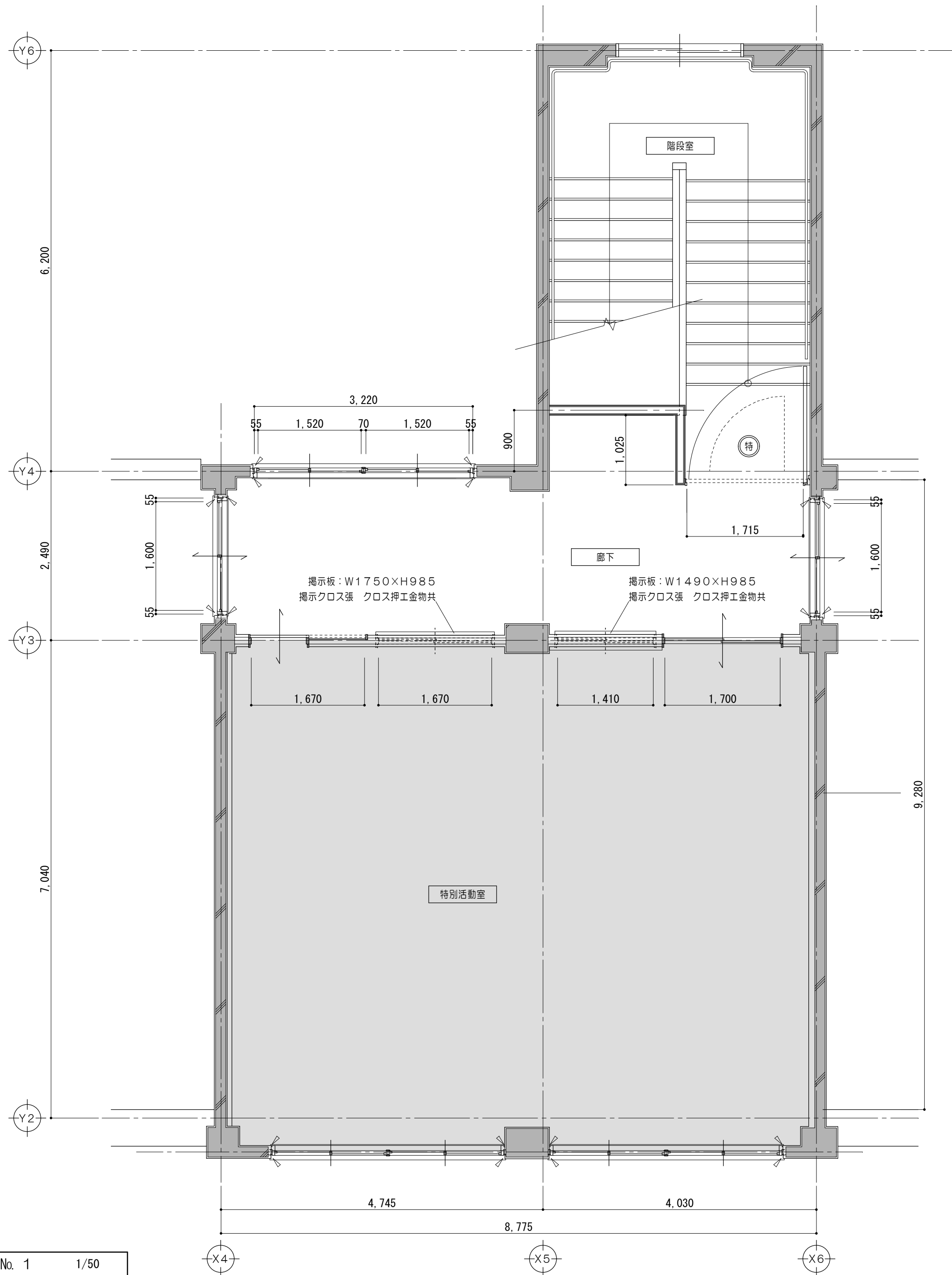


凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設AL壁を示す
	既設CB横を示す
	仕上・下地・コンクリート新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	シーリングを示す
	既設整穴区画を示す
	EVピクトサイン位置を示す 突出シ 150×150
	ステンレス沓摺、ステンレスレール新設を示す
	取外シ再取付を示す
	既設のままを示す
	既設塗替を示す
	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火設備を示す
	特記なき場合FL±0を示す



3 階 平 面 詳 細 図 No. 1 1/50

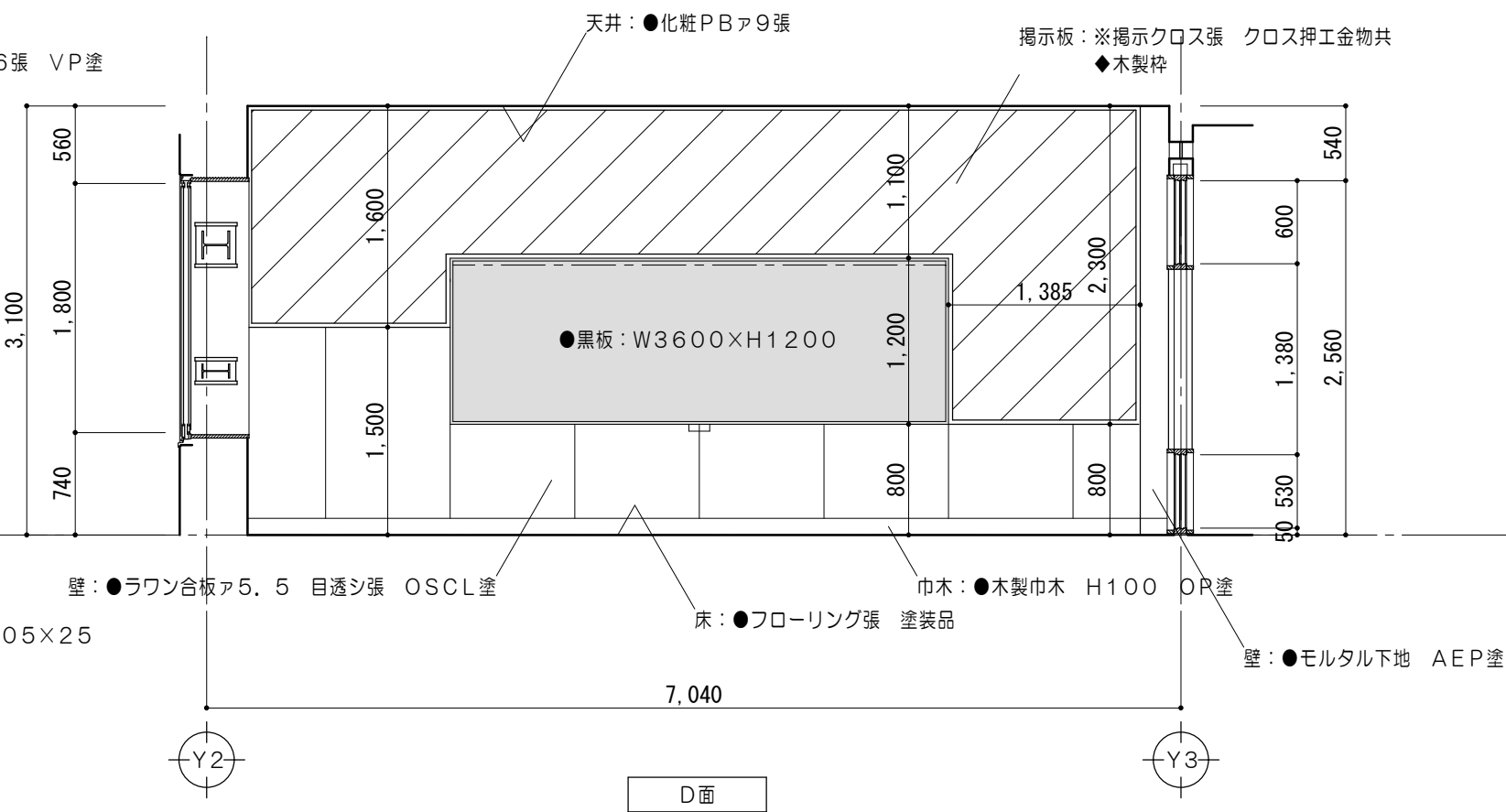
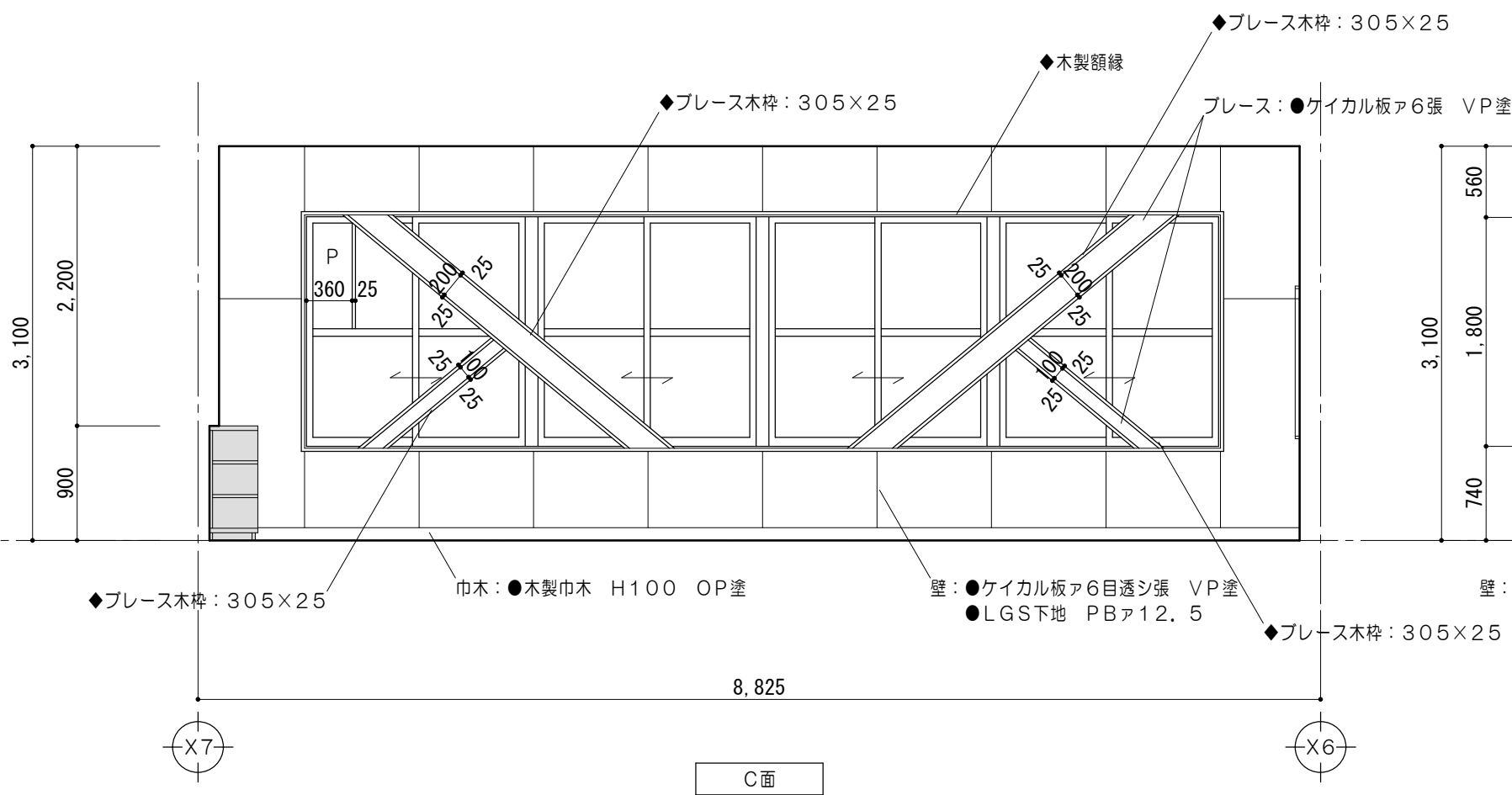
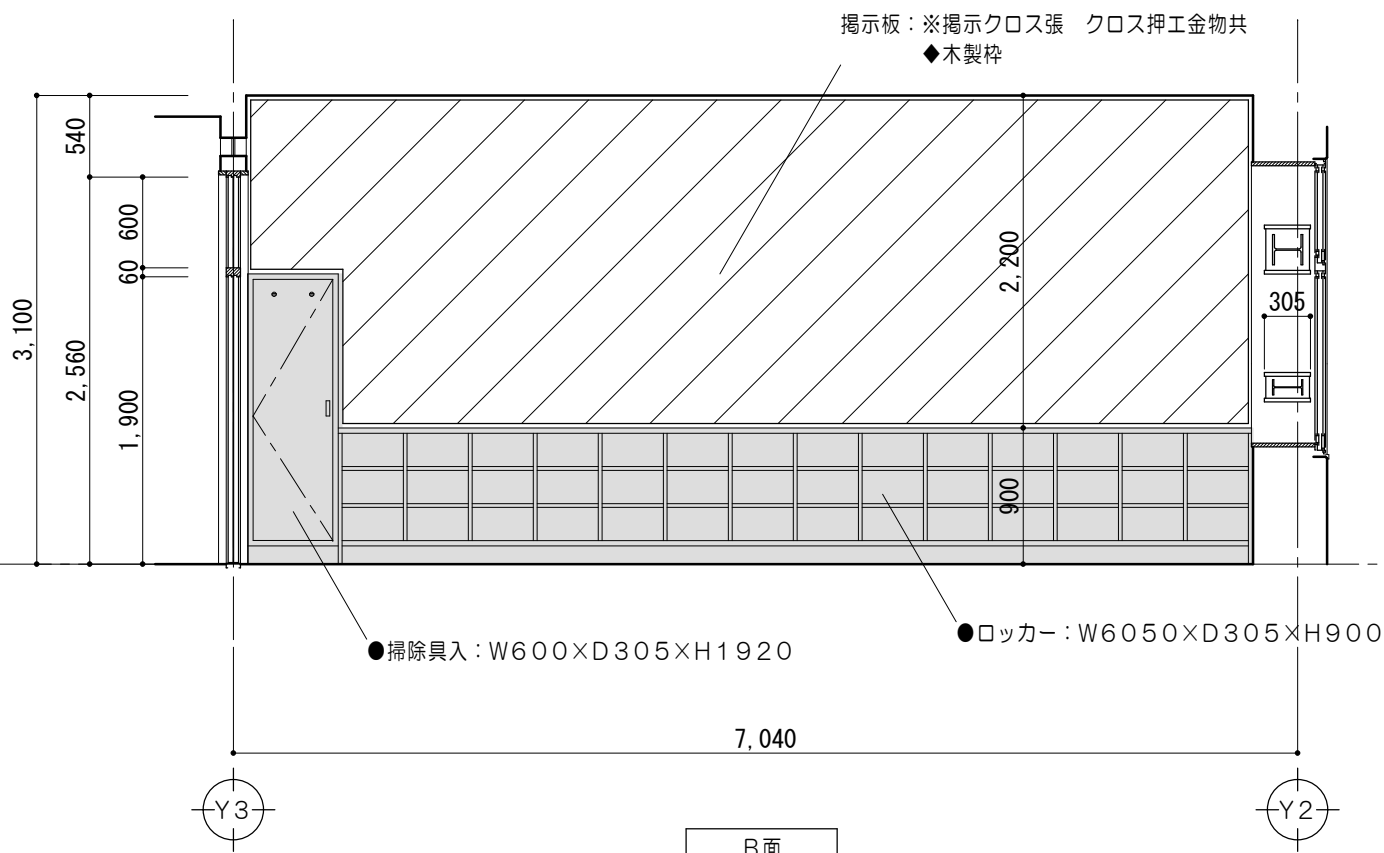
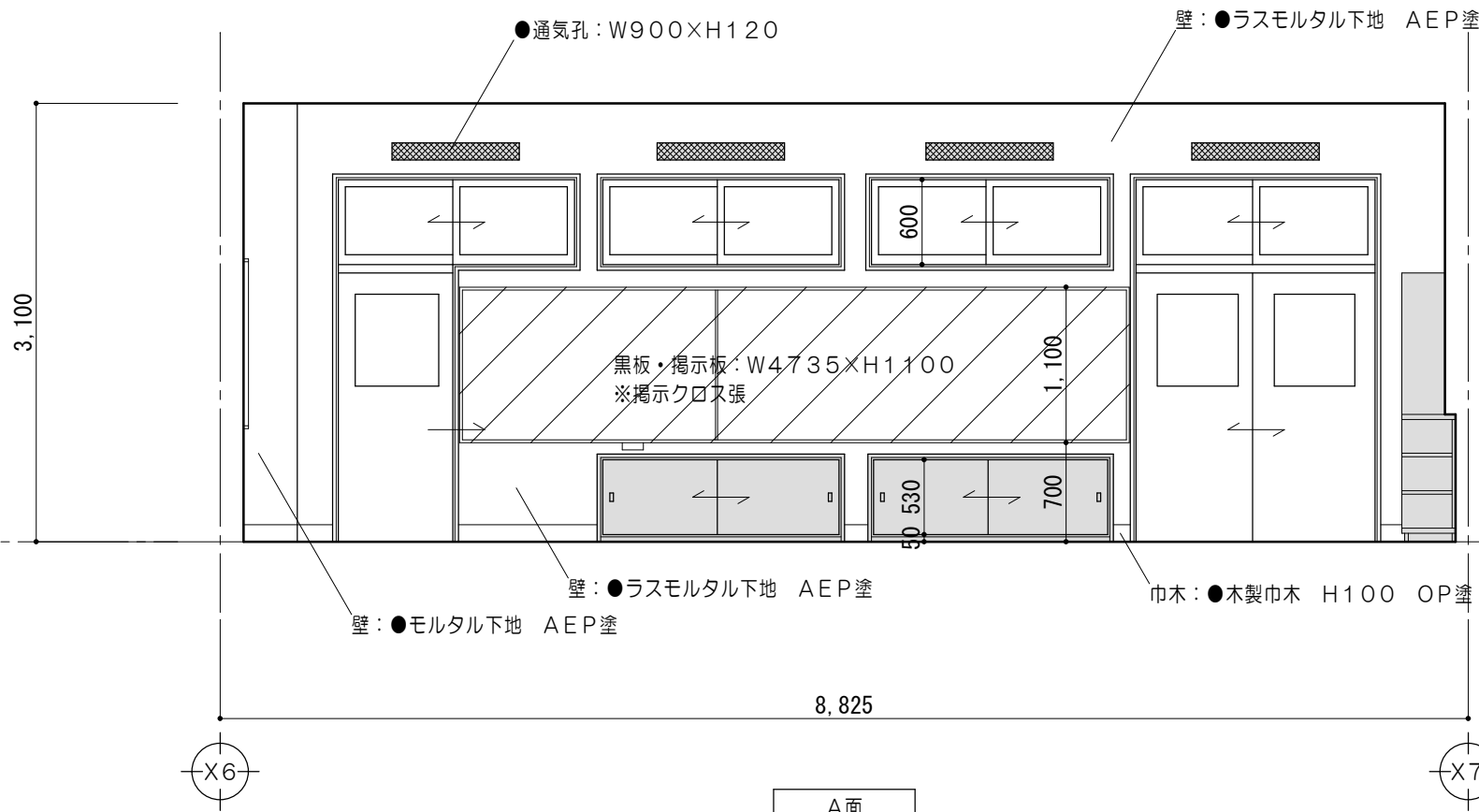
凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ALC壁を示す
	既設CB構を示す
	コンクリート壁撤去を示す (建具共)
	既設間仕切壁撤去を示す (建具共)
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
	ステンレス巻摺、ステンレスレールを示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す
(特)	特定防火設備を示す (遮煙性能なし)
±0	特記なき場合F.L.±0を示す



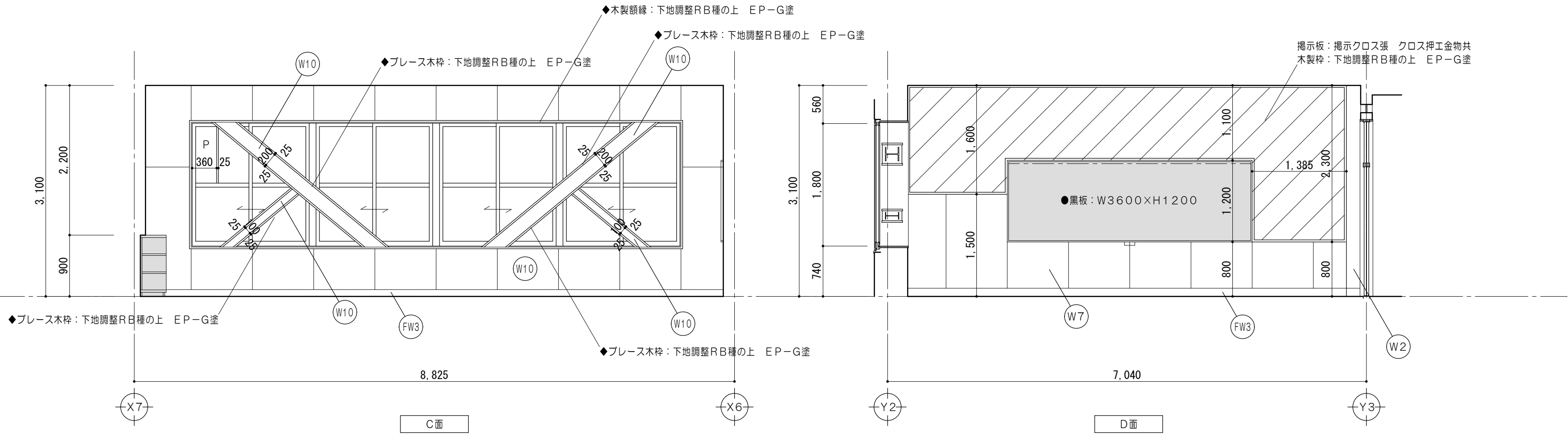
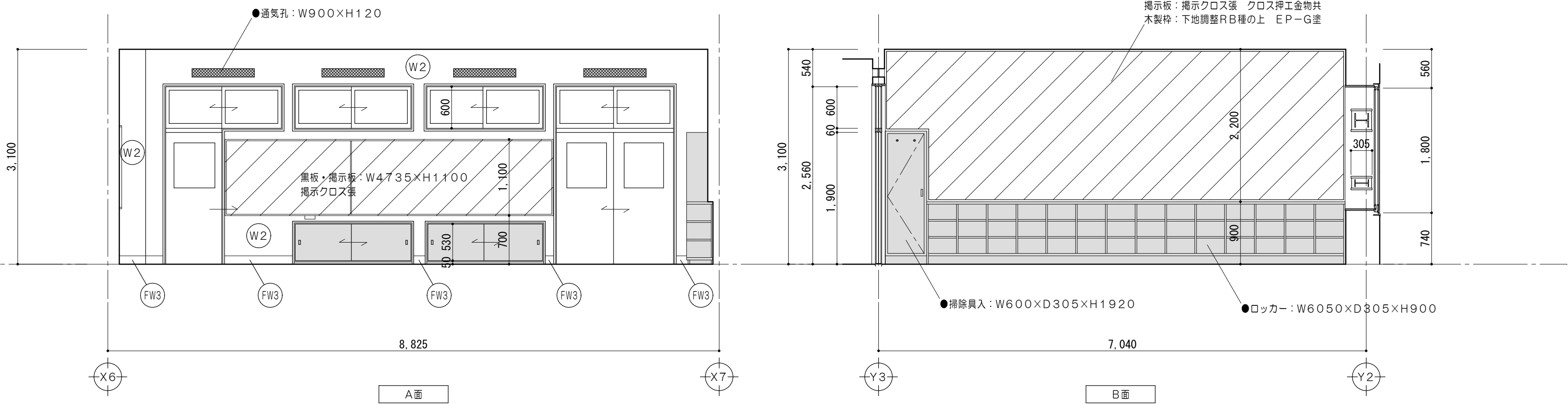
3 階平面詳細図 No. 1 1/50

凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	既設コンクリート躯体を示す
	既設ALC壁を示す
	既設CB横を示す
	仕上・下地・コンクリート新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	シーリングを示す
	既設整穴区画を示す
	EVピクトサイン位置を示す 突出シ 150×150
	ステンレス沓摺、ステンレスレール新設を示す
	取外シ再取付を示す
	既設のままを示す
	既設塗替を示す
	特定防火設備を示す (遮煙)
	防火設備を示す
	特記なき場合F.L.±0を示す

特 記 事 項		株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	図面番号	縮尺	図面番号
				一級建築士 第360917号 前田 祐作	一級建築士 第378328号 加藤 早紀	一級建築士 第320204号 前野 将輝				検図	津市立明合小学校長寿命化改修工事	改修後 3階平面詳細図No. 1	A2:1/50 A3:1/71	A054 原図:A2



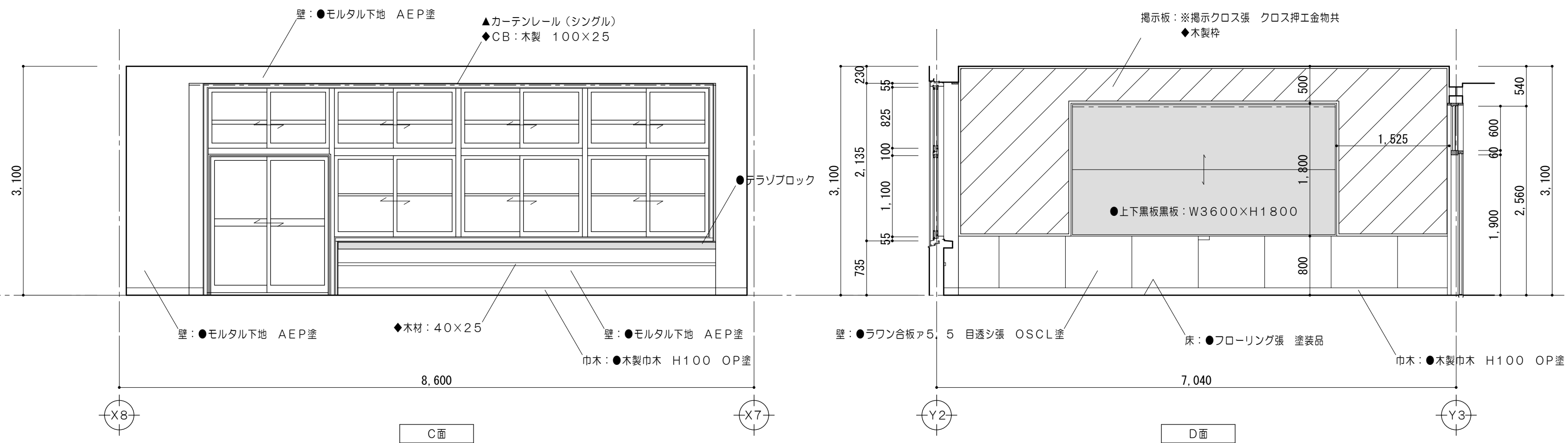
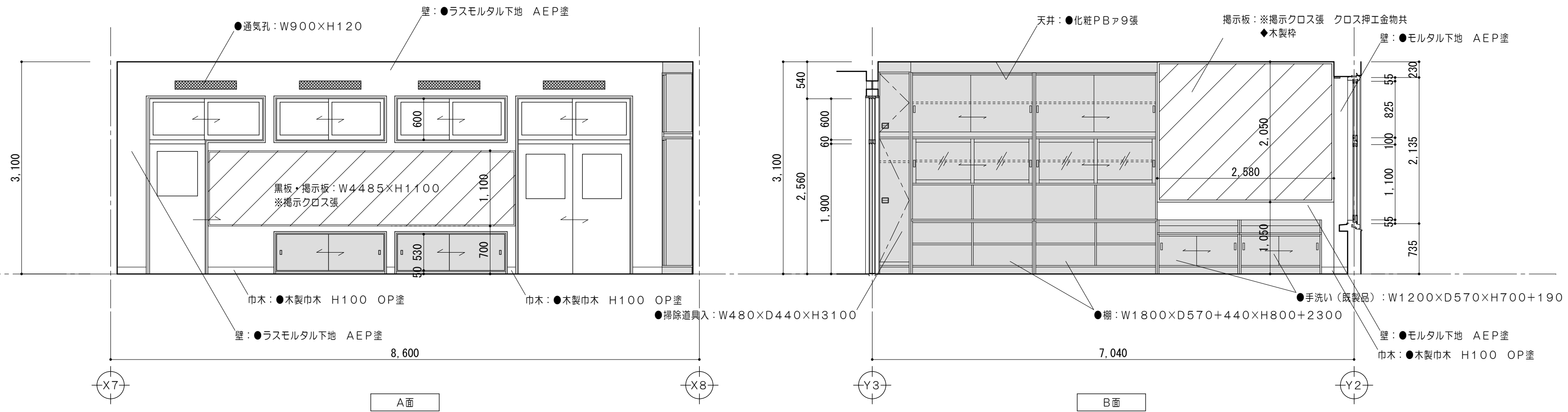
凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	コンクリート壁撤去を示す（建具共）
	既設間仕切り壁撤去を示す（建具共）
	仕上材・下地・コンクリート撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外し再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す

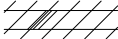
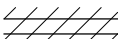
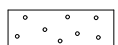
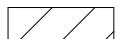
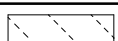
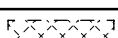


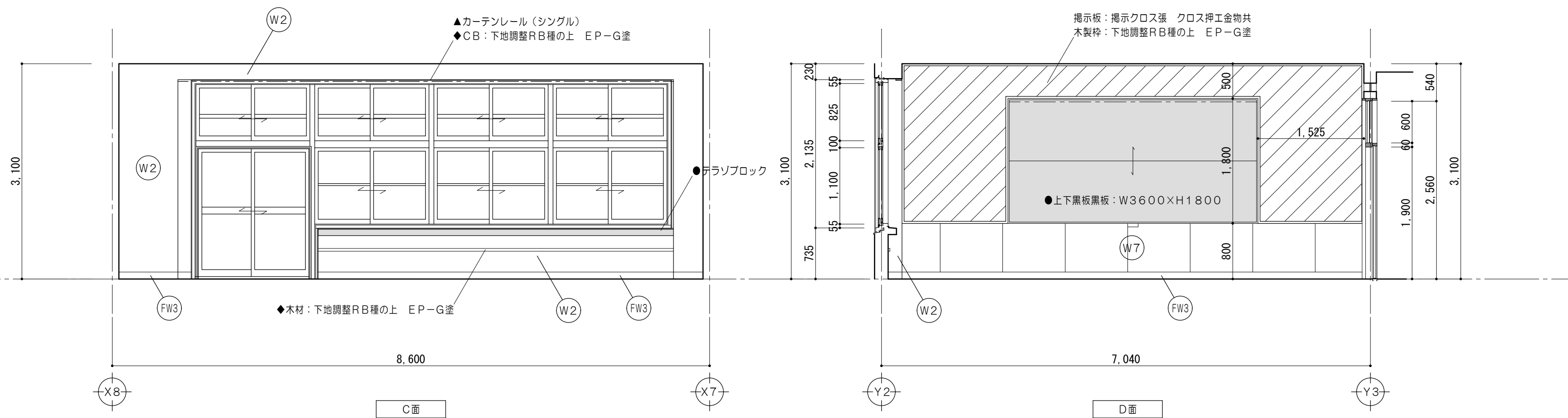
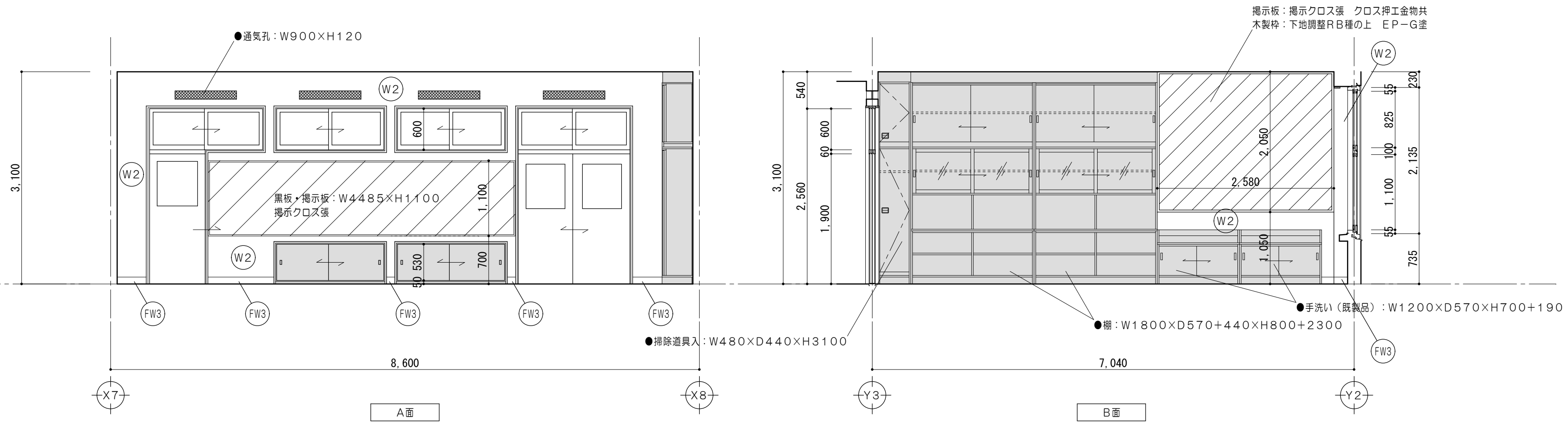
仕上凡例	
FW3	巾木：下地調整RB種の上 EP-G塗 H100
W2	壁：下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地
W7	壁：下地調整RB種の上 CL塗 既設ラワン合板
W10	壁：下地調整RB種の上 EP塗 既設ケイカル板

凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
◆	既設塗替を示す
●	既設のままを示す
▲	取外シ再取付を示す

特 記 事 項						MAKINO 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 検図	工事名称	縮 尺	図面番号
	津市立明合小学校校長寿命化改修工事	A2:1/50 A3:1/71	A056 原図:A2														
													改修後 1階展開図No. 1 （普通教室（一年））				



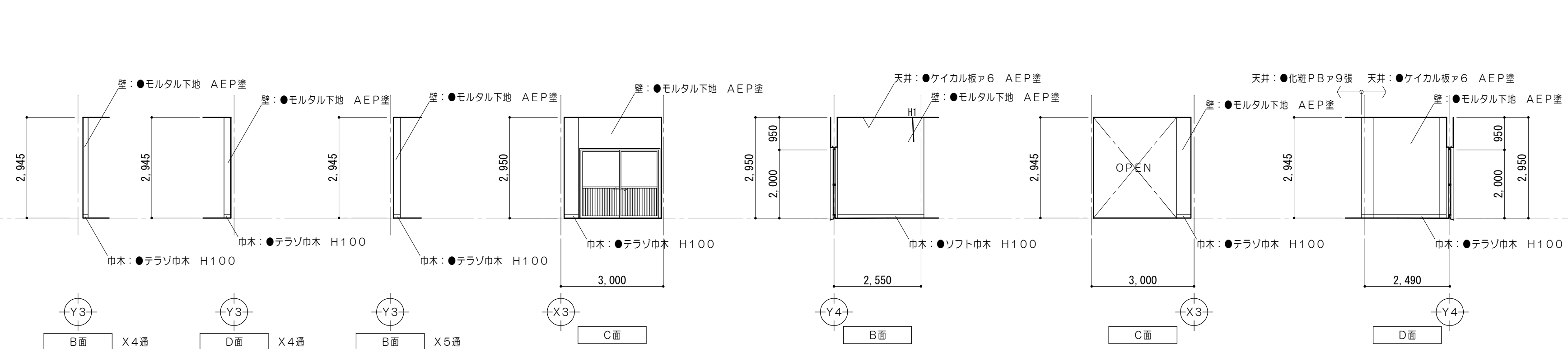
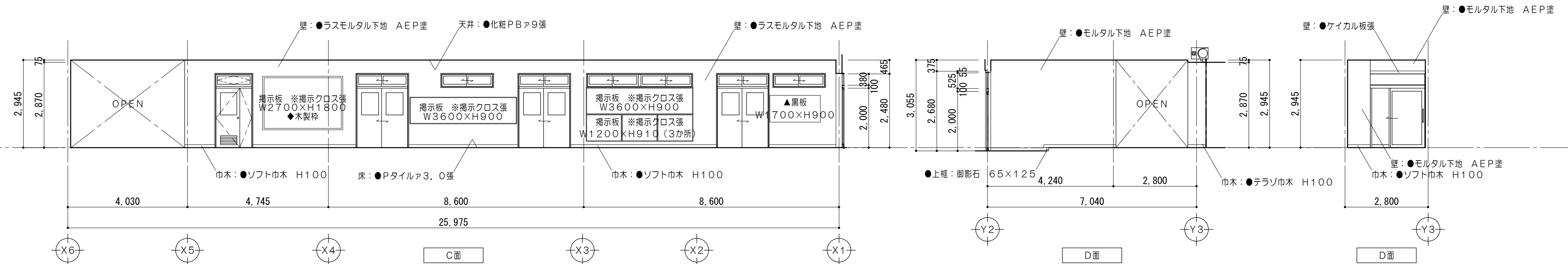
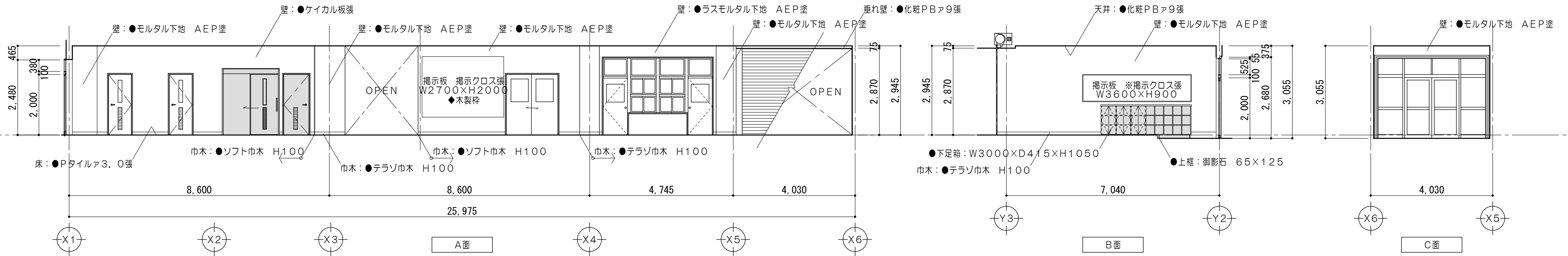
凡例 （工事内容）	
	既設のままを示す
	コンクリート壁撤去を示す （建具共）
	既設間仕切り壁撤去を示す （建具共）
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去
	モルタル浮きを示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す

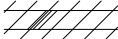
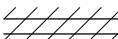
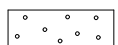
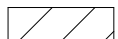
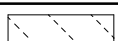
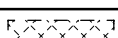


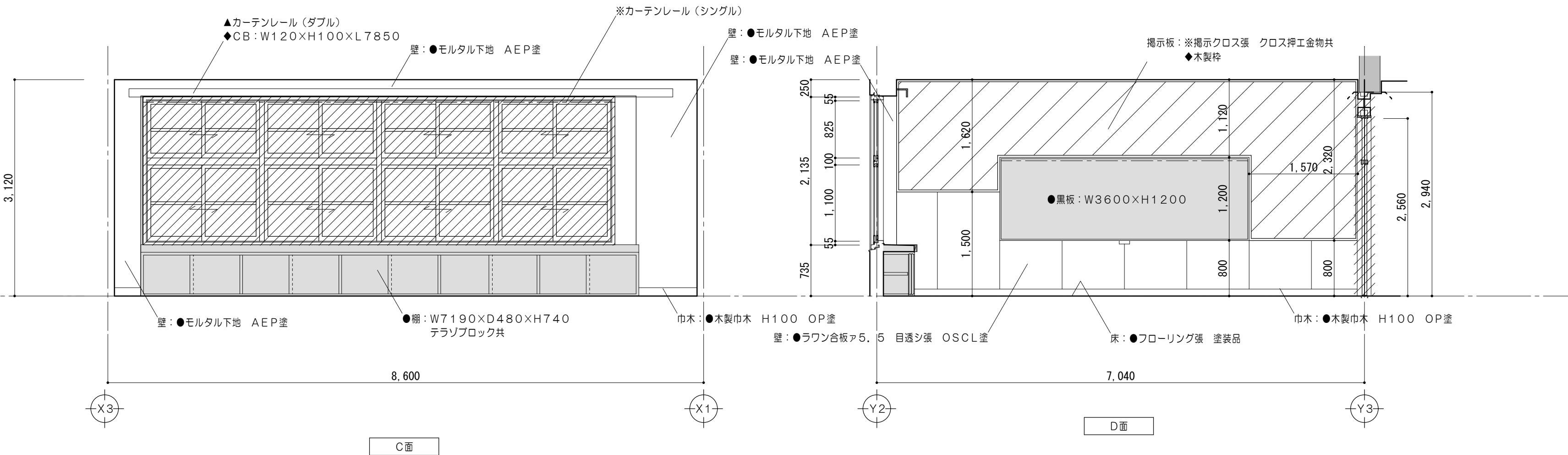
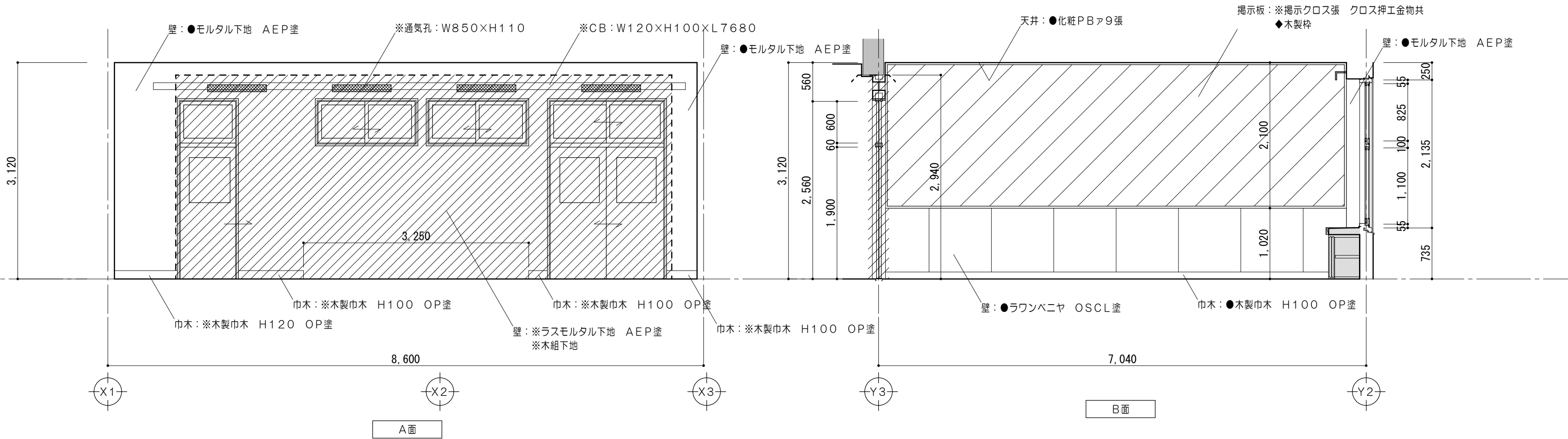
仕上凡例	
FW3	巾木： 下地調整RＢ種の上 EP-G塗 H100
W2	壁： 下地調整RＢ種の上 EP塗 既設モルタル下地
W7	壁： 下地調整RＢ種の上 C1塗 既設ラワン合板

凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
◆	既設塗替を示す
●	既設のままを示す
▲	取外し再取付を示す

特 記 事 項		MAMINO 株 式 会 社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日
			第360917号 前田 祐作	第378328号 加藤 早妃	第320204号 前野 将輝			縮 尺 A2:1/50 A3:1/71	図面番号 A058 原図:A2			
											改修後 1階展開図No.2 (図工室)	



凡例 （工事内容）	
	既設のままを示す
	コンクリート壁撤去を示す （建具共）
	既設間仕切壁撤去を示す （建具共）
	仕上材・下地、コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去
	モルタル浮きを示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を <u>示す</u>
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す



凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	コンクリート壁撤去を示す (建具共)
	既設間仕切り壁撤去を示す (建具共)
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去
	モルタル浮きを示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す

特記事項	

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

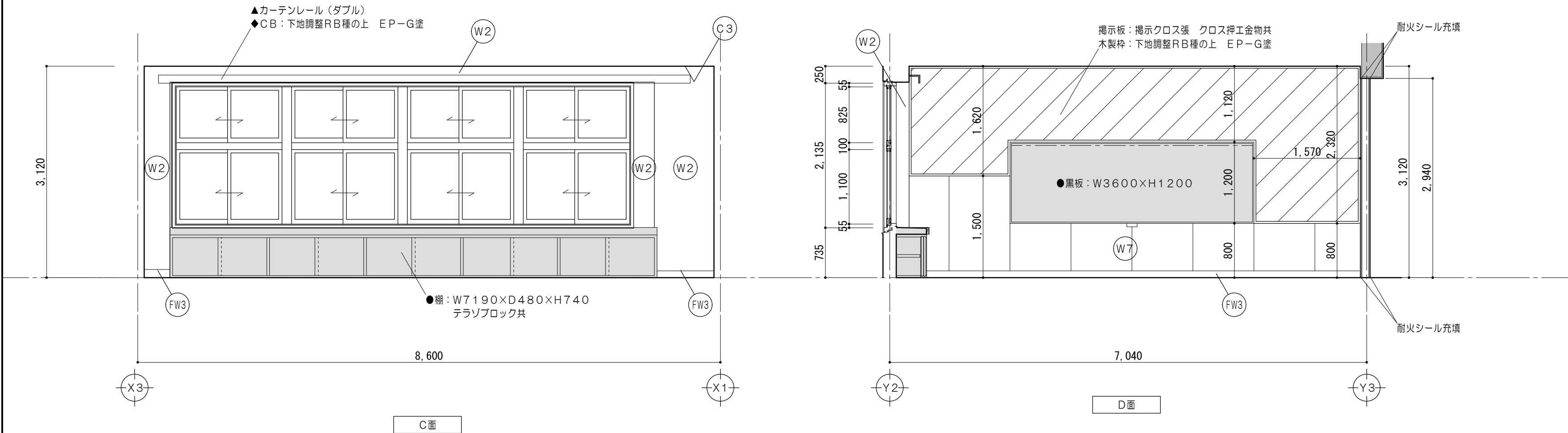
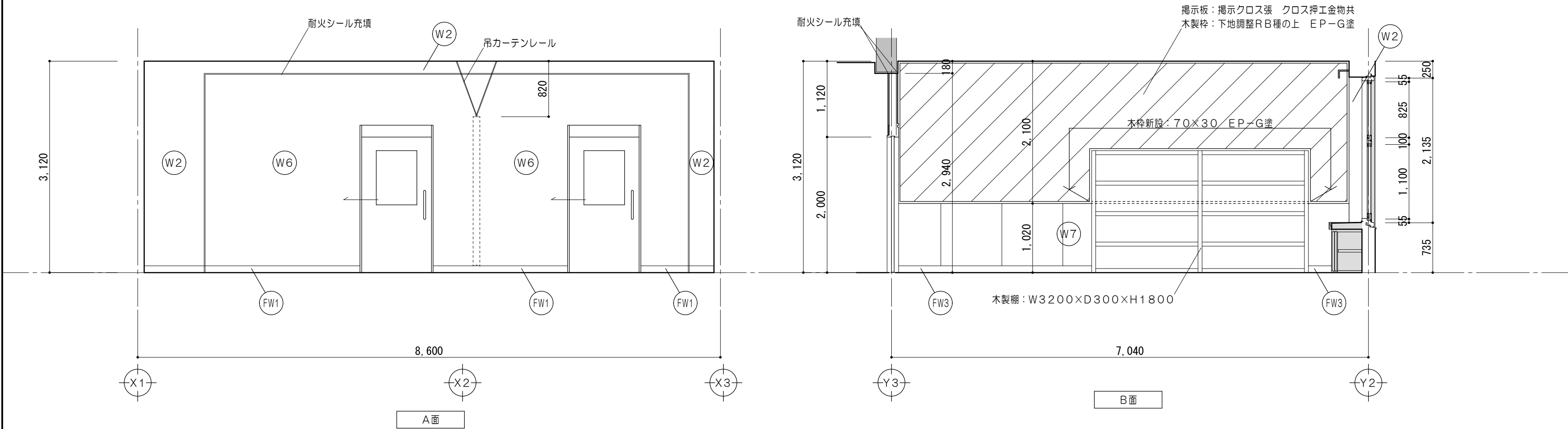
株式会社 前野建築設計

管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当
-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------	------

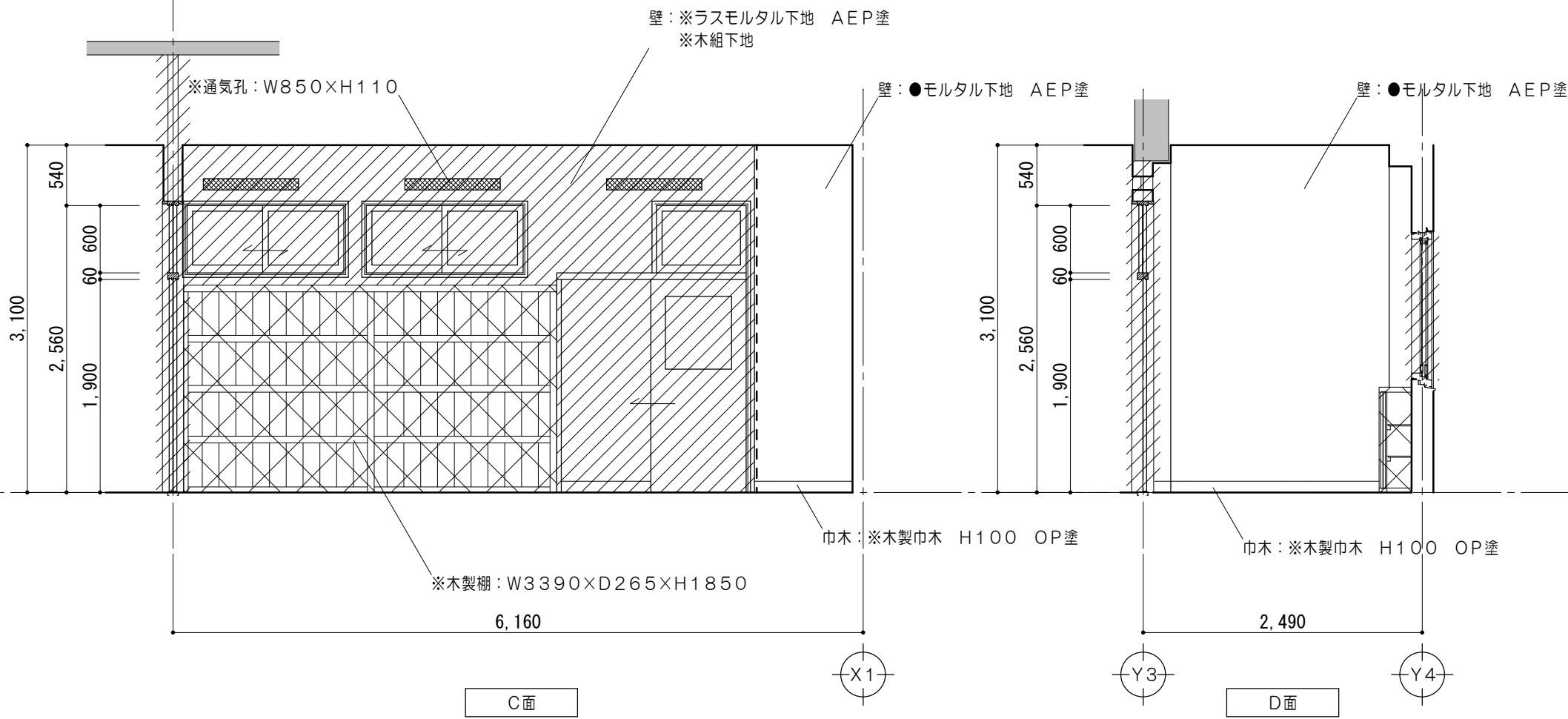
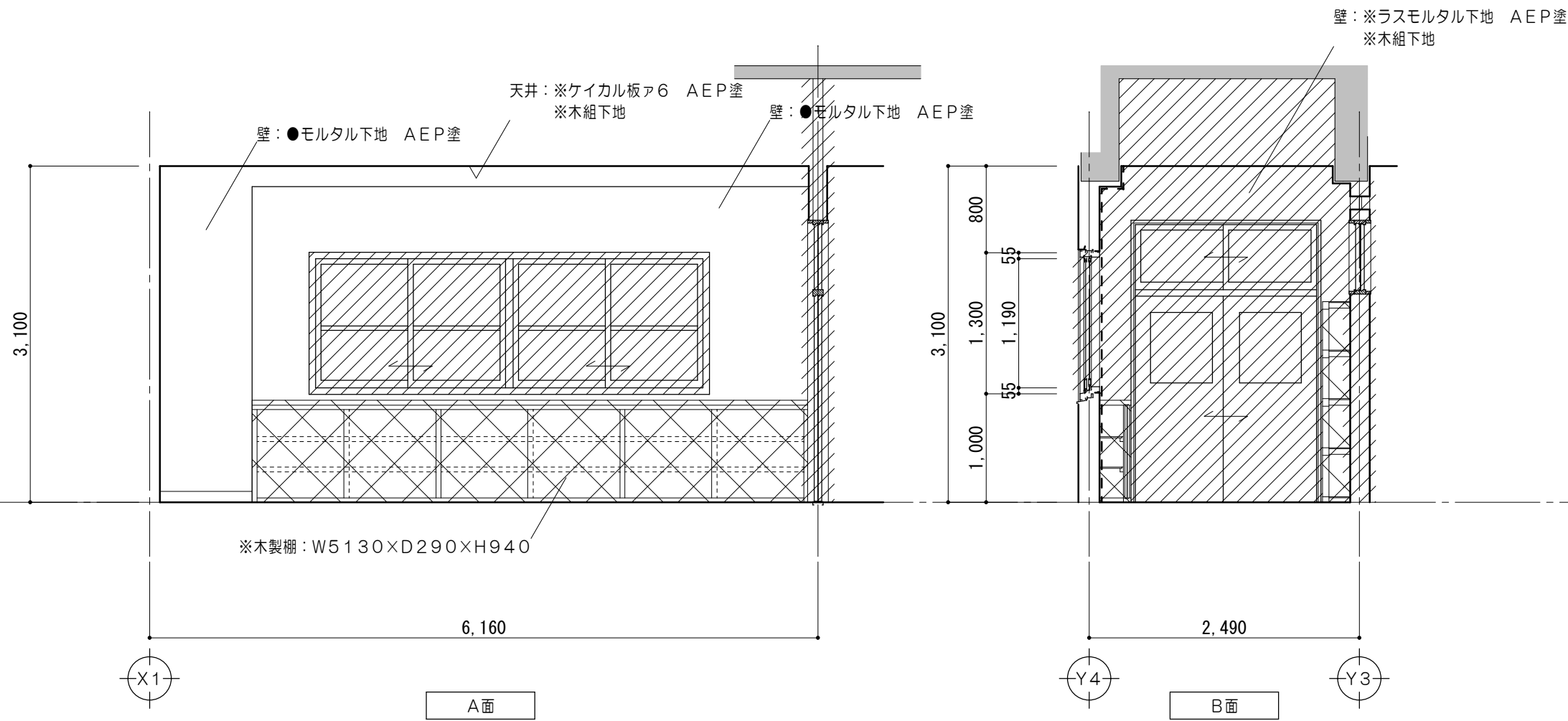
法適合確認	作図
	検図

工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	縮尺 A2:1/50 A3:1/71	設計日
図面名称 改修前 2階展開図No.1 (パソコン教室)	図面番号 A063 原図:A2	



仕上凡例	
FW1	巾木: ビニル巾木 H100
FW3	巾木: 下地調整RB種の上 EP-G塗 H100
W2	壁: 下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地
W6	壁: 耐火中空二重壁 EP塗
W7	壁: 下地調整RB種の上 CL塗 既設ラワン合板
C3	天井: 化粧PBア9.5 EP塗 既設下地

凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
◆	既設塗替を示す
●	既設のままを示す
▲	取外シ再取付を示す



凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	コンクリート壁撤去を示す (建具共)
	既設間仕切壁撤去を示す (建具共)
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去
	モルタル浮きを示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す

特記事項	



一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号
株式会社 **前野建築設計**
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

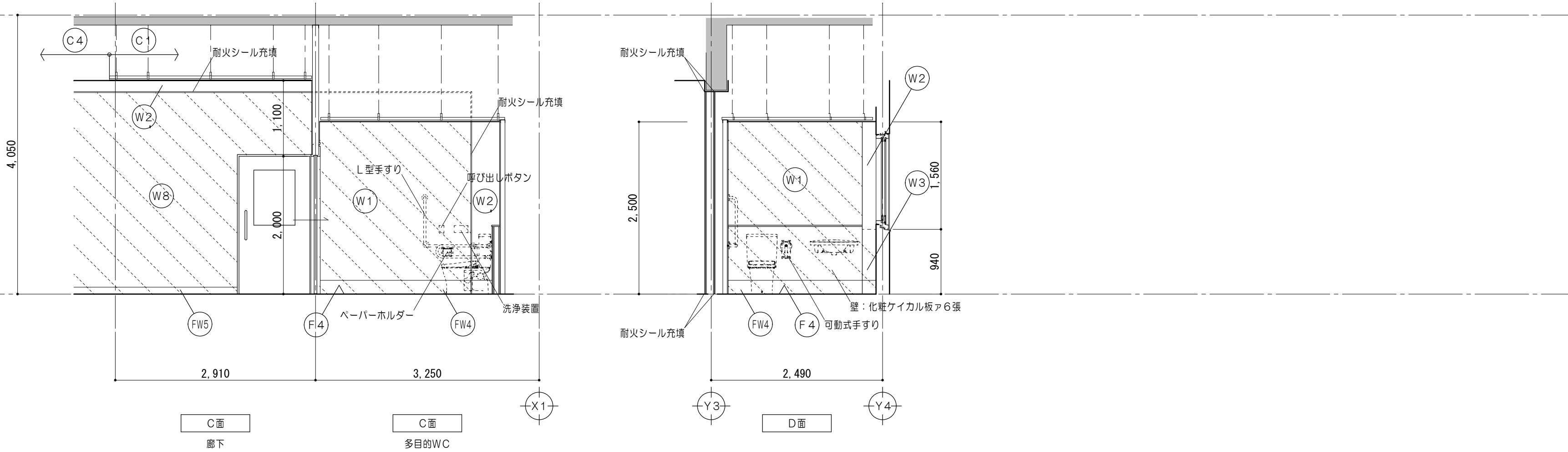
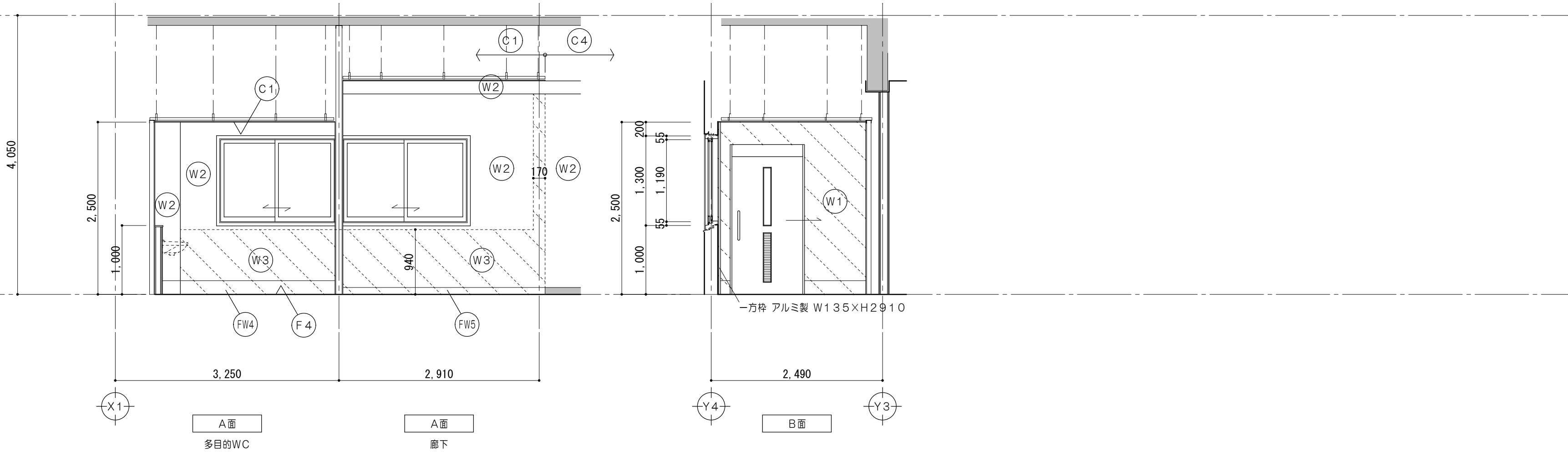
代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当
-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------	------

法適合確認

作図
検図

工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	縮尺 A2:1/50 A3:1/71
図面名称 改修前 2階展開図No.2 (準備室)	図面番号 A065 原図:A2

設計日



仕上凡例	
(F 4)	巾木：超防汚性ビニル床シートA2. 0張 下地調整RB種の上
(FW4)	巾木：床同材巻上 H200
(FW5)	巾木：ビニル巾木 H100 モルタル金コテ押工
(W1)	壁：PBア12. 5 EP塗 LGS下地
(W2)	壁：下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地
(W3)	壁：モルタル金コテ押工 EP塗
(W8)	壁：耐火中空二重壁 EP塗 LGS下地
(C1)	天井：化粧PBア9. 5張 LGS下地

凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	既設塗替を示す
	既設のままを示す
	取外シ再取付を示す

特記事項	

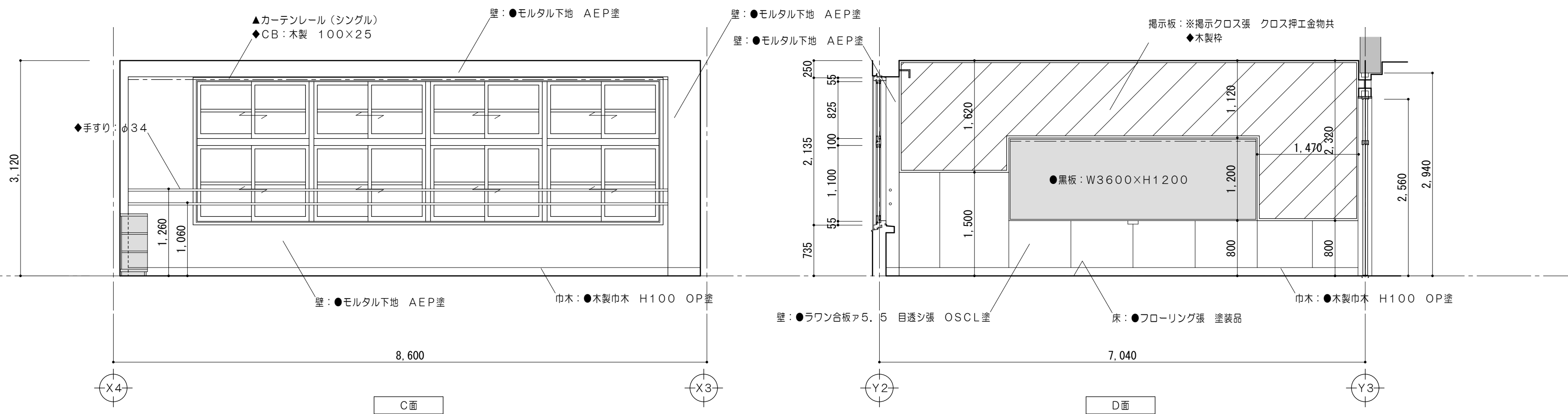
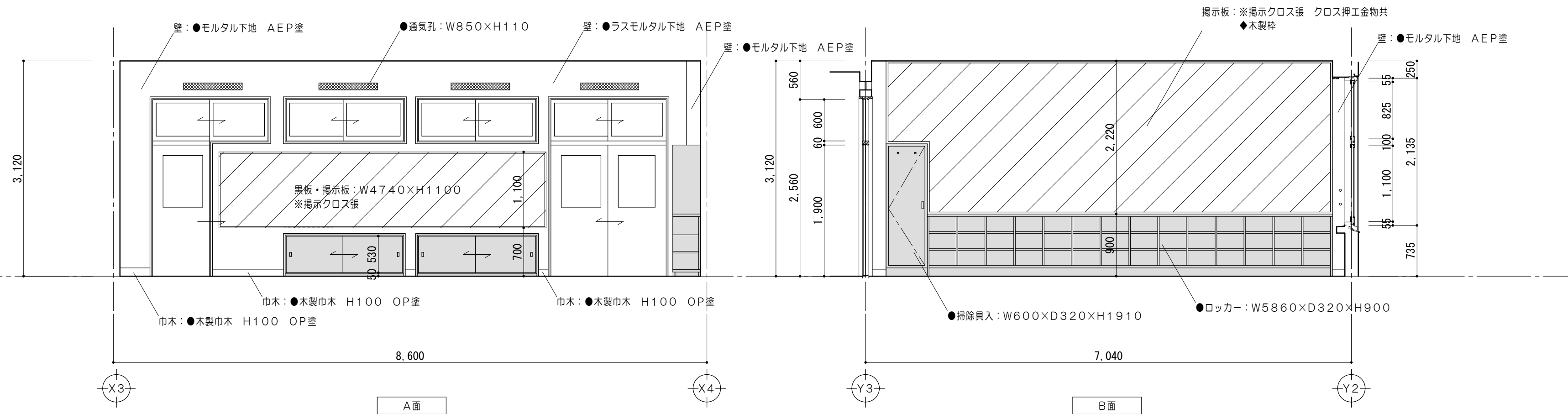
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	株式会社 前野建築設計
管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	

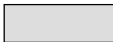
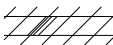
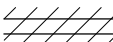
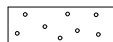
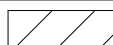
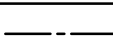
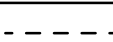
代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当
-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------	------

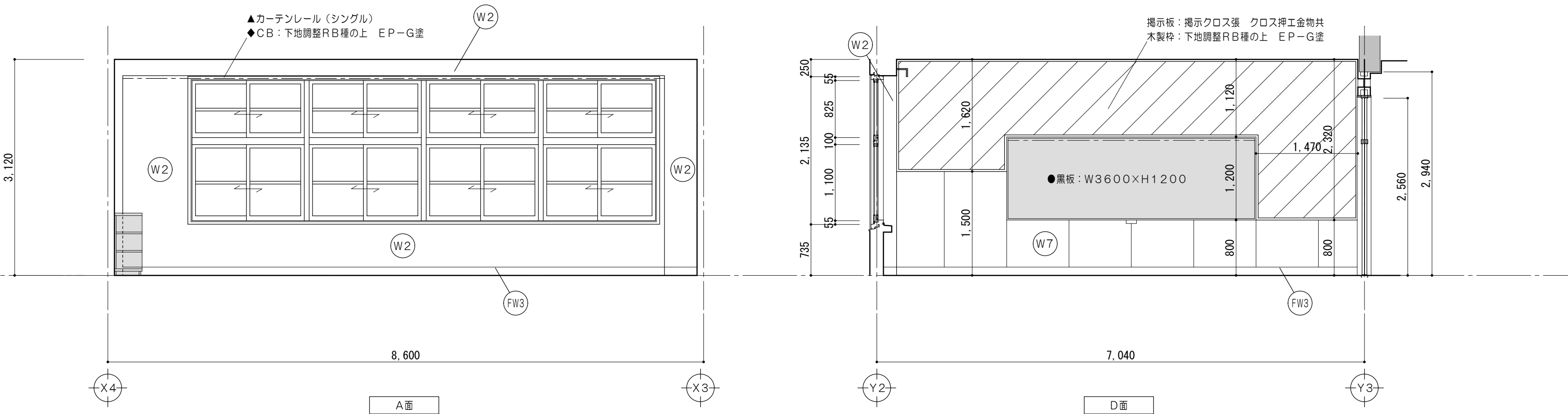
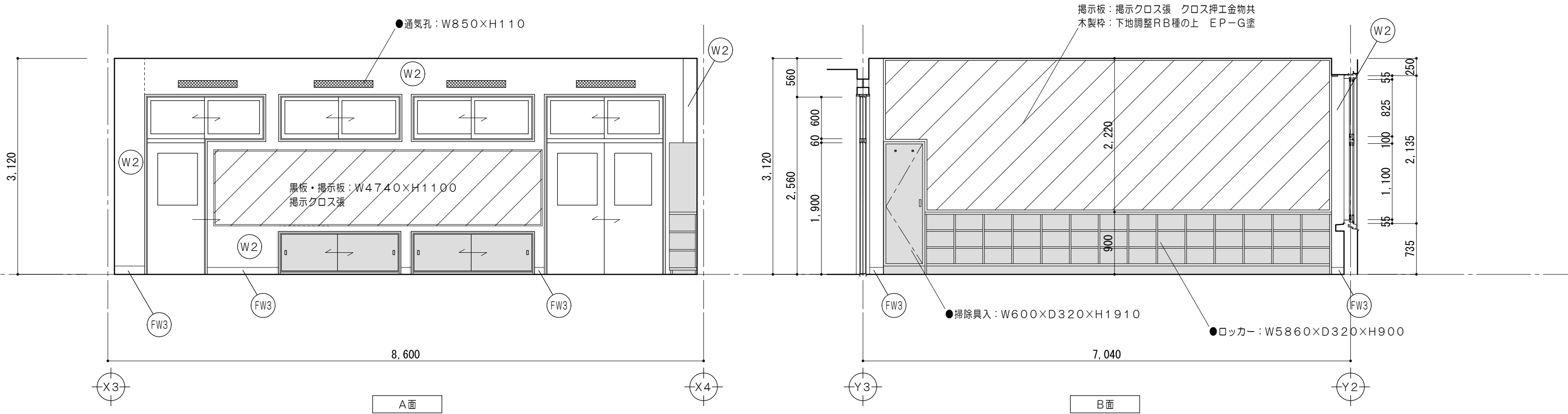
法適合確認	作図
検図	

工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	縮尺 A2:1/50 A3:1/71
図面名称 改修後 2階展開図No.2 (多目的WC・廊下)	図面番号 A066 原図:A2

設計日

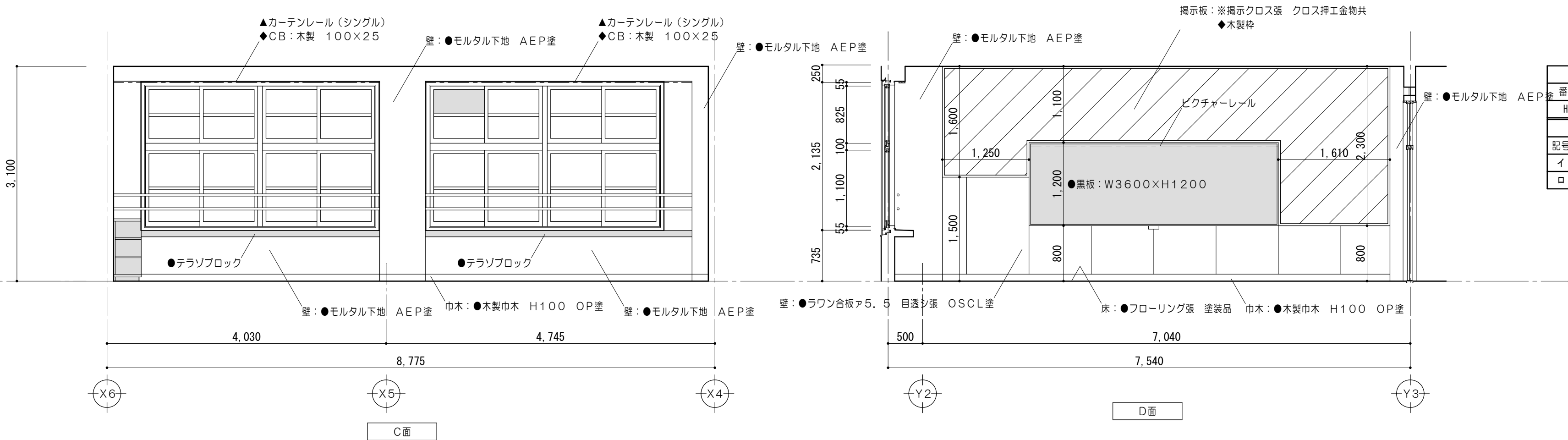
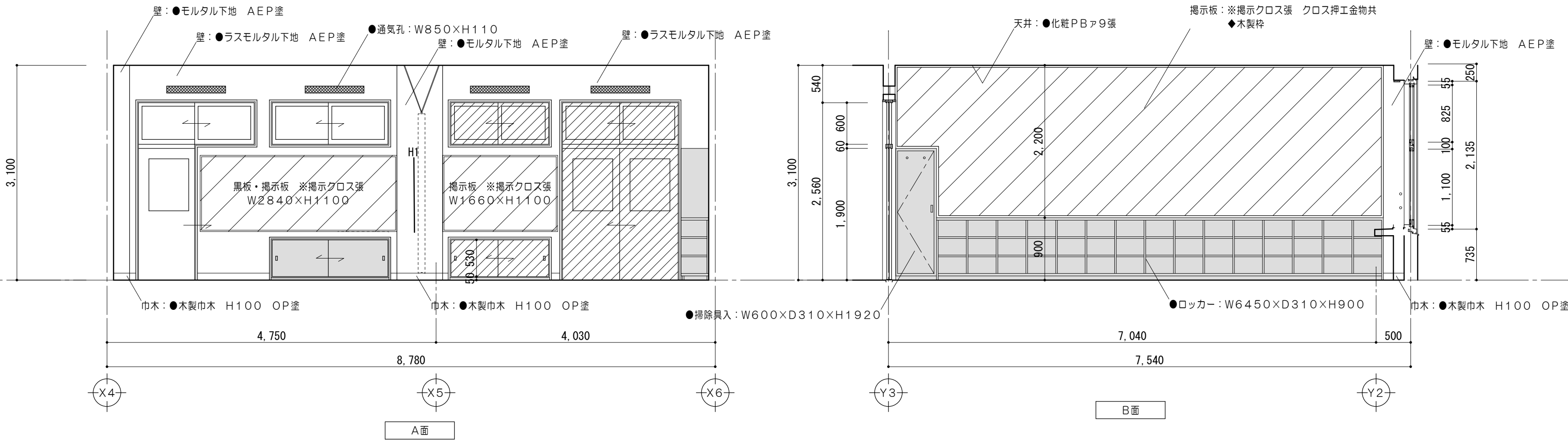


凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	コンクリート壁撤去を示す （建具共）
	既設間仕切り壁撤去を示す （建具共）
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去
	モルタル浮きを示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す



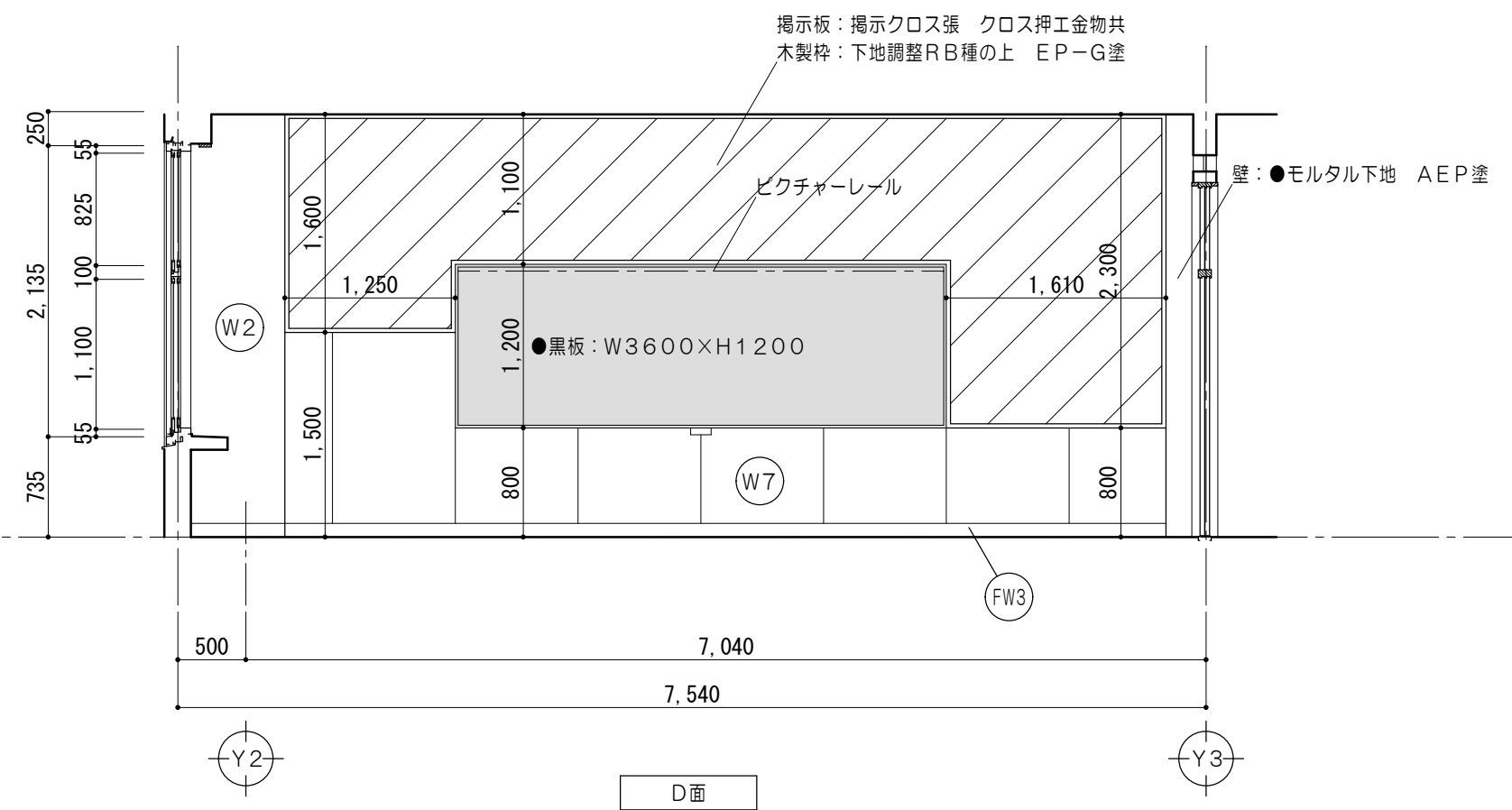
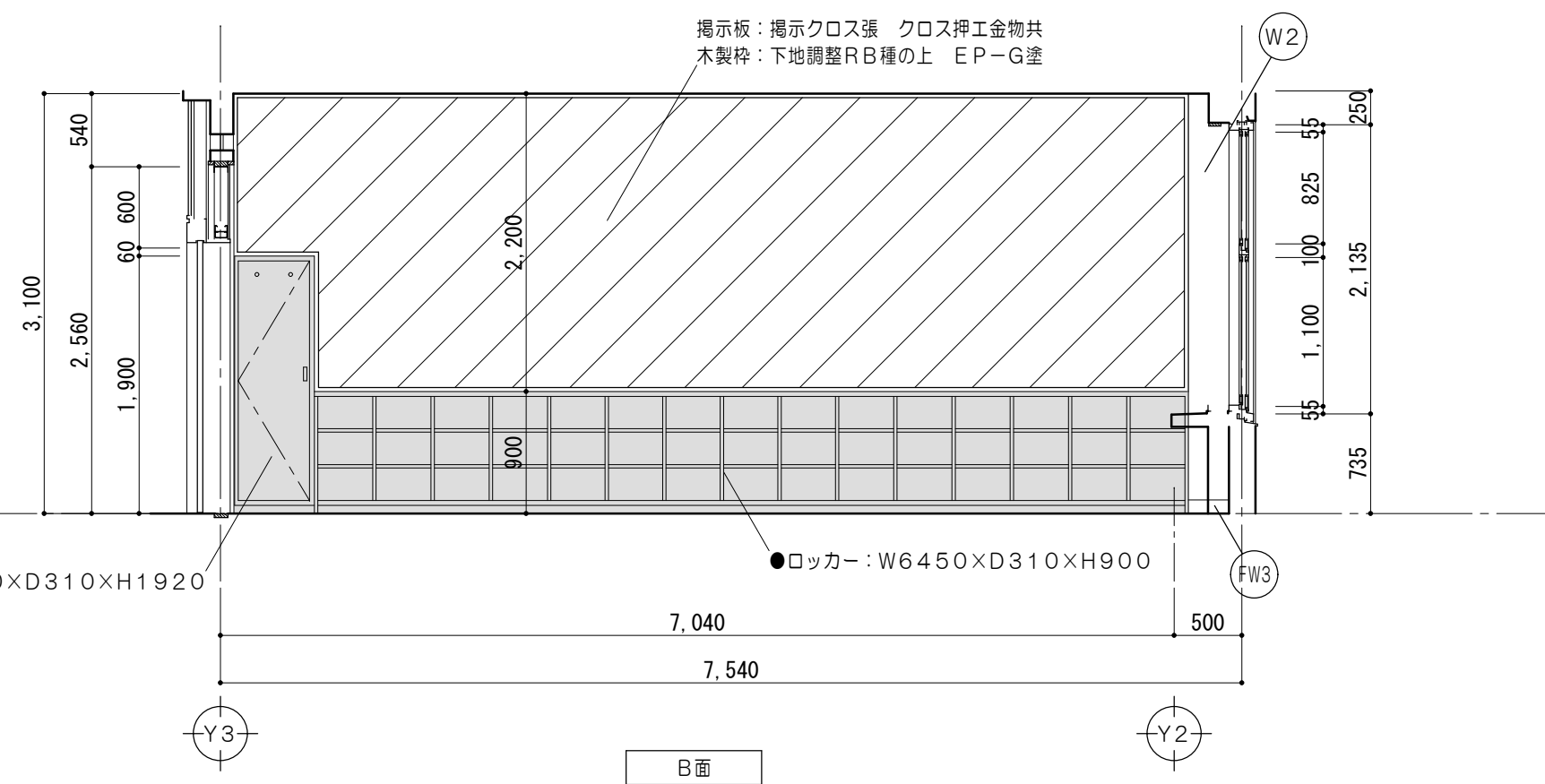
仕上凡例	
(FW3)	巾木：下地調整RB種の上 EP-G塗 H100
(W2)	壁：下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地
(W7)	壁：下地調整RB種の上 CL塗 既設ラワン合板
(C3)	天井：化粧PBA9.5 EP塗 既設下地

凡例（工事内容）	
	既設のまますす
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
◆	既設塗替を示す
●	既設のまますす
▲	取外シ再取付を示す



クラック							
番号	幅(mm)	長さ(mm)	補修方法	番号	幅(mm)	長さ(mm)	補修方法
H1	1.10	1000	□				
【イ】合計		0.00	m	【ロ】合計		1.00	m
記号	条 件			補 修 工 法			
イ	0.3mm以上1.0mm未満			自動式低圧エポキシ樹脂注入工法			
ロ	1.0mm以上			Uカットシール材充填工法			

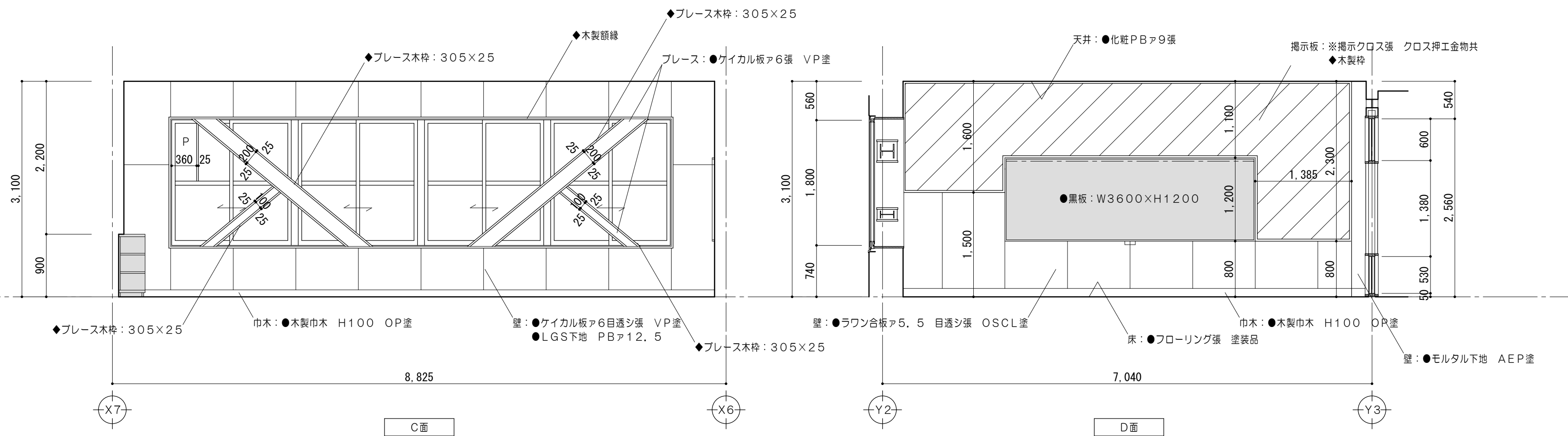
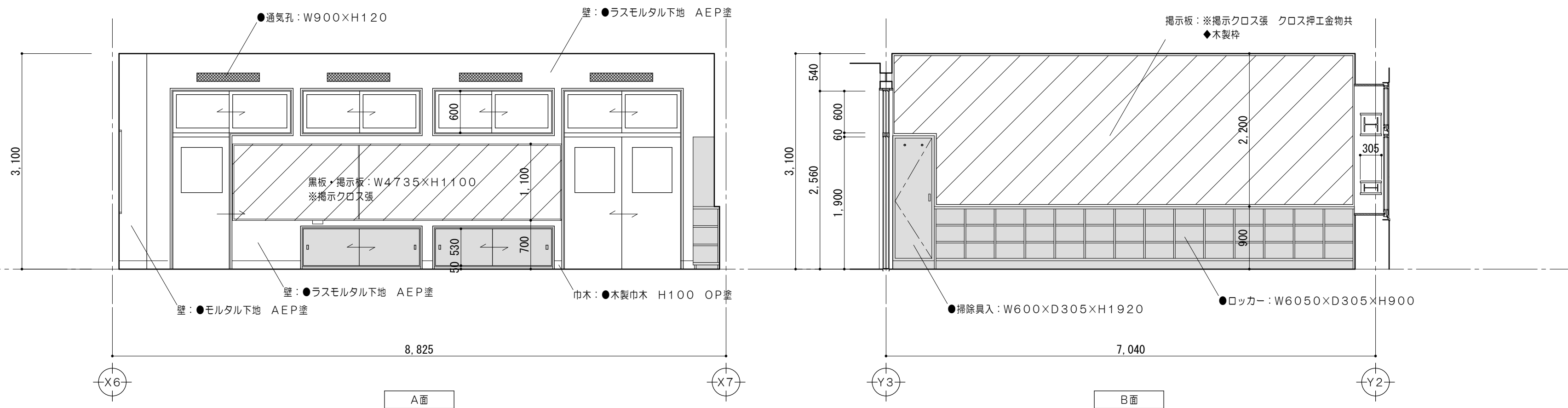
凡例 (工事内容)	
■	既設のままを示す
///	コンクリート壁撤去を示す (建具共)
///	既設間仕切壁撤去を示す (建具共)
□	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
///	仕上材撤去範囲を示す
□	仕上・下地共撤去
□	モルタル浮きを示す
---	コンクリートカッター切を示す
---	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す

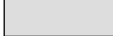
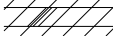
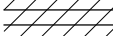
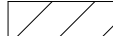
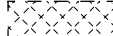


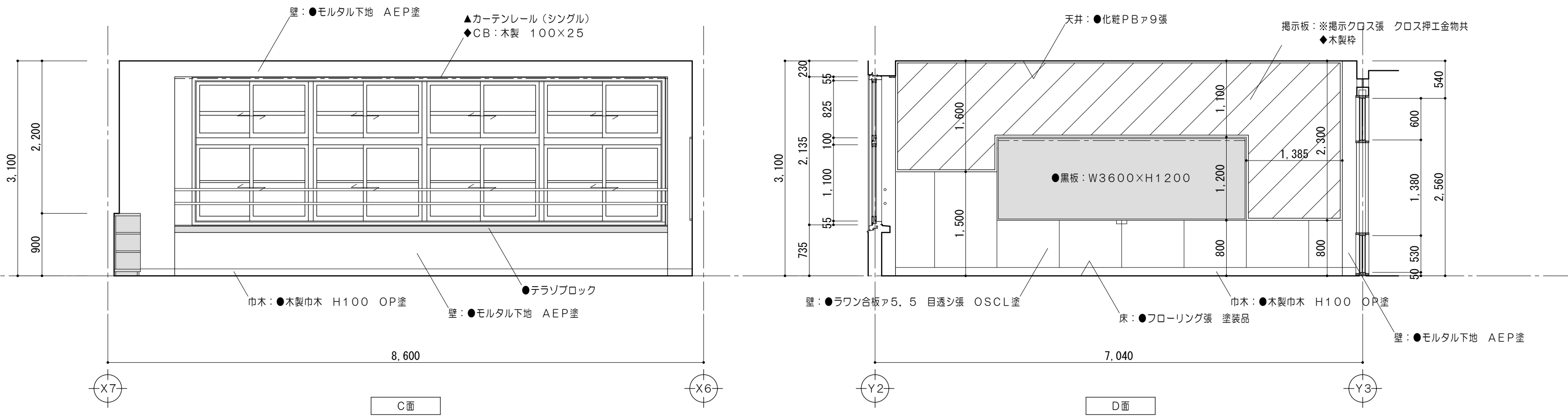
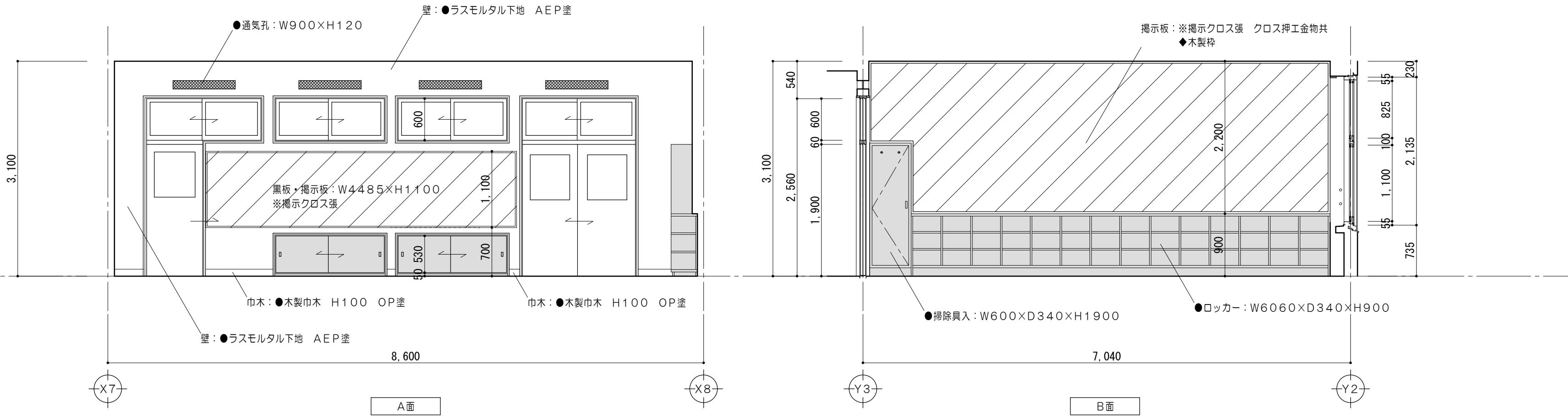
仕上凡例	
(FW1)	巾木：ビニル巾木 H100
(FW3)	巾木：下地調整RB種の上 EP-G塗 H100
(W1)	壁：PB A12.5 EP塗 LGS下地
(W2)	壁：下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地
(W7)	壁：下地調整RB種の上 CL塗 既設フワン合板

凡例 (工事内容)	
	既設のまますを示す
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
◆	既設塗替を示す
●	既設のまますを示す
▲	取外シ再取付を示す

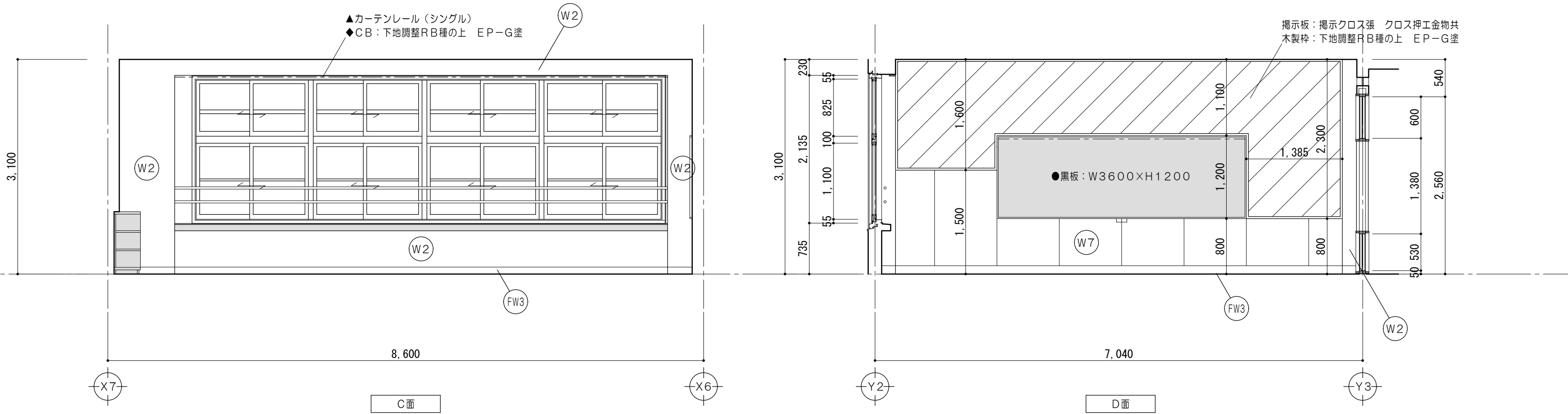
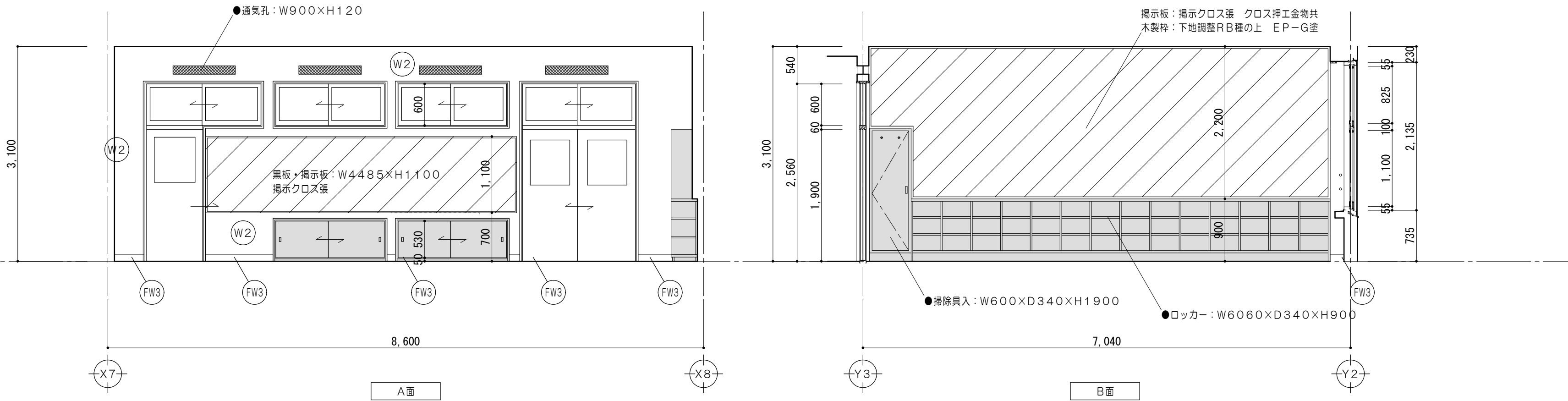
特 記 事 項		一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号  株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 原図	工事名称	設計日
			一級建築士 第360917号 前田 祐作	一級建築士 第378328号 加藤 早紀	一級建築士 第320204号 前野 将輝				☒ 改修後 2階展開図No.4 (たんぼぼ教室)		縮 尺 A2:1/50 A3:1/71	図面番号 A070 原図:A2



凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	コンクリート壁撤去を示す （建具共）
	既設間仕切壁撤去を示す （建具共）
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去
	モルタル浮きを示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す



凡例 （工事内容）	
	既設のままを示す
	コンクリート壁撤去を示す （建具共）
	既設間仕切り壁撤去を示す （建具共）
	仕上材・下地・コンクリート 撤去範囲を示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去
	モルタル浮きを示す
	コンクリートカッター切を示す
	モルタルカッター切を示す
※	解体撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す



仕上凡例	
FW3	巾木：下地調整RB種の上 EP-G塗 H100
W2	壁：下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地
W7	壁：下地調整RB種の上 CL塗 既設ラワン合板
W10	壁：下地調整RB種の上 EP塗 既設ケイカル板

凡例（工事内容）	
	既設のまます示す
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
◆	既設塗替を示す
●	既設のまます示す
▲	取外シ再取付を示す

特記事項	

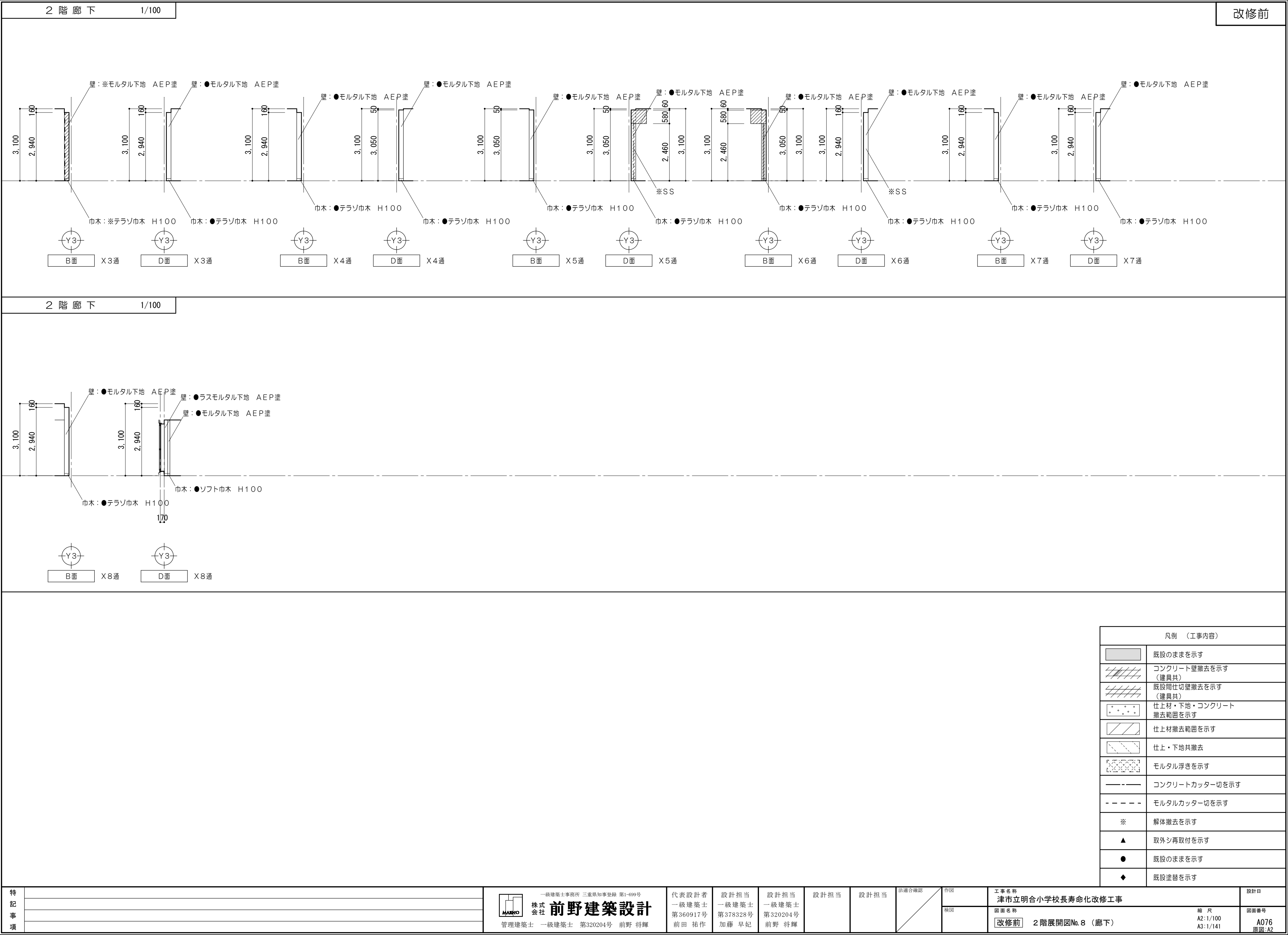
株式会社 前野建築設計

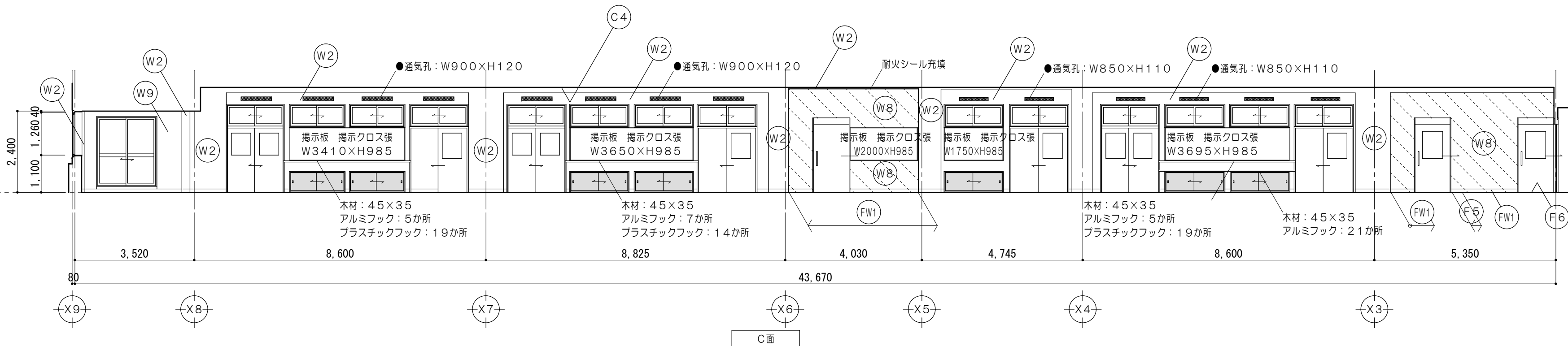
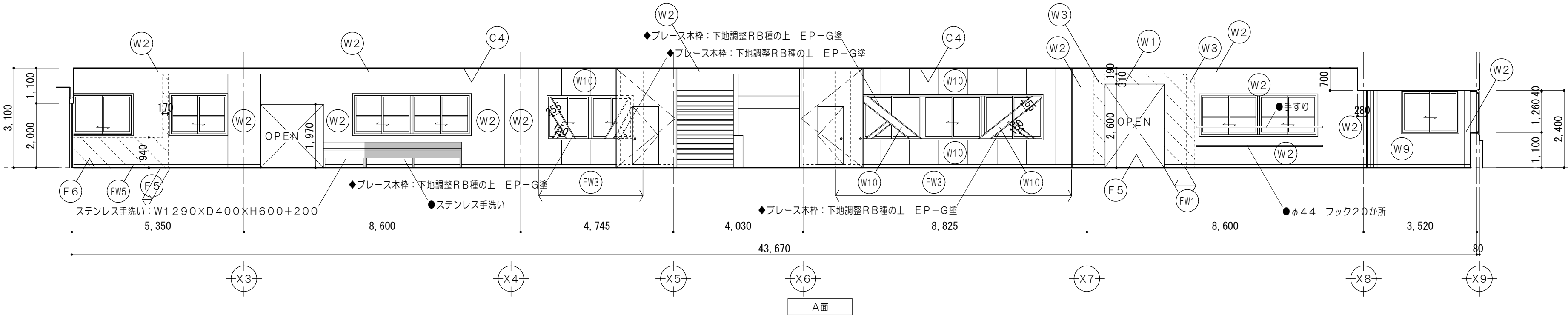
一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝

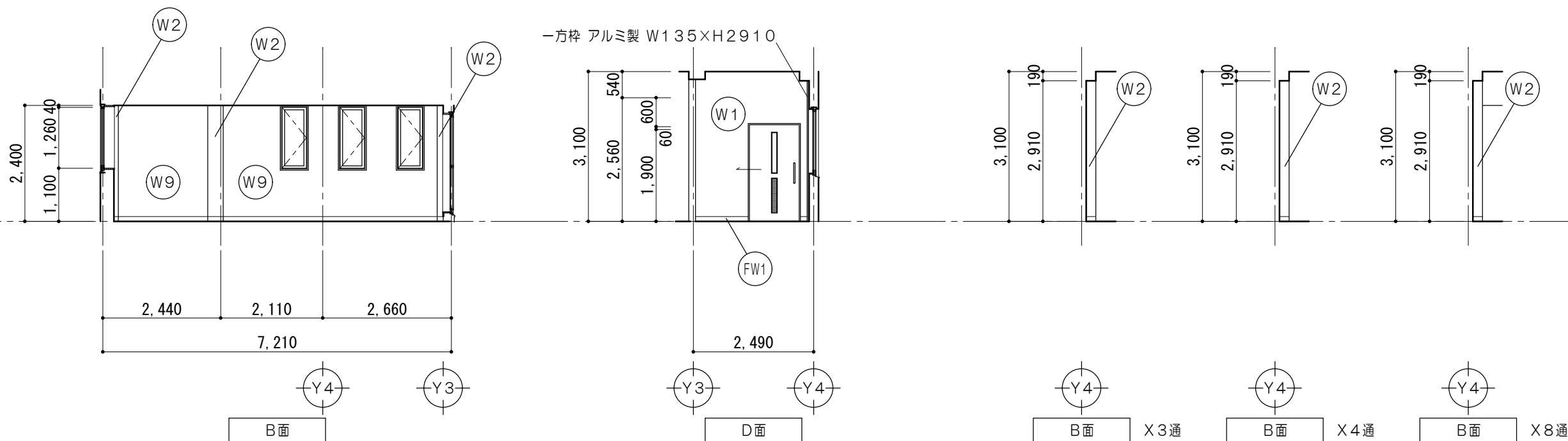
代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認
一級建築士 第360917号 前田 祐作	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第320204号 前野 将輝			

作図	工事名称	設計日
概図	津市立明合小学校長寿命化改修工事	
	図面名称	図面番号
	改修後 2階展開図No.6（普通教室（二年））	A074 原図:A2
	縮尺	
	A2:1/50 A3:1/71	



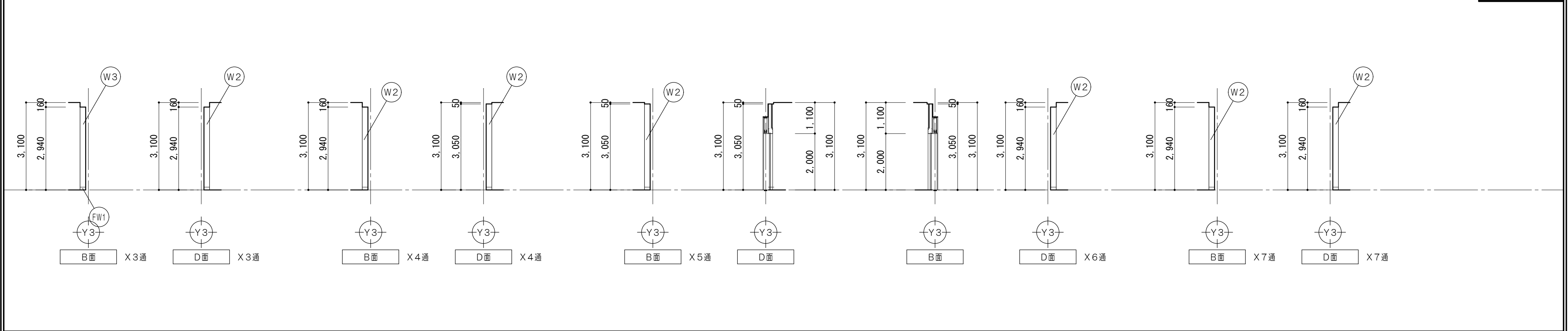


仕上凡例	
(F5)	床 : ビニル床タイルA3、0張 モルタル金コテ押工
(F6)	床 : ビニル床タイルA3、0張
(FW1)	巾木: ビニル巾木 H100
(FW3)	巾木: 下地調整RB種の上 EP-G塗 H100
(FW5)	巾木: ビニル巾木 H100 モルタル金コテ押工
(W1)	壁 : PBA12.5 EP塗 LGS下地
(W2)	壁 : 下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地
(W3)	壁 : モルタル金コテ押工 EP塗
(W8)	壁 : 耐火中空二重壁 EP塗
(W9)	壁 : 下地調整RB種の上 EP塗 既設PB下地
(W10)	壁 : 下地調整RB種の上 EP塗 既設ケイカル板
(C1)	天井: 化粧PBA9.5張 LGs下地
(C3)	天井: 化粧PBA9.5張 既設下地
(C4)	天井: 下地調整RC種の上 EP塗 既設ケイカル板

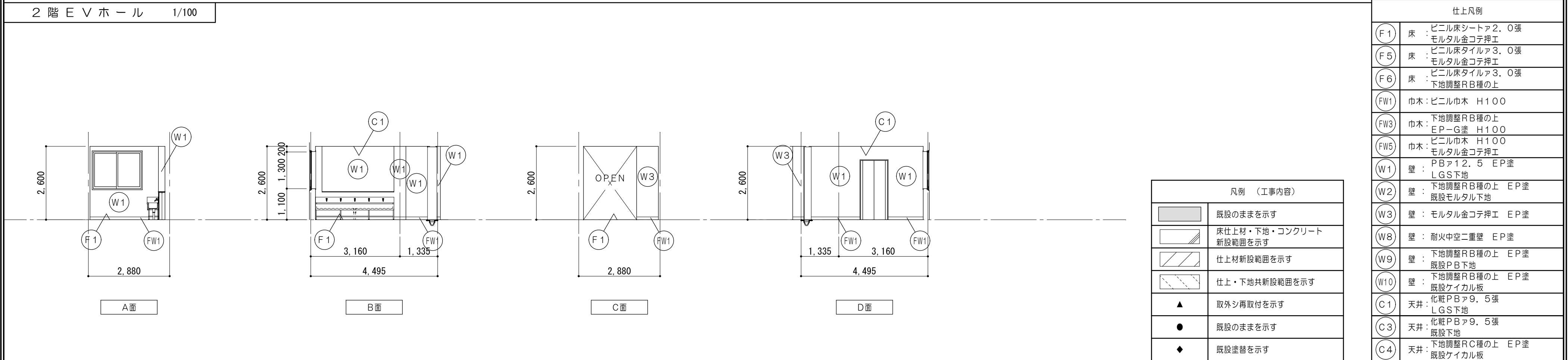


凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
▲	取外し再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す

特 記 事 項		MAENO 株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
			検図	図面名称 改修後 2階展開図No.7 (廊下)	縮 尺 A2:1/100 A3:1/141	図面番号 A077 原図:A2					



1/100



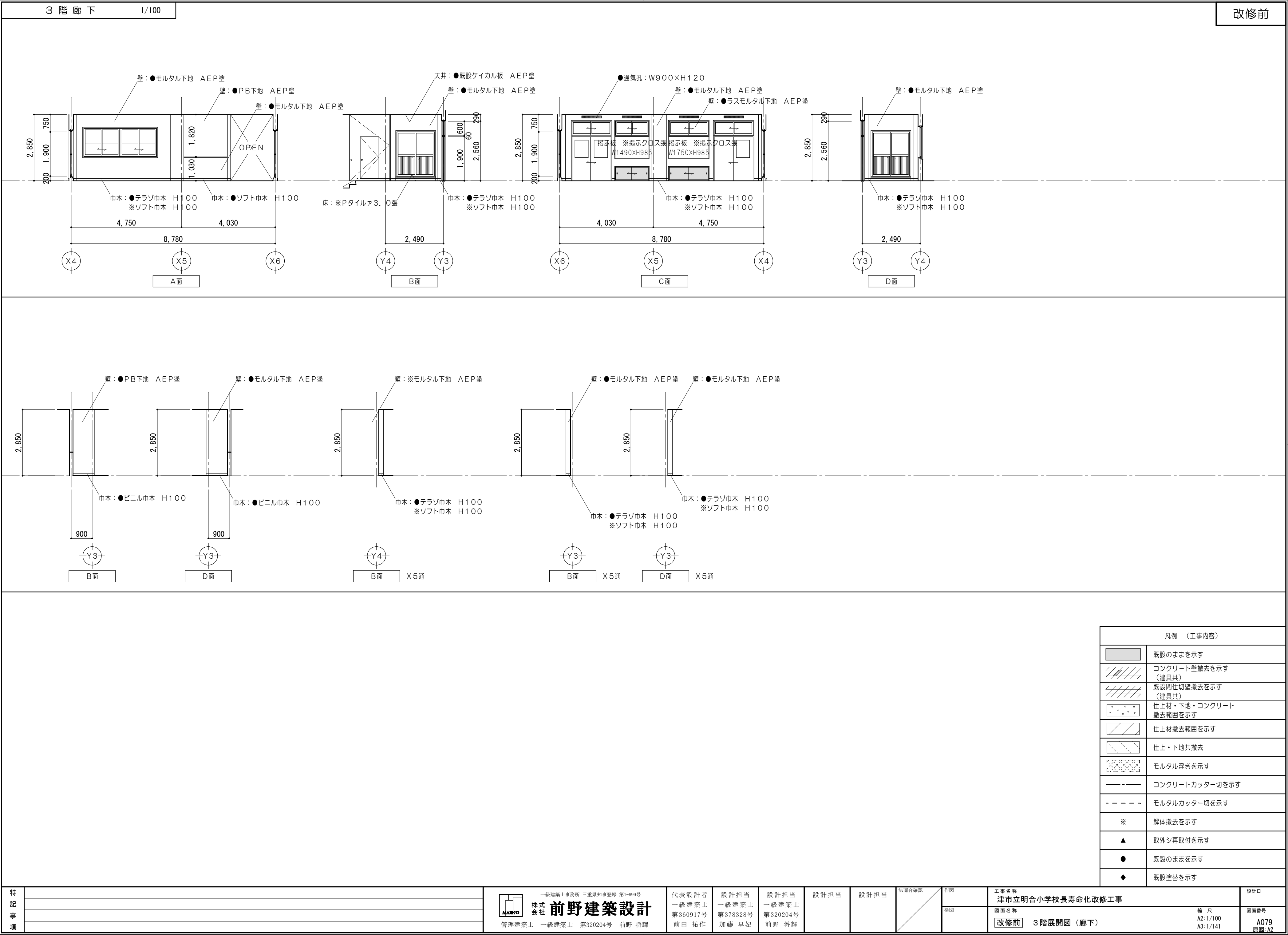
仕上凡例	
(F1)	床: ビニル床シートA、O張 モルタル金コテ押工
(F5)	床: ビニル床タイラ3、O張 モルタル金コテ押工
(F6)	床: ビニル床タイラ3、O張 下地調整R種の上
(FW1)	巾木: ビニル巾木 H100
(FW3)	巾木: 下地調整R種の上 EP-G塗 H100
(FW5)	巾木: ビニル巾木 H100 モルタル金コテ押工
(W1)	壁: PBA12.5 EP塗 LGS下地
(W2)	壁: 下地調整R種の上 EP塗 既設モルタル下地
(W3)	壁: モルタル金コテ押工 EP塗
(W8)	壁: 耐火中空二重壁 EP塗
(W9)	壁: 下地調整R種の上 EP塗 既設PBA下地
(W10)	壁: 下地調整R種の上 EP塗 既設ケイカル板
(C1)	天井: 化粧PBA9、5張 LGS下地
(C3)	天井: 化粧PBA9、5張 既設下地
(C4)	天井: 下地調整RC種の上 EP塗 既設ケイカル板

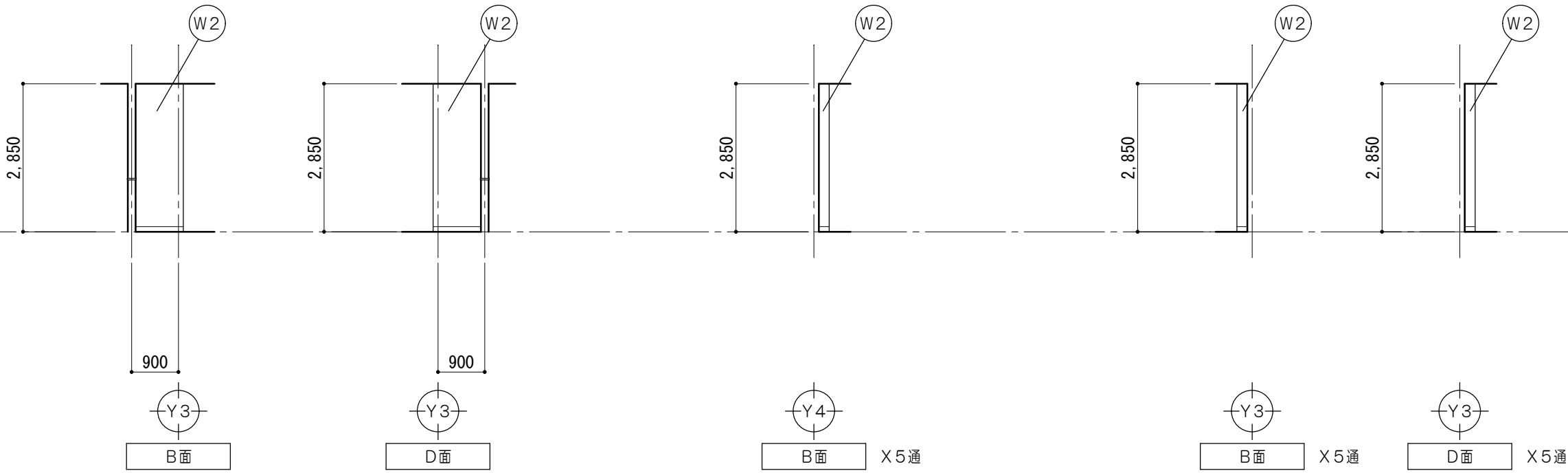
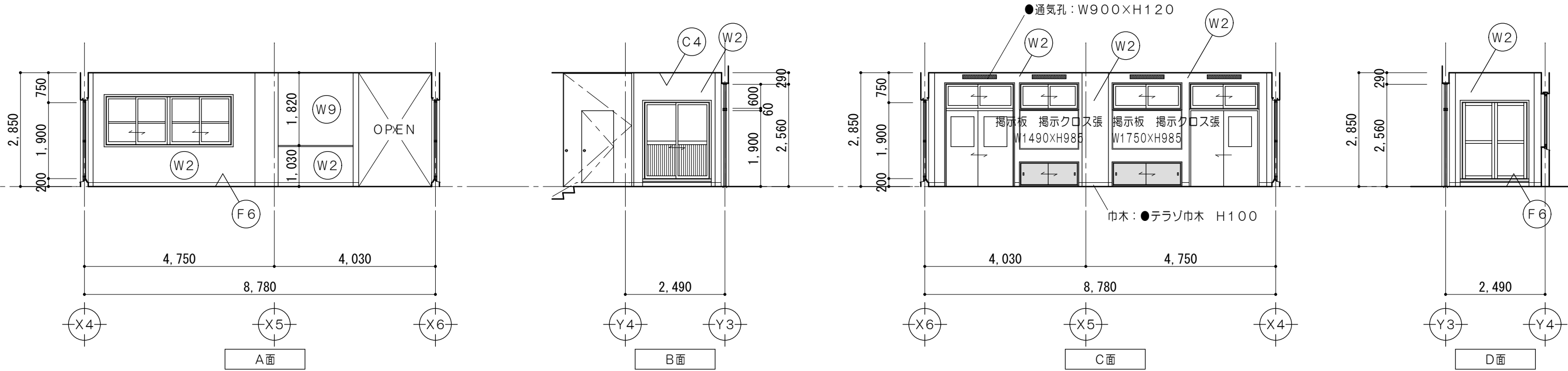
法適合確認

工事名称
津市立
図面名称
改修後

縮尺
A2:1/100
A3:1/141

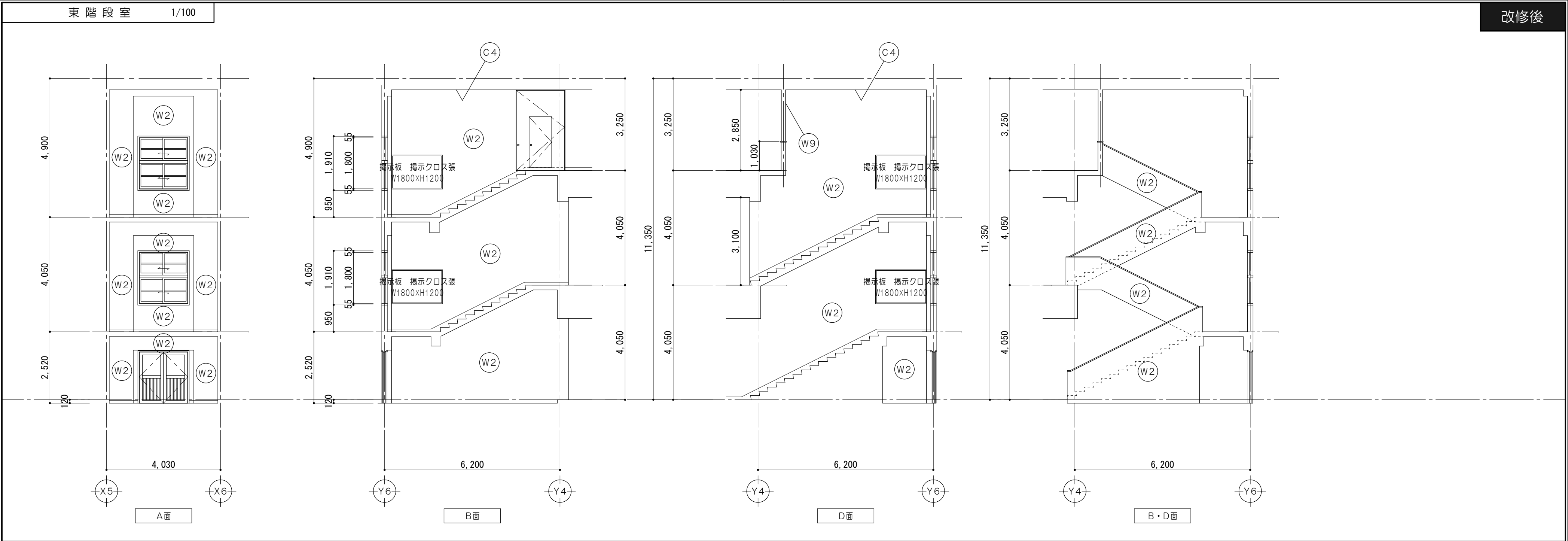
設計日
図面番号
A078
原図:A2





凡例 (工事内容)	
	既設のままを示す
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
	取外シ再取付を示す
	既設のままを示す
	既設塗替を示す

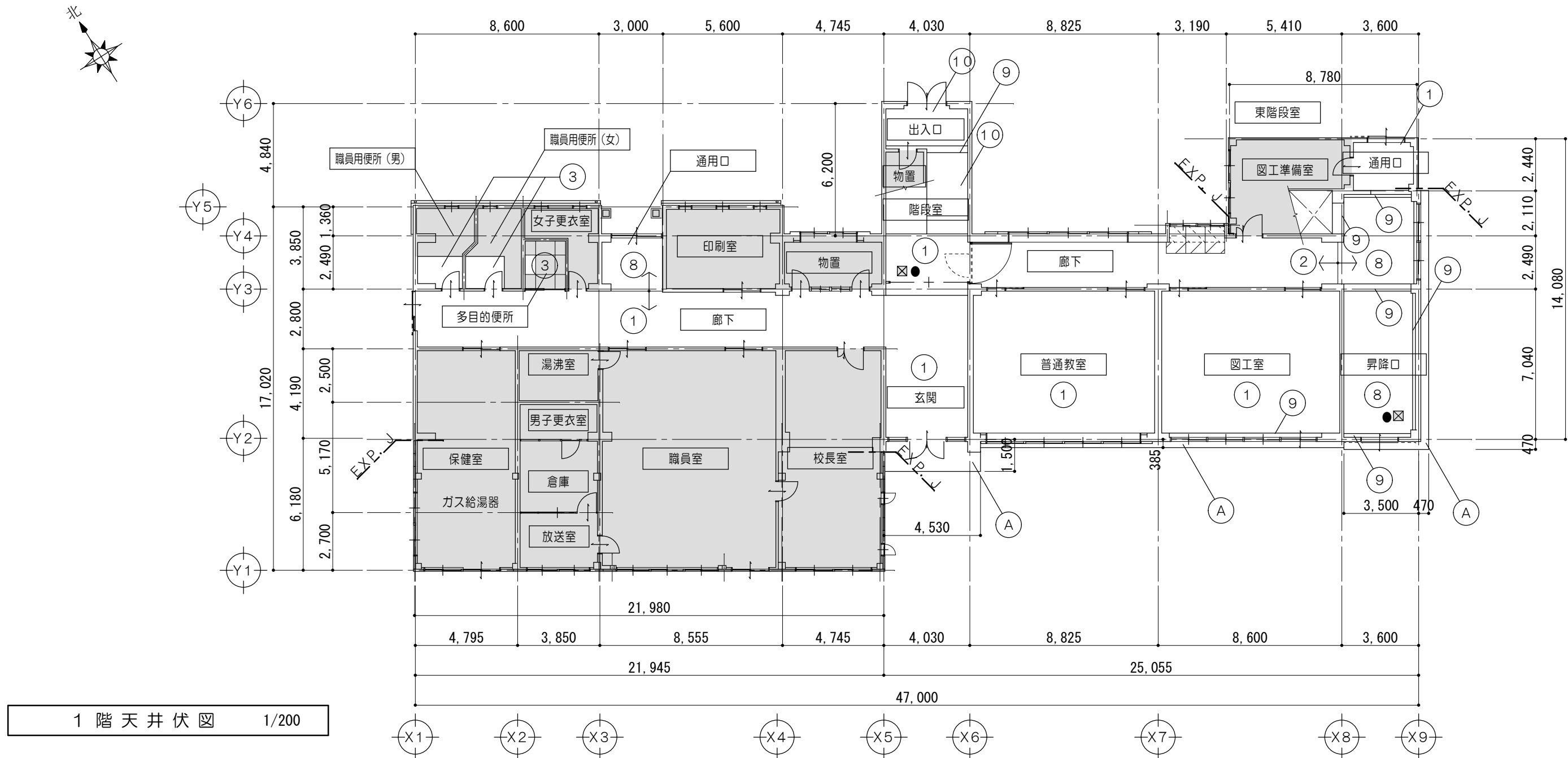
仕上凡例	
(F5)	床 : ビニル床タイルA3, 0張 モルタル金コテ押工
(F6)	床 : ビニル床タイルA3, 0張 下地調整RB種の上
(FW1)	巾木 : ビニル巾木 H100
(FW3)	巾木 : EP-G塗 H100 下地調整RB種の上
(FW5)	巾木 : ビニル巾木 H100 モルタル金コテ押工
(W1)	壁 : PBア12, 5 EP塗 LGS下地
(W2)	壁 : 下地調整RB種の上 EP塗 既設モルタル下地
(W3)	壁 : モルタル金コテ押工 EP塗
(W8)	壁 : 耐火中空二重壁 EP塗
(W9)	壁 : 下地調整RB種の上 EP塗 既設PB下地
(W10)	壁 : 下地調整RB種の上 EP塗 既設ケイカル板
(C1)	天井 : 化粧PBア9, 5張 LGS下地
(C3)	天井 : 化粧PBア9, 5張 既設下地
(C4)	天井 : 下地調整RC種の上 EP塗 既設ケイカル板



仕上凡例	
W2	壁：下地調整R B種の上 EP塗 既設モルタル下地
W9	壁：下地調整R B種の上 EP塗 既設PB下地
C4	天井：下地調整R C種の上 EP塗 既設ケイカル板

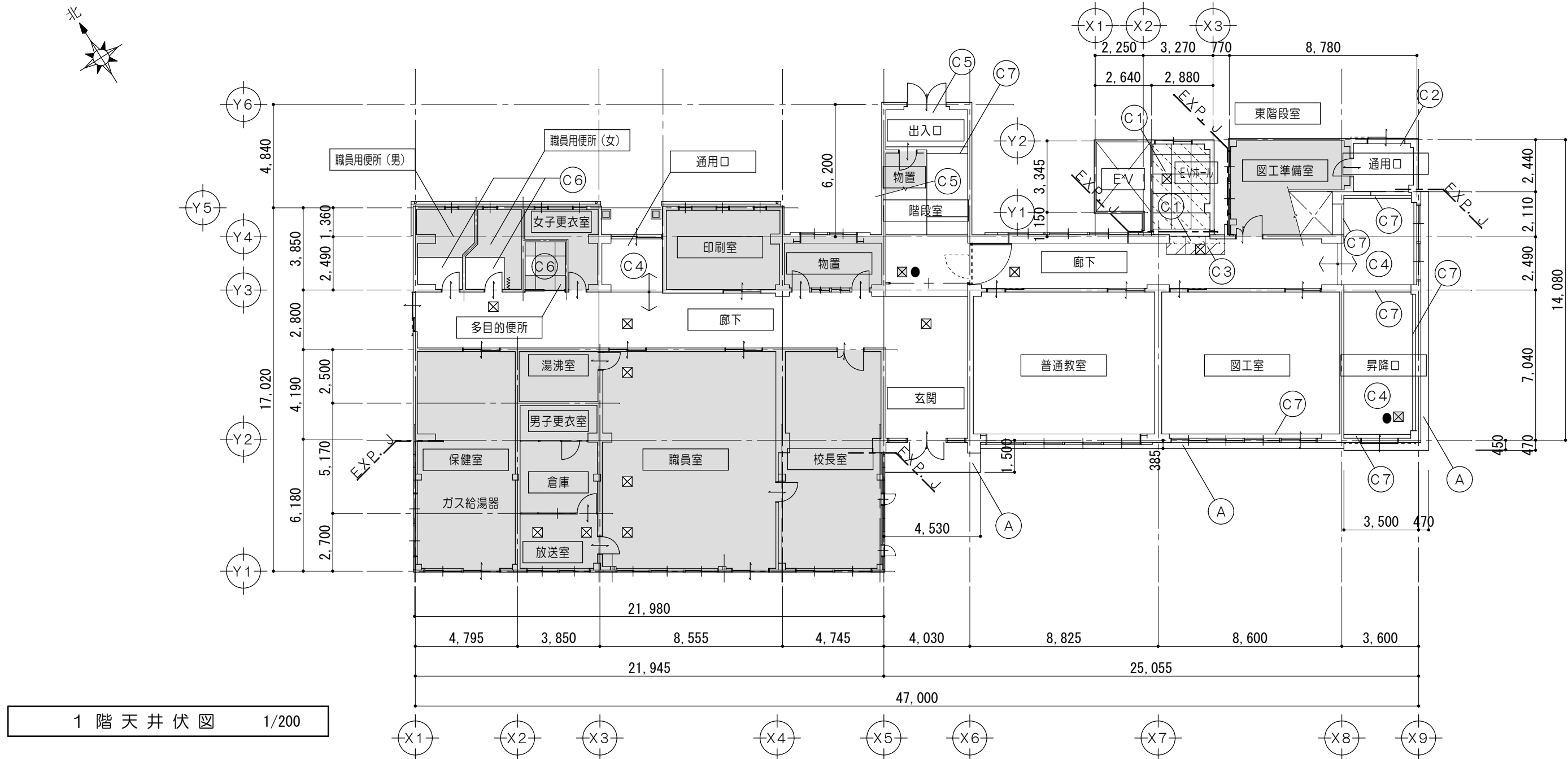
凡例（工事内容）	
	既設のままを示す
	床仕上材・下地・コンクリート 新設範囲を示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設範囲を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
◆	既設塗替を示す

改修前



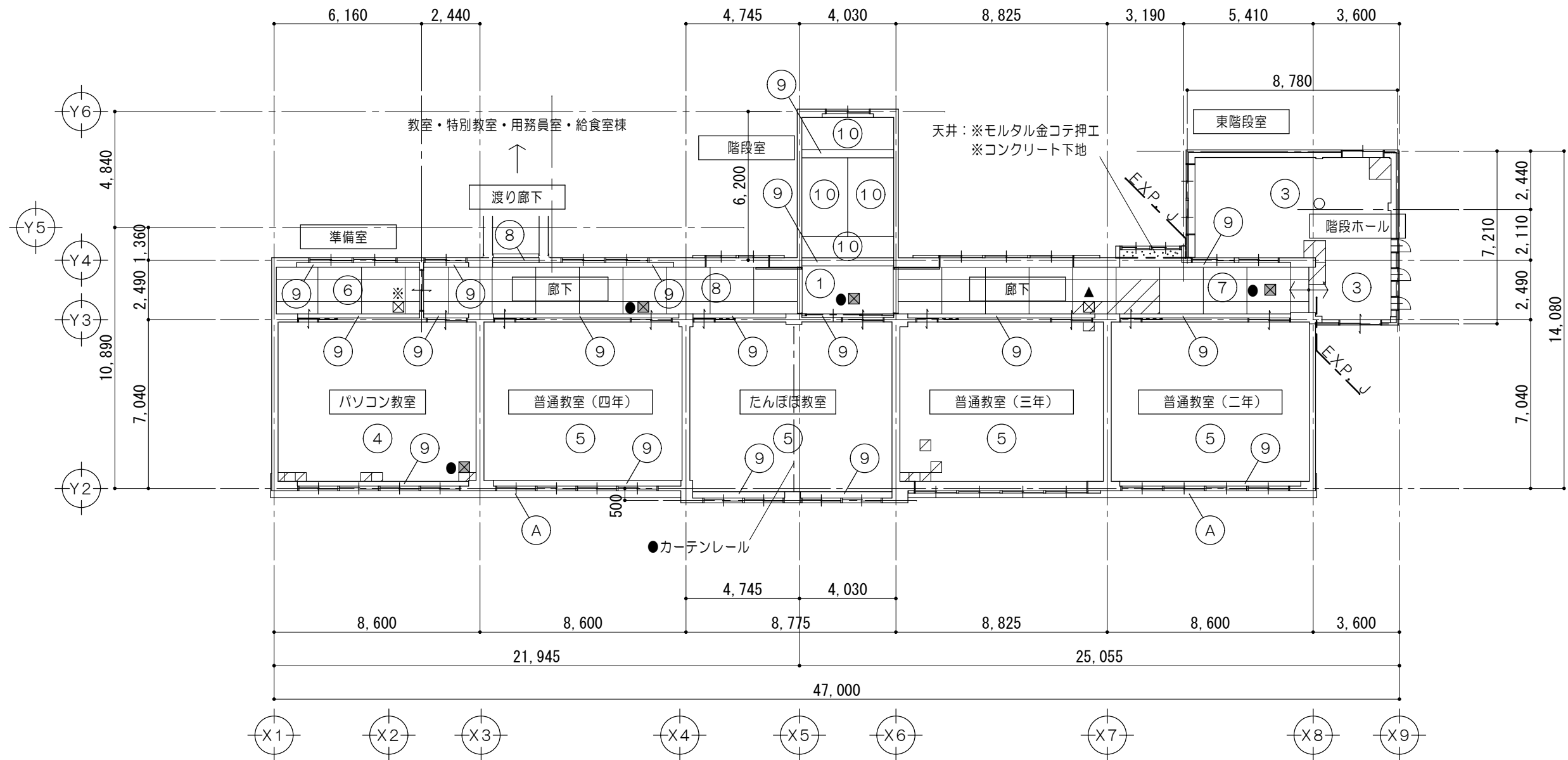
凡 例	
	既設のままを示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	塗替範囲を示す
※	撤去を示す
●	既設のままを示す
⊗	既設天井点検口を示す
仕 上 凡 例	
①	天井：化粧PＢァ9張 既設のまま LGS下地 既設のまま
②	天井：化粧PＢァ9張 一部撤去 LGS下地 一部撤去
③	天井：化粧PＢァ9張 一部撤去 LGS下地 既設のまま
④	天井：化粧PＢァ9張 一部撤去 木組下地 既設のまま
⑤	天井：化粧PＢァ9張 既設のまま 木組下地 既設のまま
⑥	天井：既設ケイカル板ァ6 AEP塗 撤去
⑦	天井：既設ケイカル板ァ6 AEP塗 一部撤去 木組下地 一部撤去
⑧	天井：既設ケイカル板ァ6 AEP塗 既設のまま 木組下地 既設のまま
⑨	梁型：モルタル金コテ下地 AEP塗 既設のまま
⑩	段裏：段裏表シ OP塗 既設のまま
A	軒天：吹付タイル（アスベスト含有）撤去

改修後



凡 例	
	既設のままを示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設を示す
	塗替範囲を示す
●	既設のままを示す
⊗	天井点検口（アルミ枠）新設を示す
仕 上 凡 例	
Ⓒ1	天井：化粧PＢァ9、5張 LGS下地
Ⓒ3	天井：化粧PＢァ9、5 既設下地
Ⓒ4	天井：下地調整RC種の上 E P塗 既設ケイカル板
Ⓒ5	段裏：下地調整RB種の上 E P塗 既設モルタル下地
Ⓒ6	天井：化粧PＢァ9、5張 既設下地
Ⓒ7	梁型：下地調整RB種の上 E P塗 既設モルタル下地
Ⓒ8	天井：ケイカル板ァ6 E P塗 既設下地
A	下地調整塗材（C-1） 外装薄塗材E吹付 軒天：剥離剤併用手工具クレン工法

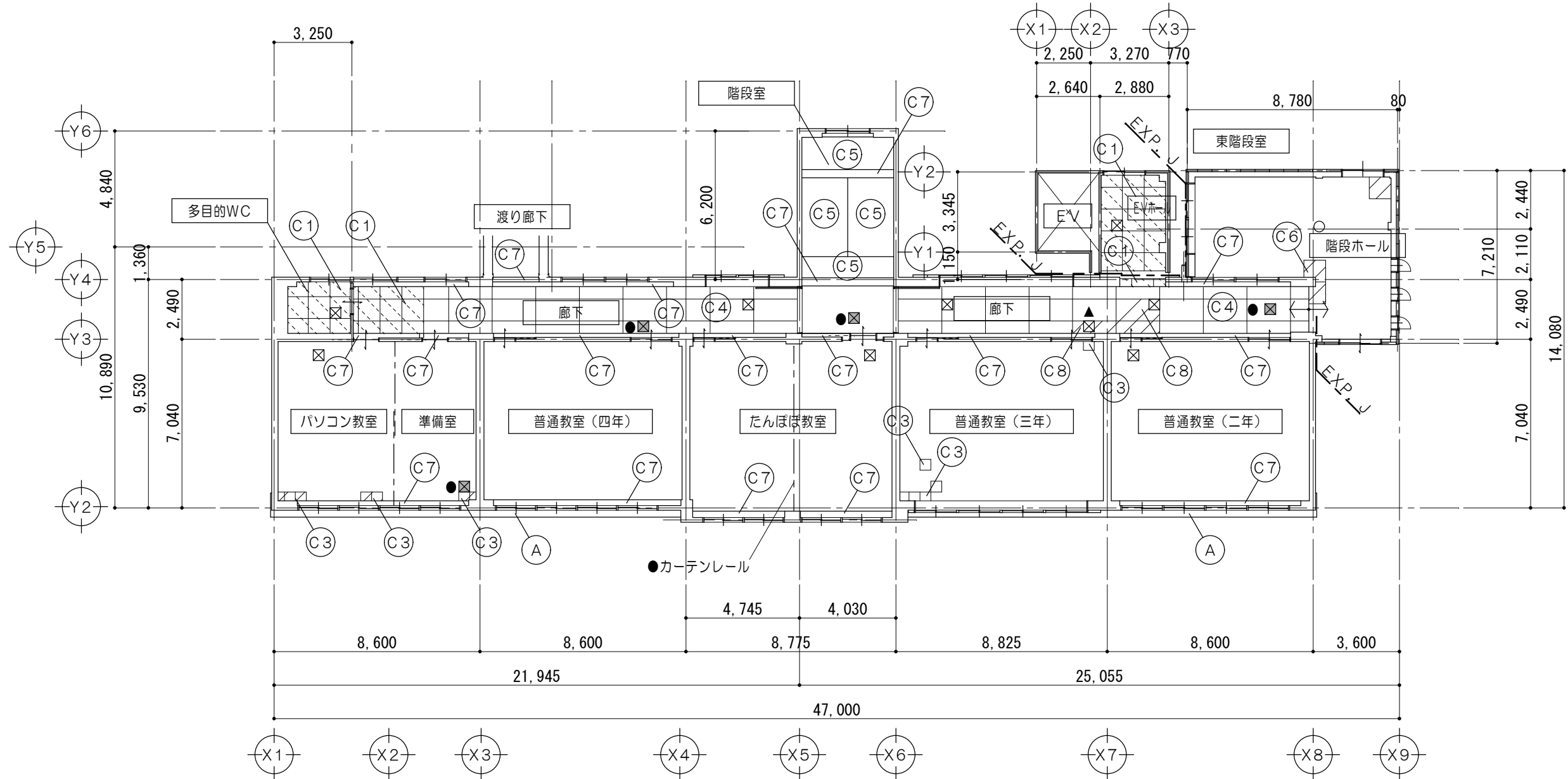
改修前



2 階 天 井 伏 図 1/200

凡 例	
	既設のままで示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	仕上材・下地・コンクリート撤去範囲を示す
	塗替範囲を示す
※	撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままで示す
☒	既設天井点検口を示す
仕 上 凡 例	
①	天井：化粧PＢァ9張 既設のまま LGS下地 既設のまま
②	天井：化粧PＢァ9張 一部撤去 LGS下地 一部撤去
③	天井：化粧PＢァ9張 一部撤去 LGS下地 既設のまま
④	天井：化粧PＢァ9張 一部撤去 木組下地 既設のまま
⑤	天井：化粧PＢァ9張 既設のまま 木組下地 既設のまま
⑥	天井：既設ケイカル板ァ6 AEP塗 撤去
⑦	天井：既設ケイカル板ァ6 AEP塗 一部撤去 木組下地 一部撤去
⑧	天井：既設ケイカル板ァ6 AEP塗 既設のまま 木組下地 既設のまま
⑨	梁型：モルタル金コテ下地 AEP塗 既設のまま
⑩	段裏：段裏表シ OP塗 既設のまま
A	軒天：吹付タイル（アスベスト含有）撤去

改修後

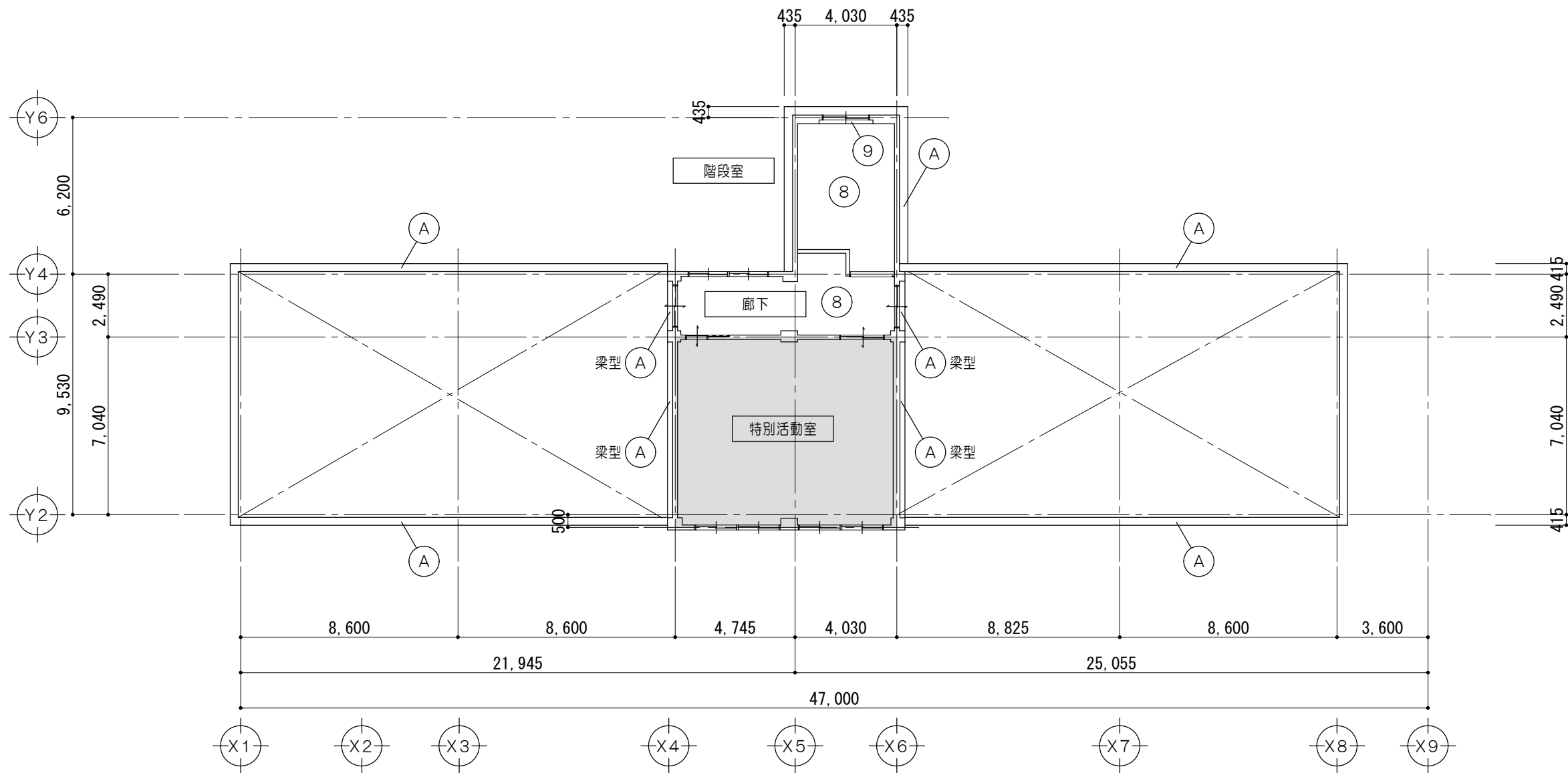


2 階 天 井 伏 図 1/200

凡 例	
	既設のままで示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設を示す
	塗替範囲を示す
●	既設のままで示す
☒	天井点検口（アルミ枠）新設を示す
仕 上 凡 例	
①	天井：化粧PＢァ9、5張 LGS下地
③	天井：化粧PＢァ9、5 既設下地
④	天井：下地調整RC種の上 E P塗 既設ケイカル板
⑤	段裏：下地調整RB種の上 E P塗 既設モルタル下地
⑥	天井：化粧PＢァ9、5張 既設下地
⑦	梁型：下地調整RB種の上 E P塗 既設モルタル下地
⑧	天井：ケイカル板ァ6 E P塗 既設下地
A	下地調整塗材（C-1） 外装薄塗材E吹付 軒天：剥離剤併用手工具クレン工法

記 事 項		MAENO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者 一級建築士 第378328号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第320204号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日		
											換図	図面名称 改修前 改修後 2階天井伏図	縮 尺 A2:1/200 A3:1/282	図面番号 A084 原図:A2

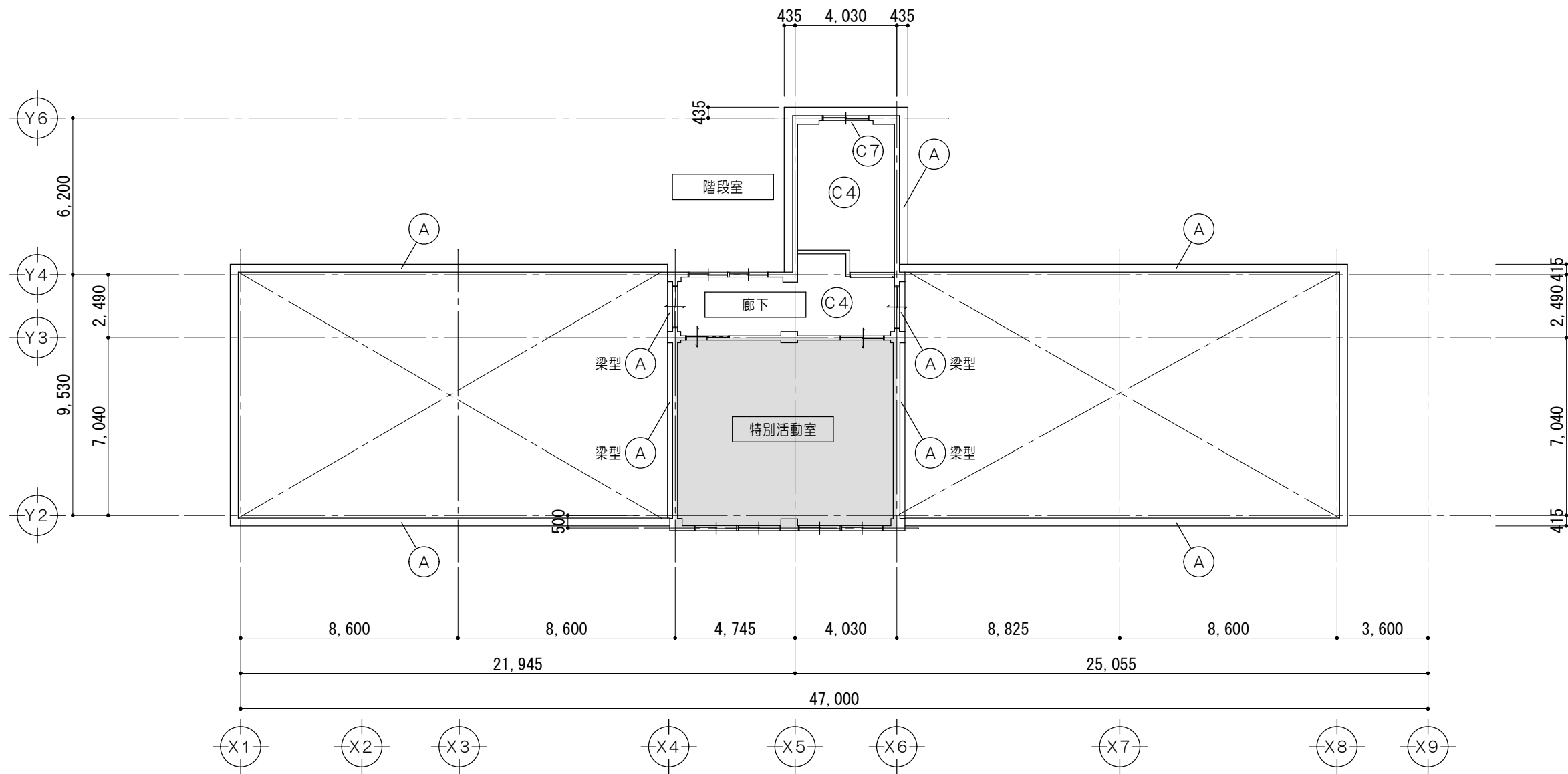
改修前



3 階 天 井 伏 図 1/200

凡 例	
	既設のままを示す
	仕上材撤去範囲を示す
	仕上・下地共撤去を示す
	仕上材・下地・コンクリート撤去範囲を示す
	塗替範囲を示す
※	撤去を示す
▲	取外シ再取付を示す
●	既設のままを示す
☒	既設天井点検口を示す
仕 上 凡 例	
①	天井：化粧PＢァ9張 既設のまま LGS下地 既設のまま
②	天井：化粧PＢァ9張 一部撤去 LGS下地 一部撤去
③	天井：化粧PＢァ9張 一部撤去 LGS下地 既設のまま
④	天井：化粧PＢァ9張 一部撤去 木組下地 既設のまま
⑤	天井：化粧PＢァ9張 既設のまま 木組下地 既設のまま
⑥	天井：既設ケイカル板ァ6 AEP塗 撤去 木組下地 撤去
⑦	天井：既設ケイカル板ァ6 AEP塗 一部撤去 木組下地 一部撤去
⑧	天井：既設ケイカル板ァ6 AEP塗 既設のまま 木組下地 既設のまま
⑨	梁型：モルタル金コテ下地 AEP塗 既設のまま
⑩	段裏：段裏表シ OP塗 既設のまま
A	軒天：吹付タイル（アスベスト含有）撤去

改修後



3 階 天 井 伏 図 1/200

凡 例	
	既設のままを示す
	仕上材新設範囲を示す
	仕上・下地共新設を示す
	塗替範囲を示す
●	既設のままを示す
☒	天井点検口（アルミ枠）新設を示す
仕 上 凡 例	
①	天井：化粧PＢァ9、5張 LGS下地
③	天井：化粧PＢァ9、5 既設下地
④	天井：下地調整RC種の上 E P塗 既設ケイカル板
⑤	段裏：下地調整RB種の上 E P塗 既設モルタル下地
⑥	天井：化粧PＢァ9、5張 既設下地
⑦	梁型：下地調整RB種の上 E P塗 既設モルタル下地
⑧	天井：ケイカル板ァ6 E P塗 既設下地
A	下地調整塗材（C-1） 外装薄塗材E吹付 軒天：剥離剤併用手工具クレン工法

特	
記	
事	
項	

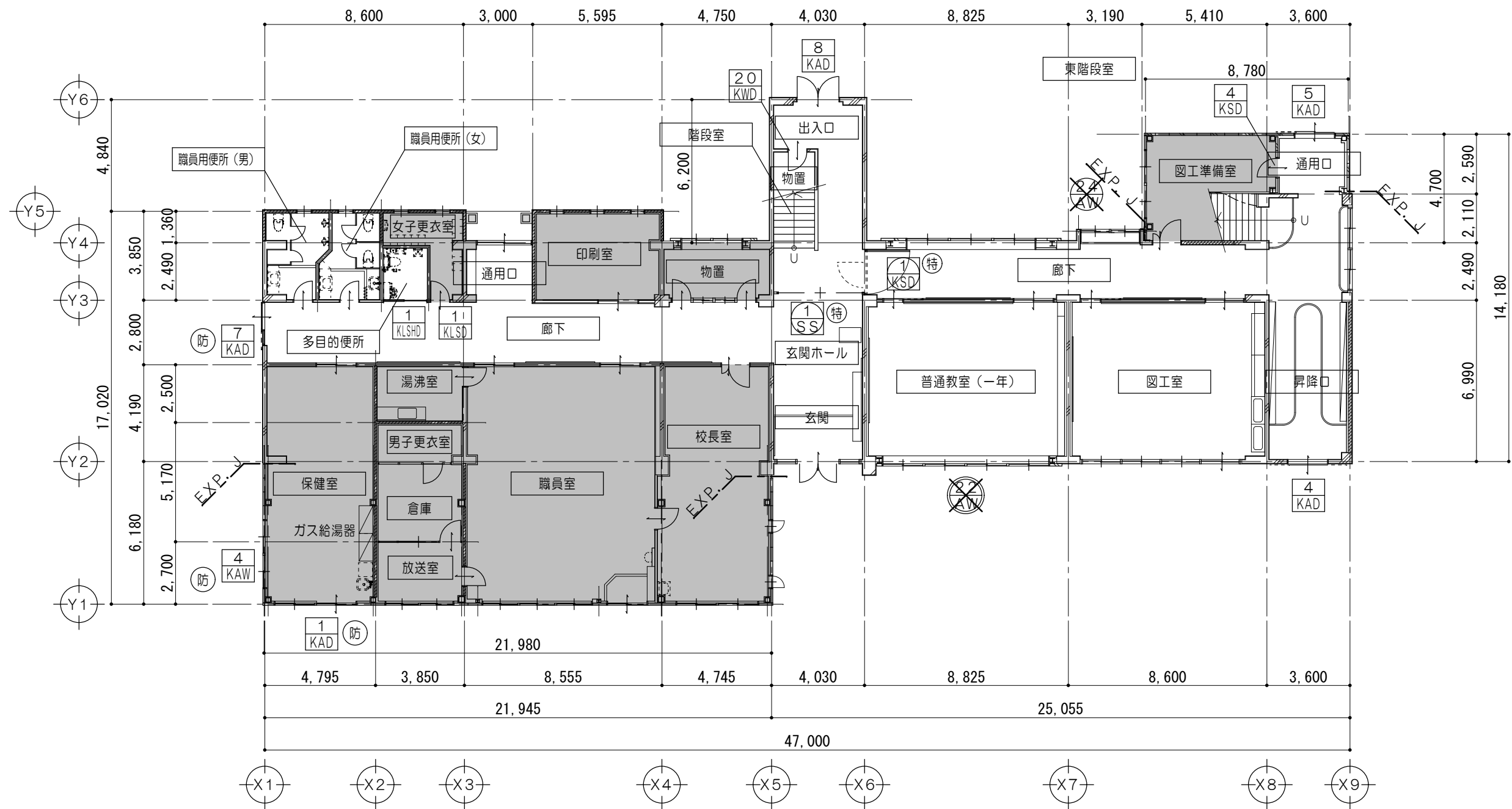
	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝
--	--

代表設計者 一級建築士 第378328号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当
-------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------	------

法適合確認

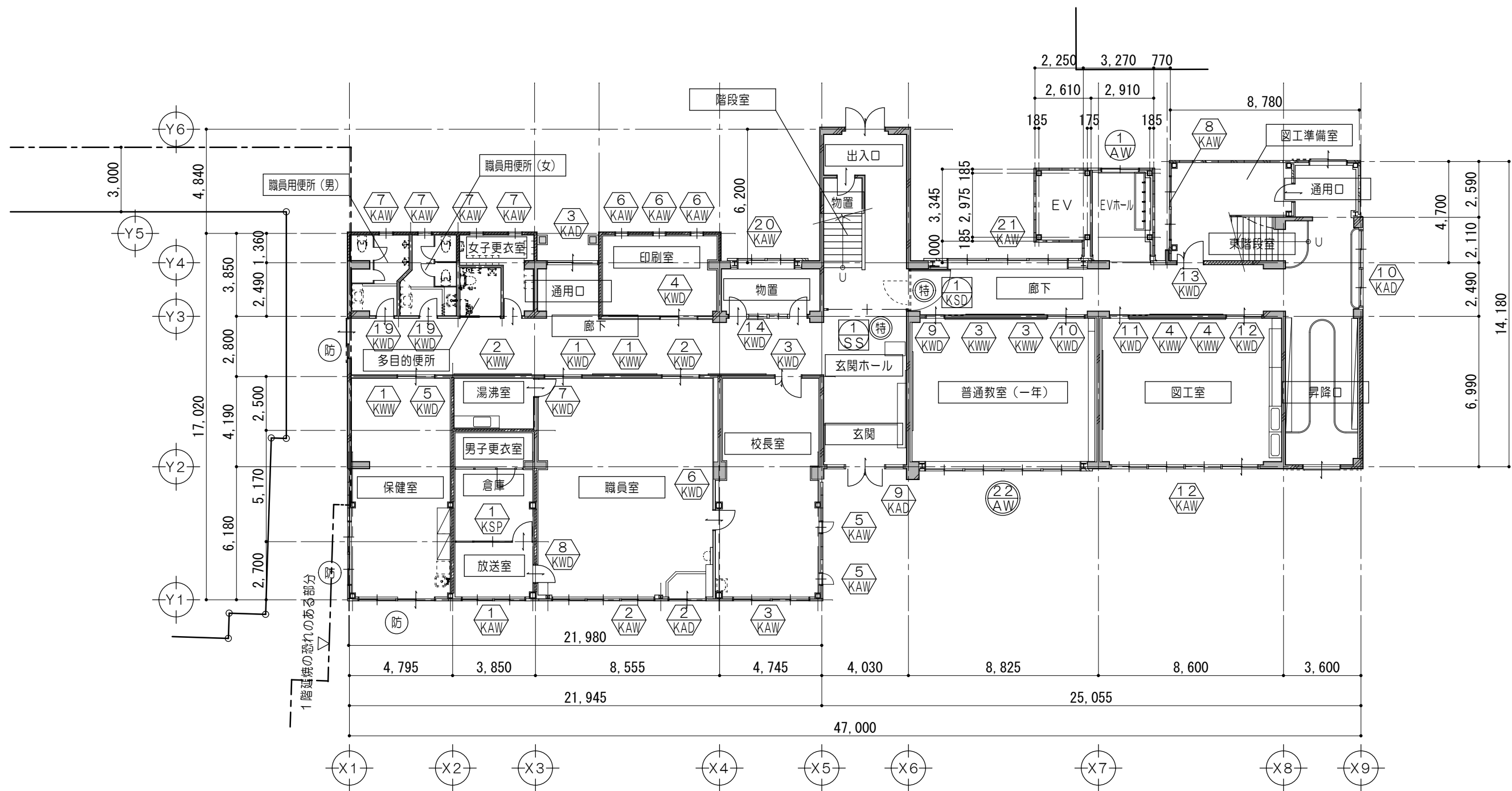
作図
検図

工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
図面名称 改修前 改修後 3階天井伏図	図面番号 A085 原図:A2
縮 尺 A2:1/200 A3:1/282	



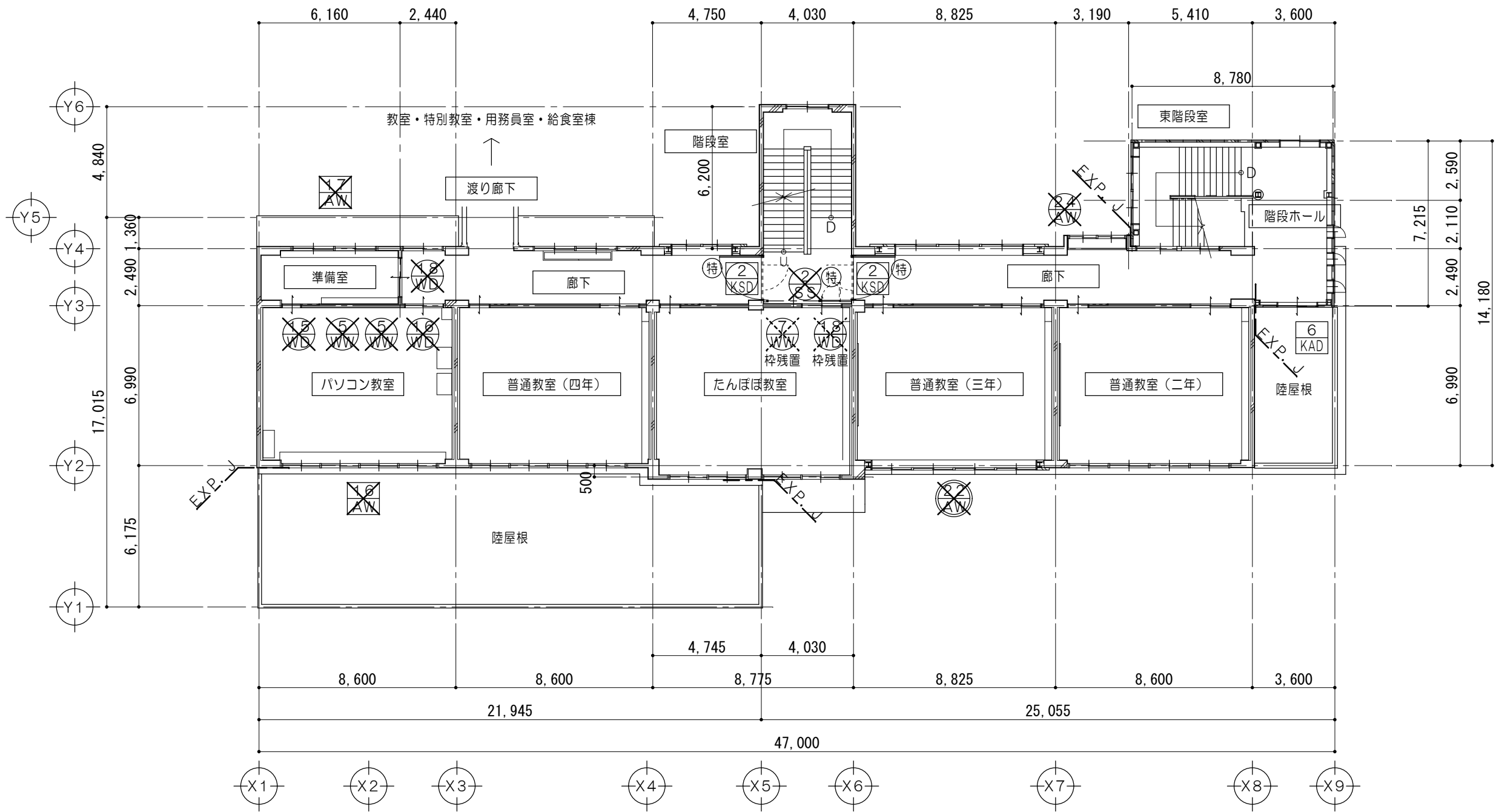
凡 例	
	既設建具を示す
	既設建具改修を示す
	撤去建具を示す
	既設建具改修を示す (既設力パー工法部分のみ撤去)
	既設建具改修を示す (既設一部のみ撤去)
	特定防火設備撤去を示す (遮煙性能なし)
	既設防火設備を示す
外部に面する建具は、 ・建具周りシーリング（外部）撤去	

1 階 建 具 符 号 図 1/200



凡 例	
	新設建具を示す
	既設建具改修を示す
	既設建具力パー工法にて改修を示す
	既設建具力パー工法にて改修を示す (既設部分は飛散防止フィルム張)
	飛散防止フィルム張を示す ※網入りガラス・強化ガラス除く
	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火設備を示す
	既設防火設備を示す
外部に面する建具は、 ・建具周りシーリング（外部）打替：MS-2	

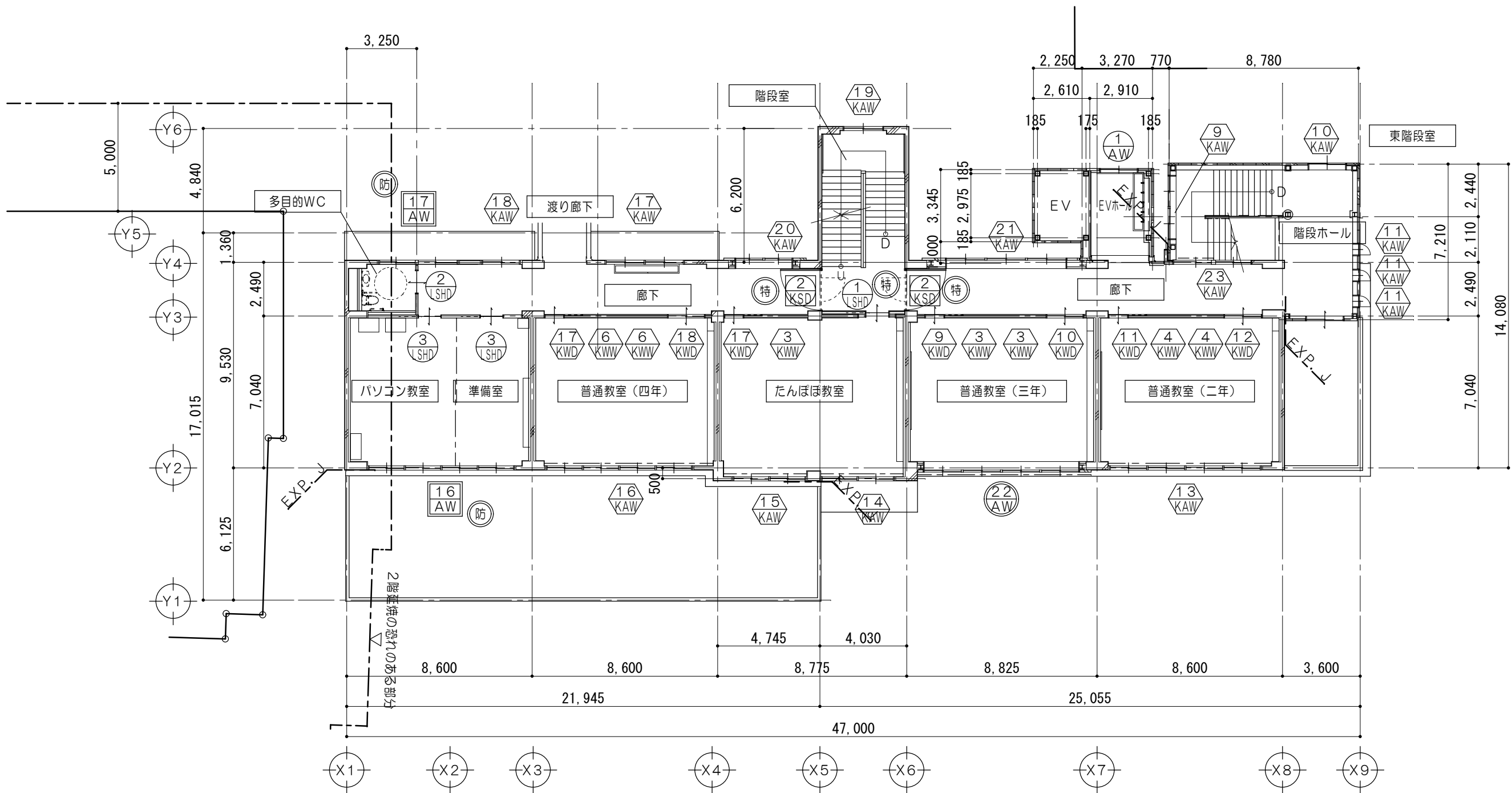
1 階 建 具 符 号 図 1/200



凡 例	
	既設建具を示す
	既設建具改修を示す
	撤去建具を示す
	撤去建具（枠残置）を示す
	既設建具改修を示す （既設力バー工法部分のみ撤去）
	既設建具改修を示す （既設一部のみ撤去）
	特定防火設備撤去を示す （遮煙性能なし）
	既設防火設備を示す

外部に面する建具は、
・建具周りシーリング（外部）撤去

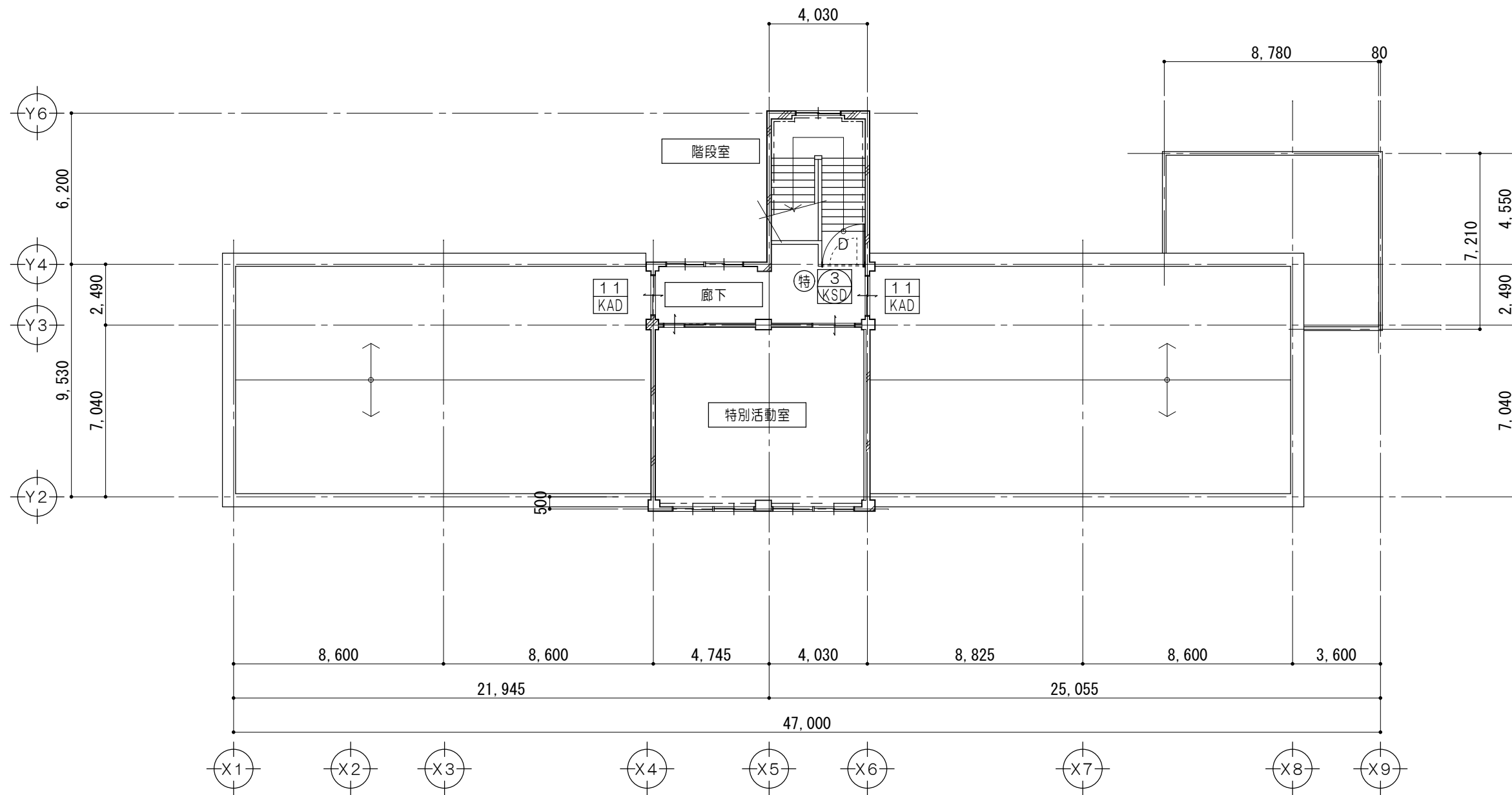
2 階 建 具 符 号 図 1/200



凡 例	
	新設建具を示す
	既設建具改修を示す
	既設建具力バー工法にて改修を示す
	既設建具力バー工法にて改修を示す （既設部分は飛散防止フィルム張）
	飛散防止フィルム張を示す ※網入りガラス・強化ガラス除く
	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火設備を示す
	既設防火設備を示す

外部に面する建具は、
・建具周りシーリング（外部）打替：MS-2

2 階 建 具 符 号 図 1/200

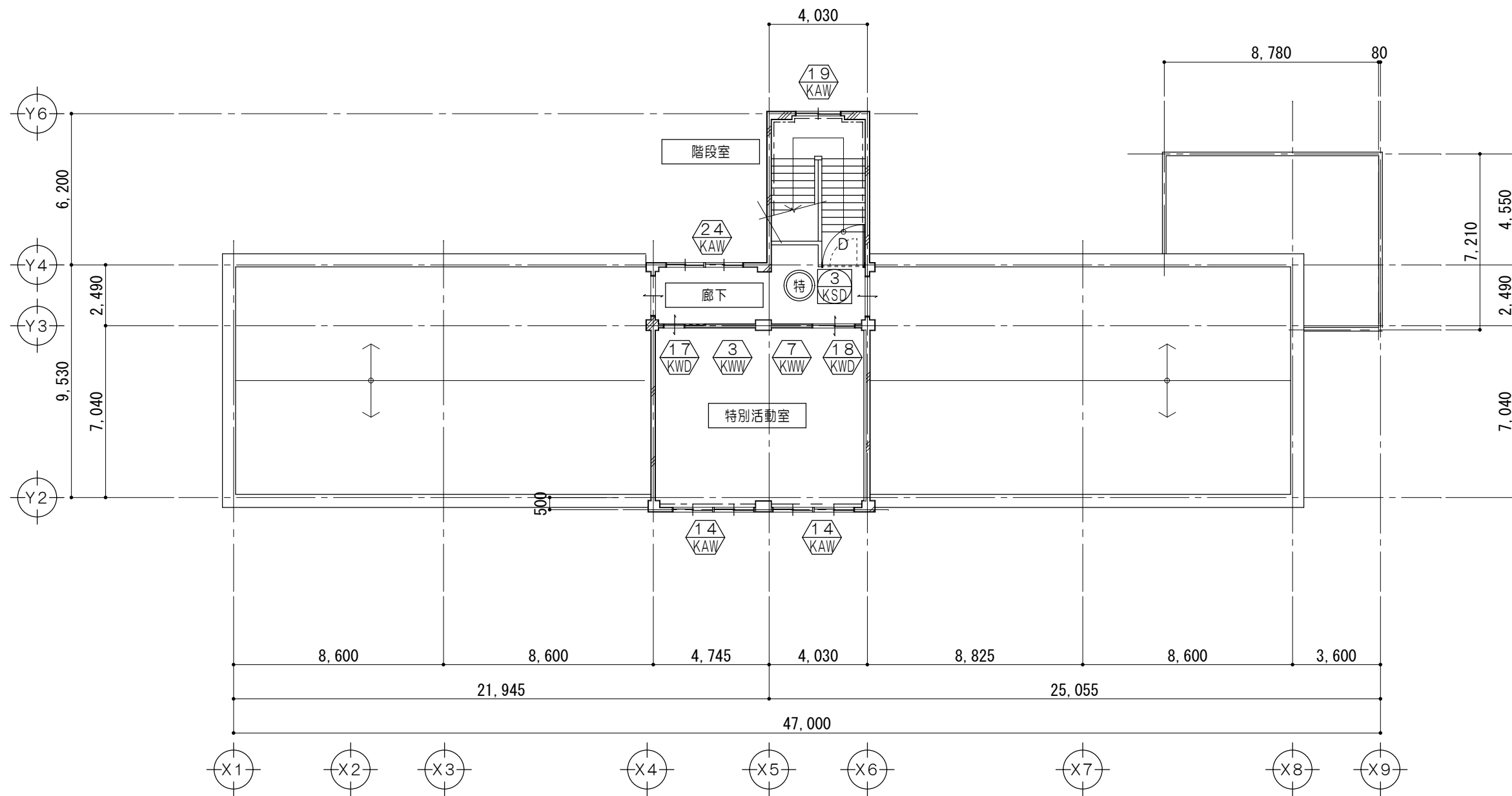


3 階 平 面 図 1/200

凡 例	
	既設建具を示す
	既設建具改修を示す
	撤去建具を示す
	既設建具改修を示す (既設力バー工法部分のみ撤去)
	特定防火設備撤去を示す (遮煙性能なし)
	既設防火設備を示す

外部に面する建具は、
・建具周りシーリング（外部）撤去

3 階 建 具 符 号 図 1/200

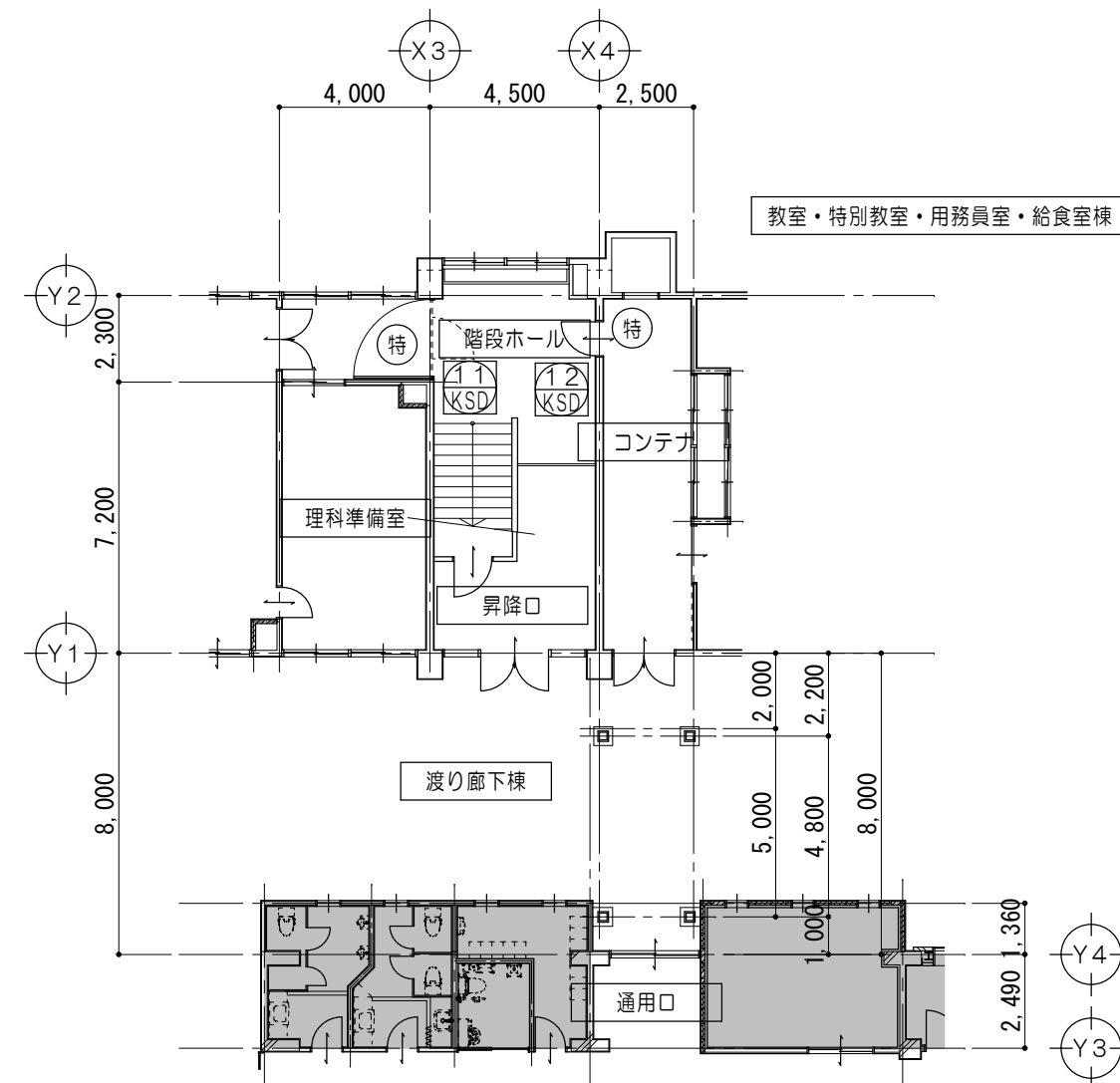


3 階 平 面 図 1/200

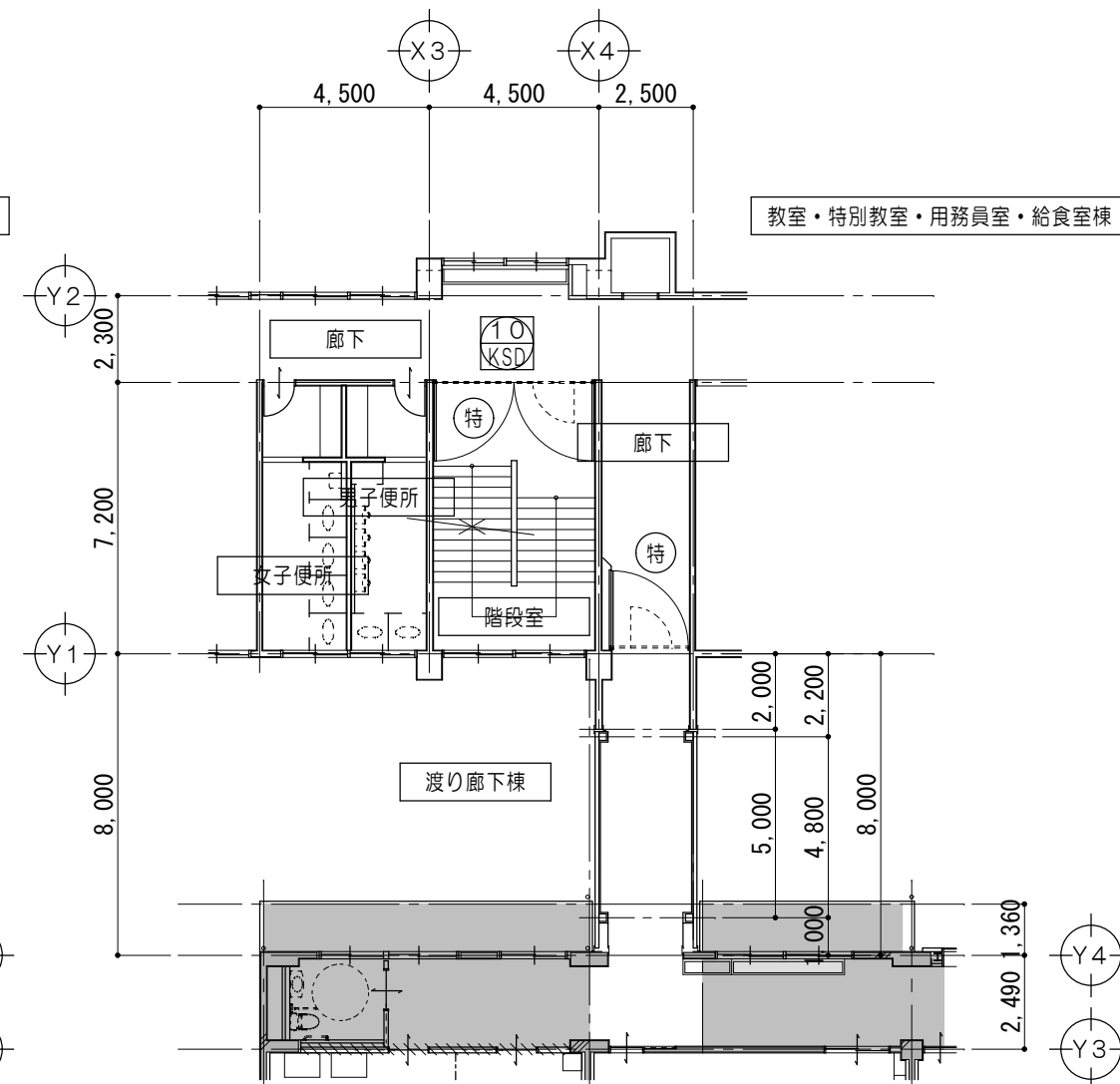
凡 例	
	新設建具を示す
	既設建具改修を示す
	既設建具力バー工法にて改修を示す
	飛散防止フィルム張を示す ※網入りガラス・強化ガラス除く
	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火設備を示す
	既設防火設備を示す

外部に面する建具は、
・建具周りシーリング（外部）打替：MS-2

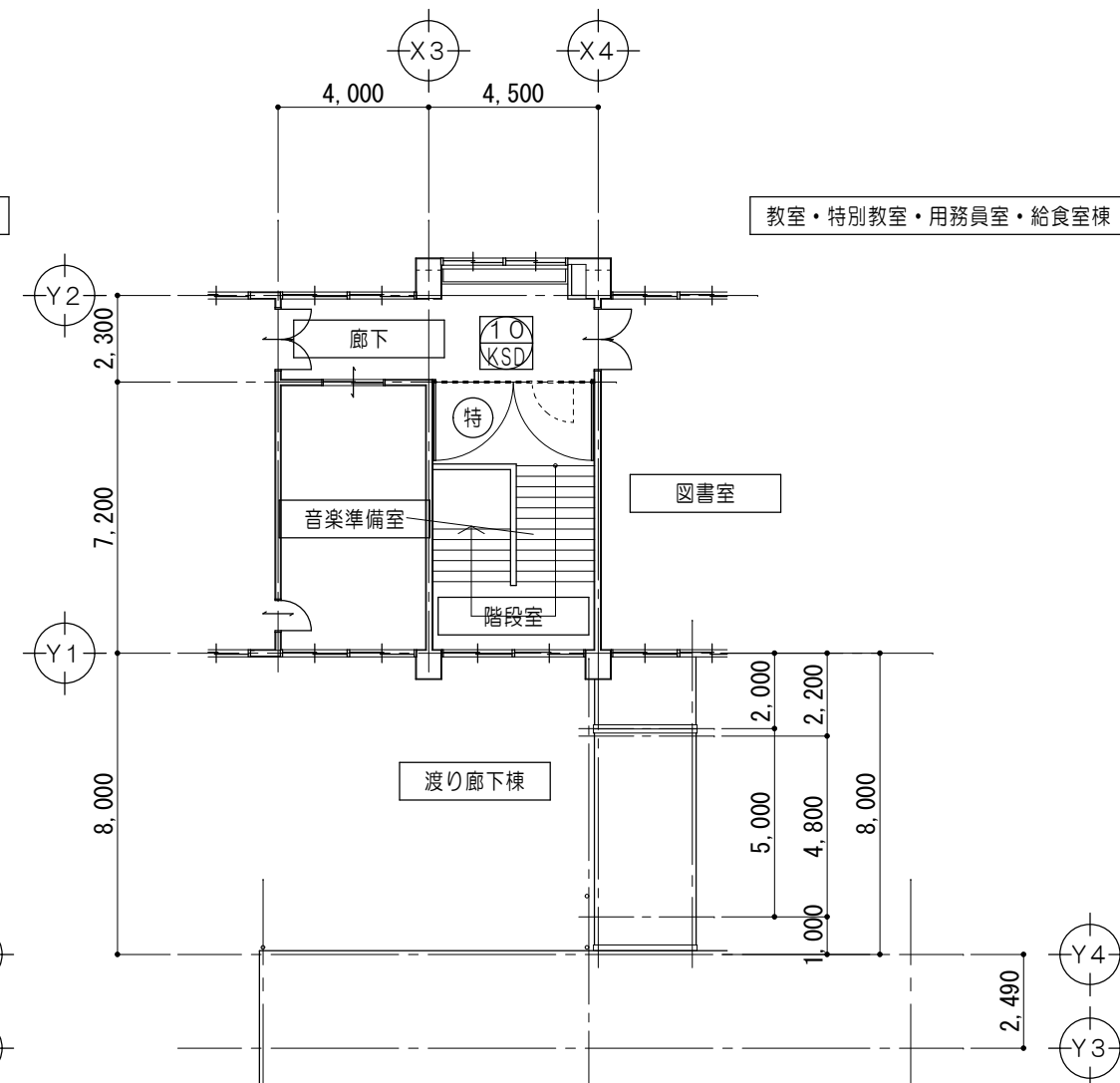
3 階 建 具 符 号 図 1/200



1 階 建 具 符 号 図 1/200

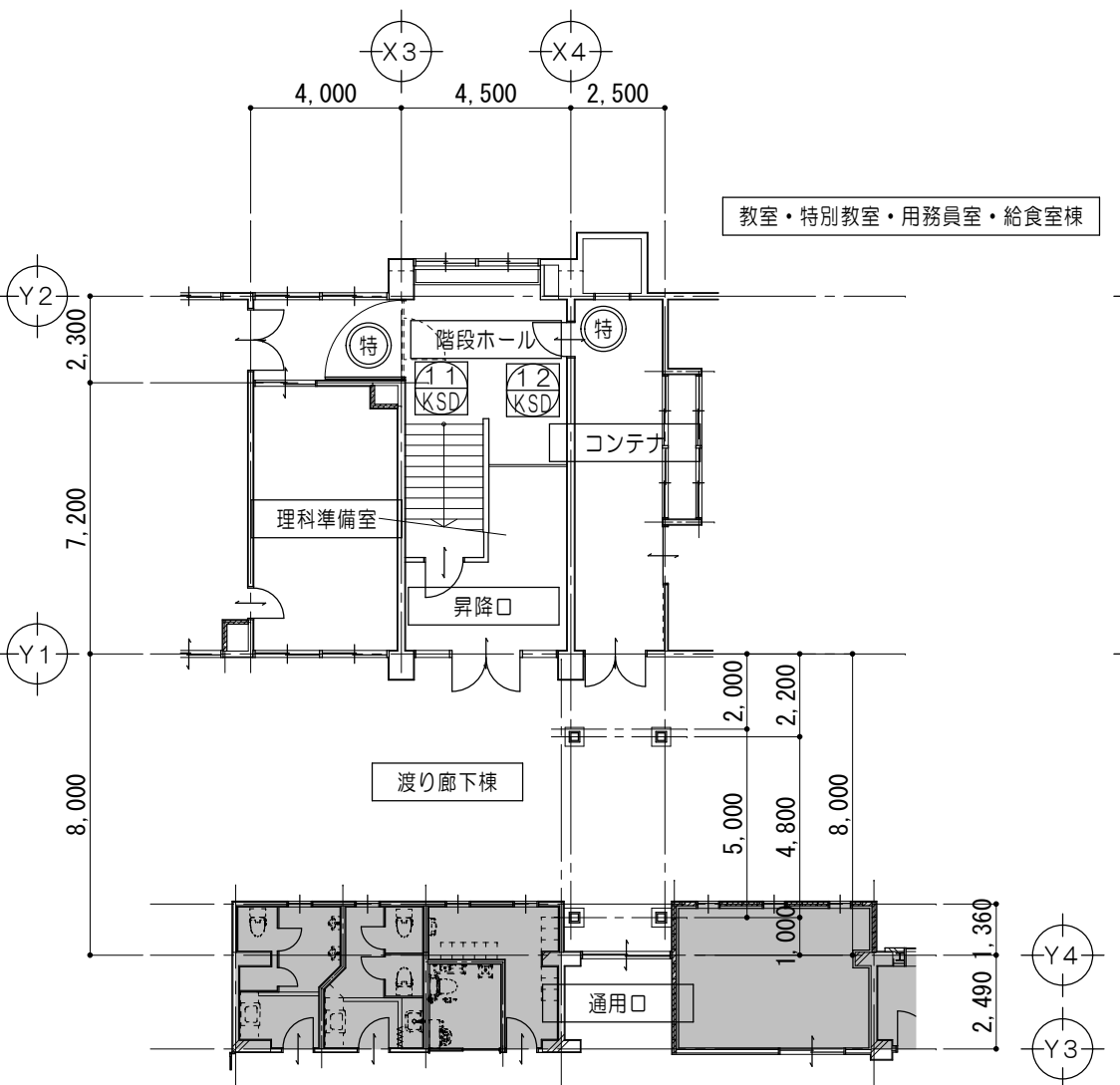


2 階 建 具 符 号 図 1/200

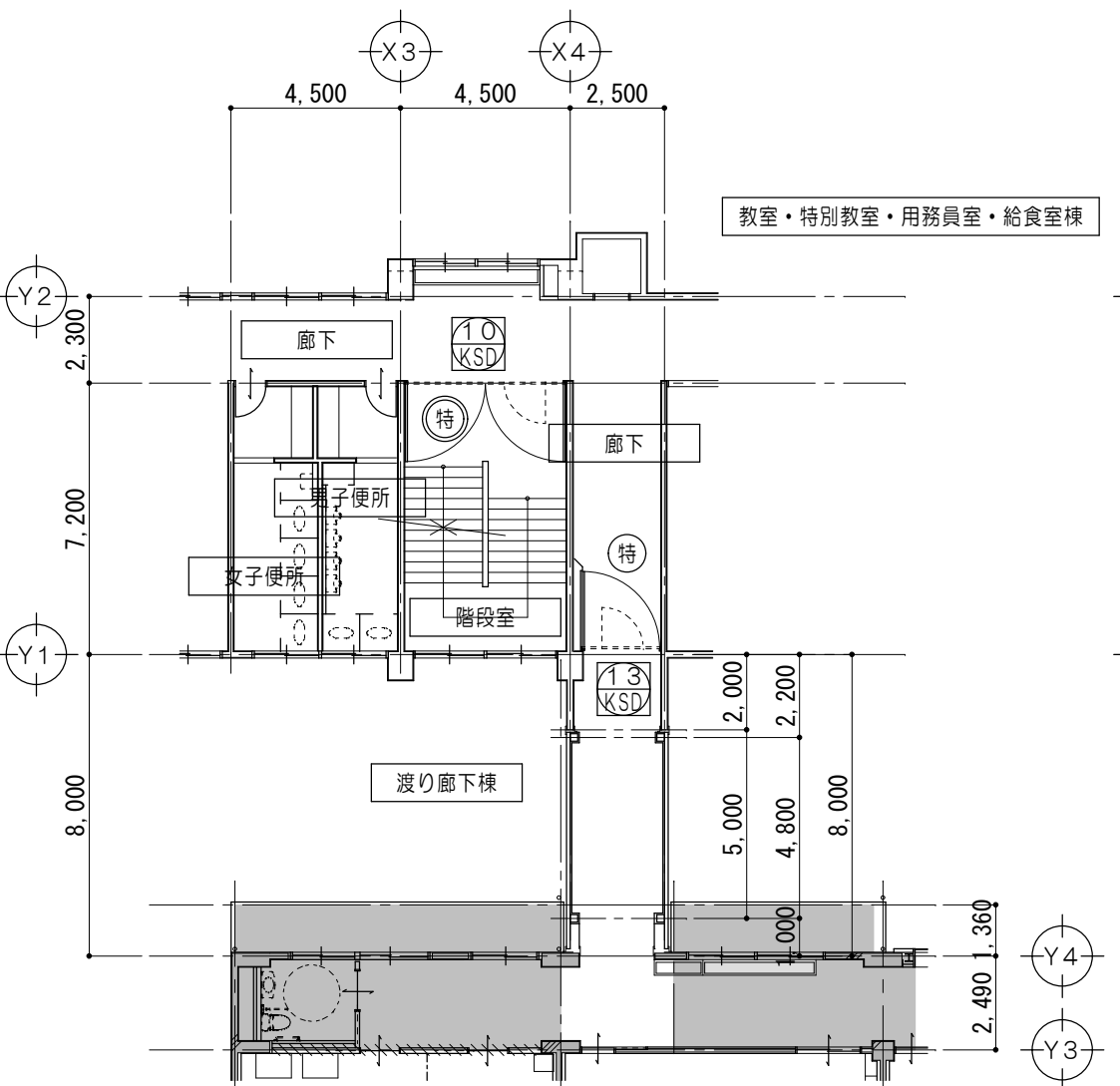


3 階 建 具 符 号 図 1/200

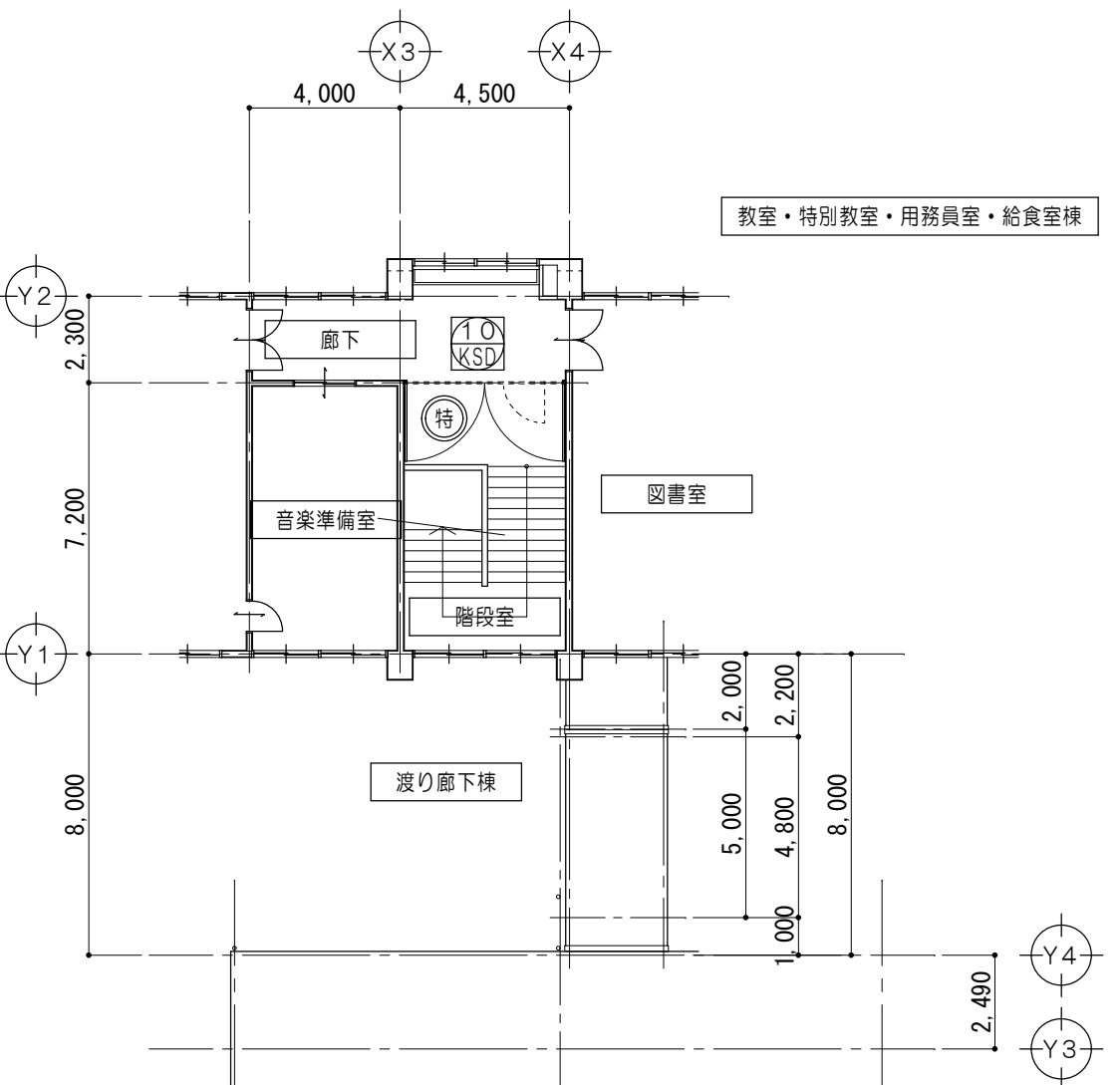
凡 例	
	既設建具を示す
	既設建具改修を示す
	撤去建具を示す
	既設建具改修を示す (既設力バー工法部分のみ撤去)
	既設建具改修を示す (既設一部のみ撤去)
	特定防火設備撤去を示す (遮煙性能なし)
	既設防火設備を示す
外部に面する建具は、 ・建具周りシーリング（外部）撤去	



1 階 建 具 符 号 図 1/200

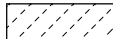
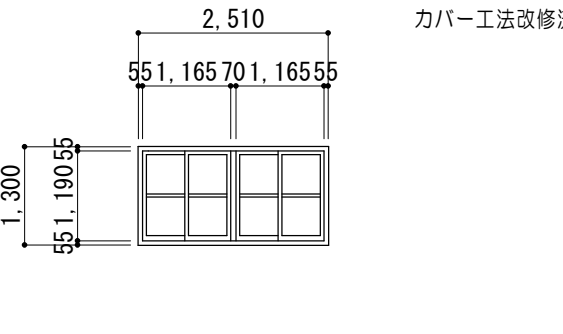
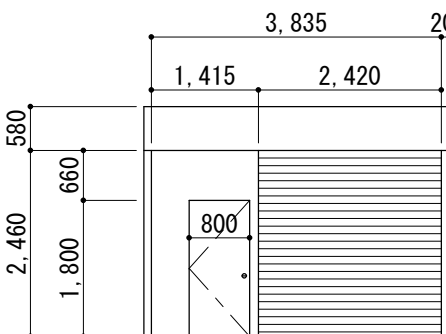
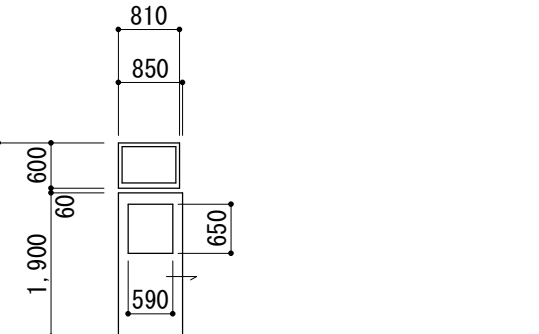
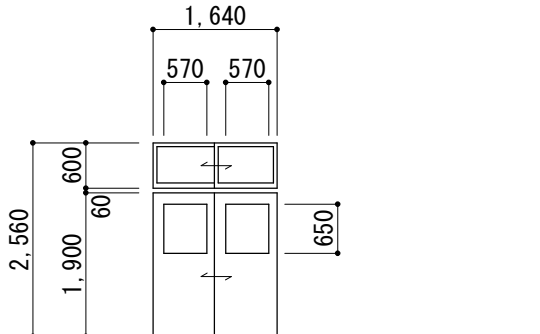
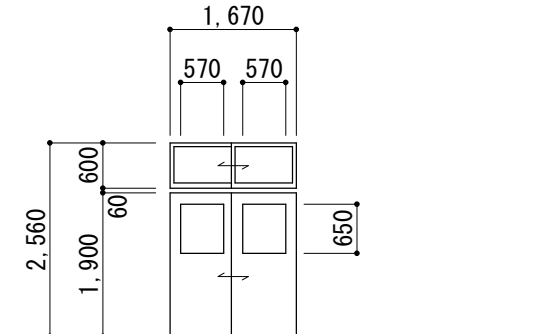
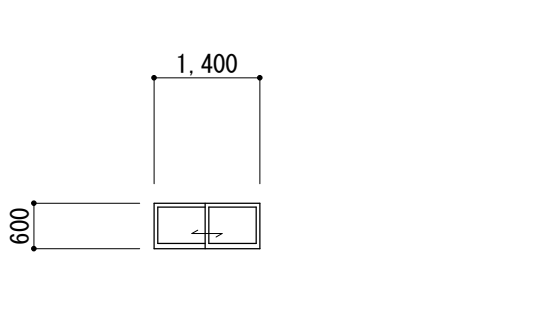
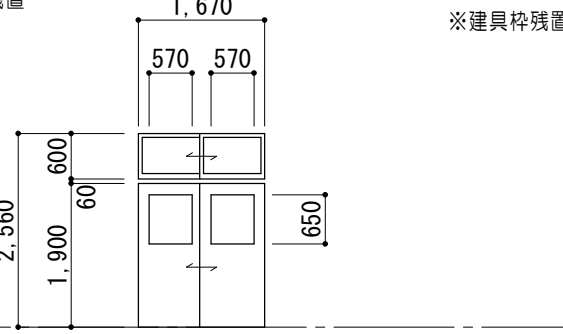
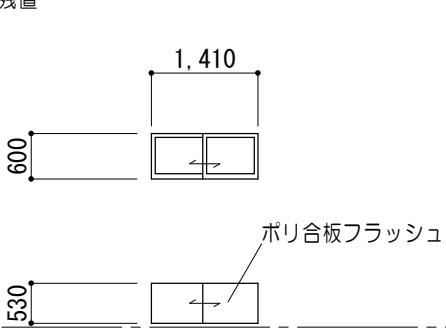


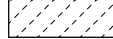
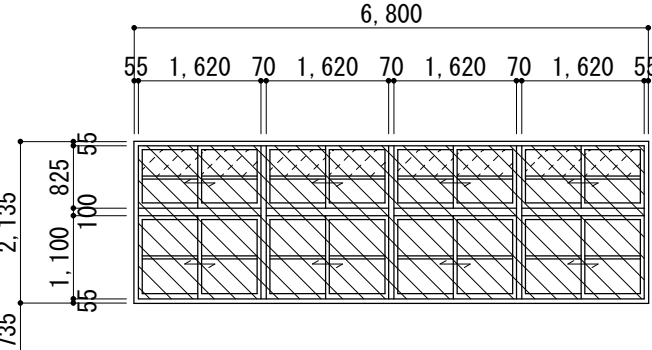
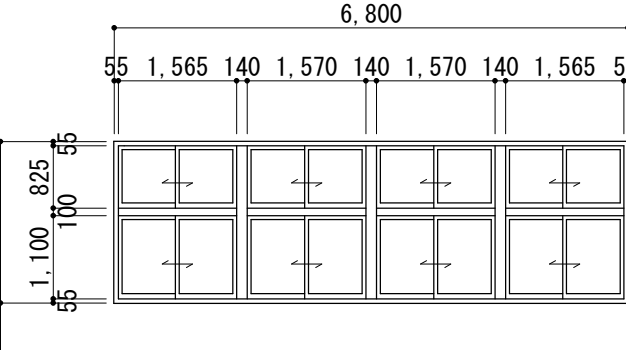
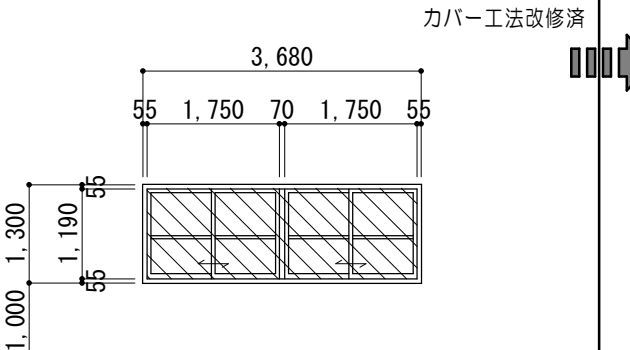
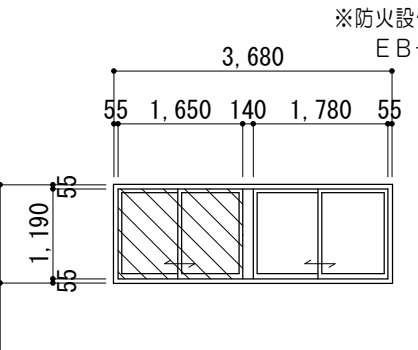
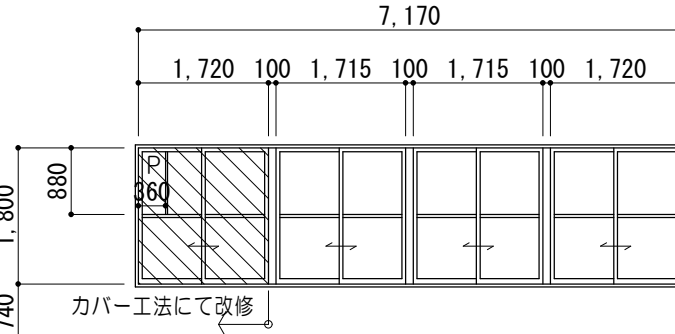
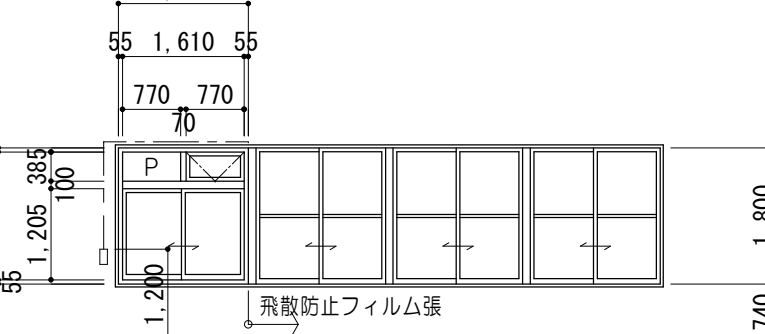
2 階 建 具 符 号 図 1/200



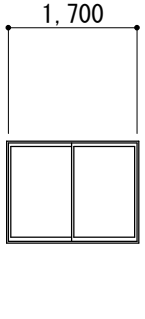
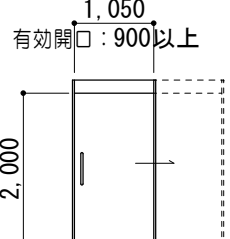
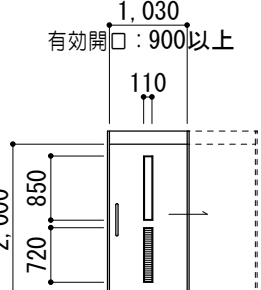
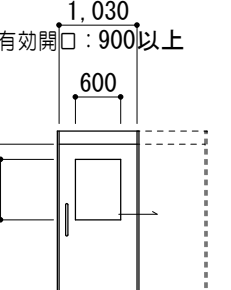
3 階 建 具 符 号 図 1/200

凡 例	
	新設建具を示す
	既設建具改修を示す
	既設建具力バー工法にて改修を示す
	既設建具力バー工法にて改修を示す (既設部分は飛散防止フィルム張)
	飛散防止フィルム張を示す ※網入りガラス・強化ガラス除く
	特定防火設備を示す（遮煙）
	防火設備を示す
	既設防火設備を示す
外部に面する建具は、 ・建具周りシーリング（外部）打替：MS-2	

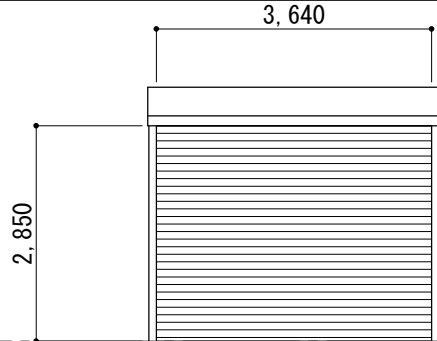
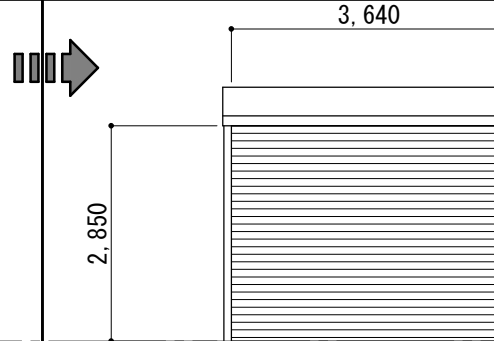
建 具 表 ＜ 撤 去 ＞																			
1/100			※  型板ガラス部分を示す																
符 号 名 称 数 量		2連引違イアルミサッシ	2		くぐり戸付上部手動式防火シャッター（煙感運動）	1		ランマＦＩＸ付片引キ木製ドア	1		ランマ引違イ付引違イ木製ドア	1		ランマ引違イ付引違イ木製ドア			引違イ木製窓		2
姿 図		カバー工法改修済																	
見 込 硝 子	7 0	フロートア3				9 5	フロートア3		9 5	フロートア3		9 5	フロートア3		9 5	フロートア3			
仕 上	シルバー			スチールア1．6			ポリ合板フラッシュ			ポリ合板フラッシュ			ポリ合板フラッシュ			ポリ合板フラッシュ			
金 物	クレセント																		
室 名	1階：廊下 2階：廊下			2階：廊下			2階：パソコン教室			2階：パソコン教室			2階：準備室			2階：パソコン教室			
符 号 名 称 数 量		ランマ引違イ付引違イ木製ドア	1		引違イ木製窓	1													
姿 図		※建具枠残置			※建具枠残置														
見 込 硝 子	9 5	フロートア3		9 5	フロートア3														
仕 上	ポリ合板フラッシュ			ポリ合板フラッシュ															
金 物																			
室 名	2階：たんぼほ教室			2階：たんぼほ教室															

建 具 表 ＜ カ バ ー 工 法 改 修 ＞																				
1/100 ※  撤去範囲を示す ※  型板ガラス部分を示す																				
符 号 名 称 数 量		ランマ引違い付4連引違いアルミサッシ		1		ランマ引違い付4連引違いアルミサッシ（カバー工法）		1		2連引違いアルミサッシ		1		2連引違いアルミサッシ（カバー工法）		1				
姿 図			カバー工法改修済				カバー工法改修済				カバー工法改修済				※防火設備 大臣認定品 EB-2562-4					
見 込 硝 子	70	フロートA3、型A4			70	網入りガラスA6.8			70	フロートA3			70	網入りガラスA6.8、網入り型板ガラスA6.8						
仕 上	シルバー					アルミ陽極酸化塗装皮膜（BB-1種）					シルバー					アルミ陽極酸化塗装皮膜（BB-1種）				
金 物	クレセント					クレセント、戸車、アルミ顔縁、付属金物一式					クレセント					クレセント、戸車、アルミ顔縁、付属金物一式				
室 名	2階：普通教室（四年）、パソコン教室															2階：準備室				
符 号 名 称 数 量		4連引違いアルミサッシ			2		引違いアルミサッシ（カバー工法）			2										
姿 図			ALC用				※既設サッシ部飛散防止フィルム張													
見 込 硝 子	70	フロートA5、アルミパネル			70	学校用強化ガラスA4、アルミパネル														
仕 上	シルバー					アルミ陽極酸化塗装皮膜（BB-1種）														
金 物	クレセント					クレセント、戸車、アルミ顔縁、オペレーター装置、付属金物一式														
室 名	1階：普通教室（一年） 2階：普通教室（三年）																			

特 記 事 項				MAENO 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号		代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校校長寿命化改修工事	設計日
					検図	図面名称 建具表＜撤去＞、建具表＜カバー工法改修＞	縮 尺 A2:1/100 A3:1/141	図面番号 A090 原図 A2							

建 具 表 < 新 設 >					1/100							
符 号 名 称 数 量	① AW	引違イアルミサッシ	2	① VSHD	片引軽量スチールハンガードア（常閉） （壁内蔵タイプ）	1	② VSHD	片引軽量スチールハンガードア （壁内蔵タイプ）	1	③ VSHD	片引軽量スチールハンガードア （壁内蔵タイプ）	2
姿 図				 ※特定防火設備 ※遮煙性能 H12建告1369号適合 S48建告2564号適合								
見 込 硝 子	70	学校用強化ガラスA4	枠 扉 220 40	枠 扉 135 40	学校用強化型ガラスA4	枠 扉 135 40	枠 扉 135 40	学校用強化型ガラスA4	枠 扉 135 40	枠 扉 135 40	学校用強化型ガラスA4	枠 扉 135 40
仕 上	アルミ陽極酸化塗装皮膜（BB-1種）			化粧鋼板A0.6			化粧鋼板A0.6			化粧鋼板A0.6		
金 物	クレセント、戸車、アルミ額縁、付属金物一式			サムターン表示錠、自閉制御装置、オイルダンパー、大型引手、ステンレス番付 煙感連動装置、ガイドローラー、スチール三方枠（焼付塗装仕上）、付属金物一式			サムターン表示錠、自閉制御装置、オイルダンパー、大型引手、ステンレス番付 ガイドローラー、スチール三方枠（焼付塗装仕上）、付属金物一式			サムターン表示錠、自閉制御装置、オイルダンパー、大型引手、ステンレス番付 ガイドローラー、スチール三方枠（焼付塗装仕上）、付属金物一式		
室 名	1階：EVホール 2階：EVホール			2階：たんぽぽ教室			2階：多目的WC			2階：パソコン教室、準備室		

建 具 表 < 遮 煙 性 能 改 修 >				1/100								
符 号 名 称 数 量	① KSD	<ぐり戸付常時開放式甲種防火戸	【建具工事内容】遮煙性能 後付けゴム設置	1	② KSD	<ぐり戸付常時開放式甲種防火戸	【建具工事内容】遮煙性能 後付けゴム設置	2	③ KSD	<ぐり戸付常時開放式甲種防火戸	【建具工事内容】遮煙性能 後付けゴム設置	1
姿 図	一般 F L ▽											
見 込 硝 子	96				96				96			
仕 上	スチールA1.6 OP				スチールA1.6 OP				スチールA1.6 OP			
金 物				パネル取付下地（ビス止共）、遮煙性能 後付けゴム、付属金物一式				パネル取付下地（ビス止共）、遮煙性能 後付けゴム、付属金物一式				パネル取付下地（ビス止共）、遮煙性能 後付けゴム、付属金物一式
室 名	1 階：階段室				2 階：階段室				3 階：階段室			
符 号 名 称 数 量	⑩ KSD	<ぐり戸付常時開放式甲種防火戸	【建具工事内容】遮煙性能 後付けゴム設置	2	⑪ KSD	<ぐり戸付常時開放式甲種防火戸	【建具工事内容】遮煙性能 後付けゴム設置	1	⑫ KSD	片開キスチールドア（常閉）	【建具工事内容】遮煙性能 後付けゴム設置	1
姿 図	一般 F L ▽											
見 込 硝 子	100				100				100			
仕 上	スチールA1.6 OP				スチールA1.6 OP				スチールA1.6 OP			
金 物				パネル取付下地（ビス止共）、遮煙性能 後付けゴム、付属金物一式				パネル取付下地（ビス止共）、遮煙性能 後付けゴム、付属金物一式				パネル取付下地（ビス止共）、遮煙性能 後付けゴム、付属金物一式
室 名	2 階：廊下 3 階：廊下 （教室・特別教室・用務員室・給食堂棟）				1 階：廊下 （教室・特別教室・用務員室・給食堂棟）				1 階：廊下 （教室・特別教室・用務員室・給食堂棟）			

建 具 表 ＜ 危 害 防 止 装 置 改 修 ＞				1/100
符 号 名 称 数 量	 上部手動式防火シャッター（煙感連動）	1	【建具工事内容】危害防止装置設置	1
姿 図 一般 F L 			※特定防火設備 ※遮煙性能 H12建吉1369号適合 S48建吉2564号適合	
仕 上	スチールA 1, 6			
金 物			シャッターケース（天井内）、危害防止装置一式、付属金物一式	
室 名	1 階：階段室		1 階：階段室	

遮煙性能 後付けゴム設置詳細図

1/50

平面図

断面図

平ゴム押工：FB-3t×16

平ゴム：1.5t×30

シリコンタイト

戸袋

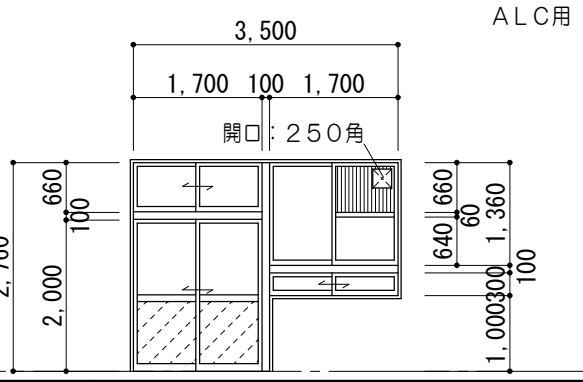
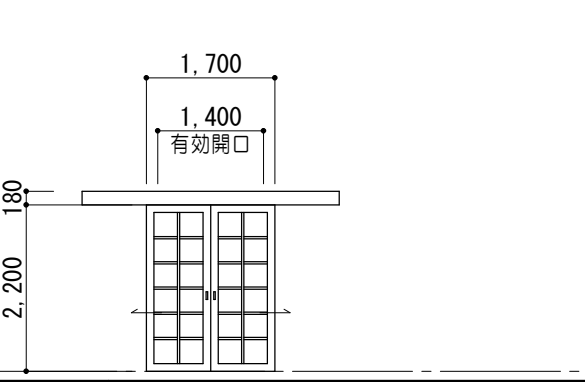
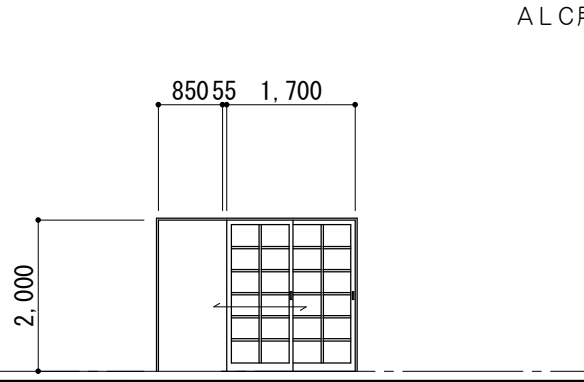
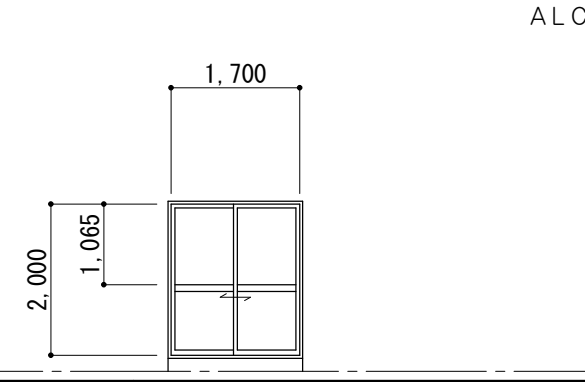
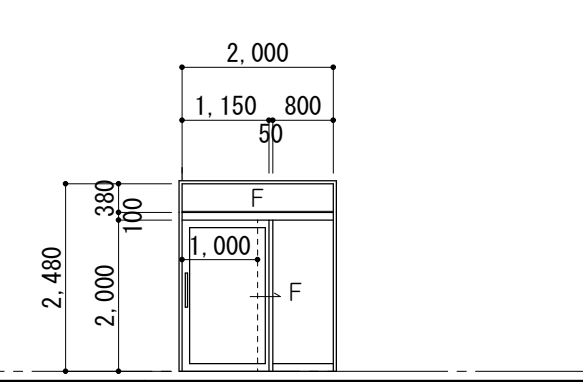
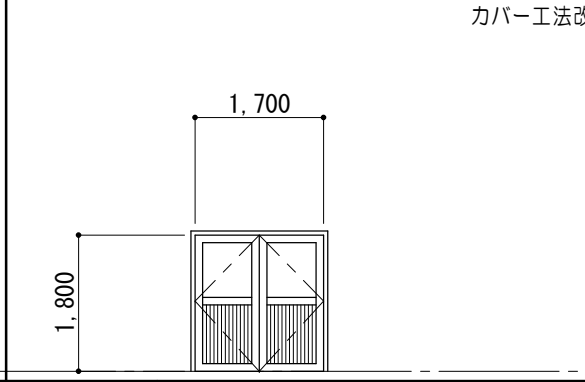
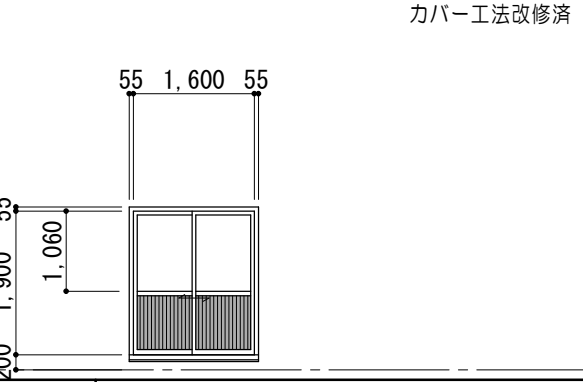
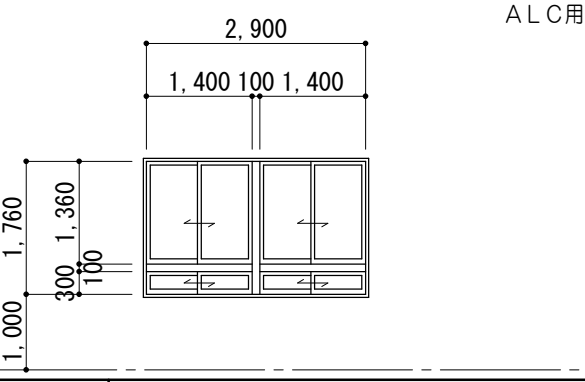
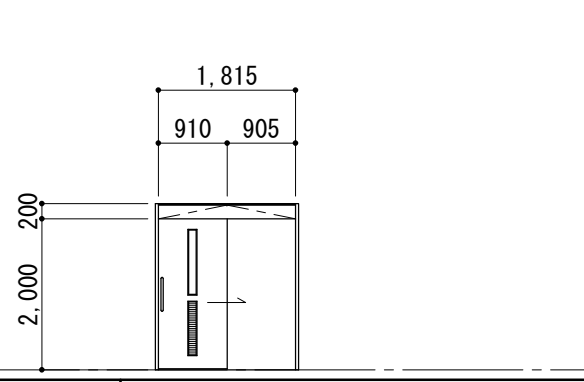
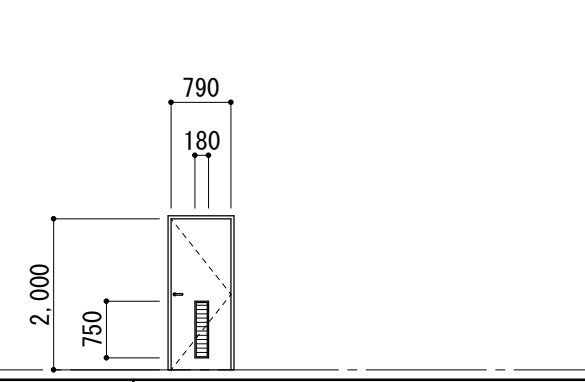
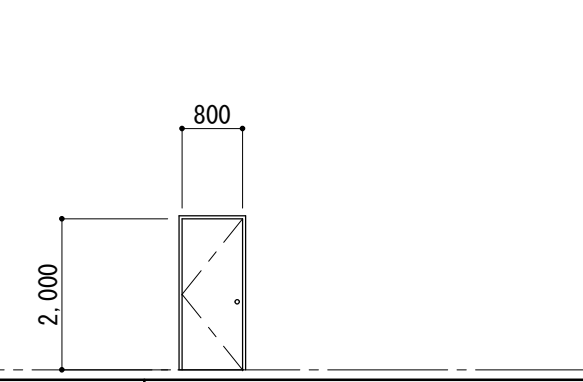
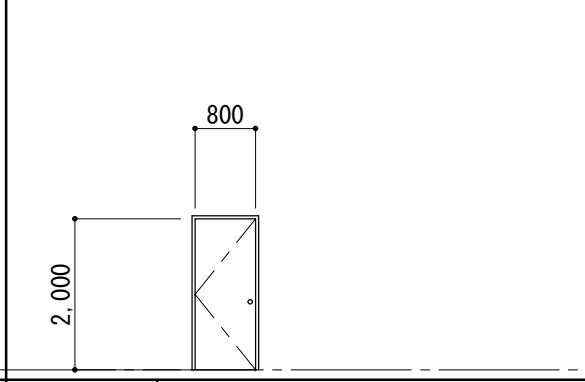
16

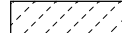
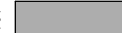
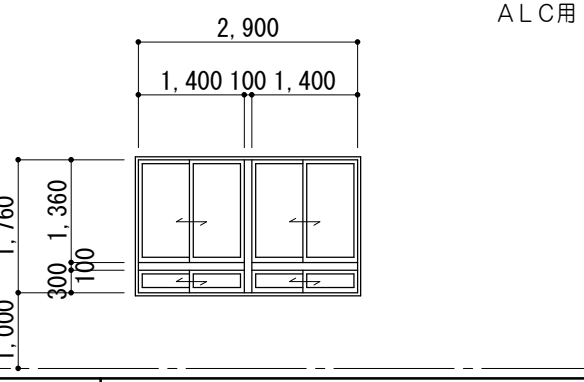
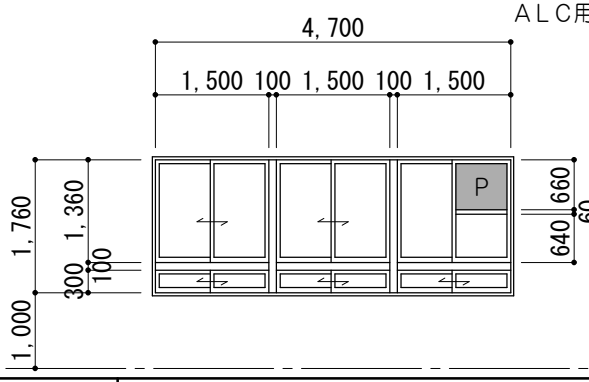
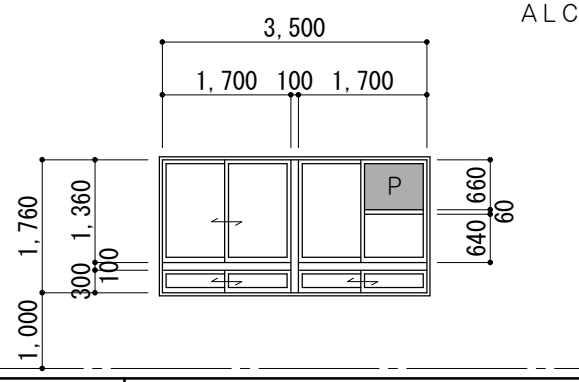
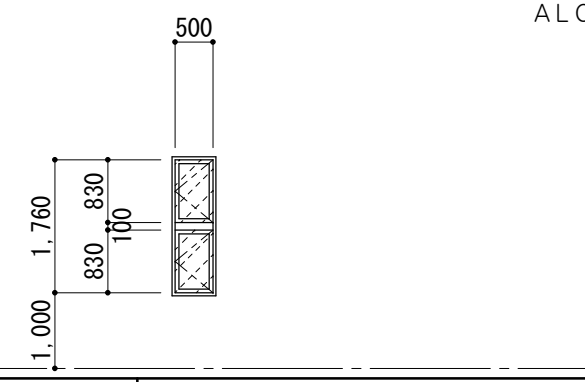
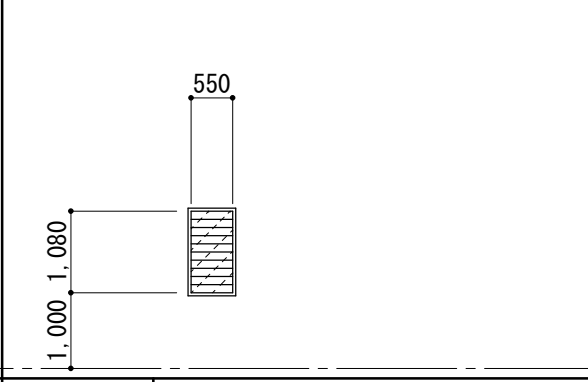
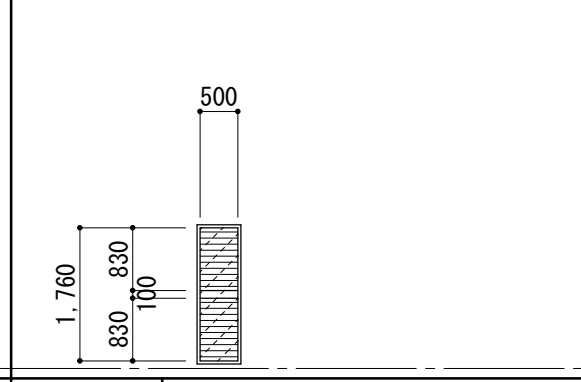
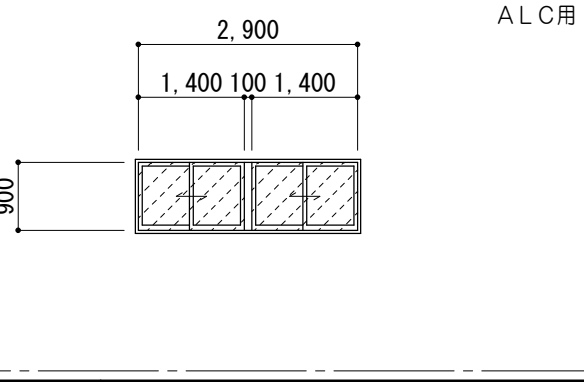
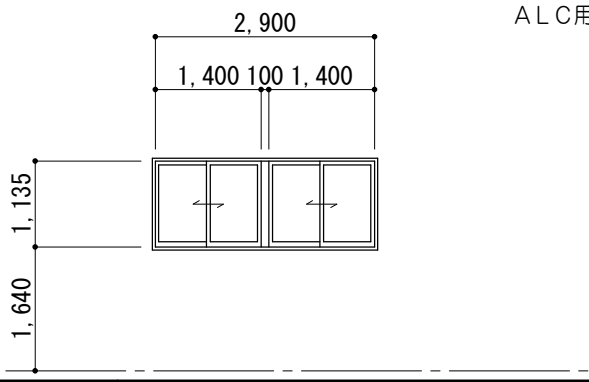
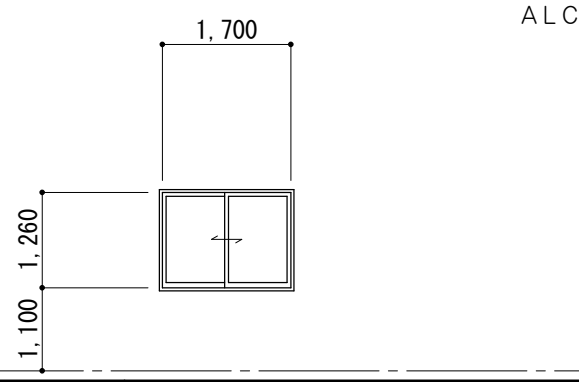
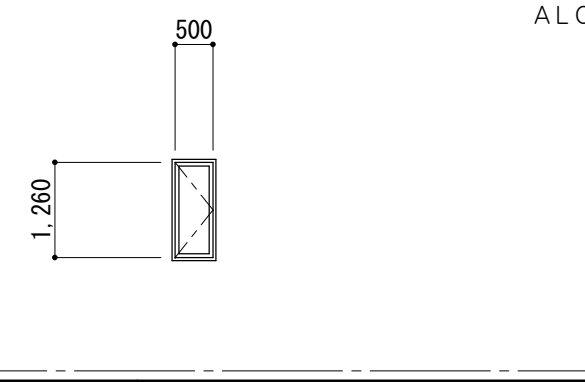
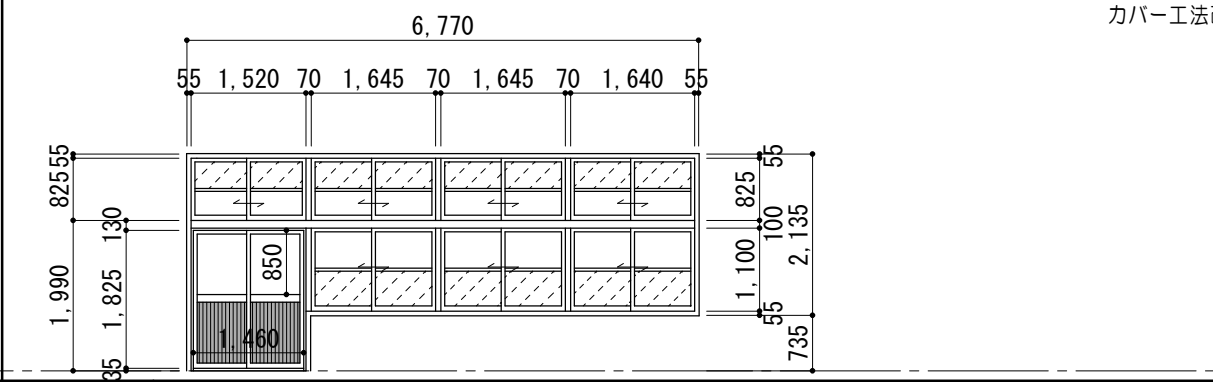
H

16

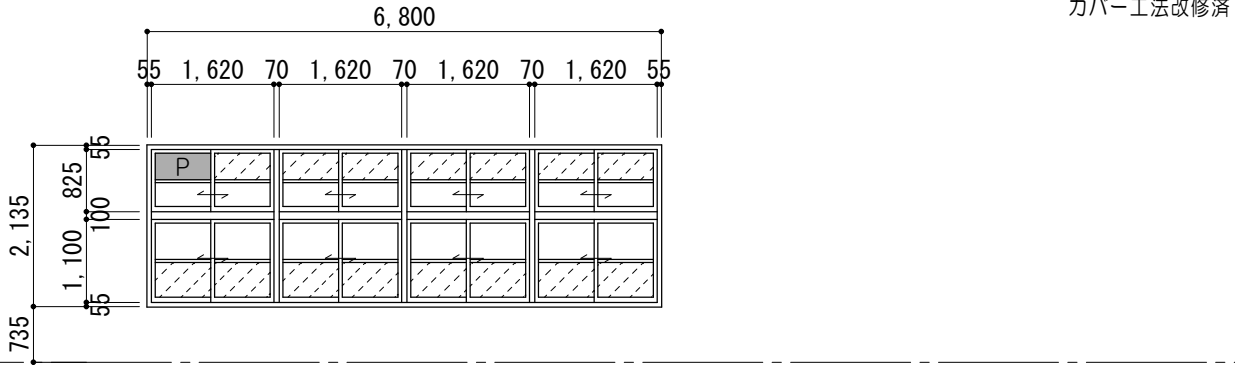
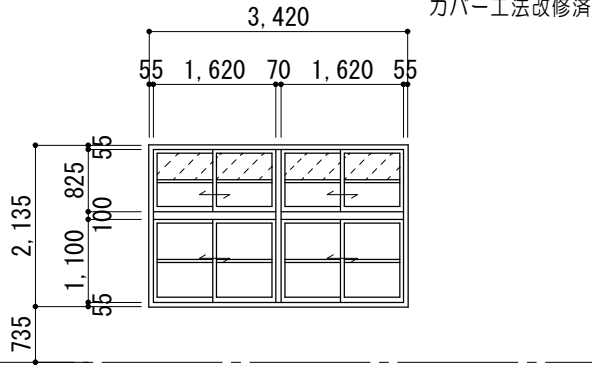
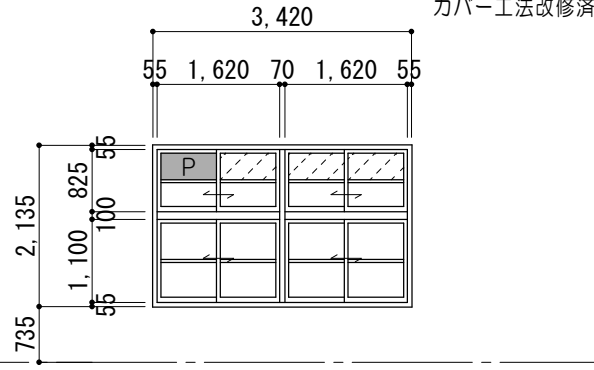
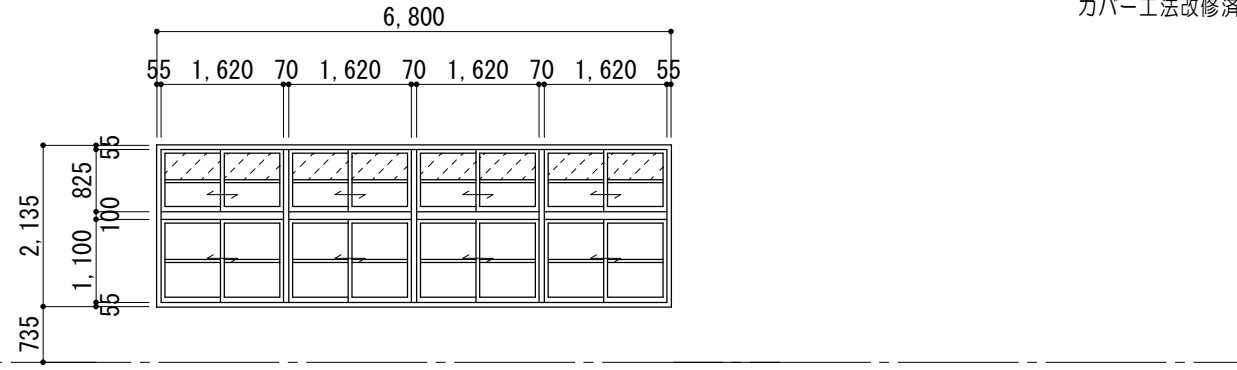
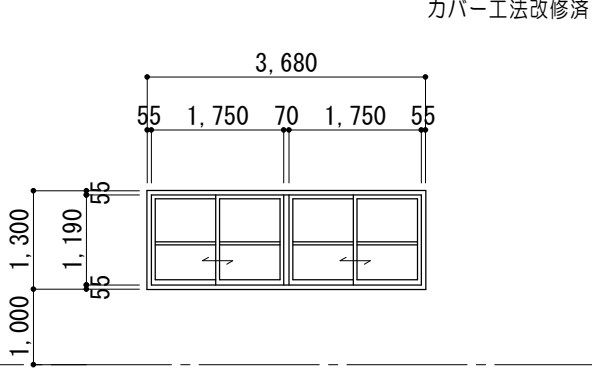
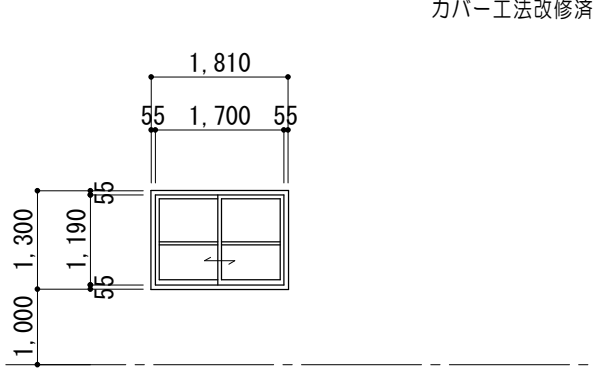
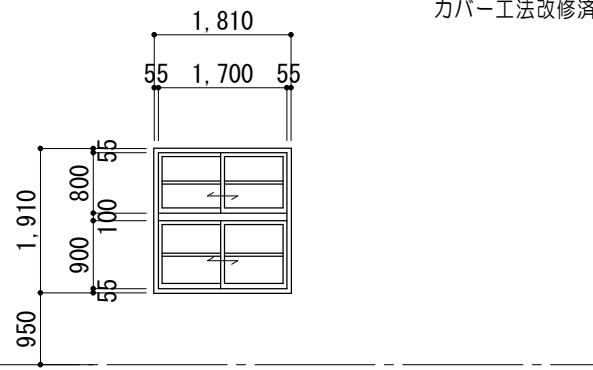
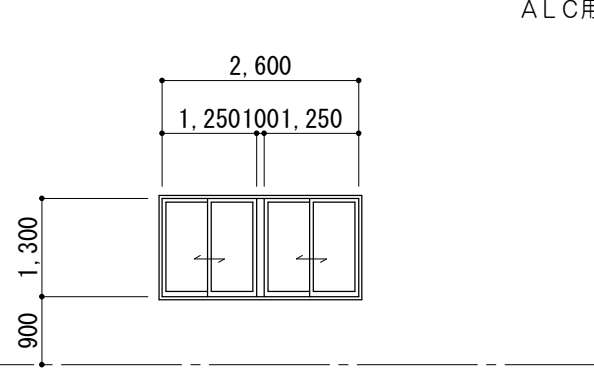
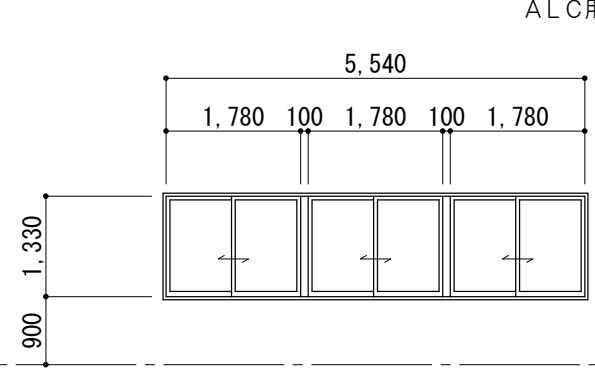
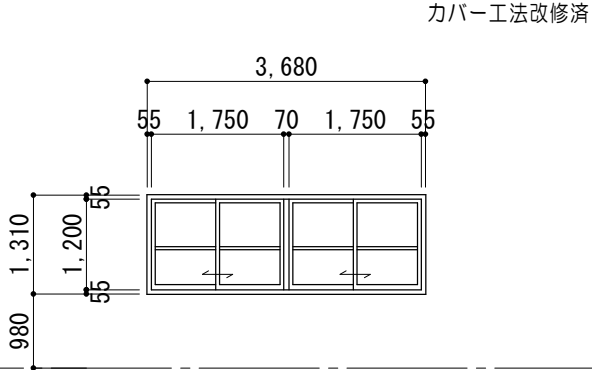
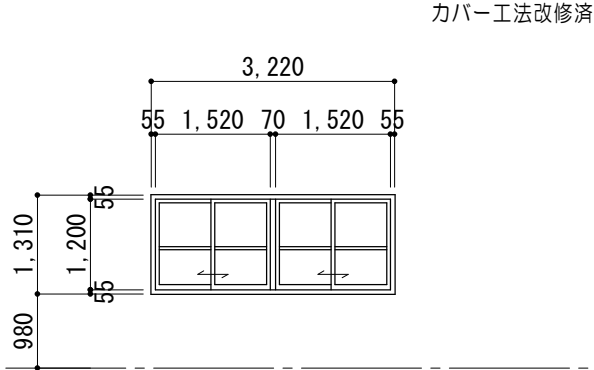
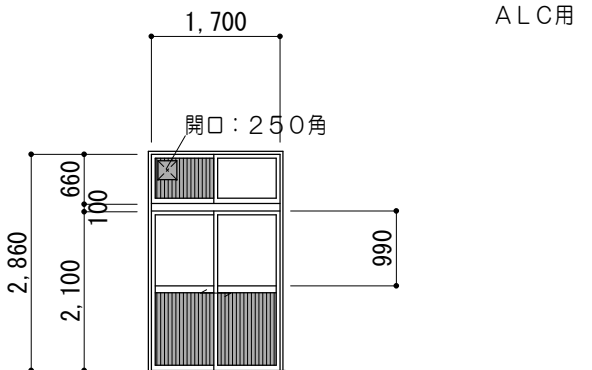
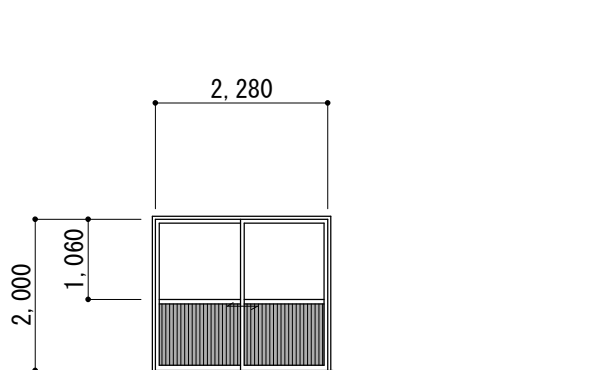
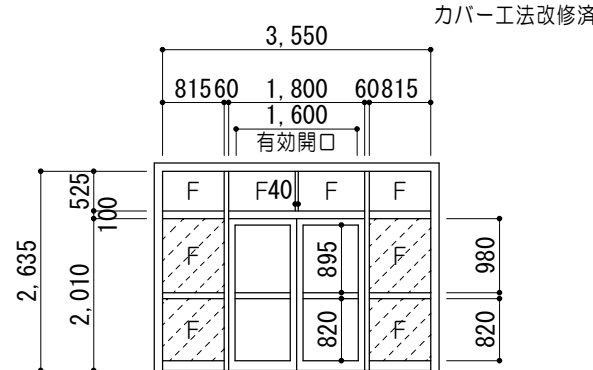
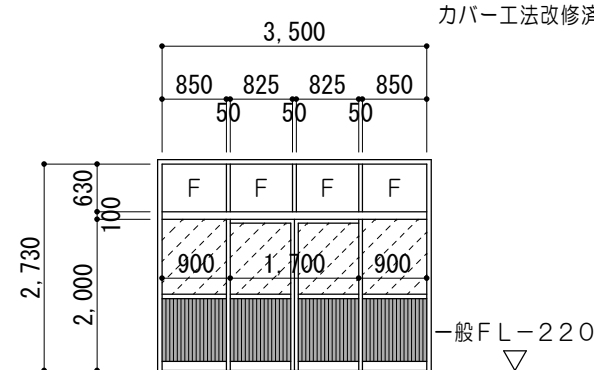
扉下部気密材

特 記 事 項		株式 会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図 工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
										縮 尺 A2: 1/100 A3: 1/141	
										図面名称 建具表<新設>、建具表<遮煙性能改修>、建具表<危害防止装置改修>	図面番号 A091 原図: A2

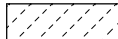
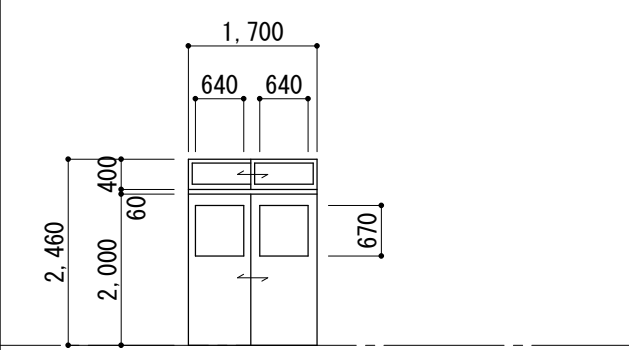
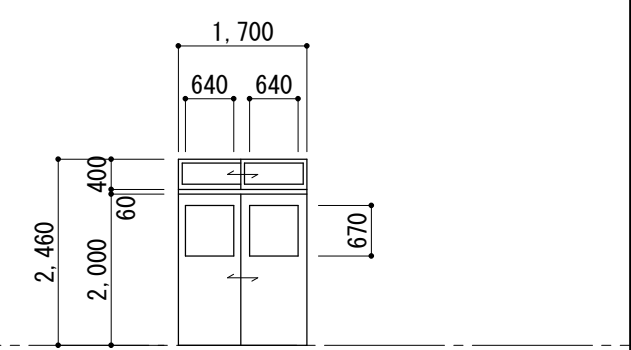
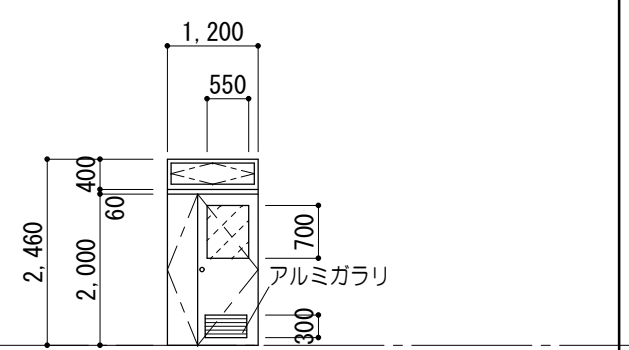
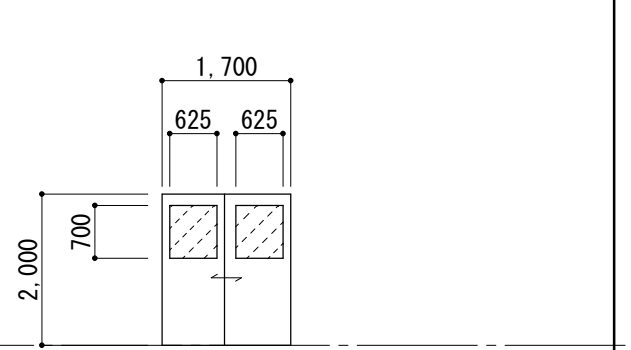
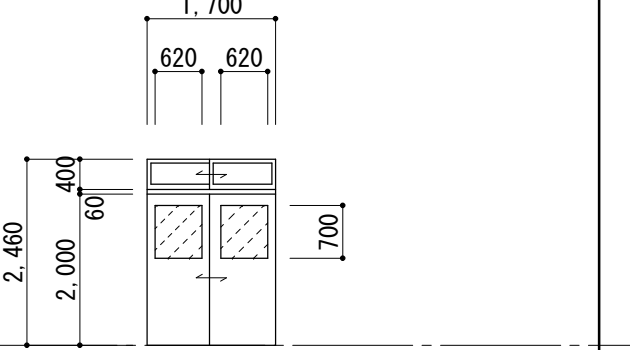
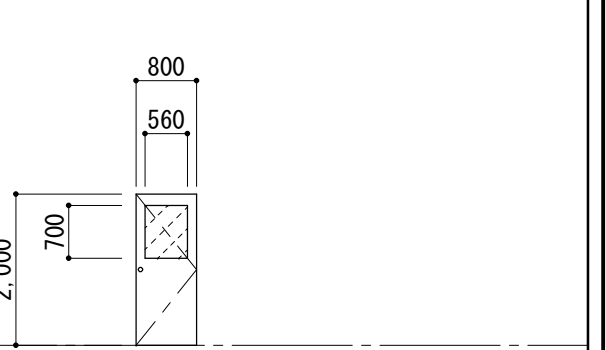
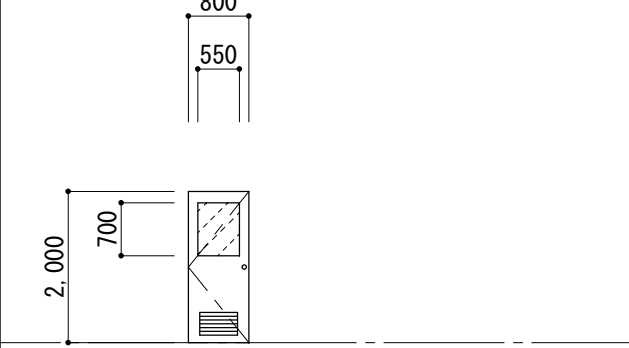
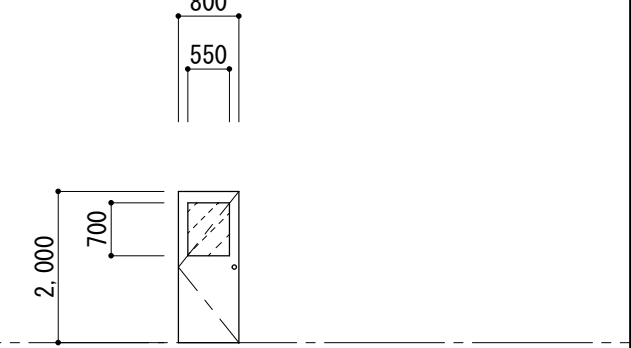
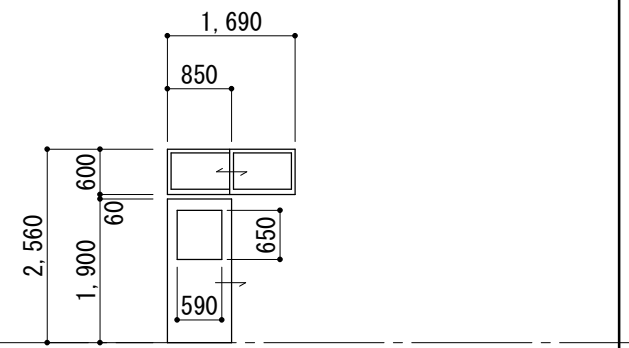
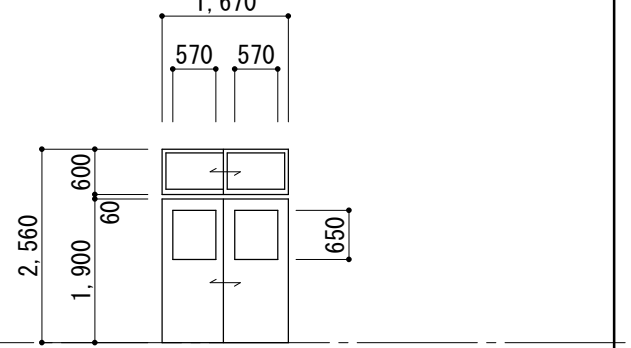
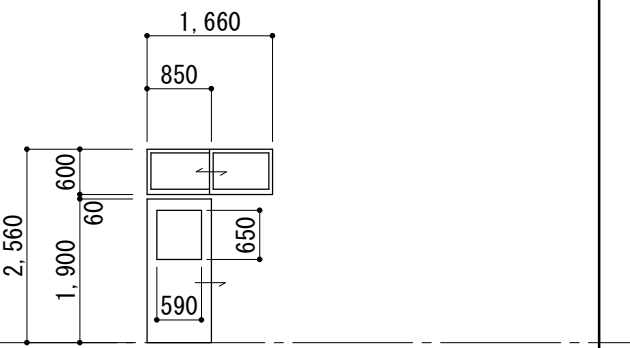
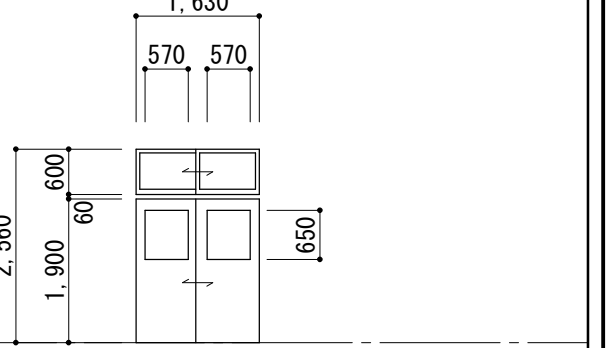
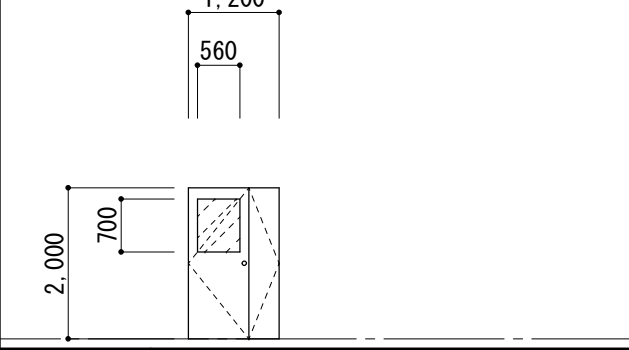
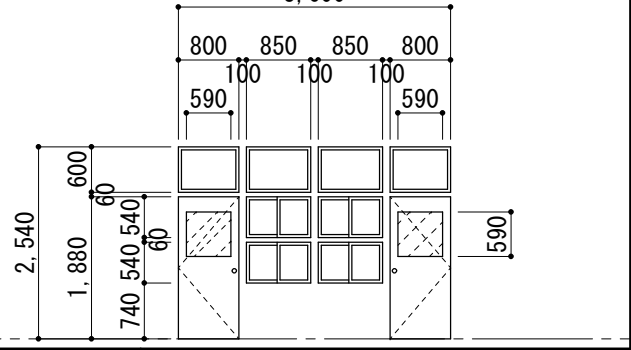
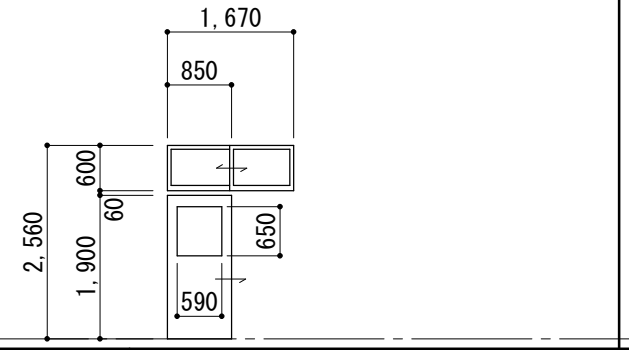
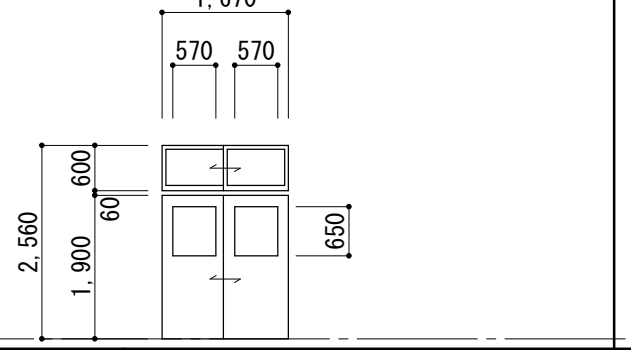
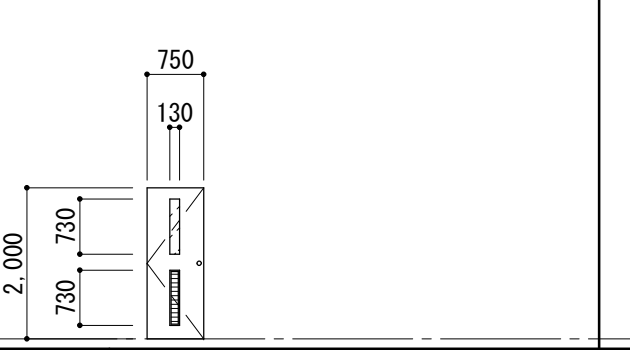
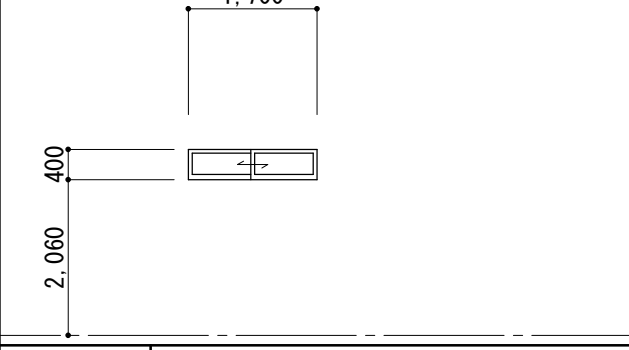
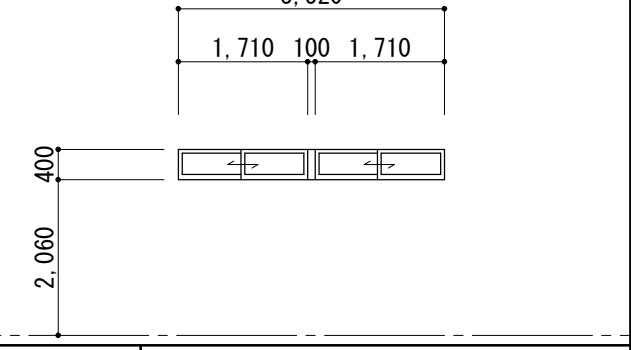
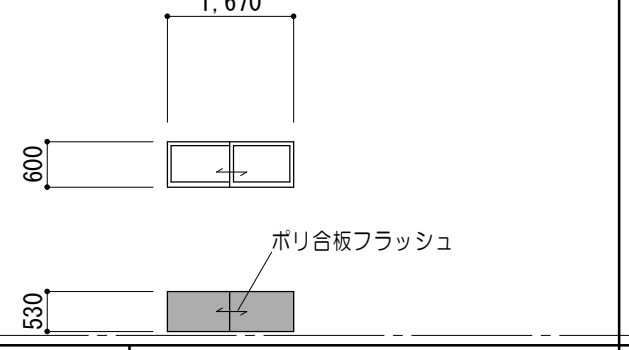
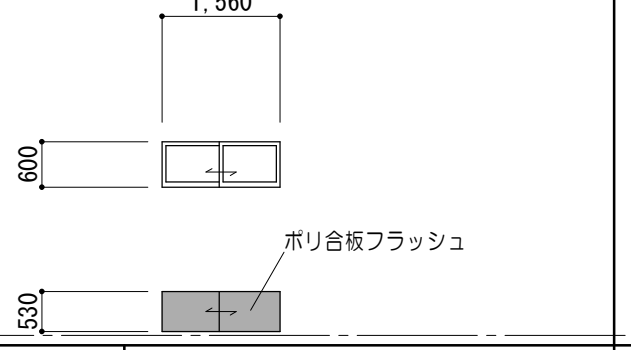
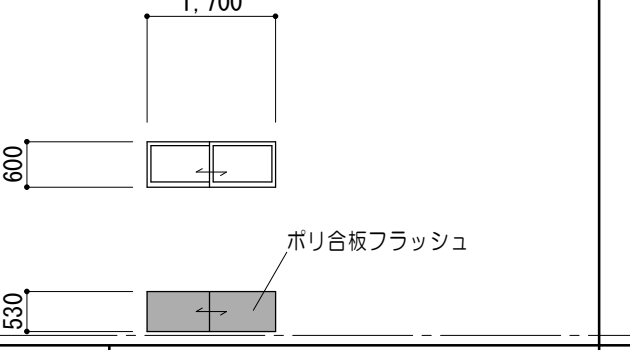
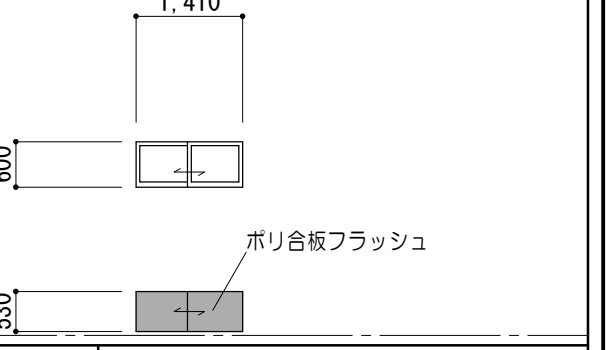
建 具 表 ＜ 既 設 ＞												1/100
符 号 名 称 数 量	1 KAD ランマ引違い付2連引違いアルミサッシ	1	4 KAD 引分ケアルミハンガードア	1	5 KAD 2枚片引き引込アルミドア	1	6 KAD 引違いアルミサッシ	1	7 KAD ランマ・片袖FⅠX付片引きアルミドア	1	8 KAD 両開キアルミドア	1
姿 図	 ALC用				 ALC用		 ALC用				 カバー工法改修済	
見 込 硝 子		網入り型ア6、8、網入り透明ア6、8		網入り透明ア6、8		網入り透明ア6、8		網入り透明ア6、8	70	網入り透明ア6、8	70	線入り型、アルミパネル
室 名	1階：保健室		1階：昇降口		1階：通用口		2階：階段ホール		1階：廊下		1階：出入口	
符 号 名 称 数 量	11 KAD 引違いアルミサッシ	2	4 KAW ランマ引違い付2連引違いアルミサッシ	1	1 KLSD 片引軽量スチールハンガードア（戸袋付）	1	1 KLSD 片開キ軽量スチールドア	1	4 KSD 片開キスチールドア	1	20 KWD 片開キ木製ドア	1
姿 図	 カバー工法改修済		 ALC用									
見 込 硝 子	70	線入型ガラス、アルミパネル		網入り型ア6、8		型板強化ガラスア4						
室 名	3階：廊下		1階：保健室		1階：多目的便所		1階：職員女子更衣室		1階：準備室		1階：階段下物置	

建 具 表 ＜ フ ィ ル ム 張 ＞ No. 1												1/100	※  型板ガラス部分を示す	※  アルミパネル及び既設のままを示す	工事内容：ガラス面に飛散防止フィルム張り（特記以外）						
符 号 名 称 数 量	1 KAW ランマ引違い付2連引違いアルミサッシ	1	2 KAW ランマ引違い付3連引違いアルミサッシ	1	3 KAW ランマ引違い付2連引違いアルミサッシ	1	5 KAW 片開キ2段アルミサッシ	2	6 KAW ルーバーアルミサッシ	3	7 KAW ルーバーアルミサッシ	4									
姿 図	 ALC用		 ALC用		 ALC用		 ALC用														
	一般FL ▽																				
見 込 硝 子		フロートア3		フロートア3、アルミパネル		フロートア3、アルミパネル		型ア4		型ア6		型ア4									
室 名	1階：放送室		1階：職員室		1階：校長室		1階：校長室		1階：印刷室		1階：更衣室、職員用男子便所（男）、職員用女子便所（女）										
符 号 名 称 数 量	8 KAW 2連引違いアルミサッシ	1	9 KAW 2連引違いアルミサッシ	1	10 KAW 引違いアルミサッシ	1	11 KAW 片開キアルミサッシ	3	12 KAW ランマ引違い付4連引違いアルミサッシ	1											
姿 図	 ALC用		 ALC用		 ALC用		 ALC用		 カバー工法改修済												
	一般FL ▽																				
見 込 硝 子		型ア4		フロートア3		フロートア3		フロートア3		フロートア3、型ア4、アルミパネル											
室 名	1階：図工準備室		東階段踊り場		2階：階段ホール		2階：階段ホール		1階：図工室												

特 記 事 項					 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事		設計日
	検図	図面名称 建具表＜既設＞、 建具表＜フィルム張＞No. 1 縮 尺 A2:1/100 A3:1/141		図面番号 A092 原図:A2											

建 具 表 < フィ ル ム 張 > №. 2									
1/100		※  型板ガラス部分を示す		※  アルミパネル及び既設のままを示す		工事内容：ガラス面に飛散防止フィルム張り（特記以外）			
符 号 名 称 数 量	 ランマ引違い付4連引違いアルミサッシ	1	 ランマ引違い付2連引違いアルミサッシ	3	 ランマ引違い付2連引違いアルミサッシ	1	 ランマ引違い付4連引違いアルミサッシ	1	
姿 図									
見 込 硝 子	フロートア3、型ア4、アルミパネル		フロートア3、型ア4		フロートア3、型ア4、アルミパネル		フロートア3、型ア4		
室 名	2階：普通教室（二年）		2階：たんぼほ教室 3階：特別活動室		2階：たんぼほ教室		2階：普通教室（四年）		
符 号 名 称 数 量	 2連引違いアルミサッシ	1	 引違いアルミサッシ	1	 ランマ引違い付引違いアルミサッシ	2	 2連引違いアルミサッシ	2	 3連引違いアルミサッシ
姿 図									
見 込 硝 子	フロートア3		フロートア3		フロートア3、型ア4		フロートア5		
室 名	2階：廊下		2階：廊下		階段踊場		1階：物置 2階：廊下		
符 号 名 称 数 量	 2連引違いアルミサッシ	1	 2連引違いアルミサッシ	1					
姿 図									
見 込 硝 子	フロートア3		フロートア3						
室 名	2階：廊下		3階：廊下						
符 号 名 称 数 量	 ランマ引違い付2連引違いアルミサッシ	1	 引違いアルミサッシ	1	 ランマ・両袖FⅡX付両開キアルミドア	1	 ランマ・両袖FⅡX付引分ケアルミサッシ	1	 スチールパーテーション
姿 図									
見 込 硝 子	フロートア3、アルミパネル		透明ガラス、アルミパネル		70	フロートア5、型	70	フロートア4、型、アルミパネル	
室 名	1階：職員室		1階：通用口		1階：玄関		1階：昇降口		1階：放送室

特 記 事 項					 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事	設計日
	検図	図面名称 建具表<フィルム張>№.2	縮 尺 A2:1/100 A3:1/141	図面番号 A093 原図:A2										

建 具 表 ＜ フ ィ ル ム 張 ＞ No. 3										1/100		※  型板ガラス部分を示す		※  アルミパネル及び既設のままを示す		工事内容：ガラス面に飛散防止フィルム張り（特記以外）																		
符 号 名 称 数 量		 ランマ引違い付引違いイ木製ドア		1		 ランマ引違いイ付引違いイ木製ドア		1		 ランマ回転付親子開キ木製ドア		1		 2枚引違いイ木製ドア		1		 ランマ引違いイ付引違いイ木製ドア		1		 片開キ木製ドア		1										
姿 図																																		
見 込 硝 子		95		フロートA4		95		フロートA4		95		フロートA3、型A4		95		型A4		95		型A4、フロートA3		131.5		型A4										
仕 上		ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ												
金 物																																		
室 名		1階：職員室				1階：職員室				1階：校長室				1階：印刷室				1階：保健室				1階：校長室												
符 号 名 称 数 量		 片開キ木製ドア		1		 片開キ木製ドア		1		 ランマ引違いイ付片引キ木製ドア		2		 ランマ引違いイ付引違いイ木製ドア		2		 ランマ引違いイ付片引キ木製ドア		2		 ランマ引違いイ付引違いイ木製ドア		2										
姿 図																																		
見 込 硝 子		131.5		型A4		95		型A4		95		フロートA3		95		フロートA3		95		フロートA3		95		フロートA3										
仕 上		ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ												
金 物																																		
室 名		1階：湯沸室				1階：放送室				1階：普通教室（一年） 2階：普通教室（三年）				1階：普通教室（一年） 2階：普通教室（三年）				1階：図工室 2階：普通教室（二年）				1階：図工室 2階：普通教室（二年）												
符 号 名 称 数 量		 親子開キ木製ドア		1		 ランマF I X ・引違いイ付片開キ木製ドア		1		 ランマ引違いイ付片引キ木製ドア		3		 ランマ引違いイ付引違いイ木製ドア		2		 片開キ木製ドア		2														
姿 図																																		
見 込 硝 子		131.5		型A4				型A4、フロートA3		95		フロートA3		95		フロートA3		95		型A4														
仕 上		ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ																
金 物																																		
室 名		1階：図工準備室				1階：物置				2階：普通教室（四年）、たんぼほ教室 3階：特別活動室				2階：普通教室（四年） 3階：特別活動室				1階：職員用便所（男）、職員用便所（女）																
符 号 名 称 数 量		 引違いイ木製窓		2		 2連引違いイ木製窓		1		 引違いイ木製窓		6		 引違いイ木製窓		4		 引違いイ木製窓		2		 引違いイ木製窓		1										
姿 図																																		
見 込 硝 子		95		フロートA3		95		フロートA3		95		フロートA3		95		フロートA3		95		フロートA3		95		フロートA3										
仕 上		ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ				ポリ合板フラッシュ												
金 物																																		
室 名		1階：職員室、保健室				1階：湯沸室				1階：普通教室（一年） 2階：たんぼほ教室、普通教室（三年） 3階：特別活動室				1階：図工室 2階：普通教室（二年）				2階：普通教室（四年）				3階：特別活動室												
特 記 事 項										 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝			代表設計者 一級建築士 第360917号 前田 祐作		設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃		設計担当 一級建築士 第320204号 前野 将輝		設計担当		設計担当				法適合確認		作図		工事名称 津市立明合小学校長寿命化改修工事				設計日	
																							検図		図面名称 建具表＜フィルム張＞No.3		縮 尺 A2:1/100 A3:1/141		図面番号 A094 原図:A2					